

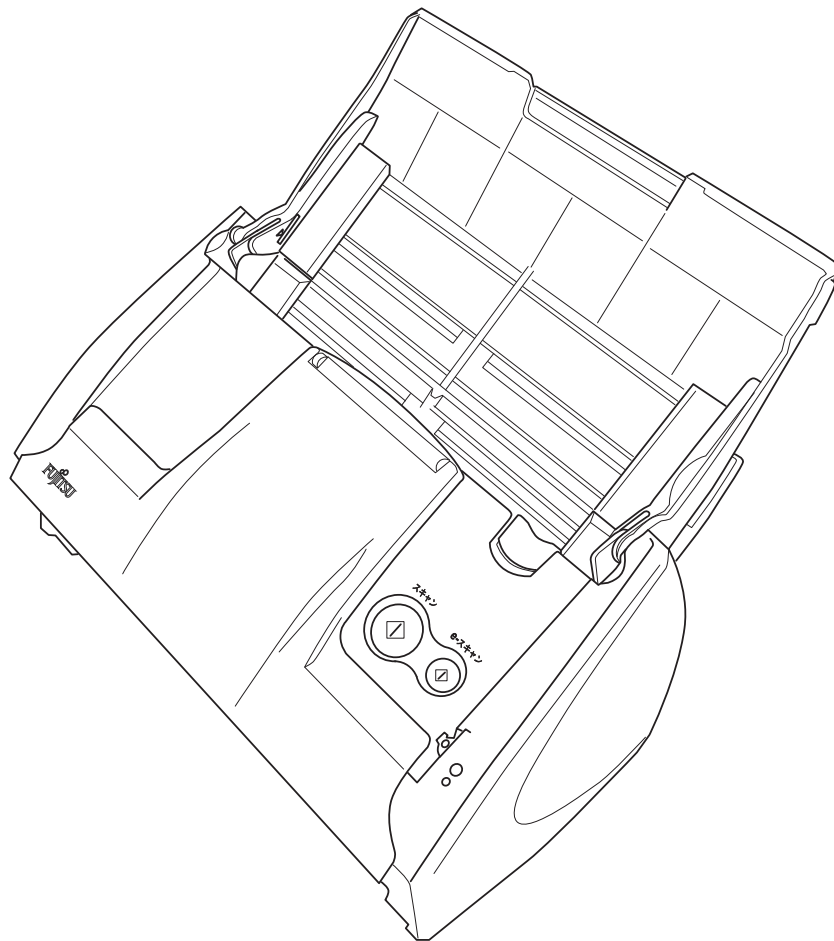
P3PC-1792-03Z0

カラーイメージスキャナ

*ScanSnap*

S510

オペレーターガイド



FUJITSU



# はじめに



このたびは、カラーイメージスキャナ スキャンスナップ ScanSnap S510（以下、ScanSnap と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ScanSnap は、両面原稿をカラーで読み取ることのできるスキャナ装置です。

ScanSnap には、以下のような特長があります。

## ■ ボタンを押すだけで、紙を PDF 化できます！また、検索可能な PDF も作成できます。

机の上にたまっている書類を、PDF 化してパソコンで管理・保管できます。同梱の Adobe® Acrobat® を使えば、表示・編集・検索も自由自在です。

PDF ファイルは、印刷したり、電子メールに添付して配布したりするのに便利です。

また、ScanSnap は、カラー原稿／白黒原稿を自動識別して読み取ることができるので、カラー／白黒混在の原稿を読み取る場合にファイルサイズを小さくすることができます。（白紙ページの削除もでき、さらにファイルサイズを小さくすることができます。）

## ■ [e-スキャン] ボタンを押すだけで、e-文書法に定める画質の条件を満たすイメージを作成することができます！

ボタン 1 つで、e-文書法（\*1）の読み取り条件を満たすイメージを作成することができます。（→ [52 ページ](#)）

\*1) e-文書法とは、民間事業者などに対してこれまで紙による原本保存が義務付けられていた公的文書や書類について、スキャナなどにより電子化したイメージデータを保存文書として容認するという法律です。正式名称は、「民間事業者等が行う書面保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。各種文書の電子的保存の実施にあたっては各関連省庁の定める一定の条件に基づいて紙文書を電子化し、管理する必要があります。

これまで企業活動において発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、この法律が施行されると、これらの紙文書を ScanSnap で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減することができます。（紙による原本保存が不要になります。）

注)・ScanSnap は、財務省令（国税関係帳簿書類の保存方法等の特例に関する法律施行規則の改正に関する）に対応して [e-スキャン] ボタンによる読み取り条件初期値を決めています（2006 年 12 月現在）。（→ [200 ページ](#)）

各省庁の規定する最新の読み取り条件の設定については、お客様の責任において実施してください。（例 厚生省ガイドラインでは解像度 300dpi での読み取りが必要）

- ・読み取った電子ファイルの原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任において実施してください。
- ・[e-スキャン] ボタンは、財務省令に対応した画像品質で読み取れます。なお、財務省令では読み取りの「画像品質」のほか「完全性」などについての要件が規定されておりますので、最新の財務省令をご確認のうえ、運用ください。

## ■ PDF ファイルにタイムスタンプを付与できます！

本製品には、タイムスタンプを付与するツール「PFU タイムスタンプ for Adobe<sup>®</sup> Acrobat<sup>®</sup>」が添付されています。本製品に添付されている「Adobe<sup>®</sup> Acrobat<sup>®</sup> 8.0」と組み合わせることで使用することができます。ぜひお試しください。

- 注) ・PFU タイムスタンプサービスについては、「PFU タイムスタンプサービス契約約款」(PFU タイムスタンプサービス利用券封書に記載)、および「タイムスタンプサービス運用規程」(→ 24 ページ)をよくお読みになり、内容に同意の上ご使用ください。
- ・e-文書法など、法令・制度の定めに従ってタイムスタンプを付与する場合の運用にあたりましては、各法令・制度を所轄する各府省が主務省令で具体的に定める通達やガイドラインなどをご確認ください。
  - ・PFU タイムスタンプサービスをご利用される場合は、当社ホームページ (<http://www.pfu.fujitsu.com/tsa/>) で提供する最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

## ■ 読み取りが快適です！

A4 サイズの両面カラー原稿を約 18 枚/分のスピードで読み取ります。(読み取りモードはノーマル、かつカラーモードは自動で、圧縮率が 3 の場合) (\*2)

- \*2) ・白黒データとして読み込む場合、原稿によっては読み取りスピードが遅くなる場合があります。(カラーで読み込んだ画像を白黒に変換しているためです。)  
例) カラーのパフレットを白黒モードで読み込んだ場合。
- ・文字列傾き補正、原稿向き補正、およびテキスト認識機能が有効になっていると、読み取りスピードが遅くなる場合があります。

## ■ 机上で場所をとりません！

A4 より小さいサイズなので、常に机の上に置いておくことができます。

## ■ 名刺の整理が簡単です！

添付の「名刺ファイリング OCR」を使えば、名刺を簡単にファイルできます。OCR 機能により検索することもできます。

## ■ クイックメニューによって、初心者にもやさしい操作性を実現しました！

[スキャン] ボタンで読み取ると、メニュー画面が表示され、後は、希望の動作を選択するだけ。初めての方でもすぐに使いこなせます。(クイックメニュー使用時)

## ■ 紙文書をダイレクトに、メール添付、印刷できます！

特定のアプリケーションを起動しなくても、直接電子メールに添付したり、プリンタで印刷してコピー機代わりに利用したりすることができます。

## ■ 紙文書を Word、Excel データに変換！

添付の「ABBYY FineReader for ScanSnap<sup>™</sup>」を使えば、読み取った原稿を直接、Word 文書や Excel 文書に変換することができます。

注) ScanSnap は、TWAIN・ISIS 規格に準拠していません。

本書は、ScanSnap の取り扱い方、および基本的な操作方法について説明しています。ご使用の際には、本書をお読みになり、ScanSnap を正しくご使用くださるよう、お願いいたします。



Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Word、Excel および Outlook は、米国 Microsoft Corporation の製品です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標です。

Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

ABBYY™ FineReader™ 7.x Engine © ABBYY Software House 2005.

OCR by ABBYY Software House. All rights reserved.

ABBYY, FineReader are trademarks of ABBYY Software House.

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

## 電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにロゴは参加各国の間で統一されています。



## 高周波ガイドラインについて

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

## グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネルギー化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「環境のコーナー」をご参照ください。  
<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



## 複製についてのご注意

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体の発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

## 紙幣などの偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用して読み取り、プリンタで不正に印刷すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

### 関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条  
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条など

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

## 著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

## 本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

## 免責事項

### 読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像データがお客様の必要とする精度・品質を満たしていること、たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

以下のような場合、読み取り画像データの一部が欠けたり、損失する場合がありますので、マニュアルに従って、次の点にご注意ください。

- 1) 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
- 2) 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
- 3) 消耗品は定期的にお取り替えください。

- 原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。
- 装置内部が汚れた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。
- 読み取り設定（読み取りモード、カラーモード、読み取り面、自動傾き補正、自動白紙ページ除去機能など）が不適切な場合は、以下のような不具合が発生することがあります。
  - － 解像度不足で文字が不鮮明となる
  - － カラー原稿の読み取り画像が白黒となる
  - － 両面原稿の片面しか読み取られない
  - － 画像の一部が欠けたり、サイズが縮小される
  - － 白紙ページが削除されない、または必要ページまで削除される
- 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）あるいは消耗品の状態により、複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、読み取ったデータにページ抜けが発生する場合があります。

- 原稿の紙質が指定外の場合、あるいは指定内の紙質であっても原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）や装置内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりを発生することがあります。この場合原稿データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。（原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。原稿づまりを防止するため読み取る原稿と同質・同サイズの紙を用いた事前の搬送試験をお勧めします。あるいは A3 キャリアシートによる読み取りを行ってください。）

## 製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）

TEL: 044-540-4538

2007年	2月	初版
2008年	3月	02版
2009年	10月	03版



お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © PFU LIMITED 2007-2009

## ■ 本書で使用している警告表示について

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。以下に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

記号	説明
 <b>警告</b>	この記号は、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。
 <b>注意</b>	この記号は、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

## ■ 安全上のご注意

本書には、ScanSnap を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。ScanSnap をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解された上で ScanSnap をお使いください。

また、本書は、ScanSnap をご使用中に、いつでも参照できるよう大切に保管してください。

ScanSnap に関する重要な警告事項は以下のとおりです。ScanSnap を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

### 電源についてのご注意



- 濡れた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 故障の処置をおこなう場合は、必ず AC アダプターをコンセントから抜いてください。AC アダプターをコンセントから抜かずして故障の処置をおこなうと、感電の原因となることがあります。
- AC アダプターは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。
- 必ず ScanSnap に付属の電源コード (AC アダプター) をお使いください。延長コードは使わないでください。異常な発熱や火災の原因となります。
- 電源コードや AC アダプターが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。修理には、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (325 ページ) にご連絡ください。
- AC アダプターやコンセントにほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

- 以下のようなときには直ちに使用を中止し、**AC アダプター**をコンセントから抜いてください。その後、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (325 ページ) にご連絡ください。
  - － **ScanSnap** から発煙したり、**ScanSnap** の外側が異常に熱くなった場合
  - － 異常な音がする場合
  - － **ScanSnap** の内部に水が入った場合そのまま使用すると、発火の原因となります。
- **AC アダプター**は、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災や故障の原因となることがあります。
- 長時間 **ScanSnap** を使用しないときは、安全のため必ず **AC アダプター**をコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となることがあります。
- **AC アダプター**をコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 1ヵ月に一度は、以下のような点検をしてください。
  - － **AC アダプター**が電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
  - － **AC アダプター**に異常な発熱、サビおよび曲がりなどはありませんか。
  - － **AC アダプター**やコンセントに細かいほこりがついていませんか。
  - － 電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。異常がある場合は、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (325 ページ) にご連絡ください。

### 注意

- 近くで雷が起きたときは、**AC アダプター**をコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、機器を破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。
- 複写機やシュレッダーのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。

## 設置および移動時のご注意

### 警告

- 高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、**ScanSnap** を設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には、**ScanSnap** を設置しないでください。火災の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- **ScanSnap** を移動する場合は、必ず **AC アダプター**をコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、**ScanSnap** が落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

### 注意


- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、ScanSnap 内部が高温となり、火災の原因となることがあります。
- 強い磁気やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気が発生すると、誤作動の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。

## ScanSnap 使用上のご注意



- 濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグに傷みがある場合、または、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。
- 指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線は避けてください。
- 電源プラグの金属部、および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しないでください。火災や感電、画像異常の原因となることがあります。
- 万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンター (325 ページ) にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすい異物の差し込み、落とし込みはしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。本体に水をかけたり、濡らしたりしないでください。
- 異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店または PFU イメージング サービス&サポートセンター (325 ページ) にご連絡ください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。
- ScanSnap は国内専用です。海外で使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常、画像異常の原因となることがあります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

 **注意**

- **ScanSnap** のどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、装置は底部の水平な部分を保持してください。  
振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。  
静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
- 長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。
- 通気口をふさがりますと、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがらないでください。
- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意しておこなってください。
- 歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。  
そのまま使用すると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、暖かい部屋に 1～2 時間放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 紙や A3 キャリアシートの取り扱いの際は、紙や A3 キャリアシートで手を切るなどのけがをしないように注意してください。
- 清掃時は、**ScanSnap** 内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。



## ■ 事業所系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）で引取りをおこないますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いいたします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルをおこなっています。

## 水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。  
本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。  
本製品を焼いたり、砕いたり、化学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

## ■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用してください。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

## ■ 警告ラベルについて

本製品には以下のような警告ラベルが貼り付けられています。



このラベルが貼り付けてある箇所は高温になる場合があります。火傷をするおそれがありますので、十分注意してください。

警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、よごれてメッセージなどが見にくくなった場合は PFU イメージング サービス&サポートセンター（[325 ページ](#)）までご連絡ください。

## ■ 本書の読み方

### 本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

#### 第 1 章 お使いになる前に

ScanSnap の各部の名称について説明しています。

#### 第 2 章 ScanSnap の接続方法

添付ソフトウェアをインストールして、パソコンに ScanSnap を接続するまでについて説明しています。

#### 第 3 章 ScanSnap を使ってみましょう

ScanSnap の操作方法について説明しています。

#### 第 4 章 ScanSnap の設定

ScanSnap の読み取り設定の変更方法、設定の保存方法について説明しています。

#### 第 5 章 オフィス機能

ScanSnap で読み取った原稿を、電子メールに添付したり、ネットワーク上で共有したり、プリンタで印刷したり、Word/Excel 文書に変換したり、楽 2 ライブラリと連携したりなど、オフィスでよく使われる機能について説明しています。

#### 第 6 章 ScanSnap のいろいろな使い方

ScanSnap のいろいろな機能や添付プログラムの使い方について説明しています。

#### 第 7 章 困ったときには

原稿ぶまりの処理方法、およびトラブルの対処方法について説明しています。

#### 第 8 章 清掃方法

ScanSnap の清掃方法について説明しています。

#### 第 9 章 消耗品／定期交換部品

パッドユニット、ピックアップユニットなどの消耗品の交換方法について説明しています。

なお、付録では、以下について記載しています。

- 付録 A ScanSnap Manager のアップデート
- 付録 B アンインストール
- 付録 C [スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの機能差
- 付録 D 設置諸元

ScanSnap の操作を理解いただくためには、第 1 章から第 6 章までを順にお読みください。トラブルが起きたときの対処方法が知りたいときは、第 7 章をお読みください。



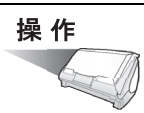

ScanSnap の清掃方法が知りたいときは、第 8 章をお読みください。

消耗品の交換方法を知りたい場合は、第 9 章をお読みください。

添付プログラムのアンインストール方法が知りたいときは、付録 B をお読みください。

## 本書で正在している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を正在しています。

記号	説明
	特に注意が必要な事項が書かれています。 必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
	ScanSnap での操作の手順について書かれています。
	パソコンでの操作の手順について書かれています。

## 商標の表記について

本書では、以下の用語について省略して記述しています。

Windows 2000 : Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版

Windows XP : Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版、  
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版

Windows Vista : Microsoft® Windows Vista® Home Basic operating system 日本語版、  
Microsoft® Windows Vista® Home Premium operating system 日本語版、  
Microsoft® Windows Vista® Business operating system 日本語版、  
Microsoft® Windows Vista® Enterprise operating system 日本語版、  
Microsoft® Windows Vista® Ultimate operating system 日本語版

Windows : Windows 2000、Windows XP、および Windows Vista

Adobe Acrobat : Adobe® Acrobat®

本書では、本製品に添付されている Adobe Acrobat の使用を前提にして説明してあります。特に指定がない場合は、本製品に添付されている Adobe Acrobat のことを指します。

また、本製品に添付されている Adobe Acrobat は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

本書の説明が実際の画面と異なる場合は、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

ABBYY FineReader : ABBYY FineReader for ScanSnap™

本書では、本製品に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap の使用を前提にして説明してあります。特に指定がない場合は、本製品に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap のことを指します。

また、本製品に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。本書の説明が実際の画面と異なる場合は、ABBYY FineReader for ScanSnap のヘルプを参照してください。

PFU タイムスタンプ: PFU タイムスタンプ for Adobe® Acrobat®



本書では、Windows XP の画面を例に説明しています。  
お使いのオペレーティングシステム (OS) によって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

## 操作説明について


本書では、マウスを使った操作について、以下のように表現しています。

クリック： マウスの左ボタンを 1 回押します。(=左クリック)

右クリック： マウスの右ボタンを 1 回押します。

ダブルクリック： マウスの左ボタンを素早く 2 回押します。

# 目次



はじめに.....	i
■ 本書で使用している警告表示について .....	vii
■ 安全上のご注意 .....	vii
■ 事業所系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い xi	
■ 使用上のご注意 .....	xi
■ 警告ラベルについて .....	xi
■ 本書の読み方 .....	xii
<b>第 1 章 お使いになる前に .....</b>	<b>1</b>
1.1 本体と付属品を確認してください .....	2
1.2 各部の名称 .....	3
前面 .....	3
操作ボタン .....	4
背面 .....	4
<b>第 2 章 ScanSnap の接続方法.....</b>	<b>5</b>
2.1 インストールします .....	6
インストールする前に.....	6
Adobe Acrobat をインストールします .....	8
ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールします .....	10
添付ソフトウェアをインストールします .....	14
2.2 ScanSnap とパソコンを接続します .....	29
電源ケーブルを接続します .....	30
USB ケーブルを接続します .....	31

---

<b>第 3 章 ScanSnap を使ってみましょう</b> .....	<b>37</b>
<b>3.1 操作の流れ</b> .....	<b>38</b>
基本的な操作の流れ .....	38
準備します .....	42
[スキャン] ボタンで読み取ります (クイックメニューモード) .....	43
[スキャン] ボタンで読み取ります (左クリックメニューモード) .....	48
[e-スキャン] ボタンで読み取ります .....	52
電源の ON/OFF について .....	56
終了します .....	57
<b>3.2 読み取りできる原稿</b> .....	<b>58</b>
<b>3.3 原稿のセット方法</b> .....	<b>62</b>
一般的な原稿のセット方法 .....	62
A3 キャリアシートを使用した原稿のセット方法 .....	66
<b>第 4 章 ScanSnap の設定</b> .....	<b>77</b>
<b>4.1 ScanSnap Manager アイコンについて</b> .....	<b>78</b>
右クリックメニュー .....	79
左クリックメニュー .....	80
<b>4.2 読み取り設定を変更するには</b> .....	<b>81</b>
<b>4.3 読み取り設定を保存するには</b> .....	<b>107</b>
読み取り設定を登録します .....	108
登録した読み取り設定を使って読み取ります .....	111
登録した読み取り設定を変更します .....	112
読み取り設定の名前を変更します .....	114
読み取り設定を削除します .....	116
<b>4.4 クイックメニューの使い方</b> .....	<b>118</b>
<b>4.5 A3 キャリアシートの設定方法</b> .....	<b>121</b>
<b>4.6 アプリケーションの自動連携について</b> .....	<b>127</b>
自動連携モード .....	127
自動連携モードの切り替え .....	129

<b>第 5 章 オフィス機能</b> .....	<b>131</b>
5.1 オフィス機能とは .....	132
5.2 指定したフォルダに保存する .....	133
クイックメニューモードの場合 .....	135
左クリックメニューモードの場合 .....	141
5.3 メールに添付して送信する .....	147
クイックメニューモードの場合 .....	149
左クリックメニューモードの場合 .....	156
5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する .....	163
クイックメニューモードの場合 .....	164
左クリックメニューモードの場合 .....	170
5.5 Word / Excel 文書に変換する .....	175
クイックメニューモードの場合 .....	179
左クリックメニューモードの場合 .....	181
ABBYY FineReader for ScanSnap の設定について .....	183
5.6 楽 2 ライブラリと連携する .....	188
クイックメニューモードの場合 .....	189
左クリックメニューモードの場合 .....	194
<b>第 6 章 ScanSnap のいろいろな使い方</b> .....	<b>199</b>
6.1 ScanSnap Manager を使う .....	200
片面だけを読み取ります .....	204
カラー原稿を白黒で読み取ります .....	206
カラー原稿を高圧縮します .....	207
読み取った原稿から白紙ページを削除します .....	209
文字列の傾きを自動的に補正します .....	211
向きがバラバラな原稿を向きをそろえて出力します .....	213
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります .....	215
読み取った原稿を複数のファイルに保存します .....	219
読み取り中にエラーが発生して分断されたデータを 1 つのファイル にします .....	221
読み取った原稿にパスワードを設定します .....	224
読み取った原稿に電子署名・タイムスタンプを付けます .....	227
テキスト認識しながら読み取ります .....	231

---

<b>6.2</b>	<b>Adobe Acrobat を使う</b> .....	<b>233</b>
	PDF ファイルのページを回転します .....	233
	PDF ファイルのページを削除します .....	235
	読み取った原稿上の文字列を検索可能にします .....	236
<b>6.3</b>	<b>PFU タイムスタンプを使う</b> .....	<b>238</b>
	準備 .....	240
	電子署名とタイムスタンプの付加 .....	251
<b>6.4</b>	<b>名刺ファイリング OCR を使う</b> .....	<b>256</b>
	名刺を読み取ります .....	257
<b>6.5</b>	<b>ScanSnap Organizer を使う</b> .....	<b>265</b>
	ScanSnap Organizer を起動します .....	266
	ScanSnap と連携します .....	267
<b>第 7 章</b>	<b>困ったときには</b> .....	<b>277</b>
<b>7.1</b>	<b>原稿づまりの処理</b> .....	<b>278</b>
<b>7.2</b>	<b>トラブルと対処</b> .....	<b>280</b>
<b>第 8 章</b>	<b>清掃方法</b> .....	<b>289</b>
<b>8.1</b>	<b>ScanSnap 外部およびスタッカーの清掃</b> .....	<b>290</b>
<b>8.2</b>	<b>ScanSnap 内部の清掃</b> .....	<b>291</b>
<b>8.3</b>	<b>A3 キャリアシートの清掃</b> .....	<b>295</b>
<b>第 9 章</b>	<b>消耗品／定期交換部品</b> .....	<b>297</b>
<b>9.1</b>	<b>消耗品の番号と交換周期</b> .....	<b>298</b>
<b>9.2</b>	<b>パッドユニットの交換</b> .....	<b>300</b>
<b>9.3</b>	<b>ピックアップユニットの交換</b> .....	<b>303</b>
<b>9.4</b>	<b>A3 キャリアシートの購入</b> .....	<b>310</b>
<b>付録 A</b>	<b>ScanSnap Manager のアップデート</b> .....	<b>311</b>
<b>付録 B</b>	<b>アンインストール</b> .....	<b>315</b>



---

付録 C [スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの機能差	319
付録 D 設置諸元 .....	323
修理・お問い合わせについて .....	325
索引 .....	327



# 第1章



## お使いになる前に

この章では、ScanSnap をお使いになる前に必要な準備について説明しています。

---

1.1 本体と付属品を確認してください.....	2
1.2 各部の名称.....	3

---

## 1.1 本体と付属品を確認してください

---

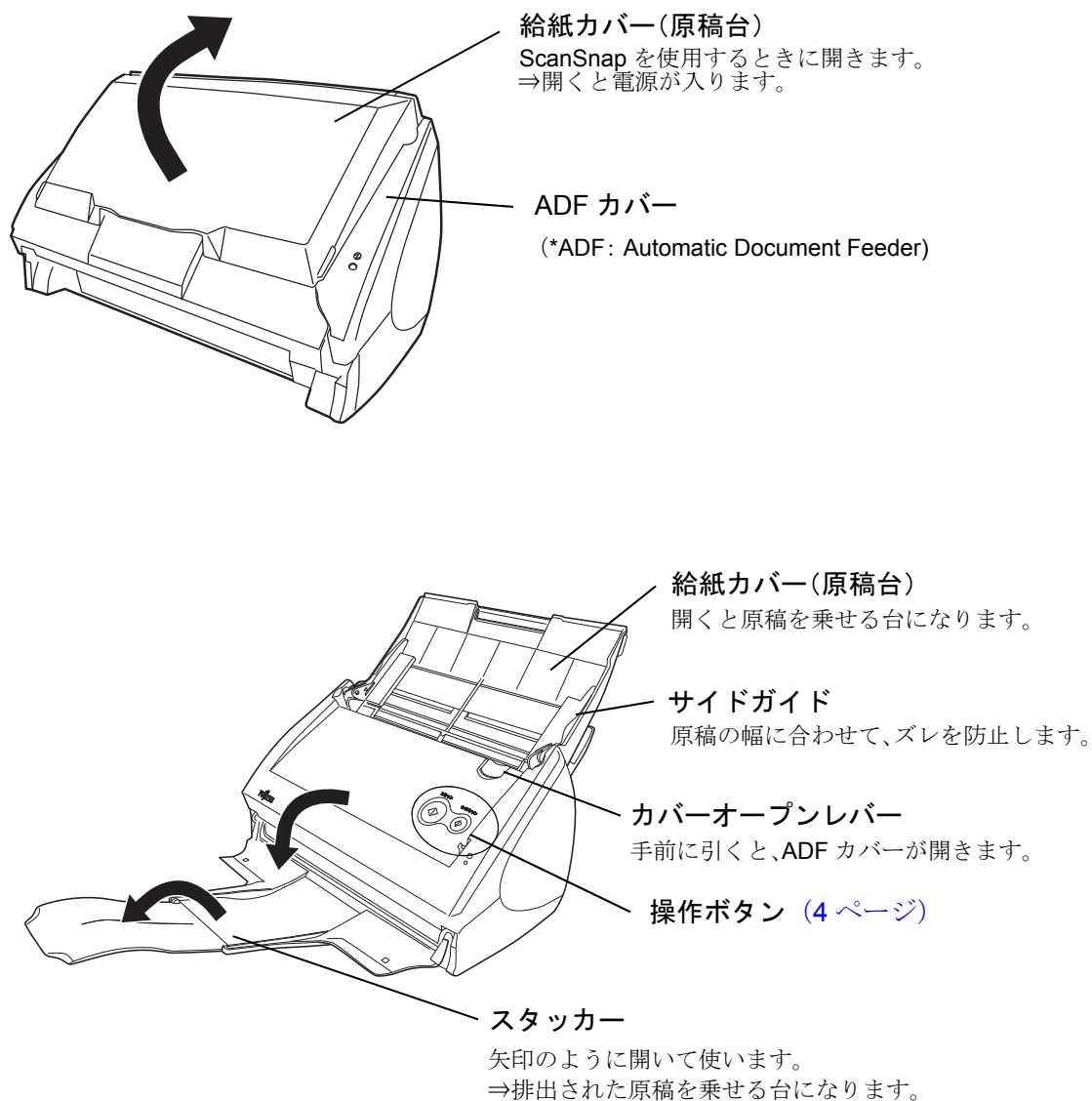
ScanSnap を開梱したら、まず、添付の「本体と付属品の確認 (リスト)」で、ScanSnap 本体と、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

万一、足りないものや不良品がありましたら、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([325 ページ](#)) までご連絡ください。なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。

## 1.2 各部の名称

ScanSnap の各部の名称について説明します。

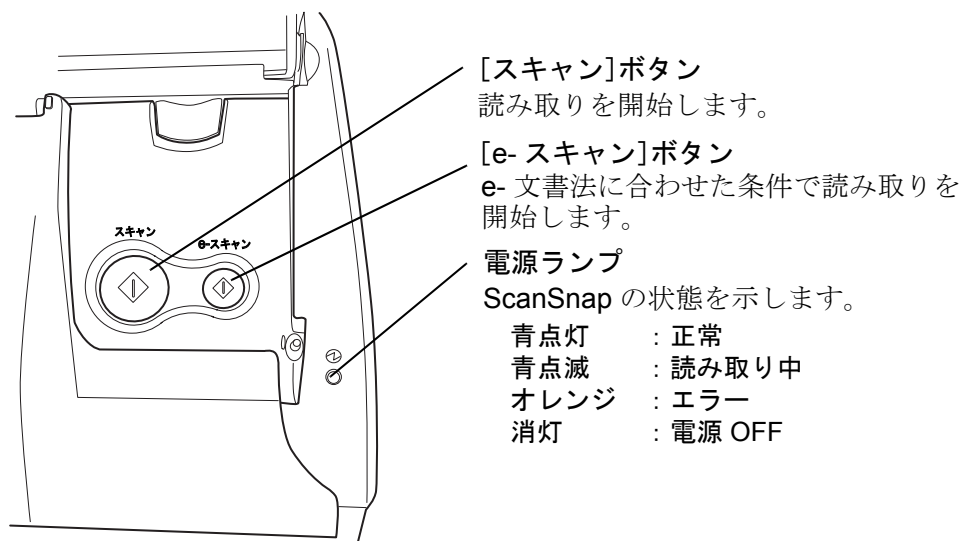
### ■ 前面



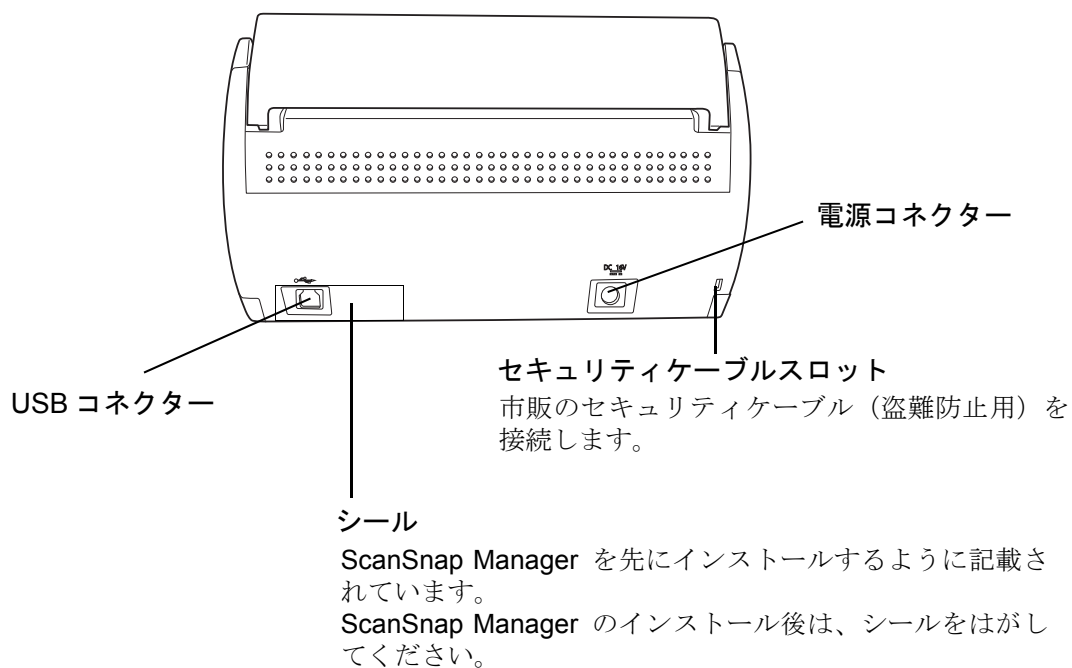
ヒント

スタッカーを開かないまま、使用することもできます。

## ■ 操作ボタン



## ■ 背面





## 2.1 インストールします

インストールとは、ScanSnap を使用するために、ご使用のパソコンのハードディスクに ScanSnap の添付プログラムファイルをコピーし、インストール先のパソコンで ScanSnap を使用する環境を作ることです。

### ■ インストールする前に

インストールする前に以下の準備をしてください。

#### 1. システム条件を確認します。

ScanSnap は、以下のシステム条件で動作します。

##### オペレーティングシステム

- Windows 2000
- Windows XP
- Windows Vista

	Windows 2000	Windows XP	Windows Vista
ScanSnap Manager	○	○ *1	○ *4
ScanSnap Organizer	○	○ *1	○ *4
名刺ファイリング OCR	○	○ *1	○
PFU タイムスタンプ	Adobe Acrobat のプラグインソフトウェアのため、 Adobe Acrobat に従う *5		
Adobe Acrobat	○ *3	○ *2	—
ABBYY FineReader for ScanSnap	○	○ *1	○

\*1 : Service Pack 1 以降適応済みのこと

\*2 : Service Pack 2 以降適応済みのこと

\*3 : Service Pack 4 以降適応済みのこと

\*4 : タイムスタンプおよび検索機能は、Adobe Acrobat の機能を使用しています。Windows Vista でこれらの機能を使用する場合は、Windows Vista に対応した Adobe Acrobat の版数を適用してからご使用ください。Windows Vista に対応していない版数の Adobe Acrobat をご使用の場合は、タイムスタンプおよび検索機能は動作保証外となります。

\*5 : PFU タイムスタンプは、Adobe Acrobat 6.0 以降でご使用いただけます。また、インターネットに接続できる環境が必要です。





## ■ Adobe Acrobat をインストールします

本製品に添付されている Adobe Acrobat の CD-ROM から、以下の手順で Adobe Acrobat をインストールします。



まって!

Adobe Acrobat は、以下のオペレーティングシステム (OS) でご使用いただけます。

- Windows 2000 (Service Pack 4 以降)
- Windows XP (Service Pack 2 以降)

さらに、以下の条件が必要です。

- Microsoft® Internet Explorer 6.0 以降
- 1024 × 768 以上の画面解像度



ヒント

Adobe Acrobat は、『ScanSnap S510 オペレーターガイド』、『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』、および『PFU タイムスタンプの使い方』を表示するために必要です。

また、ScanSnap と連携して、読み取った画像を表示させることができます。

※お使いのパソコンに、すでに最新版の Adobe Acrobat がインストールされている場合は、あらためてインストールする必要はありません。

⇒ [「ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールします」\(10 ページ\)](#) にお進みください。



操作

Adobe Acrobat の CD-ROM を用意してください。

### 1. 本 ScanSnap に添付されている Adobe Acrobat の CD-ROM を CD ドライブにセットします。

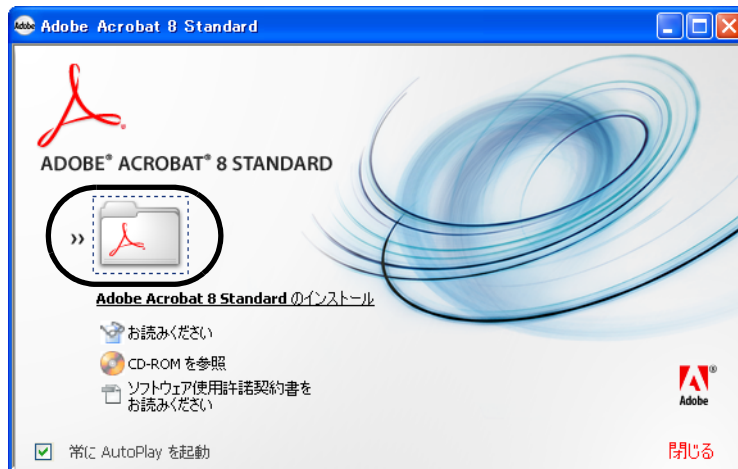
⇒ CD-ROM が自動認識され、「Adobe Acrobat Standard」の画面が表示されます。



ヒント

Adobe Acrobat の CD-ROM を CD ドライブにセットしても「Adobe Acrobat Standard」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで、CD-ROM ドライブの、「AutoPlay.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。

## 2. フォルダのアイコンをクリックします。



⇒ インストールが開始されて、セットアップ画面が表示されます。

## 3. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒ インストールが開始されて、「Adobe Acrobat 8 Standard セットアップへようこそ」の画面が表示されます。

## 4. 画面の指示に従ってインストールします。



- Adobe Acrobat のインストールに関する詳細については、操作 2. の画面の「お読みください」をクリックして表示されるインストール手順の説明をお読みください。
- Adobe Acrobat の使い方については、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

## ■ ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールします

本製品に添付されている「ABBYY FineReader CD」から、以下の手順で ABBYY FineReader for ScanSnap をインストールします。



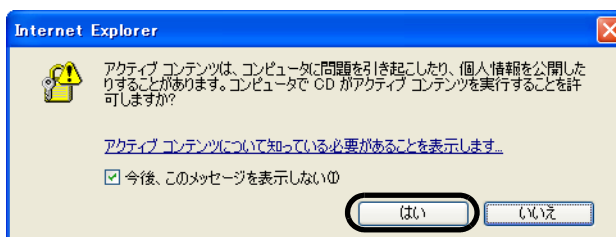
ABBYY FineReader CD を用意してください。

### 1. 「ABBYY FineReader CD」を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ABBYY FineReader for ScanSnap」画面が表示されます。

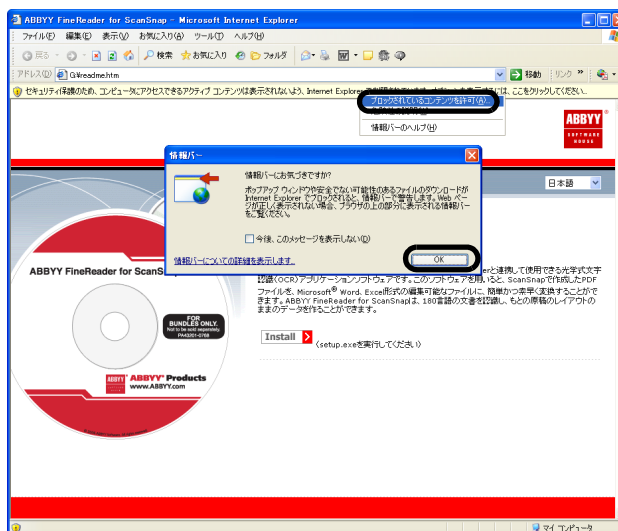


- Windows XP Service Pack 2 適用済みのパソコンに「ABBYY FineReader CD」をセットすると、以下のメッセージが表示される場合があります。[はい] ボタンをクリックし、「ABBYY FineReader for ScanSnap」画面を表示させてください。

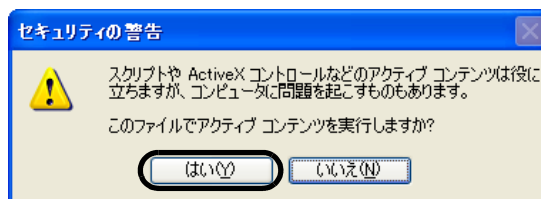


「今後、このメッセージを表示しない」チェックボックスにチェックを入れると、Microsoft® Internet Explorer を起動する CD-ROM がセットされても、上図のメッセージは表示されません。

- 上図のメッセージではなく、「情報バー」が表示される場合があります。その場合は、[OK] ボタンをクリックします。続いて、黄色表示されている警告をクリックし、リストの中から「ブロックされているコンテンツを許可」を選択します。



最後に、「セキュリティの警告」ダイアログの [はい] ボタンをクリックします。



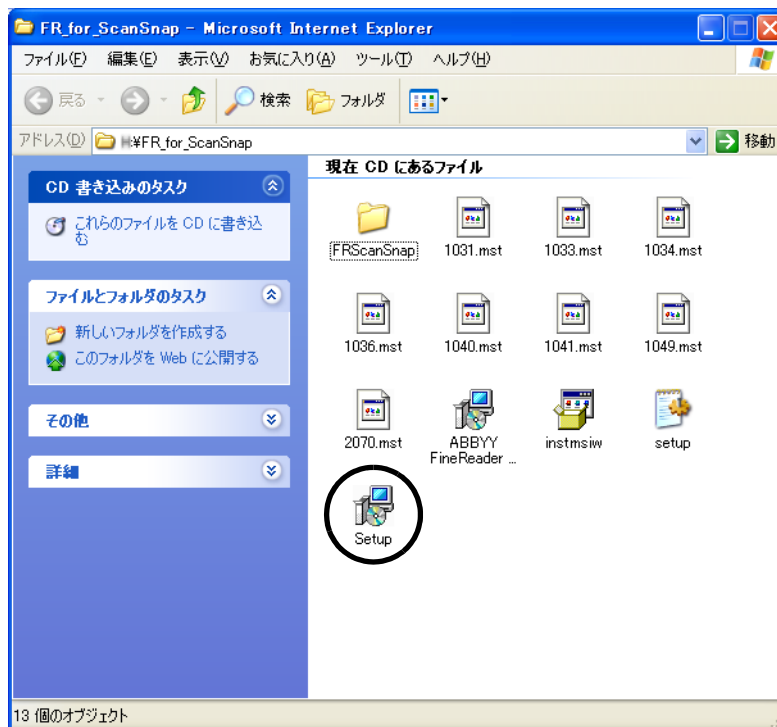
## 2. [Install>] をクリックして、インストールを開始します。



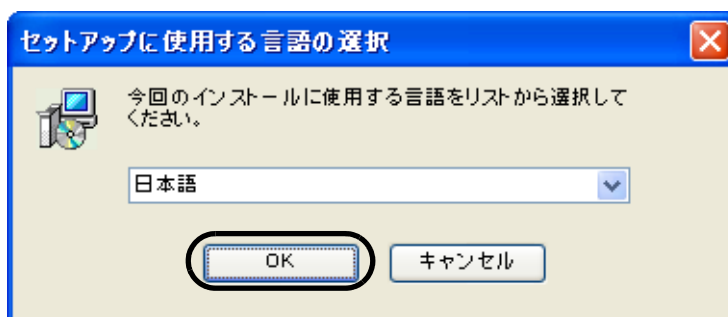
お使いのパソコンの CD ドライブの自動再生設定が OFF になっていると、「ABBYY FineReader for ScanSnap」の画面が表示されない場合があります。その場合は、エクスプローラやマイコンピュータから、CD-ROM 内の「autorun.exe」を実行してください。



⇒ setup.exe のあるフォルダが表示されます。「Setup.exe」アイコンをダブルクリックします。



### 3. 「日本語」を選択し、[OK] をクリックします。



まって!

日本語以外を選択してインストールした場合は、サポート対象外となります。必ず、「日本語」を選択してください。

⇒ 「InstallShield Wizard for ABBYY FineReader for ScanSnap」が起動します。

⇒ 指示にしたがってインストールを行います。



ヒント

ABBYY FineReader for ScanSnap の使い方については、『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』をご参照ください。  
[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [ABBYY FineReader for ScanSnap (TM) 3.0] → [ユーザーズガイド] の順に選択すると表示されます。

## ■ 添付ソフトウェアをインストールします

本 ScanSnap に添付されている「ScanSnap Setup CD-ROM」から、ScanSnap 用の添付プログラムを以下の手順でインストールします。

ScanSnap 用添付プログラムは、以下のとおりです。

- ScanSnap Manager
- ScanSnap Organizer
- 名刺ファイリング OCR
- PFU タイムスタンプ

### < ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、および名刺ファイリング OCR のインストール >

ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、および名刺ファイリング OCR は、以下の手順でインストールします。



#### 1. 「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒ ScanSnap インストーラが起動し、「ScanSnap Setup」画面が表示されます。



- ① インストールおよびアンインストールするときの注意事項、Setup CD-ROM の構成などについての説明が表示されます。
- ② ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、および名刺ファイリング OCR のインストールを行います。



- ③ 取扱説明書を表示します。  
以下のボタンから表示したい取扱説明書を選択します。
- [ScanSnap Manager] ボタン  
『ScanSnap オペレーターガイド』（本書）が表示されます。
- [ScanSnap Organizer] ボタン  
『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』が表示されます。  
ScanSnap Organizer の使い方について詳しく説明しています。
- [名刺ファイリング OCR] ボタン  
『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』が表示されます。  
名刺ファイリング OCR の使い方について詳しく説明しています。
- [導入ガイド] ボタン  
『ScanSnap 導入ガイド』が表示されます。  
ScanSnap の基本的な読み取り操作の流れや、消耗品の交換手順について、動画を使ってわかりやすく説明しています。
- ④ PFU タイムスタンプに関する注意書きや運用規程の表示、  
PFU タイムスタンプや証明書のインストールを行います。
- ⑤ Setup CD-ROM の内容を表示します。  
(※ Windows Vista を標準ユーザーでご使用の場合、本ボタンは使用できません。エクスプローラを使用して、CD-ROM の内容を確認してください。)
- ⑥ 本製品に関するサポート情報の記載されたホームページを表示します。  
このボタンをクリックして表示される画面で、「<http://scansnap.fujitsu.com/jp/>」の部分をクリックしてください。  
(※インターネットに接続できる環境が必要です。)
- ⑦ 本製品のユーザー登録用ホームページを表示します。  
ここから、ユーザー登録を行うことができます。  
(※インターネットに接続できる環境が必要です。)
- ⑧ 本画面を閉じます。



ヒント

「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしても「ScanSnap Setup」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで「ScanSnap Setup CD-ROM」をセットした CD-ROM ドライブの、「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックして「ScanSnap Setup」を起動してください。

## 2. [お読みください] ボタンをクリックします。



⇒ インストールおよびアンインストールするときの注意事項、Setup CD-ROM の構成などについての説明が表示されます。  
読み終わったら、説明を閉じてください。

### 3. [インストール] ボタンをクリックします。

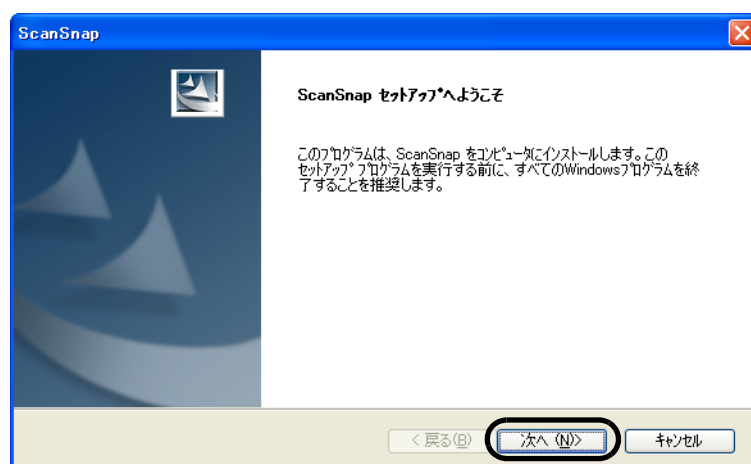
[インストール] ボタンでインストールされるのは、ScanSnap Manager、ScanSnap Organizer、および名刺ファイリング OCR です。

PFU タイムスタンプのインストールについては、「< PFU タイムスタンプのインストール >」(23 ページ) を参照してください。



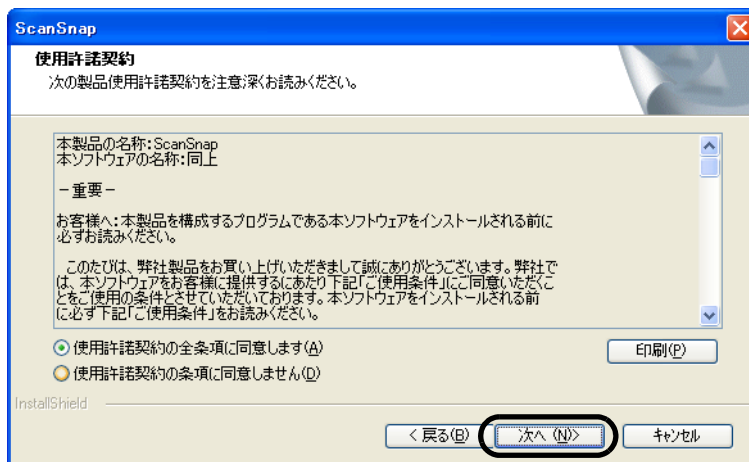
⇒ 「ScanSnap 用の InstallShield Wizard へようこそ」画面が表示されます。

### 4. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「使用許諾契約」画面が表示されます。

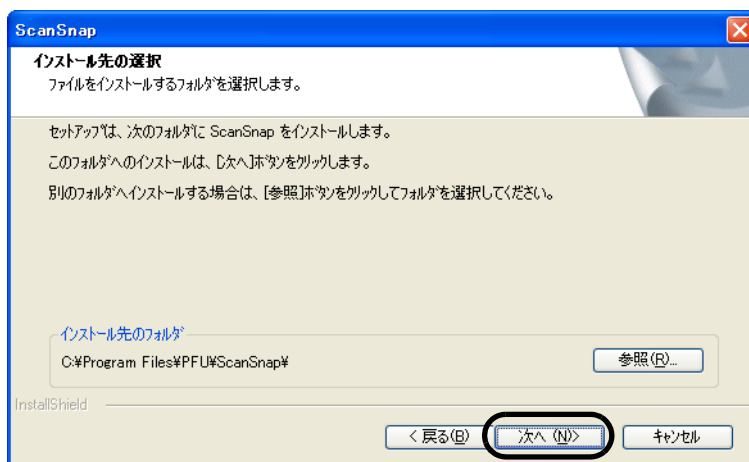
**5. 「使用許諾契約」の内容を確認し、契約に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。**



⇒「インストール先の選択」画面が表示されます。

**6. インストール先を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。**

表示されているフォルダにインストールする場合は [次へ] ボタンをクリックします。通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。インストール先は、インストール先フォルダのドライブのディスク容量が少ない場合に変更してください。インストールするフォルダを変更する場合は、[参照] ボタンをクリックします。「ディレクトリの選択」のダイアログボックスが表示されるので、ここでインストールするフォルダを選択します。



⇒「セットアップ タイプ」画面が表示されます。




## 8. 原稿のセット方法を指定して、[次へ] ボタンをクリックします。

原稿を裏向けて、上端を下向きにして ScanSnap にセットしたい場合は、「1 ページ目を下向きにして原稿を読み取ります (推奨)」を選択してください。

原稿を手にして、そのままの状態 で ScanSnap にセットしたい場合は、「1 ページ目を上向きにして原稿を読み取ります」を選択してください。

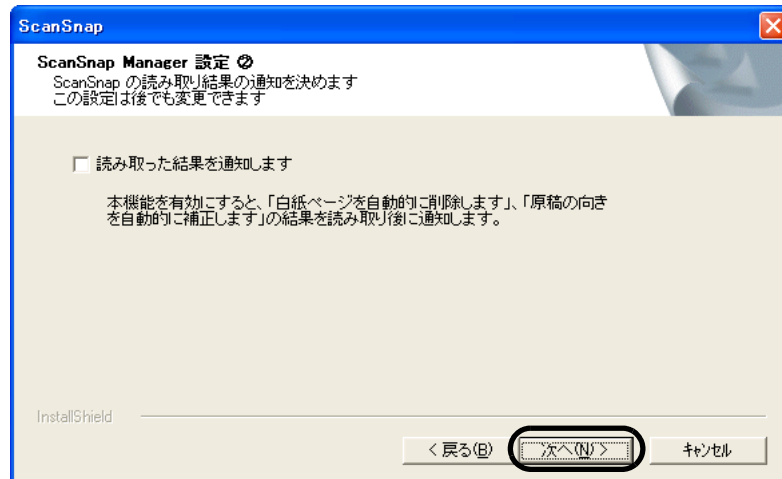


⇒ 「ScanSnap Manager 設定②」画面が表示されます。


- ヒント 
- 本設定は、インストール後に変更することができます。詳細については、「4.2 読み取り設定を変更するには」の「**原稿を上向きにしてセットします**」(96 ページ) を参照してください。
  - 「ScanSnap Manager 設定①」画面は、再インストール時には表示されません。再インストール前の設定が反映されます。

## 9. 読み取り後に「読み取り結果の通知」を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れて、[次へ] ボタンをクリックします。

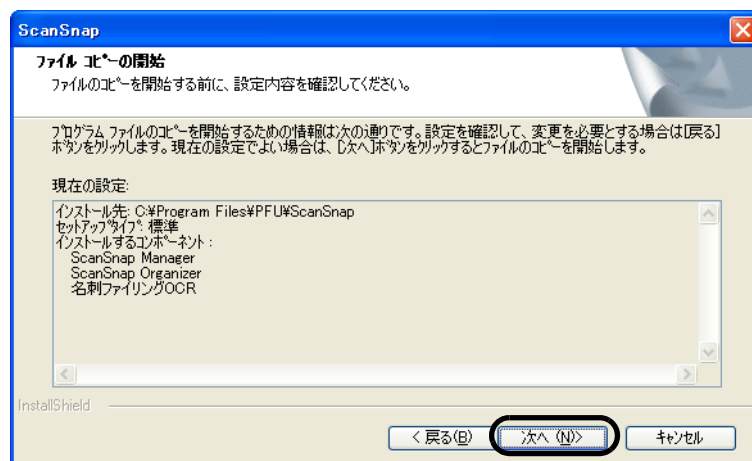
チェックを入れると、ScanSnap で原稿を読み取った後に、「白紙ページを自動的に削除します」および「原稿の向きを自動的に補正します」の機能が実行されたかどうかを通知する画面が表示されます。



⇒「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。

- ヒント 
- 本設定は、インストール後に設定を変更することができます。詳細については、「読み取り結果の通知」(79 ページ) を参照してください。
  - 「ScanSnap Manager 設定②」画面は、再インストール時には表示されません。再インストール前の設定が反映されます。

## 10. インストールする内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒ インストールが開始されます。インストールが終了すると、「InstallShield Wizard の完了」の画面が表示されます。

## 11.[完了] ボタンをクリックします。



⇒「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、コンピュータの再起動が行われます。

⇒「いいえ、あとでコンピュータを再起動します。」を選択した場合は、「ScanSnap Setup」の画面が表示されます。[閉じる] ボタンをクリックして、「ScanSnap Setup」の画面を閉じてください。

※インストールを完了させるためには、コンピュータの再起動が必要です。



ヒント

- 『ScanSnap S510 オペレーターガイド』、『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』、および『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』を表示するためには、Adobe Acrobat または Adobe® Reader® (Acrobat® Reader™) が必要です。ご使用のパソコンにインストールされていない場合は、装置に添付されている Adobe Acrobat の CD-ROM から Adobe Acrobat をインストールしてください。
- 添付ソフトウェアのアンインストールについては、「付録 B アンインストール」(315 ページ) を参照してください。



## < PFU タイムスタンプのインストール >

PFU タイムスタンプは、以下の手順でインストールします。



- PFU タイムスタンプをインストールする前に、Adobe Acrobat がインストールされていることを確認してください。  
Adobe Acrobat のインストールについては、「[Adobe Acrobat をインストールします](#)」(8 ページ) を参照してください。
- PFU タイムスタンプを使用するには、インターネット接続環境が必要です。
- 旧バージョンがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてから、インストールしてください。



### 1. 「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒ 「ScanSnap インストーラ」が起動し、「ScanSnap Setup」の画面が表示されます。



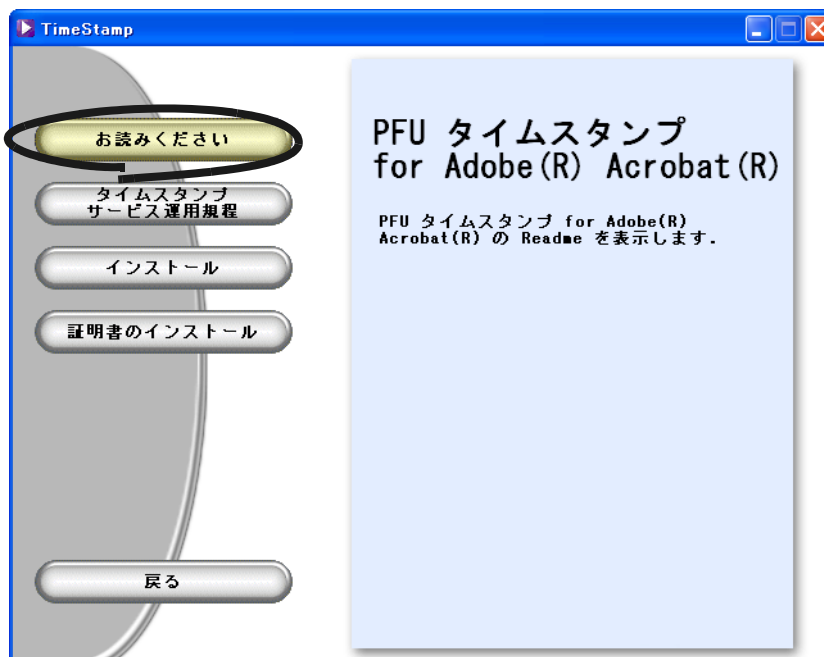
「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしても「ScanSnap Setup」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで「ScanSnap Setup CD-ROM」をセットした CD-ROM ドライブの、「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックして「ScanSnap Setup」を起動してください。

### 2. [PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R)] ボタンをクリックします。



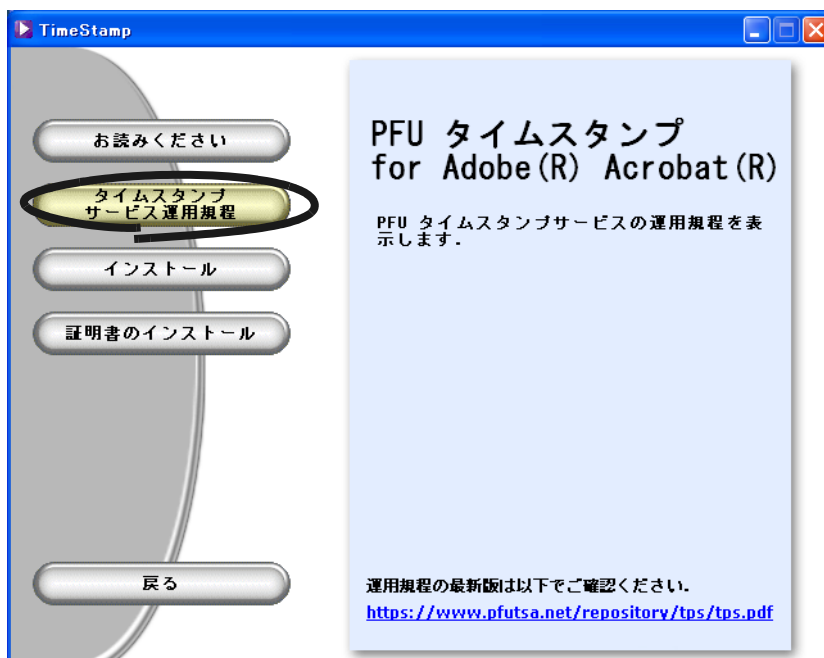
⇒ 「PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R)」画面が表示されます。

3. [お読みください] ボタンをクリックします。



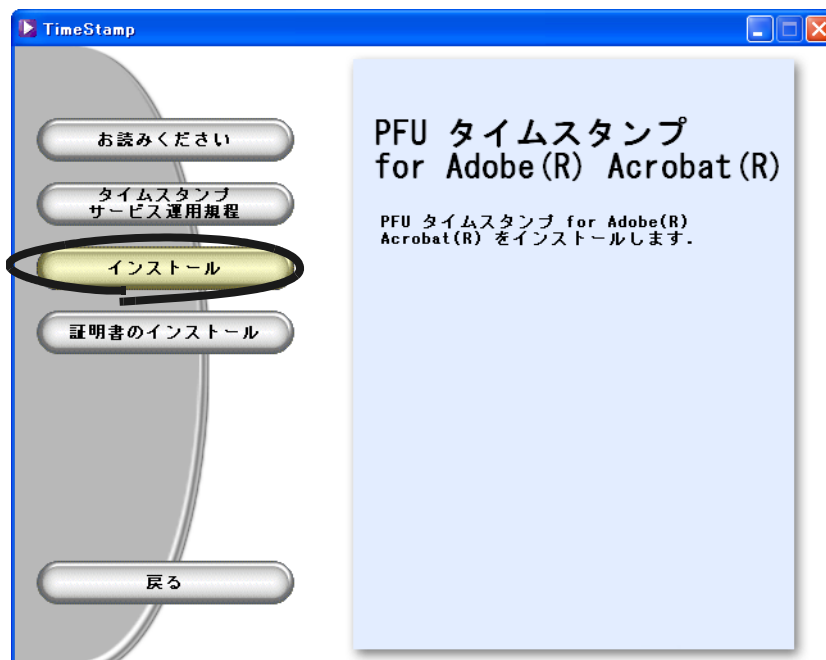
⇒インストールおよびアンインストールするときの注意事項についての説明が表示されます。読み終わったら、説明を閉じてください。

4. [タイムスタンプサービス運用規程] ボタンをクリックします。

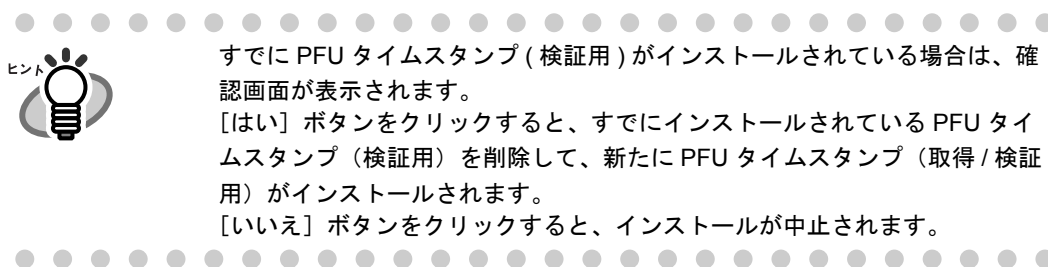


⇒PFU タイムスタンプをインストールして利用する場合の運用規程について、説明が表示されます。読み終わったら、説明を閉じてください。

## 5. [インストール] ボタンをクリックします。



⇒「PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R) (取得/検証用) セットアップへようこそ」画面が表示されます。

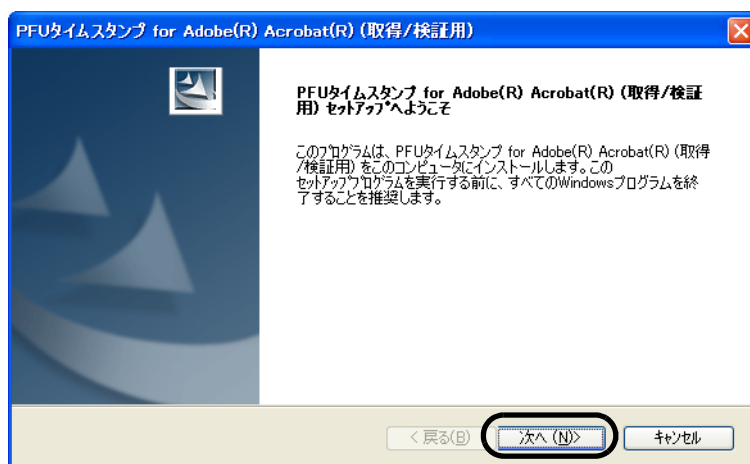


すでに PFU タイムスタンプ (検証用) がインストールされている場合は、確認画面が表示されます。

[はい] ボタンをクリックすると、すでにインストールされている PFU タイムスタンプ (検証用) を削除して、新たに PFU タイムスタンプ (取得/検証用) がインストールされます。

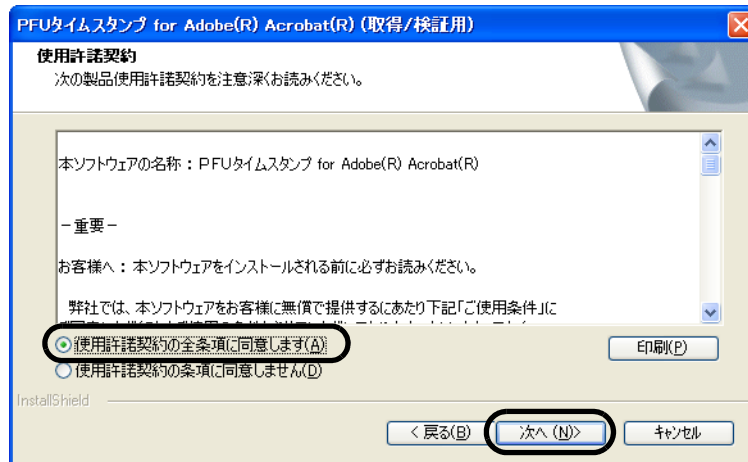
[いいえ] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

## 6. [次へ] ボタンをクリックします。



⇒「使用許諾契約」画面が表示されます。

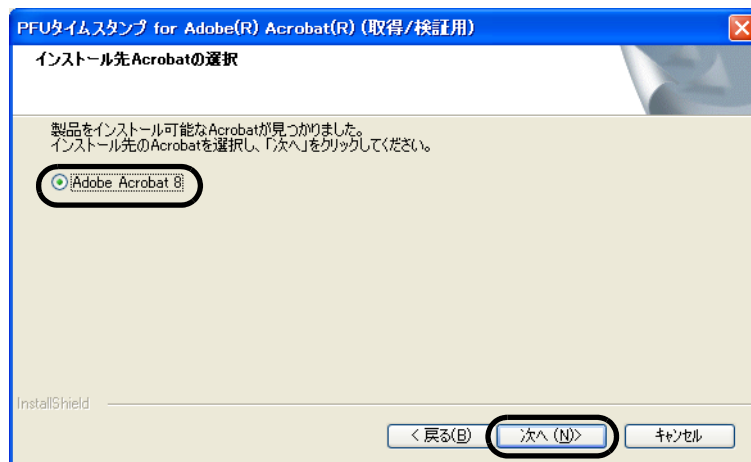
7. 「使用許諾契約」の内容を確認し、契約に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 「インストール先 Acrobat の選択」画面が表示されます。

⇒ [キャンセル] ボタンをクリックすると、インストールが中止されます。

8. インストール可能な Acrobat の中から、インストール対象となる Acrobat を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

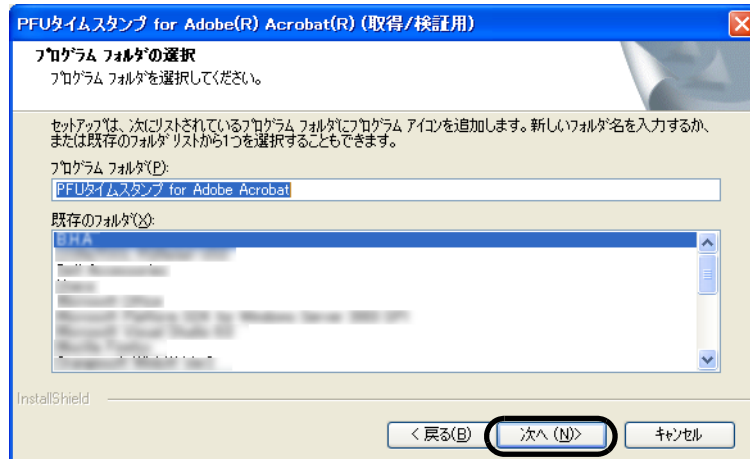


⇒ 「プログラムフォルダの選択」画面が表示されます。

## 9. ショートカットを登録するフォルダを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

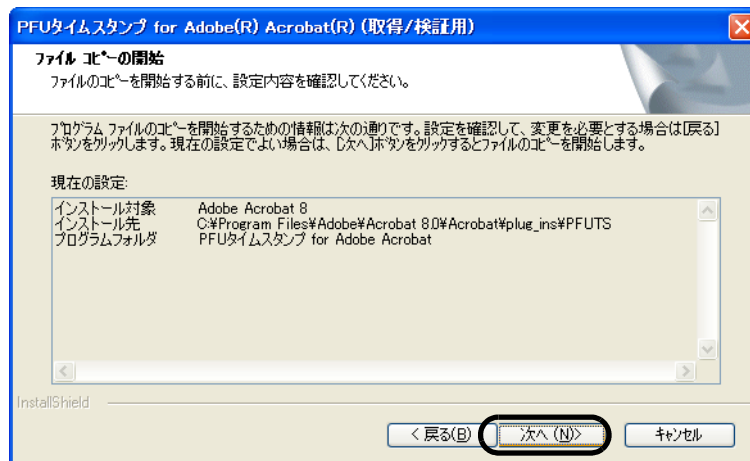
通常は、そのまま [次へ] ボタンをクリックします。

新たにフォルダを作成する場合は、「プログラムフォルダ」にフォルダ名を入力して、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒「ファイルコピーの開始」画面が表示されます。

## 10. 設定内容を確認し、[次へ] ボタンをクリックしてください。



⇒ PFU タイムスタンプのプログラムがインストールされ、インストール完了の画面が表示されます。

## 11.[完了] ボタンをクリックしてください。



⇒ インストールが終了します。



PFU タイムスタンプの詳しい使い方については、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。  
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照するには、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] を選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)

## 2.2 ScanSnap とパソコンを接続します

以下の順序で ScanSnap とパソコンを接続します。

1. 電源ケーブルを使って、ScanSnap を電源コンセントに接続
2. USB ケーブルを使って、ScanSnap とパソコンを接続



まって!

- 必ず、電源ケーブルを接続してから、USB ケーブルを接続してください。
- 必ず、ScanSnap Manager をインストールしてから、ScanSnap をパソコンに接続してください。(インストール方法については、「[インストールします](#)」(6 ページ) を参照してください。)

それぞれの手順について説明します。

## ■ 電源ケーブルを接続します

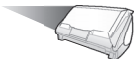
以下の手順で、電源ケーブルを接続します。



ACアダプターには、以下のもの以外は使用しないでください。

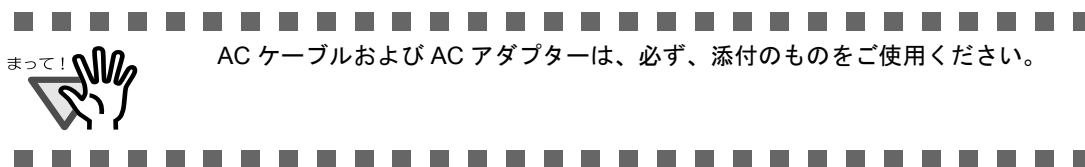
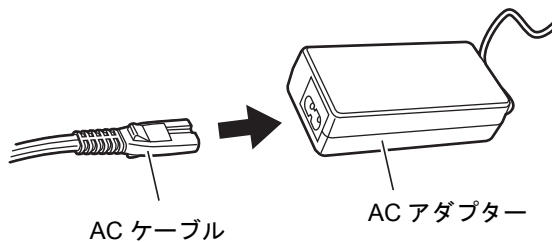
メーカー名	型番
LEI	NU40-2160250-I3
SANKEN ELECTRIC CO., LTD	SEB55N2-16.0x (x= A-Z or Blank)

操作

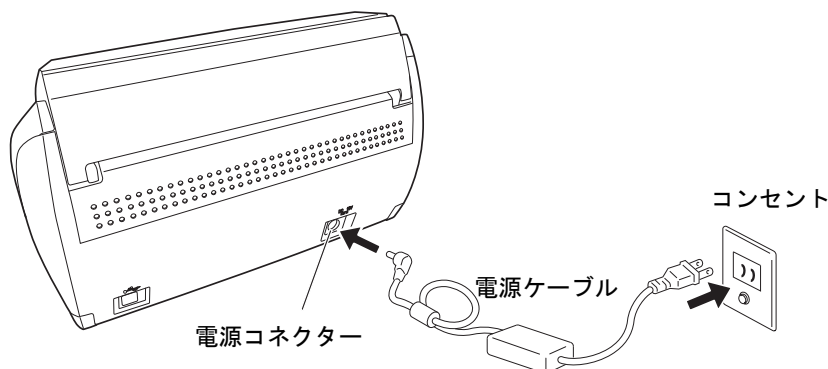


### 1. ACケーブルを、ACアダプターに接続します。

(以降、ACケーブルとACアダプターをまとめて、電源ケーブルと呼びます。)



### 2. 電源ケーブルを、ScanSnapの電源コネクター、およびコンセントに、それぞれ接続します。





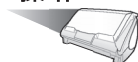
## ■ USB ケーブルを接続します

以下の手順で、USB ケーブルを接続します。

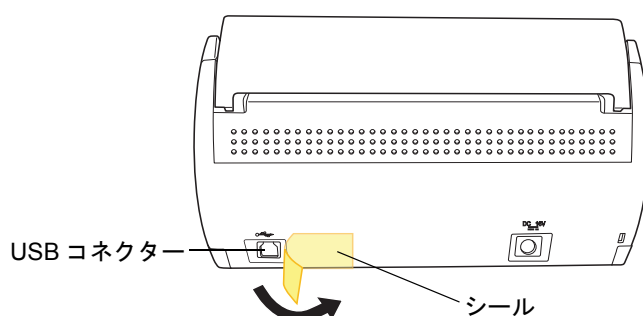


- 付属品の USB ケーブルをご使用ください。
- USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに一番近い USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作しない場合があります。
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポート、およびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。

操作

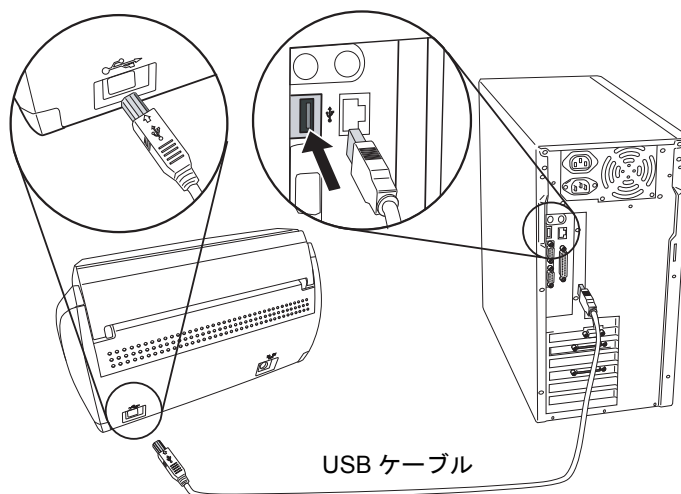


### 1. ScanSnap の USB コネクターを覆っているシールをはがします。

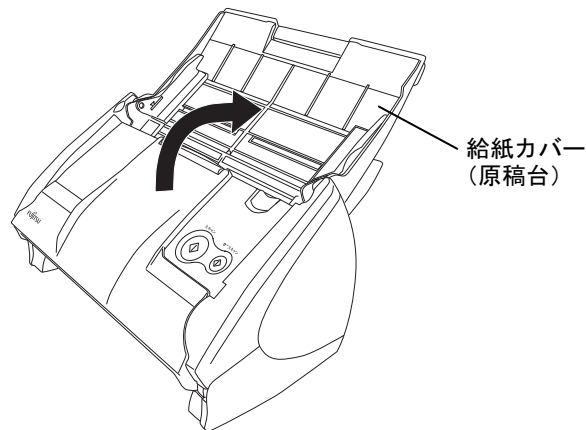


### 2. USB ケーブルを、ScanSnap とパソコンに接続します。

奥までしっかりと差し込んでください。



### 3. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を開きます。



⇒ ScanSnap の電源が入り、パソコンに自動的に検出されます。

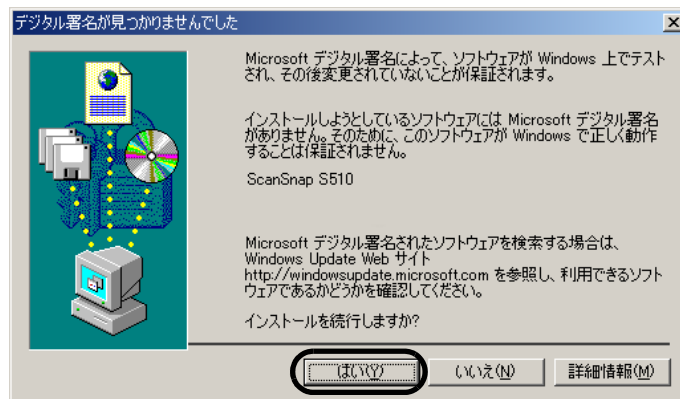


### 4. 新しいハードウェアとして ScanSnap を追加します。

ハードウェアは、オペレーティングシステムによって追加方法が異なります。

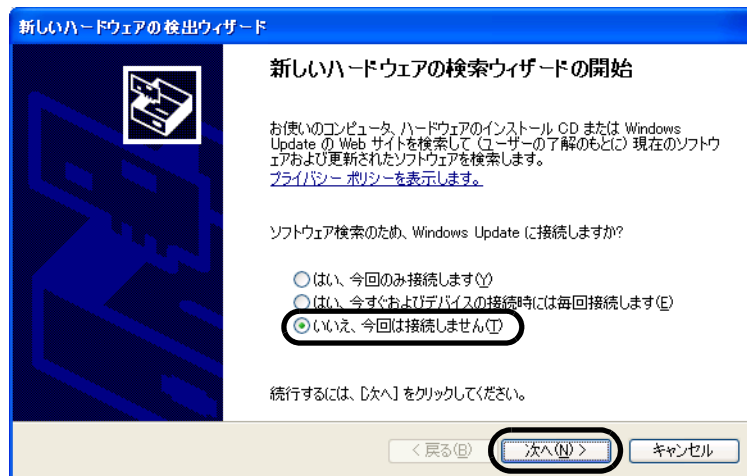
#### Windows 2000 の場合

「デジタル署名が見つかりませんでした」のメッセージが表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。



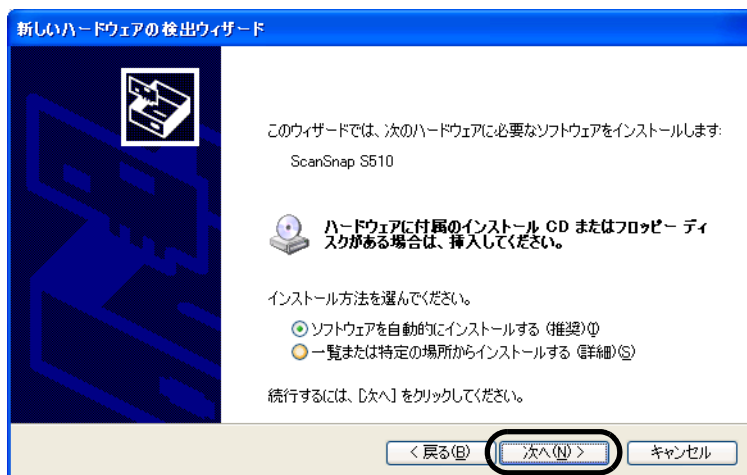
## Windows XP の場合

- 1) 「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示される場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



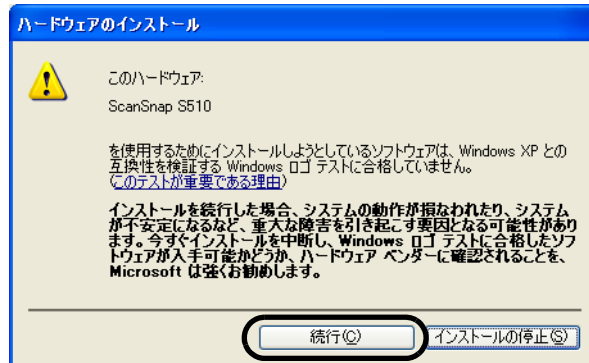
本画面は、Service Pack 2 をインストール済みの場合のみ表示されます。

- 2) ハードウェアに必要なソフトウェアのインストール方法を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

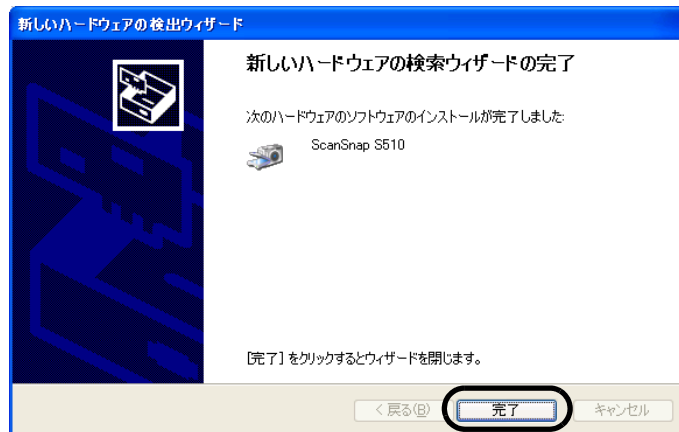


画面には、「ハードウェアに付属のインストール CD またはフロッピーディスクがある場合は、挿入してください。」と表示されますが、ここでは、CD を挿入する必要はありません。

- 3) 「ハードウェアのインストール」の画面が表示されるので、[続行] ボタンをクリックします。



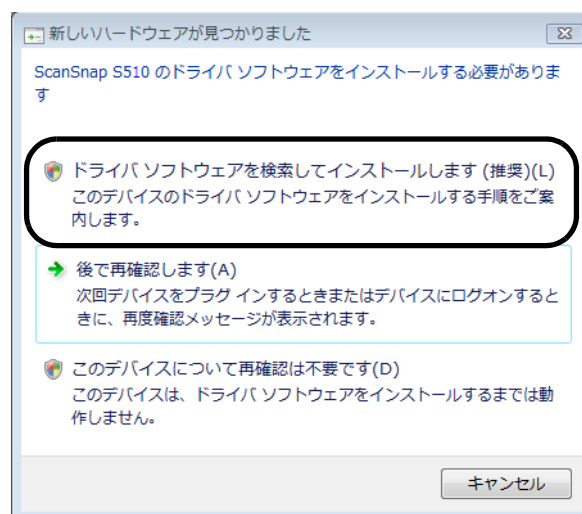
- 4) ウィザードの完了を通知する「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示されるので、[完了] ボタンをクリックします。



⇒ ScanSnap が、新しいハードウェアとしてパソコンに追加されます。

### Windows Vista の場合

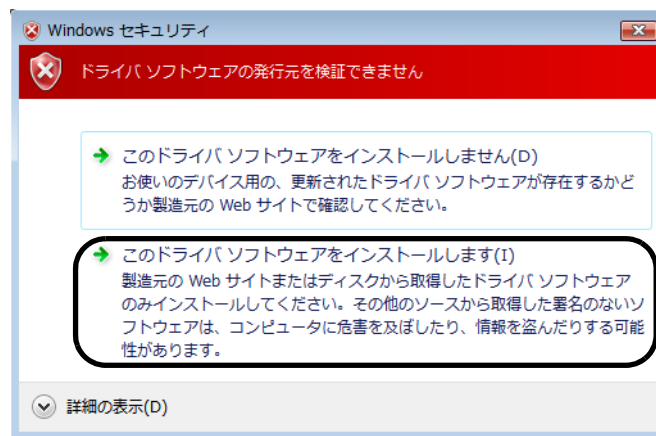
- 1) 「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示されるので、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」を選択します。



- 2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されるので、[続行] ボタンをクリックします。



- 3) 「Windows セキュリティ」の画面が表示されるので、[このドライバソフトウェアをインストールします] を選択します。



⇒ ScanSnap が、新しいハードウェアとしてパソコンに追加されます。



タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコンが **S** になるまでに時間がかかる場合があります。



本 ScanSnap は、

- 給紙カバー（原稿台）を開けると電源が入り、閉めると電源が切断されます。
- パソコンの電源に連動して ON/OFF されます。

また、給紙カバー（原稿台）の開 / 閉が最優先されるため、給紙カバー（原稿台）が閉じた状態でパソコンを起動しても、本 ScanSnap の電源は入りません。

通常は、パソコンに接続したままで、必要なときに給紙カバー（原稿台）を開け、使い終わったら給紙カバー（原稿台）を閉めるというようにご使用いただけます。



### ユーザー登録について

本製品をご使用の際には、添付されている「ユーザー登録はがき」で、ユーザー登録を行ってください。

また、インターネットに接続する環境をお持ちの方は、Setup CD-ROM の [ユーザー登録] ボタンから登録を行うこともできます。

(※ユーザー登録されていない場合、当社サポートサービスが提供できないこともありますので、ご購入後速やかにユーザー登録をお願いいたします。)

# 第3章



## ScanSnap を使ってみましょう

この章では、ScanSnap の基本的な操作について説明しています。

---

3.1	操作の流れ .....	38
3.2	読み取りできる原稿 .....	58
3.3	原稿のセット方法 .....	62

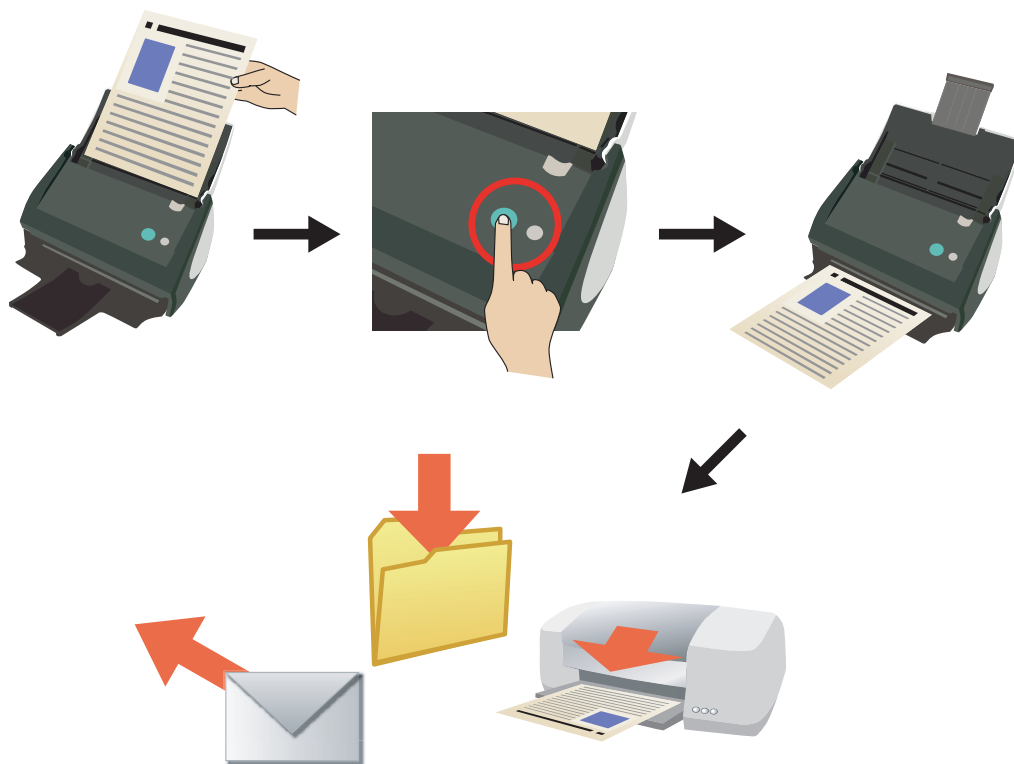
---

## 3.1 操作の流れ



ScanSnap で原稿を読み取り、PDF 形式で保存するまでの操作の流れについて説明します。

### ■ 基本的な操作の流れ


ScanSnap は、原稿をセットし、ボタンを押すだけの簡単操作で、原稿を読み取り、ファイルにして保存したり、電子メールに添付したり、印刷したりすることができます。



ScanSnap には、2つのボタンがあります。

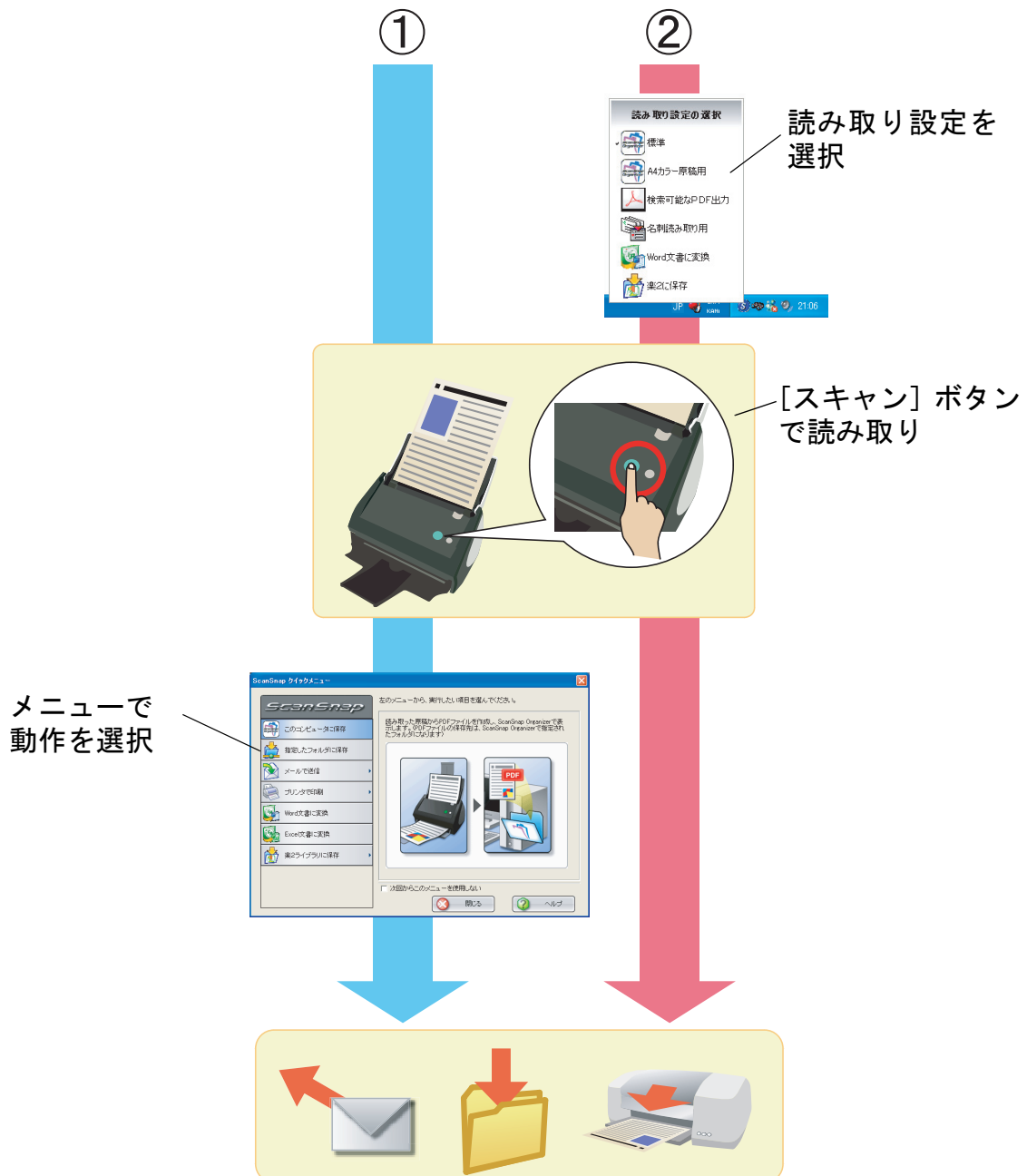
 スキャン	通常の読み取りに使用します。基本的にはこのボタンを押して読み取ります。
 e-スキャン	読み取った原稿を e-文書として保管する場合に、このボタンを押して読み取ります。 「e-文書法」に基づいて読み取りを行う e-文書専用ボタンです。（※ e-文書法については、「 <a href="#">[e-スキャン] ボタンで読み取ります</a> 」(52 ページ) を参照してください。)




さらに、 (スキャンボタン) には、2通りの読み取り方法があります。

- ① 読み取った後に、何をしたいのかをメニューで選択する方法 (→ 40 ページ)
- ② 特定のアプリケーションを使用して読み取る方法 (→ 41 ページ)

使用目的に合わせて、使いやすい方法でご使用ください。



[スキャン] ボタンのモード切替は、タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックすると表示されるメニューの [クイックメニューを使用] (→ 79 ページ) で行います。

① 読み取った後に、何をしたいのかをメニューで選択する方法  
<クイックメニューモード>

1. [スキャン] ボタンで読み取り

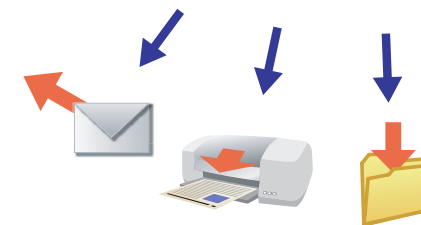


2. 読み取りが終了すると、  
メニューが起動



3. メニューで、動作を決定

⇒ 選択した動作を実現するための  
アプリケーションが起動



ヒント

「クイックメニューモード」には、以下のような特徴があります。

- メニューで希望の動作を選択するため、初心者にも簡単に操作できます。
- 読み取った後に、メニューから希望の動作を選択するため、あらかじめ連携するアプリケーションを指定しておく必要がありません。

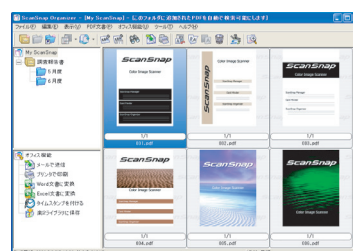
## ② 特定のアプリケーションを使用して読み取る方法 〈左クリックメニューモード〉

1. 「左クリックメニュー」で、使用するアプリケーションを選択




2. [スキャン] ボタンで読み取り


⇒ 選択したアプリケーションが起動




- 「左クリックメニューモード」には、以下のような特徴があります。
- ボタンを押すだけの1操作で読み取ることができます。
  - 決まった読み取り設定を使用して読み取る場合に適しています。
  - いろいろな読み取り条件を保存しておくことができます。

次のページから、さらに詳しい操作の流れについて説明します。

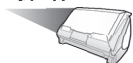
 (スキャンボタン) 〈クイックメニューモード〉で読み取る場合は、  
「[スキャン] ボタンで読み取ります (クイックメニューモード)」(43 ページ) をご覧ください。

 (スキャンボタン) 〈左クリックメニューモード〉で読み取る場合は、  
「[スキャン] ボタンで読み取ります (左クリックメニューモード)」(48 ページ) をご覧ください。

 (e-スキャンボタン) で読み取る場合は、  
「[e-スキャン] ボタンで読み取ります」(52 ページ) をご覧ください。

## ■ 準備します

操作



1. 電源ケーブルが ScanSnap に正しく接続されていることを確認します。
2. ScanSnap がパソコンに正しく接続されていることを確認します。

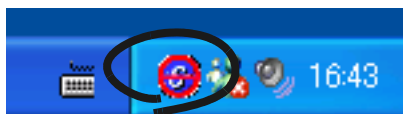


ヒント

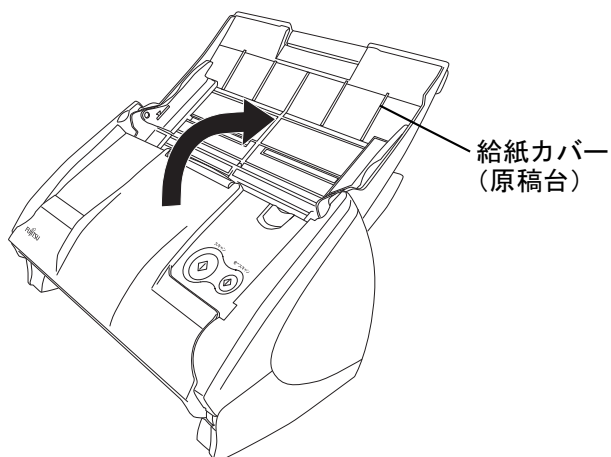
パソコンを起動してから接続しても、問題ありません。  
また、すでに接続されている場合は、あらためて接続しなおす必要はありません。

3. パソコンの電源を入れます。

⇒ Windows が起動すると、タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。



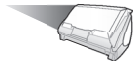
4. 給紙カバー（原稿台）を開きます。



⇒ ScanSnap の電源が入り、「ScanSnap Manager」のアイコンがからに変化します。

## ■ [スキャン] ボタンで読み取ります (クイックメニューモード)

操作



1. タスク バーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。

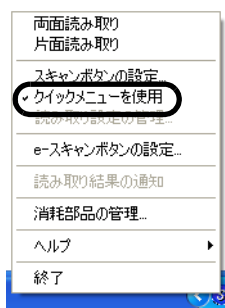


ヒント

「ScanSnap Manager」のアイコン **S** が表示されていない場合は、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。通常は、インストール時に [スタートアップ] に登録されるので、Windows 起動時にタスクバーにアイコンが表示されます。

[スタートアップ] に「ScanSnap Manager」が登録されていない場合は、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [スタートアップに登録] を選択すると、登録されます。

2. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示されるメニューで、[クイックメニューを使用] にチェックが入っていることを確認します。



ヒント

[クイックメニューを使用] にチェックが入っていないと、「左クリックメニューモード」で読み取られます。「左クリックメニューモード」で読み取る方法については、「[スキャン] ボタンで読み取ります (左クリックメニューモード)」(48 ページ) を参照してください。

### 3. ScanSnap に原稿をセットします。


「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 4. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。




ヒント

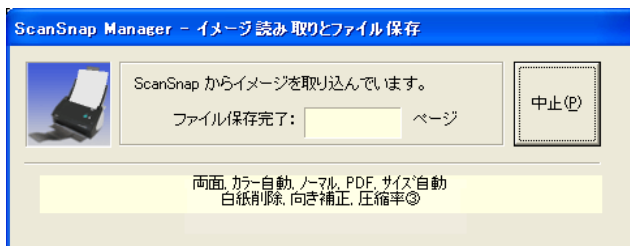
- 初期設定では、[スキャン] ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、[スキャン] ボタンの設定を「片面読み取り」に切り替えることができます。
- タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコン  から、読み取りを開始することもできます。詳細については、「4.1 ScanSnap Manager アイコンについて」(78 ページ) を参照してください。



まって!

- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー (原稿台) を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 読み取り中は、ScanSnap の電源ランプ  が青色に点滅します。また、パソコンには、読み取り中の画面が表示されます。

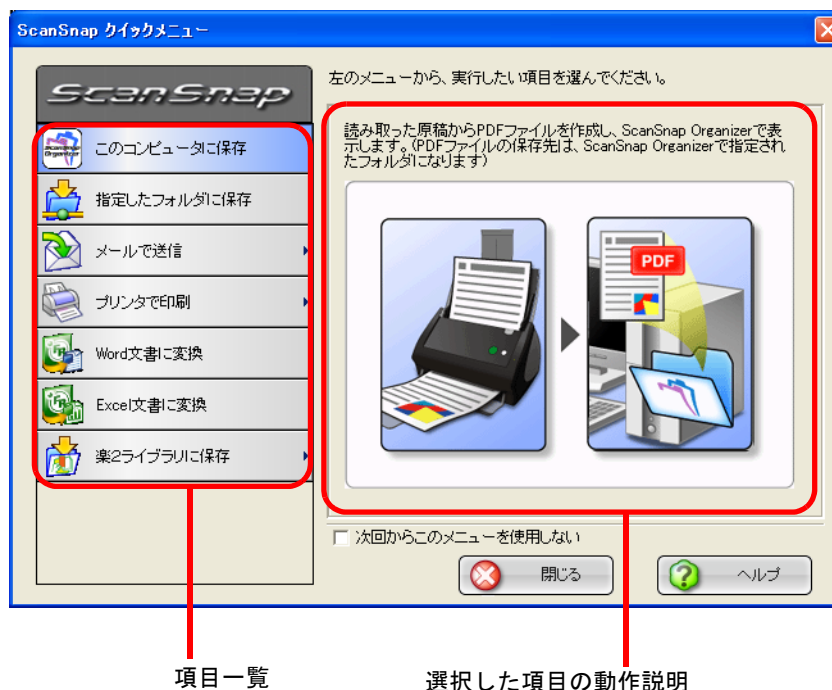


ヒント

[e-スキャン] ボタンで読み取った場合 (52 ページ) は、ダイアログの色が変わります。

⇒ 読み取りが終わると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。

## 5. クイックメニューの左側の項目一覧から、実行したい動作を選択してクリックします。



### 項目一覧

項目名	動作
このコンピュータに保存 *1	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer を起動して、読み取り結果を表示します。ファイルは、ScanSnap Organizer で指定した場所（ご使用のパソコン）に保存されます。
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ（共有フォルダ）に保存します。 ⇒ <a href="#">「5.2 指定したフォルダに保存する」</a> （133 ページ）
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、電子メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒ <a href="#">「5.3 メールに添付して送信する」</a> （147 ページ）
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒ <a href="#">「5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する」</a> （163 ページ）
Word 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Word 文書に変換します。 ⇒ <a href="#">「5.5 Word / Excel 文書に変換する」</a> （175 ページ）
Excel 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Excel 文書に変換します。 ⇒ <a href="#">「5.5 Word / Excel 文書に変換する」</a> （175 ページ）
楽2ライブラリに保存 *3	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、楽2ライブラリのバイндаに保存します。 ⇒ <a href="#">「5.6 楽2ライブラリと連携する」</a> （188 ページ）

### 第3章 ScanSnap を使ってみましょう

- \*1) ScanSnap Organizer がインストールされていない場合は表示されません。
  - \*2) ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 がインストールされていない場合は表示されません。
  - \*3) 楽2ライブラリ (別売) がインストールされていない場合は表示されません。
- また、本機能を使用するには、楽2ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

⇒ 選択した動作に合わせてアプリケーションが起動され、選択した動作が実行されます。

(「このコンピュータに保存」を実行した場合は、読み取ったイメージから PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer で指定された保存場所に保存した後、ScanSnap Organizer を起動して、読み取った画面を表示します。)



読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ) を参照してください。

また、名刺の読み取り方については、「[6.4 名刺ファイリング OCR を使う](#)」(256 ページ) を参照してください。





ヒント

- 初期設定では、「読み取り面の選択：両面読み取り」、「画質の選択：ノーマル」、「カラーモードの選択：自動」で読み取られます。
- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブで「オプション」→「文字をくっきりします」をチェックして読み取ってください。詳細は、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。
- 「クイックメニューモード」の場合、読み取った原稿を JPEG 形式で保存することはできません。JPEG 形式で保存したい場合は、「左クリックメニューモード」を使用してください。「左クリックメニューモード」で読み取る方法については、「[\[スキャン\] ボタンで読み取ります \(左クリックメニューモード\)](#)」(48 ページ)を参照してください。
- 原稿を読み取る時の設定の変更については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。「読み取りと保存に関する設定」画面では、以下の設定を変更できます。
  - － 読み取ったイメージを保存するフォルダ
  - － 読み取ったイメージを保存するファイル名
  - － 読み取りモード (速く読み取るか、きれいに読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に削除するか、傾き／向きを補正するか、原稿をセットする向きを変えるか、読み取りを継続するか)
  - － 読み取ったイメージ上の文字列をテキスト認識して検索可能な PDF に変換するか、全ページ変換するか、先頭ページのみ変換するか
  - － 読み取ったイメージを 1 つの PDF ファイルにするか、設定したページ毎に分割するか
  - － 読み取る原稿のサイズ
  - － 読み取ったイメージのファイルサイズ (圧縮率)
 読み取ったイメージの倍率は、若干変わることがあります。
- ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、楽 2 ライブラリ (別売) のいずれかを起動してアクティブ状態にすると、自動連携されて、起動中の該当アプリケーション用の設定が読み取りに使用されます。自動連携は、アプリケーションを終了するか、非アクティブ状態にすると解除されます。自動連携については、「[4.6 アプリケーションの自動連携について](#)」(127 ページ)を参照してください。

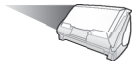


まって!

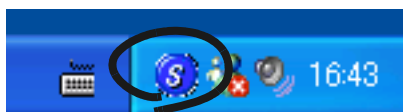
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じるか、クイックメニューのいずれかの項目を選択して処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ [スキャン] ボタンで読み取ります (左クリックメニューモード)

操作



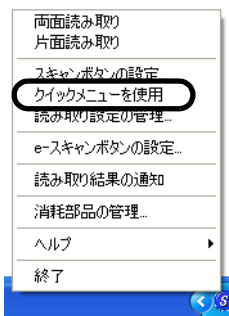
1. タスクバーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



ヒント

「ScanSnap Manager」のアイコン **S** が表示されていない場合は、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。通常は、インストール時に [スタートアップ] に登録されるので、Windows 起動時にタスクバーにアイコンが表示されます。  
[スタートアップ] に「ScanSnap Manager」が登録されていない場合は、[スタート]メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [スタートアップに登録] を選択すると、登録されます。

2. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示されるメニューで、**[クイックメニューを使用]** のチェックを外します。



ヒント

- [クイックメニューを使用] にチェックが入っていると、「クイックメニューモード」で読み取られます。「クイックメニューモード」で読み取る方法については、「[\[スキャン\] ボタンで読み取ります \(クイックメニューモード\)](#) (43 ページ) を参照してください。

### 3. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 4. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。



ヒント

- 初期設定では、[スキャン] ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、[スキャン] ボタンの設定を「片面読み取り」に切り替えることができます。
- タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコン  から、読み取りを開始することもできます。詳細については、「4.1 ScanSnap Manager アイコンについて」(78 ページ) を参照してください。
- [e-スキャン] ボタン  を押すと、e-文書法に最適な設定で読み取ることができます。詳細については、「[e-スキャン] ボタンで読み取ります」(52 ページ) を参照してください。

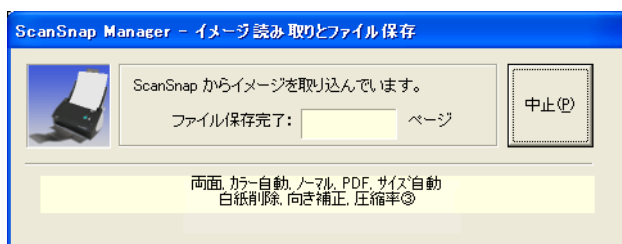


まって!

- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー (原稿台) を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 読み取り中は、ScanSnap の電源ランプ  が青色に点滅します。

また、パソコンには、読み取り中の画面が表示されます。



ヒント

[e-スキャン] ボタンで読み取った場合 (52 ページ) は、ダイアログの色が変わります。

### 第3章 ScanSnap を使ってみましょう

⇒ 付属のアプリケーション（ScanSnap Organizer など）が起動され、読み取ったイメージが表示されます。



読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ) を参照してください。

また、名刺の読み取り方については、「[6.4 名刺ファイリング OCR を使う](#)」(256 ページ) を参照してください。



- 初期設定では、「読み取り面の選択：両面読み取り」、「画質の選択：ノーマル」、「カラーモードの選択：自動」で読み取られます。
- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブで「オプション」→「文字をくっきりします」をチェックして読み取ってください。詳細は、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。
- 読み取った後に起動されるアプリケーションは、「読み取りと保存に関する設定」画面の「アプリ選択」タブの設定によって異なります。詳細については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。
- 読み取った原稿を JPEG 形式で保存することもできます。この場合、原稿を読み取る時の設定を変更してから読み取ります。原稿を読み取る時の設定の変更については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。「読み取りと保存に関する設定」画面では、以下の設定を変更できます。
  - ScanSnap と連携するアプリケーション
  - 読み取ったイメージを保存するフォルダ
  - 読み取ったイメージを保存するファイル名
  - 読み取りモード（速く読み取るか、きれいに読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動で取り除くか、傾き／向きを補正するか、原稿をセットする向きを変えるか、読み取りを継続するか）
  - 読み取ったイメージのファイル形式 (\*.pdf / \*.jpg)
  - 読み取ったイメージ上の文字列をテキスト認識して検索可能な PDF にするか、全ページ変換するか、先頭ページのみ変換するか
  - 読み取ったイメージを 1 つの PDF ファイルにするか、設定したページ毎に分割するか
  - 読み取った PDF ファイルにパスワードを付けるか
  - 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けるか
  - 読み取る原稿のサイズ
  - 読み取ったイメージのファイルサイズ（圧縮率）読み取ったイメージの倍率は、若干変わることがあります。
- ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、楽 2 ライブラリ（別売）のいずれかを起動してアクティブ状態にすると、自動連携されて、起動中の該当アプリケーション用の設定が読み取りに使用されます。自動連携は、アプリケーションを終了するか、非アクティブ状態にすると解除されます。自動連携については、「[4.6 アプリケーションの自動連携について](#)」(127 ページ)を参照してください。

## ■ [e- スキャン] ボタンで読み取ります

ScanSnap には、e- 文書法（通称）に基づき、読み取った画像を e- 文書として利用できる形にして出力する機能があります。

e- 文書法とは、紙での原本保存が義務化されていた文書や帳票について、一部例外を除き、原則として電子化したイメージデータを原本として認め、保存を容認する法律です。

（正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律案」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。）

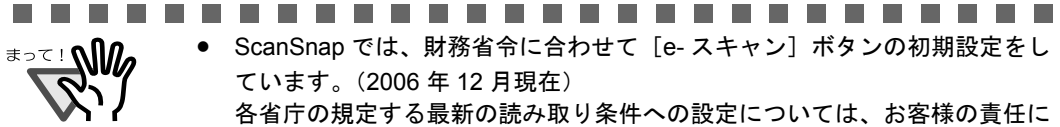
この法律が施行されると、紙による原本保存の必要がなくなるため、

紙文書は ScanSnap で読み取り、PDF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、電子ファイルとして管理・運営、不要な紙文書を廃却するという運用が可能になります。

ScanSnap では、以下の電子文書要件に対応したイメージデータの出力を前提にして、[e- スキャン] ボタンを設定しております。

- 財務省令の国税庁告示に定められた要件  
解像度：200dpi（8 ドット /mm）以上，  
カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上  
⇒「読み取りモード：ファイン（200dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応
- 厚生労働省の省令に定められた要件  
解像度：300dpi（12 ドット /mm）以上  
⇒「読み取りモード：スーパーファイン（300dpi 相当）、カラー（24bit）」で対応

ここでは、[e- スキャン] ボタンでの読み取り方法について説明します。



- ScanSnap では、財務省令に合わせて [e- スキャン] ボタンの初期設定をしています。(2006 年 12 月現在)  
各省庁の規定する最新の読み取り条件への設定については、お客様の責任において行ってください。
- 読み取った電子ファイルの原本再現性および画質確認（文章が解読できることなど）はお客様の責任において行ってください。
- ScanSnap は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、読み取ったデータを e- 文書として使用することはできません。各省令より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名、タイムスタンプを読み取ったデータに付加し、管理・運用していく必要があります。これらの部分につきましては、お客さま側で対応していただく必要がありますのでご了承ください。
- 原稿サイズを「サイズ自動検出」にして、[e- スキャン] ボタンで読み取る場合、原稿の端を検出して、読み取った原稿と同じサイズで出力されます。ただし以下のような原稿は、原稿の端をうまく検出できずに幅方向が最大サイズで出力される場合があります。
  - － 正方形または長方形以外の原稿
  - － うすい色がついた原稿
  - － 厚さが薄い原稿
  - － 光沢の入った原稿
  - － 極端に傾いて読み取られた原稿
- 原稿サイズを指定して、ScanSnap の [e- スキャン] ボタンで読み取る場合、読み取った原稿に対して、データの欠落が起こらないようにするために、指定した原稿サイズよりも、一回り大きいサイズで読み取ります。そのため、原稿周りに枠（背景部）がついた状態で出力されます。



[スキャン]ボタン読み取り結果  
⇒指定した原稿サイズのまま  
読み取られます。

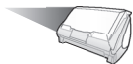


[e- スキャン]ボタン読み取り結果  
⇒指定した原稿サイズより一回り  
大きいサイズで読み取られます。

- A3 キャリアシートを使用して、[e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取りを開始し、常に 220 × 306mm のサイズで出力されます。
- 読み取り中に、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。



操作



1. タスクバーに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



2. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

3.  ([e-スキャン] ボタン) を押します。

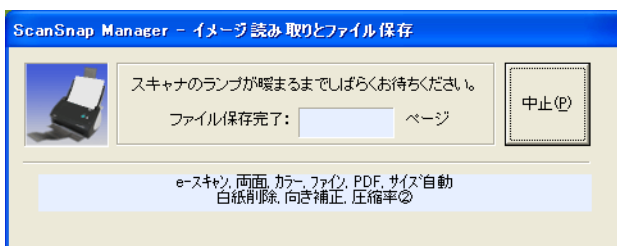
⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

読み取り中は、ScanSnap の電源ランプ①が青色に点滅します。

また、パソコンには、読み取り中の画面が表示されます。

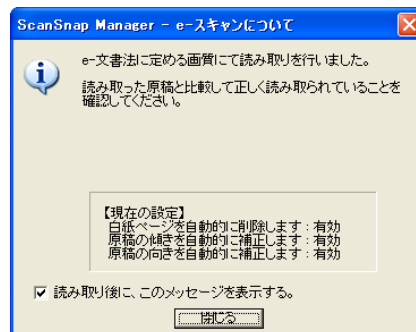


- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 電源投入直後や、ADF カバーの開閉直後に [e-スキャン] ボタンで読み取りを行う場合、下記のメッセージが出て、読み取りまでに時間がかかります。ランプが暖まると自動的に読み取りを開始します。しばらくお待ちください。



⇒ 読み取りが完了すると、読み取り完了画面（画面 1）が表示され、付属のアプリケーション（ScanSnap Organizer など）が起動されて、読み取ったイメージが表示されます。

「読み取り後に、このメッセージを表示する。」のチェックを外すと、次回から画面 1 は表示されなくなります。（ただし、画面 2 は表示されます。）

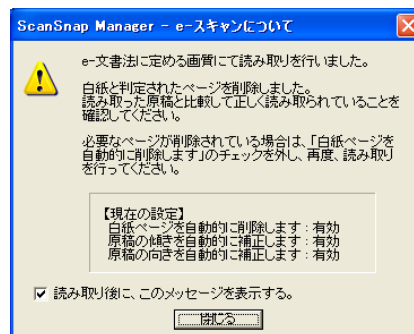


画面 1

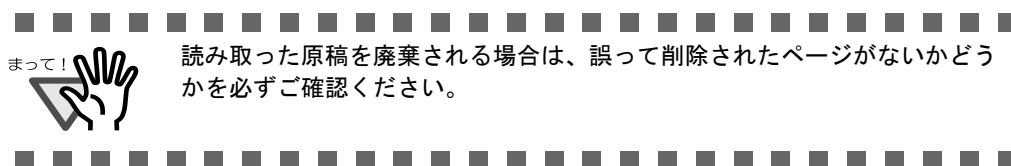


⇒「白紙ページを自動的に削除します」(95 ページ)  
が有効になっていて、白紙が削除された場合は、  
画面 2 が表示されます。

「読み取り後に、このメッセージを表示する。」のチェ  
ックを外すと、次回から画面 1、2 が両方とも表示されな  
くなります。



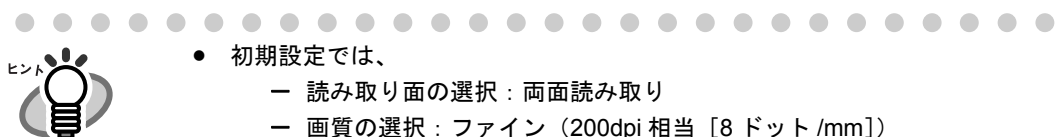
画面 2



#### 4. [OK] ボタンをクリックし、画像の抜けや欠け、または不鮮明な箇所がないか、読み取ったイメージを確認します。

イメージ上の文字がつぶれて文章として読み取れないような場合は、「画質の選択:」を、「スーパーファイン」(300dpi 相当 [12 ドット /mm]) に切り替えて、再度読み取ってください。

読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、「4.2 読み取り設定を変更するには」(81 ページ) を参照してください。



- 初期設定では、
  - 読み取り面の選択: 両面読み取り
  - 画質の選択: ファイン (200dpi 相当 [8 ドット /mm])

で読み取られます。

この設定は、ScanSnap Manager を使って変更することができます。詳細については、「4.2 読み取り設定を変更するには」(81 ページ) を参照してください。

※ 厚生労働省令に定められた要件に従う場合は、「画質の選択:」を「スーパーファイン」(300dpi 相当 [12 ドット /mm]) に切り替えてください。

なお、以下の設定は変更することができません。

- カラーモードの選択: カラー
- ファイルサイズ  
圧縮率: 2 (「画質の選択:」が「ファイン」の場合)  
3 (「画質の選択:」が「スーパーファイン」の場合)
- 次回から [e-スキャン] ボタンでの読み取り後に、読み取り完了画面を表示させない場合は、「読み取り後に、このメッセージを表示する。」を無効にしてください。(操作 3. 参照)  
なお、無効の設定を有効に変更して読み取り完了画面を表示させる場合は、タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** から、[ヘルプ] → [ScanSnap Manager について] → [e-スキャン] をクリックして「e-スキャン読み取り後に、確認メッセージを表示する。」を有効にしてください。



## ■ 電源の ON/OFF について

本 ScanSnap には、電源スイッチがありません。電源は、パソコンの ON/OFF に連動します。

また、給紙カバー（原稿台）の開／閉に応じて、自動的に ON/OFF します。

そのため、通常は、パソコンに接続したままにしておけば、電源の ON/OFF を意識することなくご使用いただけます。

- パソコンの電源を切る、または給紙カバー（原稿台）を閉じると ...  
⇒ ScanSnap の電源ランプが消灯します（電源 OFF）。
- パソコンの電源が入った状態で給紙カバー（原稿台）を開けると ...  
⇒ ScanSnap の電源ランプが点灯します（電源 ON）。



以下は、パソコンの仕様であり、ScanSnap が故障しているわけではありません。


- ご使用のパソコンによっては、パソコン起動時に、ScanSnap の初期化動作が数回行われる場合があります。
- ご使用のパソコンによっては、パソコンの電源を切断してから、ScanSnap の電源ランプが消灯するまでに、2～3分かかる場合があります。



## ■ 終了します

### < ScanSnap Manager を終了するには >



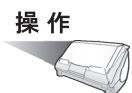
タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして、表示されるメニューで「終了」を選択します。

通常は、終了する必要はありません。




「ScanSnap Manager」を終了すると、ScanSnap は使用できなくなります。  
「ScanSnap Manager」を起動する場合は、[スタート] メニューから、  
[すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [ScanSnap Manager] を  
選択し、ScanSnap Manager を起動してください。

### < ScanSnap を取り外すには >



#### 1. 給紙カバー（原稿台）を閉じて、電源を切ります。

⇒ タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコンが  状態に変わります。  
ScanSnap の電源ランプが消灯します。

#### 2. USB ケーブルをパソコンから外します。

#### 3. ScanSnap の電源ケーブルをコンセントから外します。



ScanSnap の電源は、パソコンの ON/OFF や、給紙カバー（原稿台）の開閉に  
連動します。そのため、パソコンに接続したままにしておけば、電源の ON/  
OFF を意識することなくご使用いただけます。

## 3.2 読み取りできる原稿

以下に、読み取りできる原稿を示します。

### <原稿を直接読み取る場合>

原稿	[スキャン] ボタン	[e-スキャン] ボタン
読取対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺	
坪量	52g/m <sup>2</sup> ~ 127g/m <sup>2</sup> (45kg/連 ~ 110kg/連)	
大きさ	A4 (210 × 297mm) A5 (148 × 210mm) A6 (105 × 148mm) B5 (182 × 257mm) B6 (128 × 182mm) はがき (100 × 148mm) 名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm) レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm) リーガル (8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm) カスタムサイズ 幅 : 50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5 インチ) 長さ : 50.8 ~ 360 mm (2 ~ 14.17 インチ)	A4 (210 × 297mm) A5 (148 × 210mm) A6 (105 × 148mm) B5 (182 × 257mm) B6 (128 × 182mm) はがき (100 × 148mm) 名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm) カスタムサイズ 幅 : 50.8 ~ 210 mm (2 ~ 8.26 インチ) 長さ : 50.8 ~ 360 mm (2 ~ 14.17 インチ)

## < A3 キャリアシートを使用した場合 >

A3 キャリアシートを使用して、読み取る場合の原稿について説明します。

読み取りボタン	[スキャン] ボタン
読取対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺、写真、資料などの切り抜き
坪量	～ 127g/m <sup>2</sup> (～ 110kg/ 連) ～ 63.5g/m <sup>2</sup> (～ 55kg/ 連) ※ 2 つ折りにして読み取る場合
大きさ	A3 (297 × 420mm) A4 (210 × 297mm) A5 (148 × 210mm) A6 (105 × 148mm) B4 (257 × 364mm) B5 (182 × 257mm) B6 (128 × 182mm) はがき (100 × 148mm) 名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm) レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm) 11 × 17 インチ (279.4 × 431.8mm) 写真 E 版 (83 × 117mm) 写真 L 版 (89 × 127mm) 写真 LL 版 (127 × 178mm) カスタムサイズ 幅 : 50.8 ～ 216 mm (2 ～ 8.5 インチ) 長さ : 50.8 ～ 297mm (2 ～ 14.17 インチ) ※ A3、B4、11 × 17 インチは、2 つ折りにして読み取ります。



- A3 キャリアシートを使用して [e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、常に 220 × 306mm のサイズで出力されます。
- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が残る可能性があるため、A3 キャリアシートに挟んで読み取ることを推奨します。A3 キャリアシートを使わずに読み取る場合は、ローラよごれ、原稿送り不良の原因となります。読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。(清掃方法については、「8.2 ScanSnap 内部の清掃」(291 ページ) を参照してください)
- ノーカーボン紙は、パッドユニットやローラ類 (ピックローラユニットなど) を傷めるような化学物質を含んでいる可能性があります。読み取る場合は以下のことに注意してください。
  - ー できる限り頻繁にパッドユニットやローラ類の清掃を行ってください。
  - ー 一般的なオフィス用紙を使用した場合に比べて、装置寿命が短くなる場合があります。
- 原稿に写真やメモ用紙が貼り付けられていると、原稿を読み取る際にパッドやローラに接触して、パッドやローラを傷つける可能性があります。このような原稿は、A3 キャリアシートに挟んで読み取ることを推奨します。
- [e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、幅 210mm より大きいサイズを指定することはできません。





以下のような原稿は、使用しないでください。

- クリップ、ステープラーの針などがついているもの（外してからご使用ください。）
- インクの乾いていないもの（十分乾かしてからご使用ください。）
- 幅 216mm、長さ 360mm より大きいもの
- 2つ折りにした状態で、幅 216mm、長さ 297mm より大きいもの
- 布地、金属シート、OHP シート、プラスチックカードなどの紙以外のもの

また、以下のような原稿は、直接 ScanSnap にセットして読み取ると、原稿を傷つけたり、正常に読み取れないことがあります。A3 キャリアシートにはさんで読み取ることをお勧めします。

- 幅 50.8mm、長さ 50.8mm より小さいもの
- 52g/m<sup>2</sup> (45kg/連) より薄いもの
- 紙厚の不均一なもの（封筒や切り貼りされた用紙）
- シワやカールの大きなもの
- 折れ破れのあるもの
- トレーシング紙
- コーティングが施されているもの
- 写真（印画紙）
- 周辺にミシン目加工されたもの
- 四角形以外の異形用紙
- 幅の統一されていないもの
- ノーカーボン紙
- 裏カーボン紙、感熱紙
- 写真やメモ用紙などが貼り付けられた原稿

また、A3 キャリアシートを使用する場合は、以下のことに注意してください。



- 必ず、専用の A3 キャリアシートを使用してください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、汚したり、切り取ったりしないでください。ScanSnap が、A3 キャリアシートを正しく認識できません。
- A3 キャリアシートは、1 枚ずつ ScanSnap にセットしてください。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、ScanSnap にセットしないでください。原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートを破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。ScanSnap が破損または、故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、なるべく水平な場所で、重量のかからない状態で、保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。指を切るおそれがあります。
- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿詰まりが発生する可能性があります。A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿を挟んで読み取することを推奨します。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）など 50 枚程度を連続給紙した後に、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。  
※ PPC 用紙（再生紙）は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。

## 3.3 原稿のセット方法

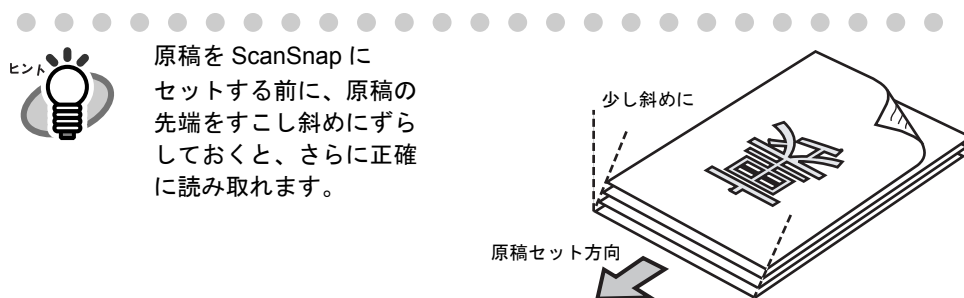
原稿を ScanSnap にセットする方法について説明します。

### ■ 一般的な原稿のセット方法

#### 1. 原稿をそろえます。

以下のように原稿をそろえます。

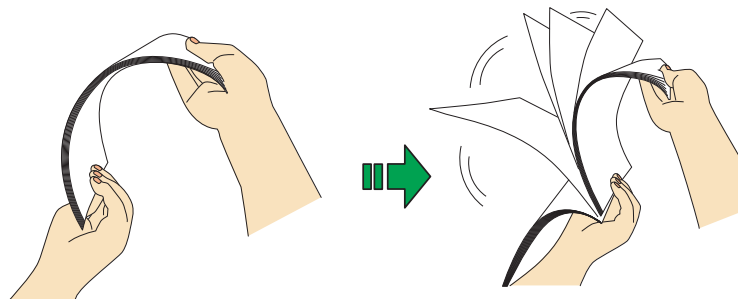
- 1) セットする原稿の両端をそろえます。  
原稿の両端をそろえると、原稿が正確に読み取れます。
- 2) 原稿枚数を確認します。  
セットする原稿枚数の目安は、以下のとおりです。
  - A4 サイズ以下の場合、原稿の厚みが 5mm 以下になる枚数  
(64g / m<sup>2</sup> (55kg / 連) 用紙で 50 枚)



ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」画面で、[読み取りモード] タブ→ [オプション] の「原稿を上向きにしてセットします」にチェックが入っている場合は、原稿表面を上向き、後端を原稿セット方向にしてください。

複数枚の原稿をセットする場合は、以下の手順で原稿をさばきます。

- 1) 原稿を 5mm 以下の厚みで取り出します。
- 2) 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。



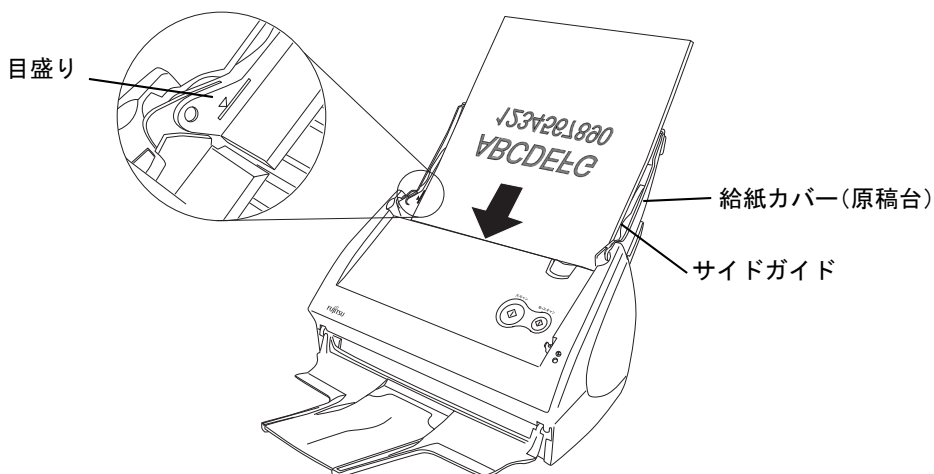


3) 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

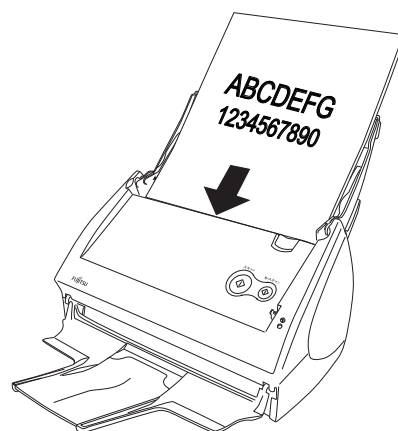
## 2. 給紙カバー（原稿台）の上に原稿をセットします。

原稿の表面（複数枚ある場合は、1 ページ目）を給紙カバー（原稿台）側にし、先端を下向きにしてセットします。

原稿の厚みが、サイドガイド内側に刻まれた目盛りを超えないように、原稿の枚数を調節してください。

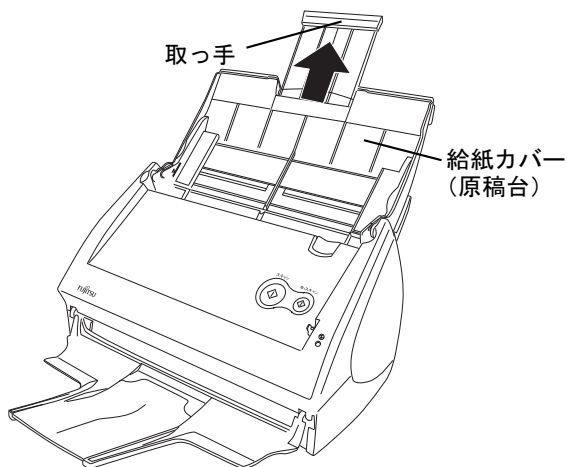


ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」画面で、[読み取りモード] タブ→ [オプション] の「原稿を上向きにしてセットします」にチェックが入っている場合は、原稿の表面を手前側、先端を上向きにしてセットしてください。



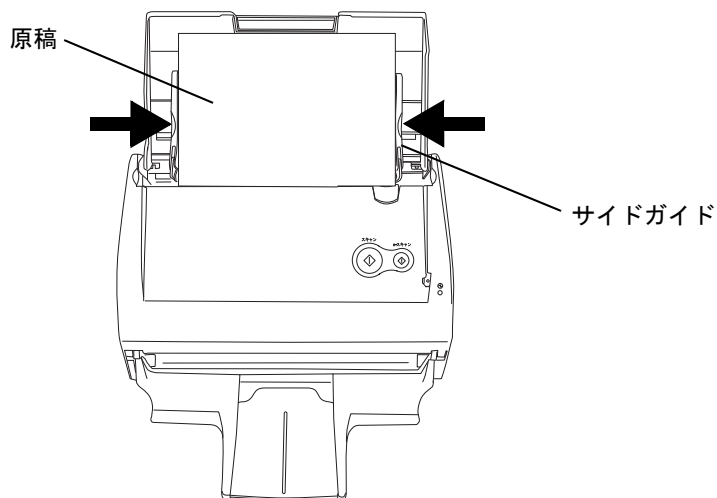


長さのある原稿をセットする場合は、給紙カバー（原稿台）の取っ手を引き上げてから、原稿をセットします。



### 3. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

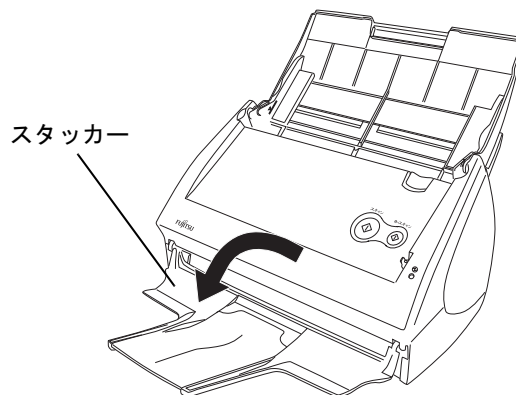
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み取られることがあります。



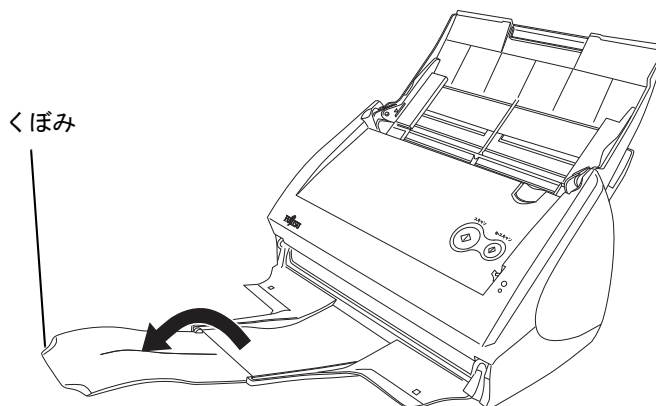


スタッカーを使うと、読み取りが終了した原稿がばらばらになりません。  
スタッカーは、以下のように使用します。

1. スタッカーを持ち、手前に開きます。



2. くぼみを利用して、手前に起こします。



## ■ A3 キャリアシートを使用した原稿のセット方法

A3 キャリアシートは、ScanSnap S510/S500/fi-5110EOX シリーズ専用の原稿搬送用シートです。

そのままでは読み取ることができない、A3 / B4 サイズのような、A4 サイズより大きい原稿を、二つ折りにして A3 キャリアシートにはさみ、両面読み取りすることにより、最大 A3 サイズ（片面）まで読み取ることができます。

また、写真のような傷つきやすい原稿や、資料の切り抜きのような非定型サイズ of 原稿など、直接 ScanSnap にセットして読み取ることが困難な原稿も読み取ることができます。

以下に、A3 キャリアシートに原稿をセットする方法について説明します。

A3 キャリアシートの設定には、読み取る原稿のタイプに合わせて、以下の2つの「実行モード」があります。

### ● 見開き画像を出力します (67 ページ)

A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を、2つ折りにして両面を読み取るためのモードです。

読み取った画像を見開き状態に並べて、1つの画像につなぎ合わせて出力します。

### ● 表裏の画像をそれぞれ出力します (71 ページ)

傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなどの非定型な原稿のような、直接 ScanSnap にセットして読み取ることが難しい原稿を読み取るためのモードです。読み取った画像を、指定したサイズで出力します。



- A3 キャリアシートを使用する際は、ScanSnap Manager の [原稿サイズ] の設定を、「サイズ自動検出」にしてください。また、「見開き画像を出力します」で読み取る場合は、ScanSnap Manager の [読み取りモード] の設定を、「両面読み取り」にしてください。「片面読み取り」を行うと、「表裏の画像をそれぞれ出力します」で片面読み取りを行った場合と同じ出力結果になります。A3 キャリアシートの設定方法については、「4.5 A3 キャリアシートの設定方法」(121 ページ) を参照してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りを行う場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1枚ずつセットして読み取ってください。
- A3 キャリアシートを使用して、[e-スキャン] ボタンで読み取る場合は、キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取りを開始し、常に 220 × 306mm のサイズで出力されます。

## < 「見開き画像を出力します」 の場合 >

A3/B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。

原稿を 2 つ折りにして両面読み取りを行い、1 つの画像につなぎ合わせて出力します。

(A4 サイズ以下の両面印刷された原稿を読み取って、見開き状態にして 1 つの画像に出力することもできます。)



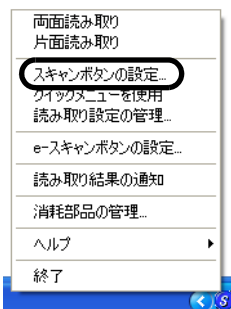
まって!

- [e-スキャン] ボタンで読み取る場合、見開き画像を出力することはできません。
- A3 キャリアシートを使った読み取りでは、原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。精度を求める読み取りにはお薦めできません。



操作

1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして [スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒ 「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

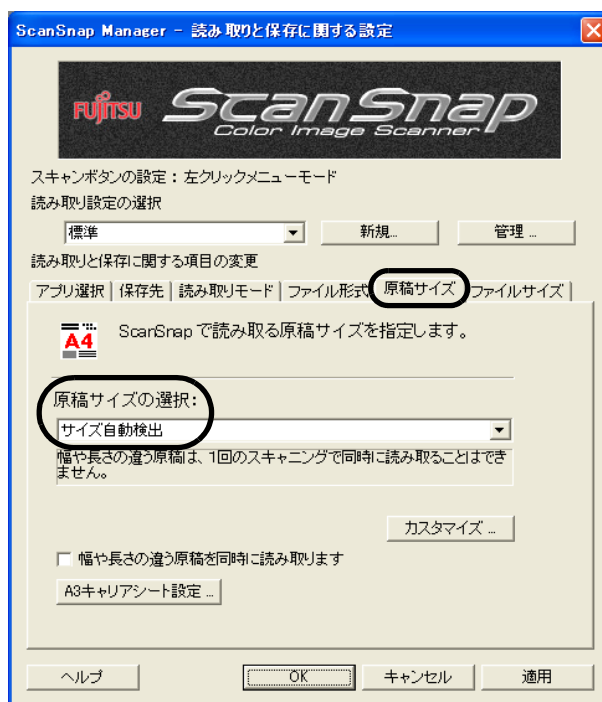
2. 「原稿サイズ」タブで、[A3 キャリアシート設定] ボタンをクリックします。



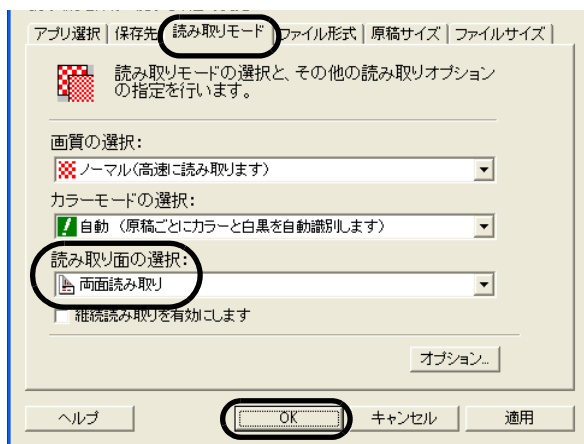
3. 「A3 キャリアシート設定」の画面で、[実行モード] を「見開き画像を出力します」にして [OK] ボタンをクリックします。



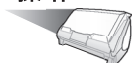
4. [原稿サイズ] タブの「原稿サイズの選択:」で、「サイズ自動検出」を選択します。



5. [読み取りモード] タブの「読み取り面の選択:」で、「両面読み取り」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

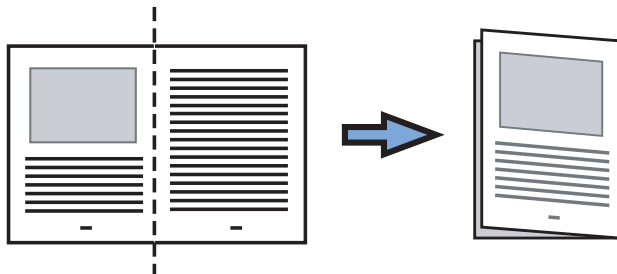


操作



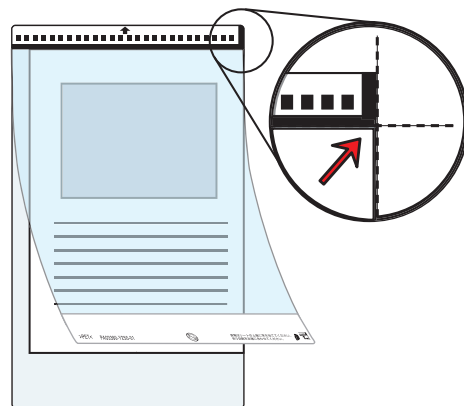
6. 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾きの原因となります。



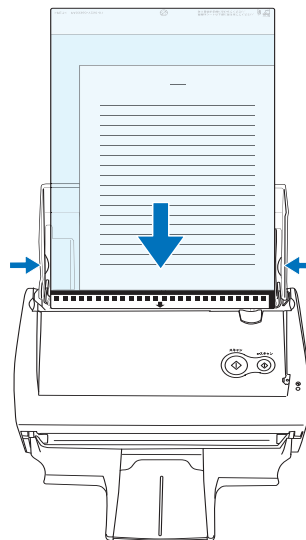
7. A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の上側を A3 キャリアシートの上端、折り目側を右端に、隙間のできないようにしっかりと合わせます。



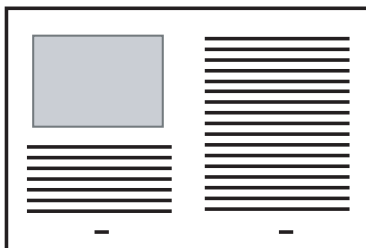
## 8. A3 キャリアシートを ScanSnap にセットします。

- 白黒のパターンが印刷された部分を下ににして、矢印の向きにセットしてください。
- A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りを行う場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1枚ずつセットして読み取ってください。



## 9. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 両面読み取りを行うと、表／裏の画像データが見開き状態で並べて出力されます。



まって!

出力された画像の継ぎ目部分に隙間やズレ、線が入ったりする場合があります。また、厚い原稿を読み取った場合に継ぎ目部分を境にして画像がハの字に傾く傾向があります。

これらの現象は、原稿の折り曲げ方や、セットのしかたによってばらつきます。その場合は、以下を確認してください。改善される場合があります。

- 原稿が、しっかりと折り曲げられているか。
- 原稿の端が A3 キャリアシートの端にしっかりと合っているか。
- A3 キャリアシートを裏／表逆にセットしてみたらどうか。

「A3 キャリアシート設定」画面で、[出力画像サイズ] に「サイズ自動選択」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。(A3 / B4 / 11 × 17 インチサイズの中から、原稿上の印刷が収まる最小のサイズで出力されます。)

例：A3 サイズの原稿の中央に A4 サイズで印刷されている場合  
⇒ B4 サイズで出力されます。

原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、[出力画像サイズ] で原稿サイズを設定してください。

原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。その場合には、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にセットして読み取ってください。





## ＜「表裏の画像をそれぞれ出力します」の場合＞

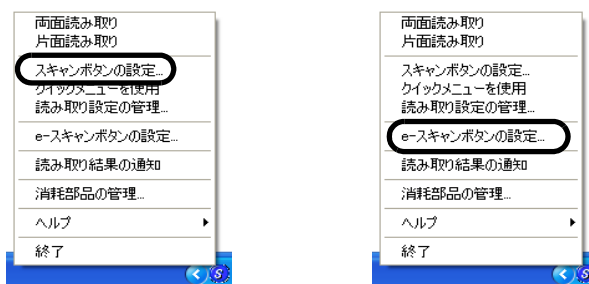
傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなど、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、A3 キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。



### 1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン を右クリック

し、[スキャン] ボタン  の設定を変更する場合は、[スキャンボタンの設定] を選択します。

[e-スキャン] ボタン  の設定を変更する場合は、[e-スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

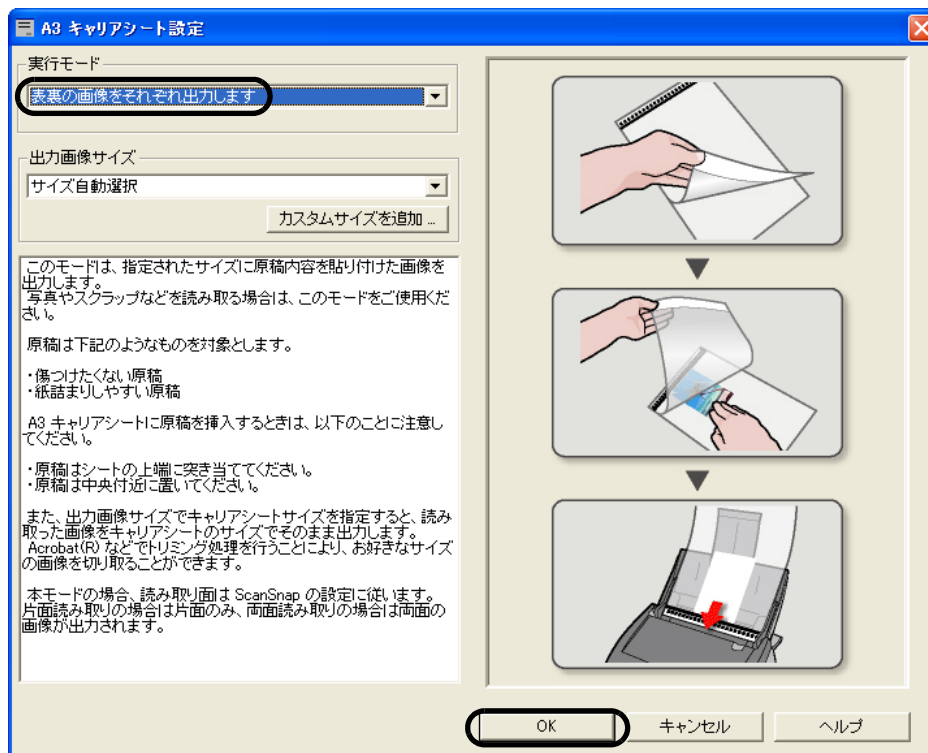


「e-スキャンボタンの設定」を選択した場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の [原稿サイズ] タブには、[A3 キャリアシート設定] ボタンは表示されませんので、[操作 4](#) に進んでください。

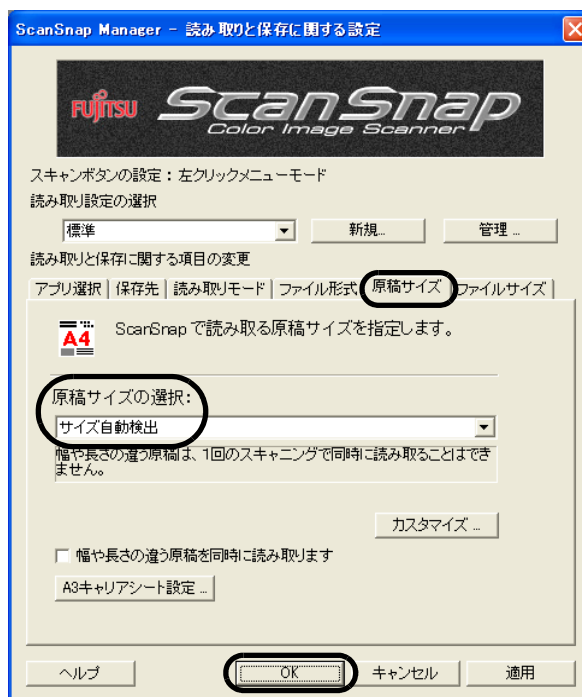
2. [原稿サイズ] タブで、[A3 キャリアシート設定] ボタンをクリックします。



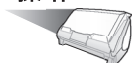
3. 「実行モード」を「表裏の画像をそれぞれ出力します」にして [OK] ボタンをクリックします。



4. [原稿サイズ] タブの「原稿サイズの選択:」で、「サイズ自動検出」を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

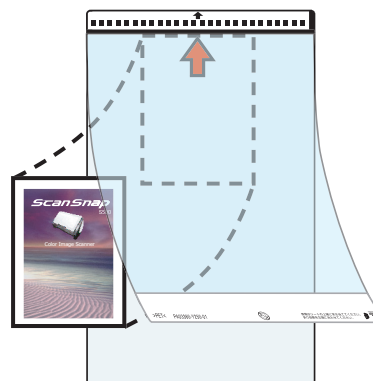


操作

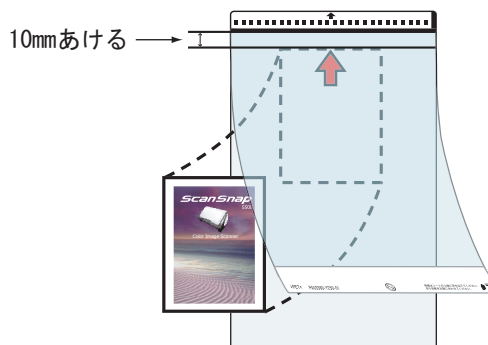


## 5. A3 キャリアシートを開いて、原稿をセットします。

原稿の先端を、A3 キャリアシート上部に突き当てるようにセットしてください。原稿が A3 キャリアシートからはみ出さないように、幅方向に対して中央にセットしてください。



[e-スキャン] 読み取り時は、上部に突き当てず、10mm 下にずらしてセットしてください。

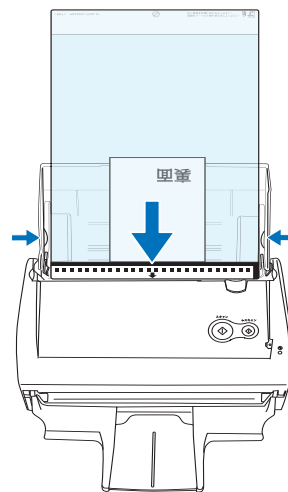


なお、A3 キャリアシートを使って、[e-スキャン] ボタンで読み取れる原稿サイズは 210 × 280mm までです。



## 6. A3 キャリアシートを ScanSnap にセットします。

- 白黒のパターンが印刷された部分を下にして、矢印の向きにセットしてください。
- 原稿の裏面が手前側にくるようにセットしてください。
- A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。
- A3 キャリアシートを使って読み取りを行う場合は、複数枚連続で読み取ることができません。1枚ずつセットして読み取ってください。



ScanSnap Manager の「読み取りと保存に関する設定」画面で、[読み取りモード] タブ→ [オプション] の「原稿を上向きにしてセットします」にチェックが入っている場合は、原稿の表面が手前、上端が上になるように、A3 キャリアシート内の原稿をセットしてください。

## 7. [スキャン] ボタン または [e-スキャン] ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始され、画像データが出力されます。

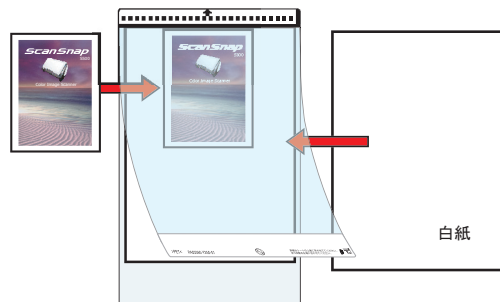


- [スキャン] ボタンで読み取った原稿は、指定した画像サイズの中央に配置されて出力されます。  
「A3 キャリアシート設定」の画面で、[出力画像サイズ] に「サイズ自動検出」が選択されていると、選択可能な定型サイズ（124 ページ参照）の中から最適なサイズが選択されます。
- 「A3 キャリアシート設定」の画面で、[出力画像サイズ] に「サイズ自動検出」が選択されていると、出力される画像サイズが原稿より小さくなる場合があります。  
例：A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合  
⇒ A5 サイズで出力されます。  
原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、[出力画像サイズ] で原稿サイズを設定してください。
- [e-スキャン] ボタンで読み取った原稿は、常に 220 × 306mm で出力されます。



以下のような現象が出る場合は、原稿の後ろに白紙をセットしてください。

- 読み取った原稿が、適切なサイズで出力されない（「サイズ自動選択」時）
- 原稿の端に影ができる
- 特殊な形に切り抜いた原稿の周りに黒線ができる



# 第4章



## ScanSnap の設定

この章では、ScanSnap の基本的な操作について説明しています。

---

4.1	ScanSnap Manager アイコンについて .....	78
4.2	読み取り設定を変更するには.....	81
4.3	読み取り設定を保存するには.....	107
4.4	クイックメニューの使い方 .....	118
4.5	A3 キャリアシートの設定方法.....	121
4.6	アプリケーションの自動連携について .....	127

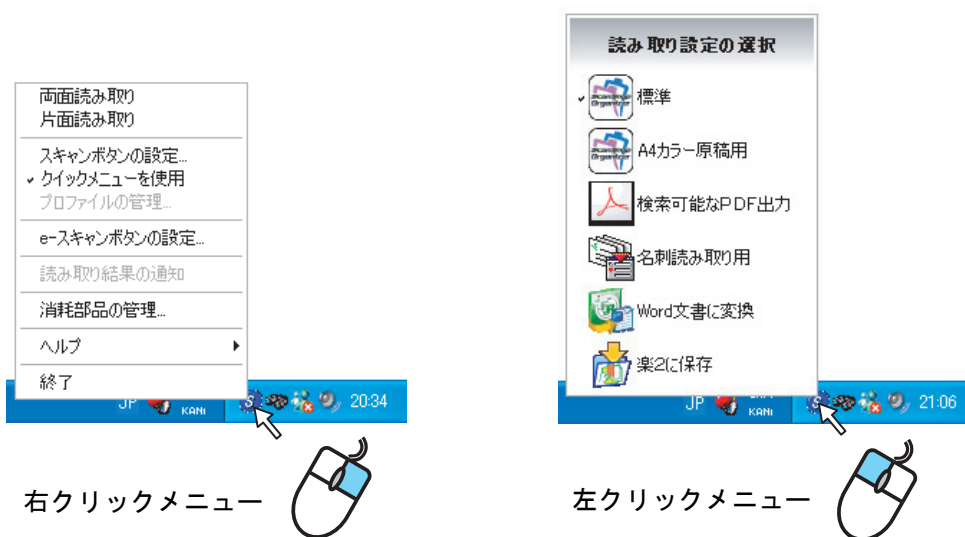
---

## 4.1 ScanSnap Manager アイコンについて

ScanSnap の動作は、すべて ScanSnap Manager で管理されています。


ScanSnap Manager は、通常、Windows 画面の右下にあるタスク バーにアイコン **S** として登録されています。

このアイコンをクリックすると、以下のメニューが表示され、読み取りを開始したり、原稿を読み取るときの設定を変更したり、消耗品を管理することができます。





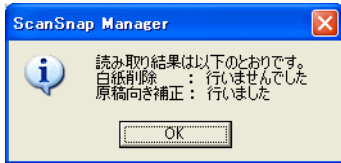





## ■ 右クリックメニュー

ScanSnap Manager のアイコン  を右クリックすると表示されるメニューです。

以下のような項目があります。


項目名	機能
両面読み取り	両面読み取りを実行します。その他の設定は、[スキャンボタンの設定] に従います。
片面読み取り	片面読み取りを実行します。その他の設定は、[スキャンボタンの設定] に従います。
スキャンボタンの設定	「スキャンボタンの読み取りと保存に関する設定」画面を表示します。 [スキャン] ボタン  で読み取る際の、設定を行います。 ⇒ 「読み取り設定を変更するには」 (81 ページ)
クイックメニューを使用	クイックメニューモード/左クリックメニューモードの切り替えを行います。 [スキャン] ボタン  で読み取る際の、操作モードを設定します。 ⇒ 「3.1 操作の流れ」 (38 ページ) を参照
読み取り設定の管理	「読み取り設定の管理」の画面を表示します。 [スキャン] ボタン  で読み取る際の読み取り設定の管理を行います。 ⇒ 「読み取り設定を保存するには」 (107 ページ)
e- スキャンボタンの設定	「e- スキャンボタンの読み取りと保存に関する設定」画面を表示します。 [e- スキャン] ボタン  で読み取る際の、設定を行います。 ⇒ 「読み取り設定を保存するには」 (107 ページ)
読み取り結果の通知	読み取った後に、白紙削除 (95 ページ) / 向き補正 (96 ページ) を行ったかどうかを、以下の通知画面で表示します。 
消耗部品の管理	「消耗部品の管理」の画面を表示します。 消耗品を交換した際に、消耗品カウンタのリセットを行います。 (「第 9 章 消耗品/定期交換部品」 (297 ページ) 参照)
ヘルプ	ヘルプ、バージョン情報、オンラインアップデート (311 ページ)、環境設定 (129 ページ) の画面を表示します。
終了	ScanSnap Manager を終了します。

## ■ 左クリックメニュー


ScanSnap Manager のアイコン  を左クリックすると表示されるメニューです。

現在保存されている読み取り設定を一覧表示します。

ここで、読み取りに使用する「読み取り設定」を選択することによって、あらかじめ準備しておいた読み取り設定に切り替えることができます。

この設定は、左クリックメニューモード時 (48 ページ) の [スキャン] ボタン  の設定に反映されます。

読み取り設定の作成、管理方法については、「4.3 読み取り設定を保存するには」(107 ページ) を参照してください。

 ヒント

左クリックメニューを表示したい場合は、右クリックメニューの「クイックメニューを使用」のチェックを外してください。「クイックメニューを使用」にチェックが入っていると左クリックメニューは表示されません。


## 4.2 読み取り設定を変更するには


ScanSnap の読み取り設定を変更する場合は、右クリックメニューから行います。

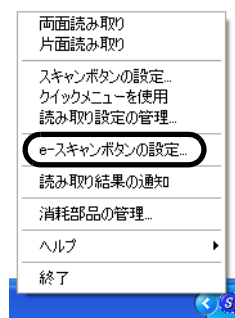
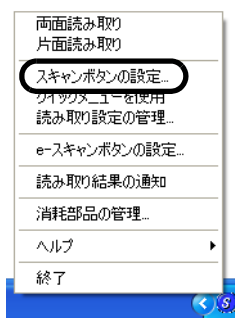
以下に、設定を変更する方法について説明します。



### 1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン を右クリック

し、[スキャン] ボタン  の設定を変更する場合は、[スキャンボタンの設定] を選択します。

[e-スキャン] ボタン  の設定を変更する場合は、[e-スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。



スキャンボタンの  
読み取りと保存に関する設定



e-スキャンボタンの  
読み取りと保存に関する設定



「ScanSnap Manager」のアイコン **S** をダブルクリックするか、または、キーボードで [Ctrl] + [Shift] + [Space] キーを同時に押すことによって、「スキャンボタンの読み取りと保存に関する設定」画面を表示することもできます。

## 2. 「読み取りと保存に関する設定」画面の各タブで、読み取り設定を変更します。

以下の設定を変更できます。

- ScanSnap で読み取った後に起動するアプリケーション  
⇒ 「[\[アプリ選択\] タブ](#)」(85 ページ)
- 読み取ったイメージの保存先 ⇒ 「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ)
- 読み取りモード ⇒ 「[\[読み取りモード\] タブ](#)」(92 ページ)  
(速く読み取るか、きれいに読み取るか、カラーで読み取るか、白黒で読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に取り除くか、文字列の傾き／向きを自動的に補正するか、原稿をどうセットするか、読み取り後継続するかなど)
- 読み取ったイメージのファイル形式 ⇒ 「[\[ファイル形式\] タブ](#)」(97 ページ)  
(ファイル形式、テキスト認識指定、PDF ファイルのページ数指定、PDF ファイルのパスワード設定、PDF ファイルの電子署名・タイムスタンプ設定など)
- 読み取る原稿のサイズ ⇒ 「[\[原稿サイズ\] タブ](#)」(102 ページ)  
(A3 キャリアシートの設定など)
- 読み取ったイメージを保存する際のファイルサイズ ⇒ 「[\[ファイルサイズ\] タブ](#)」(105 ページ)



スキャンボタンの設定と、e-スキャンボタンの設定では、設定できる項目が異なります。

スキャンボタンの設定は、操作モードが「クイックメニューモード」のときと「左クリックメニューモード」のときでは、設定できる項目が異なります。

設定できる項目の違いについては、「[付録 C \[スキャン\] ボタンと \[e-スキャン\] ボタンの機能差](#)」(319 ページ) を参照してください。

本節では、左クリックメニューモード時の「スキャンボタンの読み取りと保存に関する設定」画面を使って説明していますので、実際の画面と設定できる項目が異なる場合があります。

## 3. [OK] ボタン、または [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 読み取りと保存に関する設定が変更されます。

## <設定項目>

以下に、それぞれの設定項目について説明します。

なお、設定できる項目は、[スキャン] ボタンか [e- スキャン] ボタンかで異なります。また、[スキャン] ボタンの操作モードが「クイックメニューモード」か「左クリックメニューモード」かでも異なります。

以下の説明では、わかりやすくするために、設定項目の右側に以下のマークを表示しています。

**スキャン-クイック** : [スキャン] ボタン (クイックメニューモード時) に設定できる項目

**スキャン-左クリック** : [スキャン] ボタン (左クリックメニューモード時) に設定できる項目

**e- スキャン** : [e- スキャン] ボタンに設定できる項目

※表示がない場合は、すべて設定可能な項目です。

### ● 読み取り設定の選択 **スキャン-左クリック**



ここで、あらかじめ準備されている「読み取り設定」を選択することによって、読み取り設定を切り替えることができます。

初期状態では、以下の「読み取り設定」が登録されています。

- 標準
- 名刺ファイリング OCR  
(名刺ファイリング OCR がインストールされている場合にのみ表示されます。)
- 検索可能な PDF



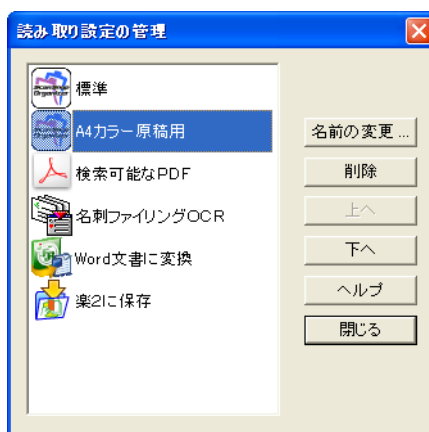
読み取り設定には、任意の設定を追加登録することができます。  
登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(107 ページ)  
を参照してください。

### 【新規】 ボタン

現在の設定内容を、新しい「読み取り設定」として、名前を付けて登録します。

### 【管理】 ボタン

「読み取り設定の管理」画面が表示されます。



この画面で、設定名を変更・削除したり、並び順を変更することができます。  
ただし、「標準」は変更・削除できません。

● [アプリ選択] タブ

スキャン-左クリック

e-スキャン



**アプリケーションの選択：**

ScanSnap と連携して動作させるアプリケーションを指定します。指定したアプリケーションは、ScanSnap で原稿を読み取った後に起動されます。  
[▼] をクリックして、アプリケーションを選択します。  
以下のアプリケーションが選択できます。

- アプリケーションを起動しません（ファイル保存のみ）
- ScanSnap Organizer（→ [265 ページ](#)）
- Adobe® Acrobat®
- Adobe® Acrobat® Reader™ または、Adobe® Reader®
- 名刺ファイリング OCR（→ [256 ページ](#)）
- Excel 文書に変換（→ [175 ページ](#)）
- Word 文書に変換（→ [175 ページ](#)）
- 指定したフォルダに保存（→ [133 ページ](#)）
- メールで送信（→ [147 ページ](#)）
- プリンタで印刷（→ [163 ページ](#)）
- 楽2ライブラリ（→ [188 ページ](#)）



- 上記アプリケーションは、インストールされているものだけが表示され、選択可能となります。
- 「アプリケーションを起動しません」を選択すると、読み取った後ファイルを保存して、そのまま終了します。読み取り結果は、画面に表示されません。読み取るたびに読み取り結果を確認する必要がない場合は、この設定が適しています。
- 「アプリケーションの選択 : 」で、「名刺ファイリング OCR」を選択すると、[保存先] タブ、[ファイル形式] タブ、[原稿サイズ] タブ、および [ファイルサイズ] タブは表示されません。
- 名刺ファイリング OCR を起動しているとき、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」は、自動的に「名刺ファイリング OCR」が指定された状態になります。また、ScanSnap Organizer を起動しているとき、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」は、自動的に「ScanSnap Organizer」が指定された状態になります。どちらのアプリケーションの場合も、終了した後は、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」は、もとの指定に戻ります。

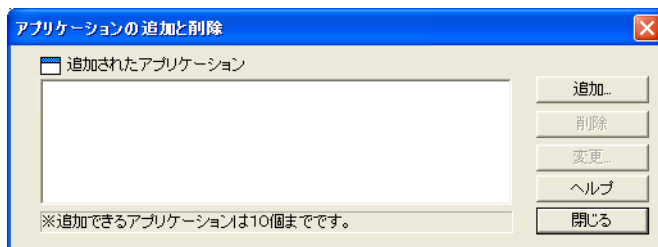
### [アプリケーションの設定] ボタン

「アプリケーションの選択 : 」で、「指定したフォルダに保存」、「メールで送信」、「プリンタで印刷」のいずれかを選択したときに表示されます。選択したアプリケーションに関する設定を行います。

### [追加と削除] ボタン

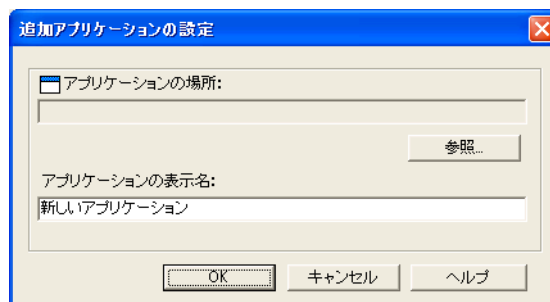
「アプリケーションの選択 : 」に、アプリケーションを登録したり、登録したアプリケーションを削除することができます。

[追加と削除] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。(最大 10 個のアプリケーションを登録することができます。)



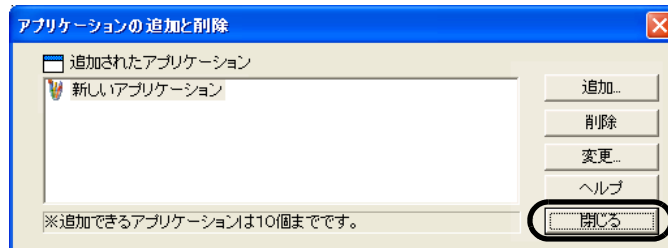
### <アプリケーションを追加する場合>

1. [追加] ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。





- [参照] ボタンをクリックして、登録したいアプリケーションの実行ファイル (.exe)、またはショートカットファイル (.lnk) を選択します。  
⇒「アプリケーションの場所：」に、選択したアプリケーションの場所が表示されます。
  - 「アプリケーションの表示名：」に、表示させたい名前を入力します。  
⇒入力した表示名が [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択：」のリストに追加されます。
3. 設定が終了したら、[ OK ] ボタンをクリックします。
  4. 以下の画面が表示され、新しいアプリケーションが追加されます。  
[閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。



追加するアプリケーションには、以下のフォーマット形式のファイルを指定して実行できるアプリケーションを選択してください。

JPEG (\*.jpg)、PDF (\*.pdf)

これらのファイル形式に対応していないと、読み取った画像を正しく表示することができません。

また、アプリケーションによっては、パスワード付き PDF ファイルやテキスト認識された PDF ファイル等を開くことができない場合があります。

以下のような方法で確認する事ができます。

例：追加するアプリケーションが JPEG 形式のファイルを指定して実行できるかどうかを確認する場合。

1. 追加したいアプリケーションのショートカットを作成します。
2. 任意の JPEG 形式のファイル (\*.jpg) をショートカット上でドラッグアンドドロップします。  
アプリケーションが起動してファイルが開けば、JPEG 形式のファイル指定して実行できることになります。

#### <アプリケーションを削除する場合>

1. 「アプリケーションの追加と削除」の画面で、削除したいアプリケーションを選択して、[削除] ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. アプリケーションが削除されているのを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。

### <設定を変更する場合>

1. 「アプリケーションの追加と削除」の画面で、設定を変更したいアプリケーションを選択して、[変更] ボタンをクリックします。
2. 「追加アプリケーションの設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
4. 「アプリケーションの追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。[閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

## ● [保存先] タブ



### イメージの保存先 :

読み取ったイメージを保存するフォルダを指定します。

[参照] ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」の画面が表示されます。

保存するフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



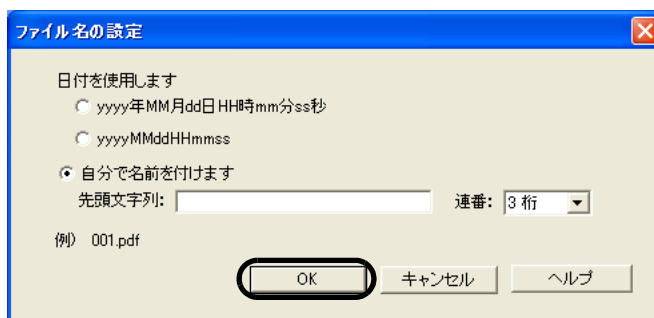
ヒント

「アプリケーションの選択 :」で「ScanSnap Organizer」が選択されている場合は、「イメージの保存先 :」は指定できません。この場合、イメージの保存先は、ScanSnap Organizer で指定されている「My ScanSnap フォルダ」（Windows Vista の場合は、「ScanSnap フォルダ」）になります。

### [ファイル名の設定] ボタン

読み取った画像を保存するファイル名を設定します。

[ファイル名の設定] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



以下の 3 種類の指定が可能です。

- 「日付を使用します (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)」  
 ファイルを保存する時の、日時をファイル名にします。  
 例) 2006 年 2 月 27 日 19 時 00 分 50 秒に PDF 形式で保存した場合  
 ファイル名: 2006 年 02 月 27 日 19 時 00 分 50 秒 .pdf
- 「日付を使用します (yyyyMMddHHmmss)」  
 ファイルを保存する時の、日時をファイル名にします。  
 例) 2006 年 2 月 27 日 19 時 00 分 50 秒に PDF 形式で保存した場合  
 ファイル名: 20060227190050.pdf
- 「自分で名前を付けます」  
 「先頭文字列:」に入力した文字列と「連番:」で指定した桁数の数字  
 を組み合わせてファイル名を生成します。  
 (画面の下の部分に、ファイル名の例が表示されます。)



#### 「連番:」について

- [保存先] タブで設定したイメージ保存先フォルダに、「先頭文字列:」で指定した名前と同じファイルが存在しない場合、1 (3桁の場合 001) となり、以降新しくファイルを保存するたびに、1 ずつ加算されていきます。
- 保存先フォルダ内に、「先頭文字列:」で指定した名前と同じファイルが存在する場合、重複しない最小の番号となります。  
 例) フォルダ内に、Scan001.pdf、Scan003.pdf、Scan004.pdf というファイルが存在する場合、以降同じ「先頭文字列:」のファイル名で保存すると、Scan002.pdf、Scan005.pdf、Scan006.pdf、Scan007.pdf ..... となります。
- 指定した桁数を超える場合 (2 桁指定で 100 個目のファイルを保存するような場合)、桁数が 1 つ繰り上がります。
- 0 桁を指定した場合は、最初のファイル名には連番が付加されず、2 番目のファイル名から連番が付加されます。  
 例) 先頭文字列が A で、0 桁を指定した場合は、A.pdf、A1.pdf、A2.pdf... となります。



[OK] ボタンをクリックすると設定が反映されます。

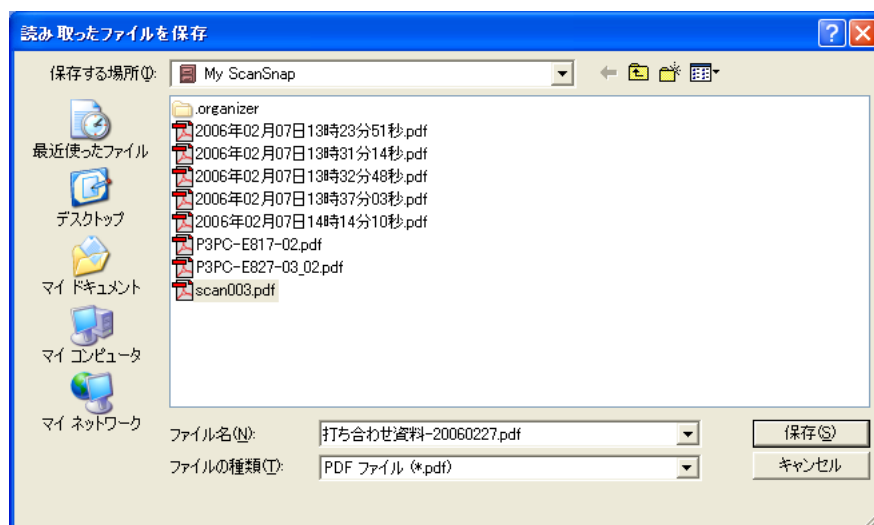
(設定したファイル名の表示例が、[ファイル名の設定] ボタンの下に表示されません。)

## 読み取り後、ファイル名を変更する

スキャン-左クリック

e-スキャン

チェックを付けると、読み取り終了後に、「読み取ったファイルを保存」の画面が表示されます。



この画面で、読み取った画像の保存先や、ファイル名を変更することができます。



ヒント

- ファイル名には、あらかじめ、「ファイル名の設定」の画面で指定した名前が付けられています。変更する必要がない場合は、そのまま「保存」ボタンをクリックしてください。
  - 一度の読み取りで、複数のファイルが生成される場合、ファイル名の後に連番が付加されます。(⇒ファイル名+連番.拡張子)
    - 例1) 「PDF ファイルオプション」(98 ページ) で、「設定ファイルごとに PDF ファイルを作ります」を選択して、指定したページ数を超えるページ数の原稿を読み取った場合：  
⇒ Scan001.pdf、Scan002.pdf、Scan003.pdf...
    - 例2) JPEG 形式で保存する場合：  
⇒ Scan001.jpg、Scan002.jpg、Scan003.jpg...
- ※例は、いずれも、ファイル名を「Scan」にしたときの結果です。  
※連番の桁数は、「ファイル名の設定」の画面の設定に従います。

● [読み取りモード] タブ



**画質の選択：**

速く読み取るか、きれいに読み取るかを指定します。  
以下のいずれかのモードを選択します。

- **ノーマル（高速に読み取ります）**  
速く読み取りたいときに選択します。  
[スキャンボタンの設定] のみ設定できます。
- **ファイン（綺麗に読み取ります）**  
きれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **スーパーファイン（より綺麗に読み取ります）**  
よりきれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **エクセレント（更に綺麗に読み取ります）**  
スーパーファインより更にきれいな画像で読み取りたいときに選択します。  
[スキャンボタンの設定] のみ設定できます。



読み取りモードの解像度は以下のとおりです。

- ノーマル：カラー 150dpi、白黒 300dpi 相当
- ファイン：カラー 200dpi、白黒 400dpi 相当
- スーパーファイン：カラー 300dpi、白黒 600dpi 相当
- エクセレント：カラー 600dpi、白黒 1200dpi 相当です。

一般的に、きれいに読み取るほど、読み取りにかかる時間が長くなり、ファイルサイズも大きくなります。

### カラーモードの選択 :

スキャン-クイック

スキャン-左クリック



カラーで読み取るか、白黒で読み取るかを指定します。  
以下のいずれかのモードを選択します。

- **自動 (原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します)**  
読み取る原稿がカラーか白黒かを判別して自動的に切り替えます。
- **カラー**  
カラーで読み取ります。  
カラー原稿を読み取るときに最適です。
- **白黒**  
白黒で読み取ります。  
白黒で文字中心の原稿を読み取るときに最適です。  
ファイルサイズも「カラー」に比べて小さく抑えることができます。
- **カラー高圧縮** スキャン-左クリック  
カラー画像を高圧縮で保存します。



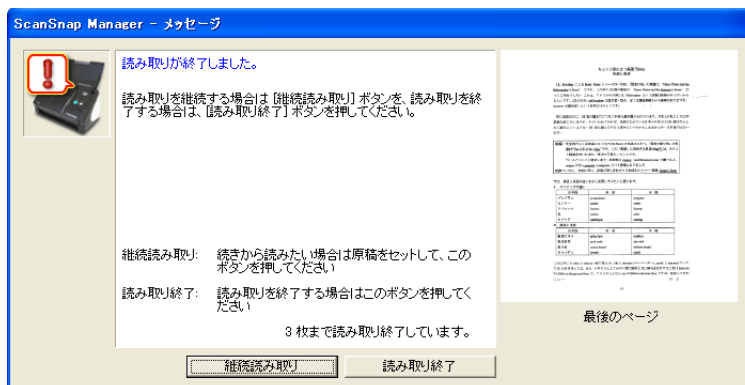
- 通常は、「自動」に設定してお使いください。  
読み取るたびに原稿に合わせてカラーモードを変更する必要がなくなります。  
※ただし、原稿によっては白黒と判別される場合があります。  
例：全体的に薄い色がついた原稿  
一部分に少しだけカラーがある原稿  
カラー2色刷りで、使用している色が濃い灰色（グレー）などの黒に近い色を多用している原稿  
カラーとして読み取りたい場合は、カラーモードの選択でカラーを設定してください。
- 「設定する読み取りボタンの選択」で[e-スキャンボタン]選択時は、常にカラーで読み取ります。
- 「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくすることができます。  
一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。  
指定するとコントラストが高くなる傾向があります
- 「カラー高圧縮」の場合、原稿によっては標準の圧縮と比べて、ファイルサイズが大きくなる場合があります。
  - ・写真や図などが多く、黒い文字が少ない原稿
  - ・段組があるなど、レイアウトが複雑な原稿
  - ・文字の背景に模様がある原稿

### 読み取り面の選択 :

[スキャン] ボタン  または [e-スキャン] ボタン  を押したときに、両面読み取りにするか、片面読み取りにするかを選択します。

### 継続読み取りをします

「継続読み取りを有効にします」にチェックを付けると、読み取り終了後、読み取りを継続するかどうかのメッセージが表示されます。



続けて読み取る場合は、ScanSnap に原稿をセットして、[継続読み取り] ボタンをクリックします。

終了する場合は、[読み取り終了] ボタンをクリックします。

読み取りを終了した時点で、これまで読み取った画像が 1 つのファイルにまとめて出力されます。

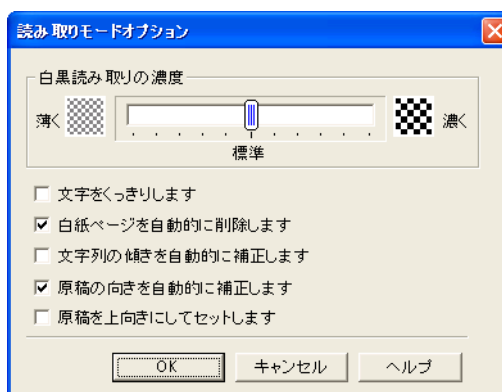
※ 1 つのファイルに最大 1000 ページまで出力することができます。

※ 保証できる PDF ファイルのファイルサイズの上限は、1G バイトです。1G バイト以上の PDF ファイルは作成可能ですが、Adobe Acrobat で表示させると、「このファイルは壊れています修復しています。」というメッセージが表示される場合があります。

### [オプション] ボタン

読み取りに関する詳細設定をします。

[オプション] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



#### 白黒読み取りの濃度

スキャン-クイック

スキャン-左クリック

白黒読み取り時の濃度を設定します。

スライダコントロールのつまみを左に移動すると読み取り結果が薄く、右に移動すると読み取り結果が濃くなります。

※ 「カラーモードの選択 : 」で、「白黒」が選択されている場合、または「自動」が選択されていて、白黒原稿と認識された場合に有効となります。



## 文字をくっきりします

スキャン-クイック

スキャン-左クリック

読み取る原稿の種類によって、以下のようにチェックします。

- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、チェックを付けます。
- 写真が入った原稿を読み取る場合は、チェックを外します。

## 白紙ページを自動的に削除します

原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除して出力します。たとえば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力することができます。

※読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、出力されません。



以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。

- 白紙原稿内に、2、3文字以内の文字のみが書かれている場合。
- 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合。  
※黒色も含まれます。

読み取った原稿を廃棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。



## 文字列の傾きを自動的に補正します

原稿の傾きを検出し、原稿が傾いた状態で読み取られた場合に、その傾きを補正して出力します。

最大±5度の傾きを補正することができます。



原稿中の文字を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。



### 原稿の向きを自動的に補正します

横向きに読み取られたり、上下逆さまに読み取られた原稿を、正しい向きに回転して出力します。



原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿
- うすい文字、かすれた文字

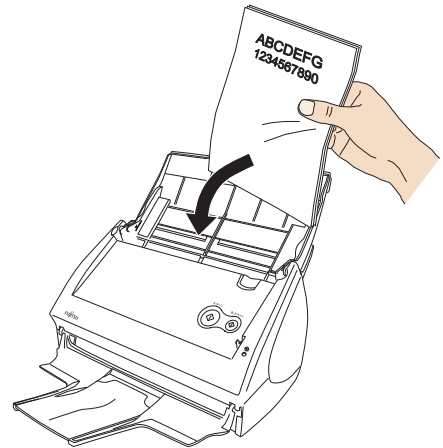
※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。



### 原稿を上向きにしてセットします

図のように、手にした原稿をそのままセットして読み取りたい場合にチェックを付けます。

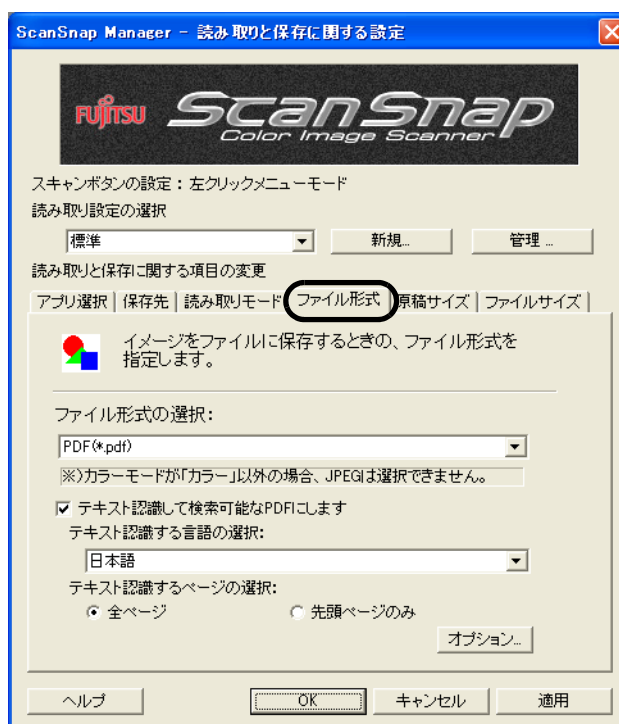
最終ページから逆に読み取りを開始して、すべての原稿を読み取った後で、データを 1 ページ目から順番に並べ替えて、ファイルに出力します。



原稿を読み取った後にデータを並べ替える処理が入るため、通常よりも読み取り速度が遅くなります。



## ● [ファイル形式] タブ



### ファイル形式の選択

スキャン-左クリック

e-スキャン

読み取ったイメージのファイル形式を指定します。[▼] をクリックして、ファイル形式を選択します。以下のファイル形式が選択できます。

- PDF (\*.pdf)
- JPEG (\*.jpg)



【読み取りモード】タブの「カラーモードの選択：」で、「自動」、「白黒」、「カラー高圧縮」が選択されている場合は、「JPEG」は選択できません。逆に、「JPEG」が選択されている場合に、「自動」、「白黒」、または「カラー高圧縮」を選択すると、ファイル形式は、自動的に「PDF」に切り替わります。

### テキスト認識して検索可能な PDF にします

PDF を選択した場合に指定できます。

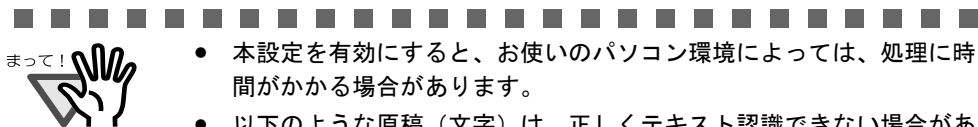
有効にすると、テキスト検索ができる PDF が作成されます。

### テキスト認識する言語の選択：

テキスト認識に使用する言語を選択します。

### テキスト認識するページの選択：

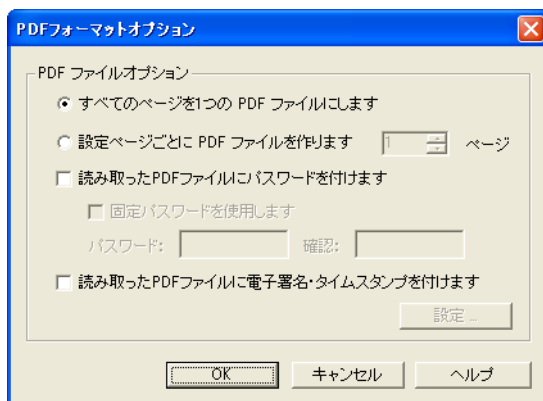
- 全ページ  
すべてのページをテキスト認識した PDF が作成されます。
- 先頭ページのみ  
先頭ページだけをテキスト認識した PDF が作成されます。



- 本設定を有効にすると、お使いのパソコン環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラー設定や解像度を上げて読み取ることでテキスト認識が可能となる場合があります。
  - － 手書き文字の原稿
  - － 低解像度で読み取った小さな文字
  - － 傾いた原稿
  - － 指定した言語以外で書かれた原稿
  - － イタリック文字で書かれた原稿
  - － 上下添え字、複雑な数式
  - － 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
    - ・ 影、白抜きなど装飾がされている文字
    - ・ 網掛け内の文字
  - － 複雑なレイアウトの原稿及び、ノイズの多い原稿  
(このような原稿では認識時間が非常にかかる場合があります)

### [オプション] ボタン

PDF ファイルに関する詳細を設定します。「ファイル形式の選択：」で「PDF (\*.pdf)」を選択したときに有効になります。  
 [オプション] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



- **すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします**  
読み取ったイメージをすべて 1 つのファイルにまとめて保存します。
- **設定ページごとに PDF ファイルを作ります**  
指定したページ数ごとにファイルを作成します。たとえば、“2” ページに設定して 6 ページある原稿を読み取った場合、ファイルが 3 つ作成されます。



「アプリケーションの選択：」で、Adobe Acrobat および Adobe® Reader®（または Acrobat® Reader™）を選択した場合、一度の読み取りで複数のファイルが作成されると、読み取り後に、1つ目のファイルのみ画面に表示されます。（それ以外の場合は、選択したアプリケーションの仕様に従います。）

- 読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます

スキャン-左クリック

e-スキャン

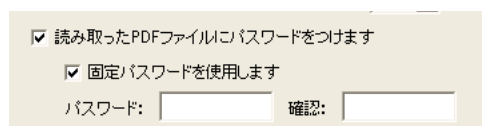
読み取り後に作成される PDF ファイルに、パスワードを付けることができます。パスワードを付けた PDF ファイルは、パスワードを入力しないとファイルを開くことができなくなります。読み取りが終わる度にパスワード入力画面が表示されるので、パスワードを2箇所（1箇所は確認用）に入力して、[OK] ボタンをクリックします。



※ [キャンセル] ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

#### 一 固定パスワードを使用します

読み取りを行うたびにパスワード入力画面を表示するのではなく、すべての PDF ファイルに対して、あらかじめ固定のパスワードを設定しておくことができます。チェックすると、「パスワード：」、「確認：」欄が有効になるので、同じパスワードを2箇所に入力します。



- パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。  
最大文字数：半角 16 文字  
半角英数字：A～Z、a～z、0～9  
半角記号：! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ \_ ` { | } ~
- パスワードを忘れてしまうと、PDF ファイルが開けなくなりますので、ご注意ください。

- 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます

スキャン-左クリック

e-スキャン

読み取り後に作成される PDF ファイルに、電子署名・タイムスタンプを付けることができます。電子署名・タイムスタンプは、PDF ファイルに埋め込まれます。

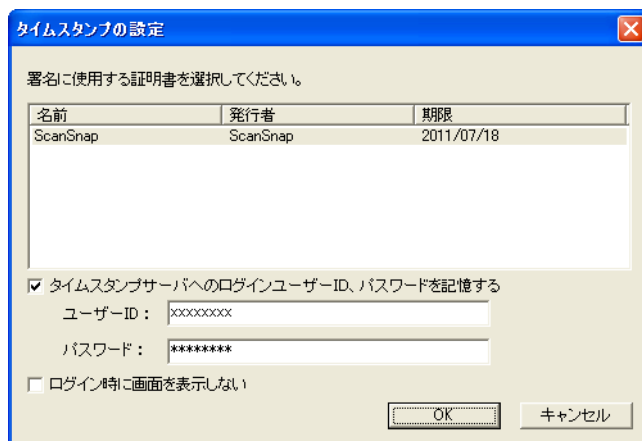


- 本機能を使用するためには、Adobe Acrobat と PFU タイムスタンプをインストールして、あらかじめ電子署名・タイムスタンプの設定を行っておく必要があります。
- 「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスにチェックを入れると、「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスは無効となります。(パスワードと電子署名・タイムスタンプを同時に使用することはできません。)



#### － [設定] ボタン

[設定] ボタンを押すと、「タイムスタンプの設定」画面が表示されます。



#### 証明書一覧

一覧表示から、署名に使用する証明書を選択します。

#### 「タイムスタンプサーバへのログインユーザー ID、パスワードを記憶する」チェックボックス

タイムスタンプサーバにログインする際に、ユーザー ID とパスワードを表示した状態でログイン画面を表示します。

「ユーザー ID:」、「パスワード:」の入力欄にログイン時に使用する ID とパスワードを入力してください。

#### 「ログイン時に画面を表示しない」チェックボックス

タイムスタンプサーバにログインする際に、ログイン画面を表示しません。「タイムスタンプサーバへのログインユーザー ID、パスワードを記憶する」チェックボックスにチェックを入れたときに選択可能となります。

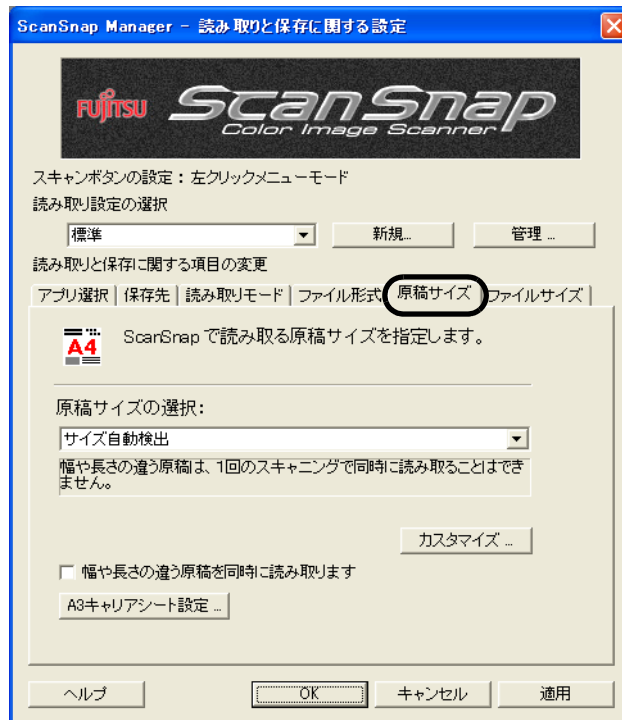


- 「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスにチェックが入っているときのみ、有効となります。
- 証明書が選択されていない場合は、「タイムスタンプの設定」画面の [OK] ボタンは無効です。



- 証明書は、あらかじめ設定しておかないと「タイムスタンプの設定」画面に表示されません。
- 電子署名・タイムスタンプを使用する際の設定方法については、[「6.3 PFU タイムスタンプを使う」\(238 ページ\)](#)、あるいは、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。『PFU タイムスタンプの使い方』を参照する場合は、[スタート]メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)

● [原稿サイズ] タブ



**原稿サイズの選択：**

セットする原稿のサイズを指定します。[▼] をクリックして、サイズを選択します。以下の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

- サイズ自動検出
- A4 (210 × 297mm)
- A5 (148 × 210mm)
- A6 (105 × 148mm)
- B5 (182 × 257mm)
- B6 (128 × 182mm)
- はがき (100 × 148mm)
- 名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)
- レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
- リーガル (8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)
- カスタムサイズ (10 個まで登録可能)



- A3 キャリアシートを使用して読み取りを行う場合は、必ず「サイズ自動検出」を選択してください。
- 「設定する読み取りボタンの選択」で [e- スキャンボタン] 選択時は、幅 210mm より大きいサイズを選択することはできません。
- 読み取り方法および原稿の状態によっては、出力されるイメージに、原稿の端の影が線として表示される場合があります。

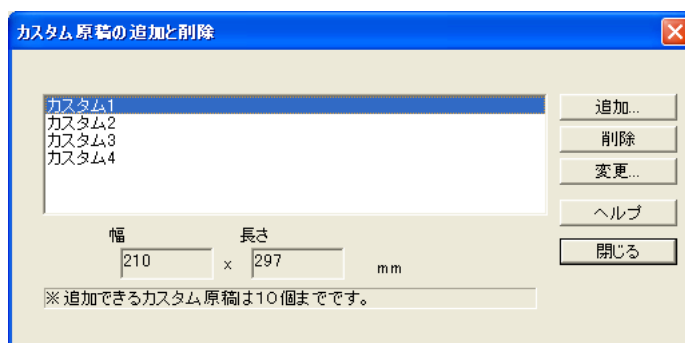




原稿サイズを指定して [e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、読み取った原稿に対して、データの欠落が起こらないようにするために、指定した原稿サイズよりも、一回り大きいサイズで出力されます。  
また、原稿サイズを、「サイズ自動検出」にして [e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、原稿と同じサイズで出力されます。

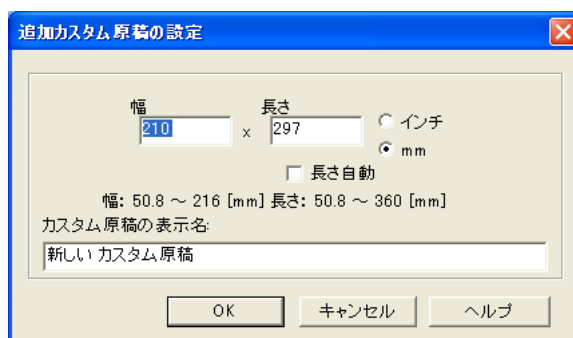
### [カスタマイズ] ボタン

「原稿サイズの選択：」に任意の原稿サイズを、最大 10 個まで登録できます。ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



#### <カスタム原稿サイズを追加する場合>

1. [追加] ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。



- 原稿のサイズを入力します。  
幅 : 50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5 インチ)  
長さ : 50.8 ~ 360 mm (3 ~ 14.17 インチ)  
の範囲で設定することができます。
  - 「長さ自動」を有効にすると、幅を設定しただけで長さ方向を自動サイズ検出します。
  - 「カスタム原稿の表示名：」に、表示させたい名前を入力します。  
⇒入力した表示名が「原稿サイズの選択：」のリストに追加されます。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒新しいカスタム原稿サイズが登録されます。
  4. [閉じる] ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。

＜カスタム原稿サイズを削除する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、原稿サイズが削除されているのを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。

＜設定を変更する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、[変更] ボタンをクリックします。
2. 「追加カスタム原稿の設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。



「名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)」サイズを選択して読み取る場合、読み取った長さから、横置き／縦置きを自動認識して読み取ります。長さ方向（搬送方向）は、実際に読み取った原稿の長さになります。幅は、90mm（横置き）、または 55mm（縦置き）固定になります。

「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」

「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」チェックボックスにチェックを入れると、ScanSnap に幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取ることができます。

[A3 キャリアシート設定] ボタン

スキャン-クイック

スキャン-左クリック

A3 キャリアシートの設定を行います。

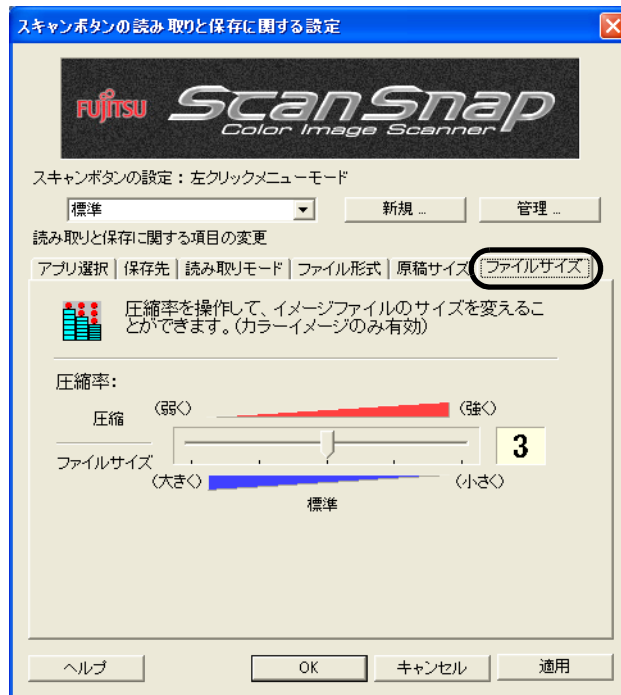


A3 キャリアシートの設定方法については、「[4.5 A3 キャリアシートの設定方法](#)」(121 ページ) を参照してください。

● [ファイルサイズ] タブ

スキャン-クイック

スキャン-左クリック



**圧縮率：**

圧縮率を操作して、読み取ったイメージのファイルサイズを指定します。圧縮率は、スライダーを動かして操作します。圧縮率の数字が大きいほど圧縮率が高くなり、ファイルサイズが小さくなります。



- 圧縮率を高くすると、読み取ったイメージの画質が劣化します。
- [e-スキャン] ボタンで読み取る場合の圧縮率は、「画質の選択：」(92ページ)によります。「ファイン」の場合は「2」、「スーパーファイン」の場合は「3」です。設定変更はできません。



- [読み取りモード] タブで「カラー高圧縮」を選択した場合、圧縮率はさらに高くなります。
- 「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字がきれいなままファイルサイズを小さくすることができます。一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。指定するとコントラストが高くなる傾向があります (93ページ)。
- 「カラー高圧縮」の場合、原稿によっては標準の圧縮と比べて、ファイルサイズが大きくなる場合があります。
  - ・写真や図などが多く、黒い文字が少ない原稿
  - ・段組があるなど、レイアウトが複雑な原稿
  - ・文字の背景に模様がある原稿





画像データのサイズについて

カラー原稿 1 枚を片面で以下のように読み取ったときの画像サイズの目安を示します。

ファイル形式 : PDF  
原稿サイズ : A4 (一般カタログ)

カラーモード : カラー

読み取りモード \ 圧縮率	1	2	3	4	5
ノーマル	743	312	256	178	100
ファイン	1169	548	395	300	186
スーパーファイン	2503	1018	790	575	352
エクセレント	10210	4084	2884	1981	1793

カラーモード : カラー高圧縮

読み取りモード \ 圧縮率	1	2	3	4	5
ノーマル	524	329	270	180	159
ファイン	787	459	393	137	97
スーパーファイン	1107	572	238	176	147

カラーモード : 白黒

読み取りモード \ 圧縮率	—
ノーマル	158
ファイン	247
スーパーファイン	533
エクセレント	2076

(単位 Kバイト)

※「カラー高圧縮」は、スーパーファインの場合に効果を発揮します。

※圧縮率・カラー高圧縮の設定は、以下のように使い分けることで、より効果を発揮します。

- ・写真や図などの原稿の場合は、圧縮率の設定 (1~5) により、ファイルサイズを小さくすることができます。
- ・文字の多い原稿を、読み取りモードの「スーパーファイン」で読む場合は、カラー高圧縮を選択することにより、ファイルサイズをより小さくすることができます。

※ [e- スキャン] ボタンで読み取った場合、ファイルサイズは以下の通りです。

ファイン : 636K バイト  
スーパーファイン : 896K バイト

([e- スキャン] ボタンの場合、カラーモードはカラー固定、圧縮率は、「ファイン」の場合は「2」、「スーパーファイン」の場合は「3」固定です。カラー高圧縮は無効です。)

## 4.3 読み取り設定を保存するには

左クリックメニューモード使用時の [スキャン] ボタンの設定は、最大 12 種類、「読み取り設定」として、名前を付けて保存しておくことができます。

保存しておいた「読み取り設定」は、「ScanSnap Manager」のアイコン **S** をクリックするだけで、簡単に呼び出し、使用することができます。



左クリックメニュー



よく使う読み取り条件をあらかじめ何種類か「読み取り設定」として登録しておけば、読み取る度に設定画面を開いて、設定を変更する必要がなく、簡単な操作で目的にあった条件に切り替えて読み取ることができます。



ヒント

ここで説明する内容は、[スキャン] ボタンの操作モードが、「左クリックメニューモード」の場合のみ有効となります。

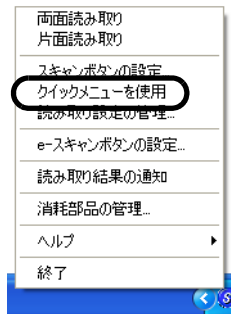
左クリックメニューモード使用時の [スキャン] ボタンの設定および、[e-スキャン] ボタンの設定は、1つしか保存できません。読み取り条件を変更したい場合は、右クリックメニューの「スキャンボタンの設定」および「e-スキャンボタンの設定」で変更してください。

以下に、操作方法を説明します。

## ■ 読み取り設定を登録します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示されるメニューで、**[クイックメニューを使用]** のチェックが外れていることを確認します。

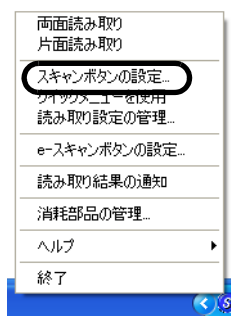


⇒ チェックを外すと、メニューが閉じます。

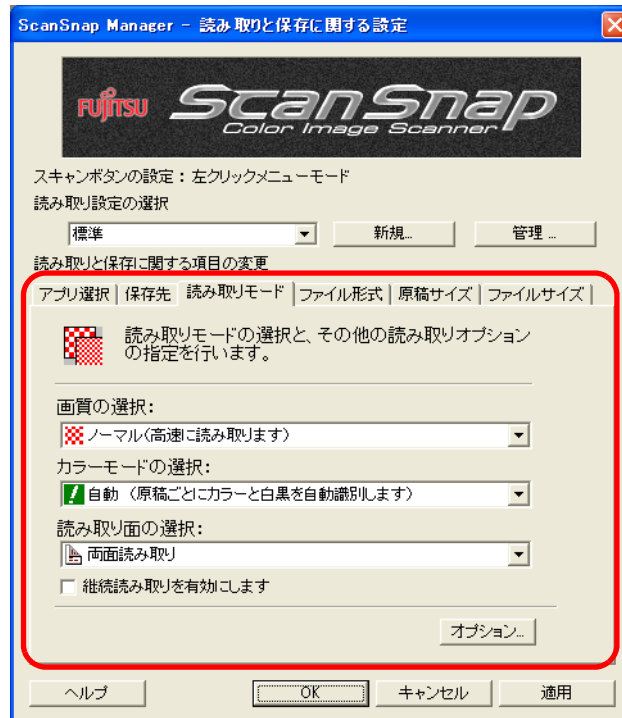


[クイックメニューを使用] にチェックが入っていると、[スキャン] ボタンの設定が「クイックメニューモード」になります。クイックメニューモードでは、本機能を使用することができません。

2. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



### 3. 「読み取りと保存に関する設定」画面で、読み取り条件を変更します。

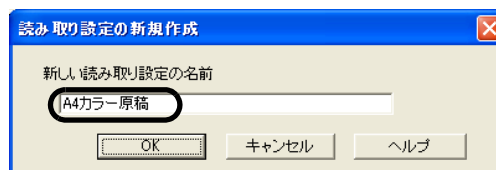


### 4. 設定が終わったら、[新規] ボタンをクリックします。

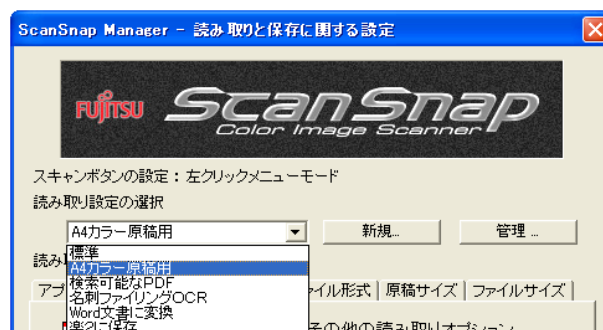


⇒ 「読み取り設定の新規作成」の画面が表示されます。

### 5. 設定内容に名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 入力した名前の「読み取り設定」として設定・登録されます。

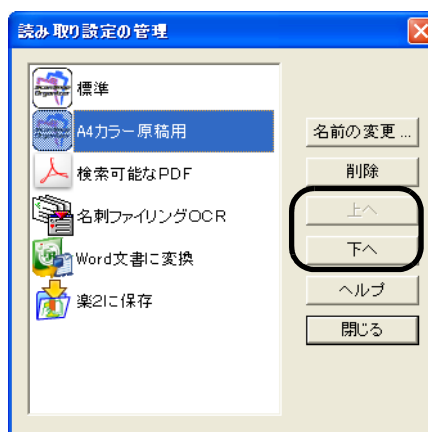


## 6. [OK] ボタンをクリックして、「読み取りと保存に関する設定」画面を閉じます。

⇒ 以上で、読み取り設定の登録は完了です。



- 読み取り設定は、「標準」を含め最大 12 個まで登録できます。  
(ただし、「標準」は削除できません。)
  - 読み取り設定の表示順番を変更することができます。  
(ただし、「標準」の表示順番は変更できません。)
1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「設定の管理」を選択し、「設定の管理」画面を表示します。
  2. 移動させたい読み取り設定を、一覧から選択します。
  3. [上へ] [下へ] ボタンをクリックして、読み取り設定を移動します。



4. [閉じる] ボタンをクリックします。



## ■ 登録した読み取り設定を使って読み取ります



### 1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** をクリックします。

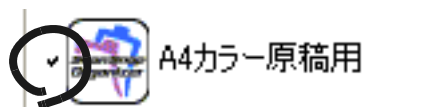


⇒ 「左クリックメニュー」が表示されます。

(設定名の左側に、読み取り後に起動するアプリケーションのアイコンが表示されます。)

### 2. 読み取りに使用する「読み取り設定」を選択します。

⇒ 選択した「読み取り設定」にチェックマークが付きます。



### 3. 原稿を ScanSnap にセットします。

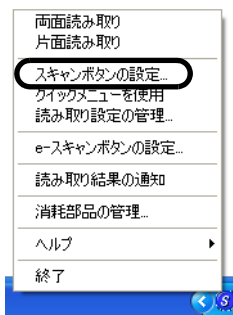
### 4. [スキャン] ボタン **⏏** を押します。

⇒ 選択した設定条件で読み取りが行われます。

## ■ 登録した読み取り設定を変更します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



2. 「読み取りと保存に関する設定」画面で、変更する「読み取り設定」を選択します。



3. 設定内容を変更します。

読み取り設定の詳細については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ)を参照してください。

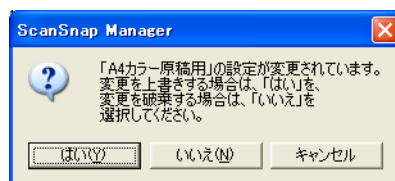
#### 4. 設定が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 上書き確認の画面が表示されます。



[OK] ボタンをクリックせずに「読み取り設定」を切り替えると、以下のメッセージが表示されます。



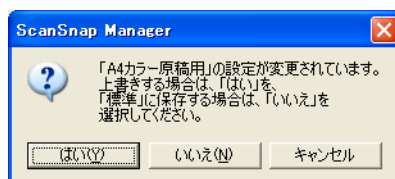
[はい] ボタンをクリックすると、変更内容が反映されて、設定が切り替えられます。

[いいえ] ボタンをクリックすると、設定内容が破棄されて、設定が切り替えられます。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

#### 5. 設定内容を上書きする場合は [はい] ボタンを、標準に保存する場合 [いいえ] ボタンをクリックします。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。

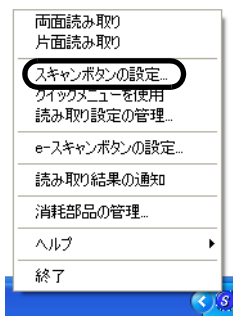


(「読み取り設定」が「標準」の場合は、確認画面は表示されません。)

## ■ 読み取り設定の名前を変更します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



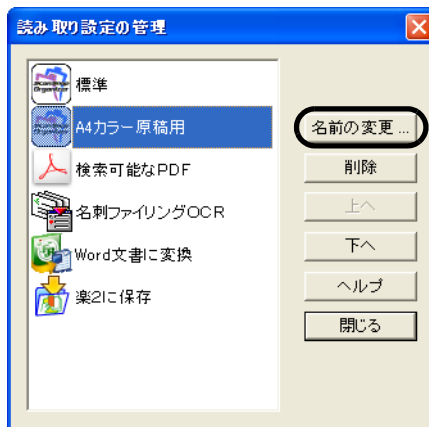
⇒ 「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [管理] ボタンをクリックします。

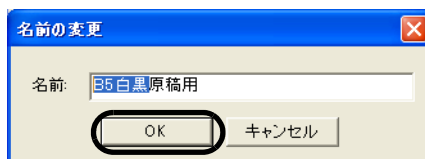


⇒ 「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

3. [名前の変更] ボタンをクリックします。

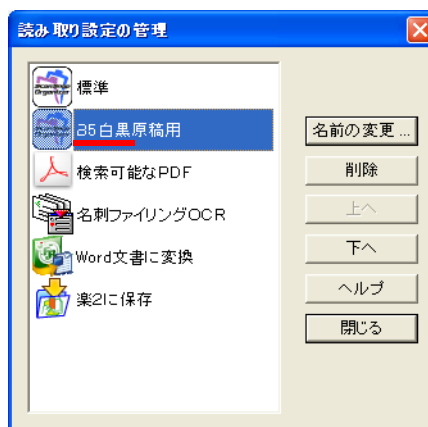


#### 4. 「名前の変更」画面で新しい名前を入力します。




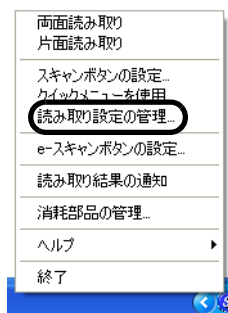
#### 5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 名前が変更されます。



ヒント

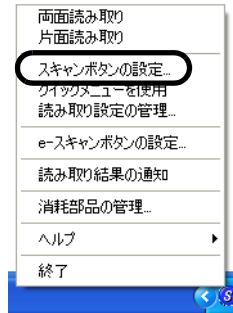
「読み取り設定の管理」画面は、「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示することもできます。  
「読み取り設定の管理」を選択すると表示されるので、一覧から変更したい名前を選択して、操作 3. ～操作 5. を実行してください。



## ■ 読み取り設定を削除します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャナボタンの設定」を選択します。



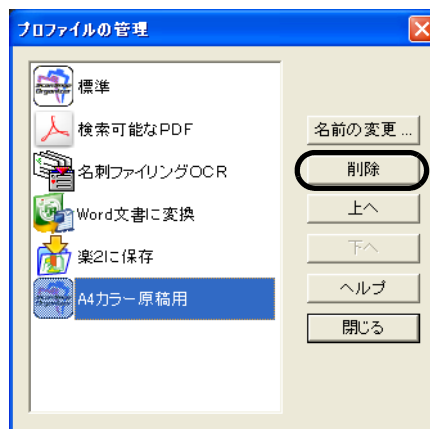
⇒ 「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [管理] ボタンをクリックします。



⇒ 「設定の管理」画面が表示されます。

3. 一覧から、削除したい設定名を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

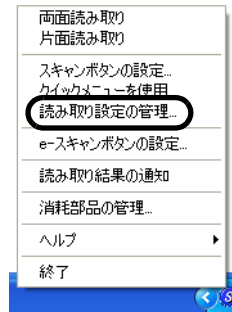




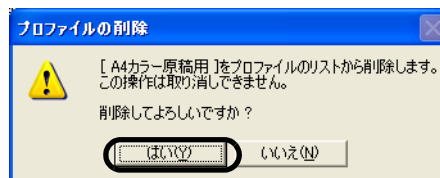
ヒント

「読み取り設定の管理」画面は、「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示させることもできます。

「読み取り設定の管理」を選択すると表示されるので、一覧から削除したい設定名を選択して、[削除] ボタンをクリックしてください。

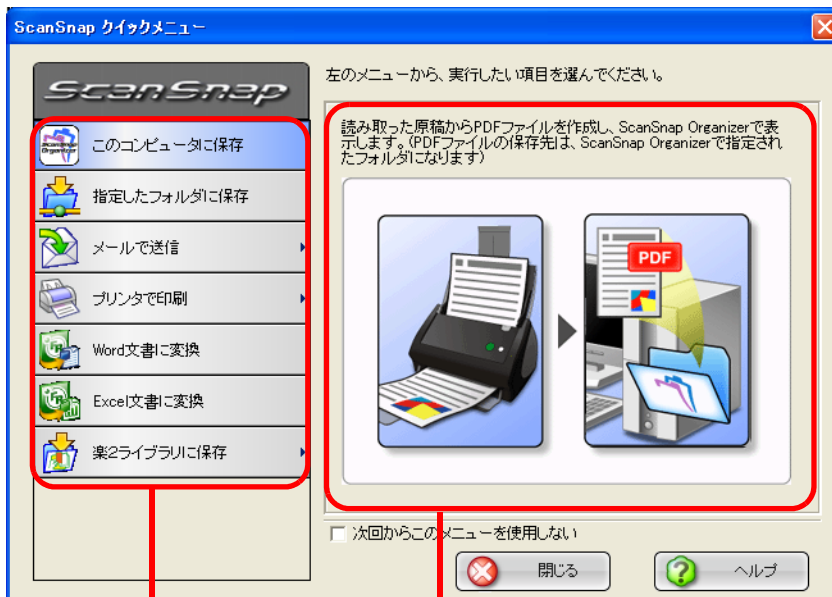


#### 4. 確認画面が表示されるので、[はい] ボタンをクリックします。



## 4.4 クイックメニューの使い方

クイックメニューモード設定時に、[スキャン] ボタンで読み取ると、原稿を読み取った後にクイックメニューが表示されます。



項目一覧

選択した項目の動作説明

この画面では、以下の設定を行います。

### 項目一覧

読み取った原稿に対して何をしたいかを選択します。マウスのポインタを項目の上に合わせると選択され、項目をクリックすると、実行されます。

項目名	動作
このコンピュータに保存 *1	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、ScanSnap Organizer を起動して、読み取り結果を表示します。ファイルは、ScanSnap Organizer で指定した場所（ご使用のパソコン）に保存されます。
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ（共有フォルダ）に保存します。 ⇒ 「5.2 指定したフォルダに保存する」（133 ページ）
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、電子メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒ 「5.3 メールに添付して送信する」（147 ページ）
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒ 「5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する」（163 ページ）



Word 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Word 文書に変換します。 ⇒ 「5.5 Word / Excel 文書に変換する」(175 ページ)
Excel 文書に変換 *2	読み取った原稿を OCR 処理し、Excel 文書に変換します。 ⇒ 「5.5 Word / Excel 文書に変換する」(175 ページ)
楽 2 ライブラリに保存 *3	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、楽 2 ライブラリのバイндаに保存します。 ⇒ 「5.6 楽 2 ライブラリと連携する」(188 ページ)

- \*1) ScanSnap Organizer がインストールされていない場合は表示されません。  
 \*2) ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 がインストールされていない場合は表示されません。  
 \*3) 楽 2 ライブラリ (別売) がインストールされていない場合は表示されません。  
 また、本機能を使用するには、楽 2 ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

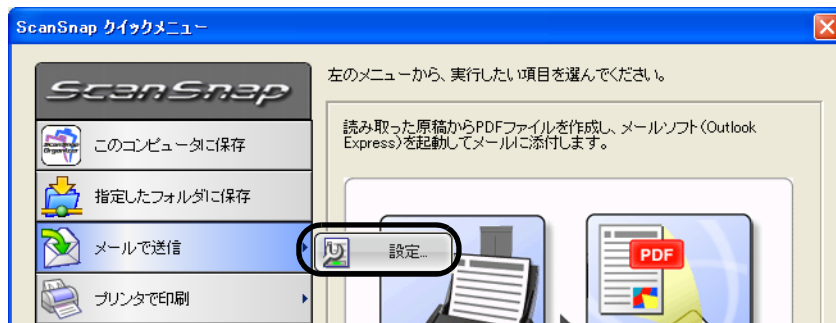
### 選択した項目の動作説明

項目一覧で指定した動作に関する説明がイラスト入りで表示されます

### 【設定】ボタン

動作に関して設定項目がある場合、右側に ▶ が表示されます

マウスのポインタを ▶ の上に移動すると、「設定」ボタンが表示されます。



「設定」ボタンは、項目一覧の以下の項目で表示されます。

- メールで送信 (→ 150 ページ)
- プリンタで印刷 (→ 165 ページ)
- 楽 2 ライブラリに保存 (→ 190 ページ)

### 「次回からこのメニューを使用しない」チェックボックス

次回読み取り時から、クイックメニューを使用しません。

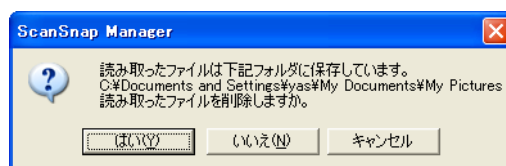
[スキャン] ボタンの操作モードが、「クイックメニューモード」から「左クリックメニューモード」に切り替わります。

再度、「クイックメニューモード」に戻りたい場合は、右クリックメニューで、「クイックメニューを使用」をチェックしてください。

### [閉じる] ボタン

処理を中止します。

このボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



[はい] ボタン： 読み取ったイメージを削除して、処理を中止します。

[いいえ] ボタン： 読み取ったイメージを保存して、処理を中止します。  
読み取ったイメージは、PDF ファイルとして、「スキャンボタンの設定」で指定したフォルダに保存されます。

[キャンセル] ボタン： クイックメニューに戻ります。

### [ヘルプ] ボタン

クイックメニューに関するヘルプを表示します。



- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じるか、クイックメニューのいずれかの項目を選択して処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## 4.5 A3 キャリアシートの設定方法

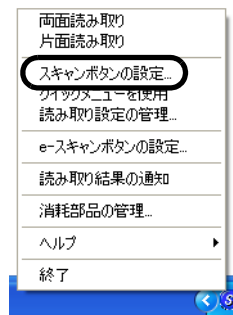
A3 キャリアシートの設定は、「A3 キャリアシート設定」の画面で行います。

本章では、[スキャン] ボタン使用時の設定について説明します。

[e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、キャリアシートの黒横線の下 5mm 部分から読み取り、常に 220 × 306mm のサイズで出力されます（最大 210 × 280mm までの原稿を読み取り、枠を付けて出力することができます）。指定サイズへの画像（切り出し）、見開き画像は作成できません。

[A3 キャリアシート設定] ボタンは、「読み取りと保存に関する」画面の「原稿サイズ」タブにあります。

「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックすると、メニューが表示されるので、[スキャン] ボタンで読み取る時の設定を行う場合は、「スキャンボタンの設定」を選択します。



⇒ 「読み取りと保存に関する設定」の画面が表示されます。



「e- スキャンボタンの設定」を選択した場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の「原稿サイズ」タブには、[A3 キャリアシート設定] ボタンは表示されません。[e- スキャン] ボタンで読み取る場合は、常に 220 × 306mm の固定サイズで出力されるので、特に設定する必要がありません。

## 第4章 ScanSnap の設定

[原稿サイズ] タブの [A3 キャリアシート設定] ボタンをクリックすると、「A3 キャリアシート設定」画面が表示されます。





以下に、「A3 キャリアシート設定」の画面で設定できる項目について説明します。

### 実行モード

A3 キャリアシートを使って読み取る際の、読み取り方法を指定します。

以下の2つのモードがあります。

- **見開き画像を出力します**

原稿の両面を読み取り、表／裏の画像をつなぎ合わせて、見開き状態にして1つの画像として並べて出力します。

A3 / B4 のような、A4 サイズより大きい原稿を読み取るためのモードです。

原稿を2つ折りにして両面読み取りを行い、1つの画像につなぎ合わせて出力します。

- **表裏の画像をそれぞれ出力します**

読み取った原稿に合わせたサイズで画像を切り出して出力します。

傷つけたくない写真や、資料の切り抜きのような非定型原稿など、ScanSnap でそのまま読み取ることが難しい原稿を、A3 キャリアシートにはさんで読み取るためのモードです。

両面読み取りを行った場合、表／裏の画像が別々に出力されます。



- 「見開きモード画像を出力します」で読み取る場合は、ScanSnap Manager の [読み取りモード] の設定を、「両面読み取り」にしてください。
- モードによって、原稿のセット方法が異なります。詳細については、「[A3 キャリアシートを使用した原稿のセット方法](#)」(66 ページ) を参照してください。

### 出力画像サイズ

読み取った画像を出力する際の、画像サイズを指定します。  
以下の原稿サイズ（幅×長さ）を選択できます。

実行モード：「見開き画像を出力します」	実行モード：「表裏の画像をそれぞれ出力します」
サイズ自動選択	サイズ自動選択
A3 (297 × 420mm)	—
—	A3 キャリアシートサイズ (216 × 297mm)
—	A4 (210 × 297mm)
—	A5 (148 × 210mm)
—	A6 (105 × 148mm)
—	はがき (100 × 148mm)
B4 (257 × 364mm)	—
—	B5 (182 × 257mm)
—	B6 (128 × 182mm)
—	レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
11 × 17 インチ (279.4 × 431.8mm)	—
—	写真 E 版 縦 (83 × 117mm)
—	写真 E 版 横 (117 × 83mm)
—	写真 L 版 縦 (89 × 127mm)
—	写真 L 版 横 (127 × 89mm)
—	写真 LL 版 縦 (127 × 178mm)
—	写真 LL 版 横 (178 × 127mm)
—	名刺サイズ縦 (55 × 90mm)
—	名刺サイズ横 (90 × 55mm)
—	カスタム (10 個まで登録可能)



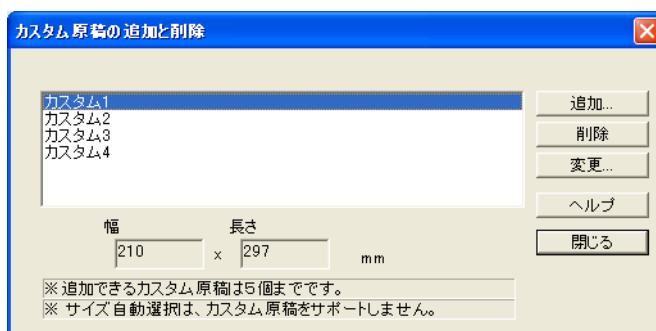
- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズが、上の表に記載された定型サイズ（カスタムサイズ、A3 キャリアシートサイズを除く）の中から自動的に判断されます。そのため、セットした原稿のサイズに合わせて「出力画像サイズ」を指定し直す必要がなくなります。
- 「出力画像サイズ」で「A3 キャリアシートサイズ」を指定すると、読み取った画像を A3 キャリアシートのサイズでそのまま出力します。読み取った後に、Adobe Acrobat などのアプリケーションで、トリミング処理を行うことにより、お好みのサイズに画像を切り取ることができます。Adobe Acrobat の場合は、メニューバーから、[ツール] → [高度な編集] → [トリミングツール] を選択し、画像の必要な部分を範囲選択してダブルクリックします。



- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定して、選択可能な定型サイズ（上表）ではない原稿を読み取る場合、原稿のサイズより大きく、かつもっとも近い定型サイズで読み取られます。原稿と同じサイズで読み取りたい場合は、[カスタマイズ] ボタンでその原稿サイズを登録して、「出力画像サイズ」でそのサイズを選択してください。
- 「出力画像サイズ」で「サイズ自動選択」を指定すると、読み取った原稿のサイズより大きなサイズで出力される場合があります。このような場合は、以下の操作を実施してください。
  - － 原稿を A3 キャリアシートにまっすぐに挿入する。
  - － A3 キャリアシートを ScanSnap にセットしたら、サイドガイドで A3 キャリアシートを固定する。上記の方法で改善しない場合は、「出力画像サイズ」で読み取る原稿のサイズを指定してください。

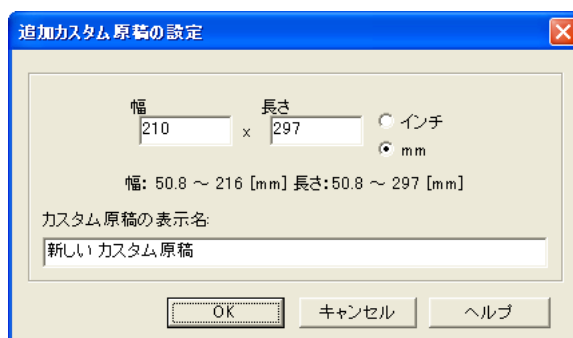
### [カスタムサイズを追加] ボタン

「出力画像サイズ」に任意の原稿サイズを、最大 5 個まで登録できます。ボタンをクリックすると、以下の設定画面が表示されます。



### ＜カスタム原稿サイズを追加する場合＞

1. [追加] ボタンをクリックします。
2. 以下の画面が表示されます。



- 原稿のサイズを入力します。
  - 幅 : 50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5 インチ)
  - 長さ : 50.8 ~ 297 mm (3 ~ 11.69 インチ)の範囲で設定することができます。
- 「カスタム原稿の表示名 :」に、表示させたい名前を入力します。  
⇒入力した表示名が「出力画像サイズ」のリストに追加されます。

3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒新しいカスタム原稿サイズが登録されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、「カスタム原稿の追加と削除」の画面を閉じます。

### <カスタム原稿サイズを削除する場合>

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。
2. 確認の画面が表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、原稿サイズが削除されているのを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。

### <設定を変更する場合>

1. 「カスタム原稿の追加と削除」の画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、[変更] ボタンをクリックします。
2. 「追加カスタム原稿の設定」の画面が表示されますので、変更したい項目を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。  
⇒「カスタム原稿の追加と削除」の画面が表示され、設定が変更されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。



## 4.6 アプリケーションの自動連携について

ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR および、楽2 ライブラリ（別売）は、アプリケーションを起動することによって、ScanSnap と自動連携することができます。

### ■ 自動連携モード

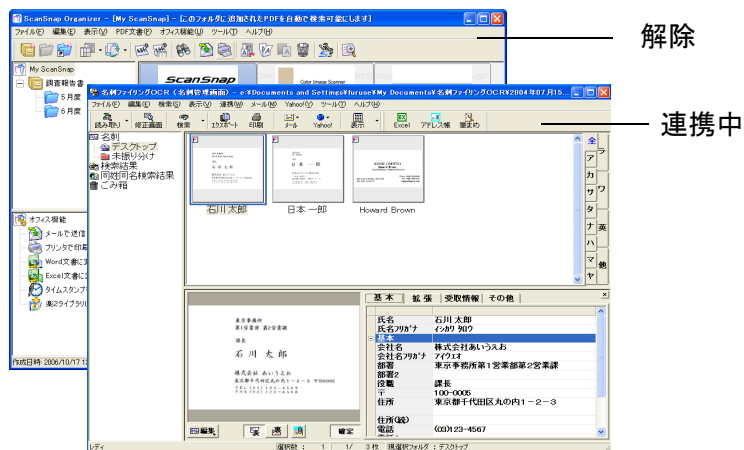
自動連携の方式には、以下の2つのモードがあります。

#### ① 該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携する（初期設定）

該当アプリケーションのいずれかがアクティブ状態（タスクバー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示された状態）になると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。この状態で、[スキャン] ボタンを押して読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

[スキャン] ボタンが「クイックメニューモード」の場合も、読み取り後に ScanSnap クイックメニューが表示されず、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

アプリケーションが非アクティブ状態になると、連携は解除されます。



上図の場合、名刺ファイリング OCR の画面がアクティブ状態であるため、名刺ファイリング OCR と自動連携されます。

② 該当アプリケーション起動中は、常に連携する

該当アプリケーションのいずれかが起動されると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。この状態で、[スキャン] ボタンを押して読み取ると、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。

[スキャン] ボタンが「クイックメニューモード」の場合も、読み取り後にメニューが表示されず、該当アプリケーションに自動連携されて、読み取り結果が表示されます。アプリケーションを終了するまで、連携した状態が続きます。

同時に複数起動されている場合は、名刺ファイリング OCR、ScanSnap Organizer、楽2ライブラリの順に優先されます。

[スキャン] ボタンが「左クリックメニューモード」の場合は、左クリックメニューに、「<アプリケーション名>+連携中」の項目がチェックの入った状態で追加されます。



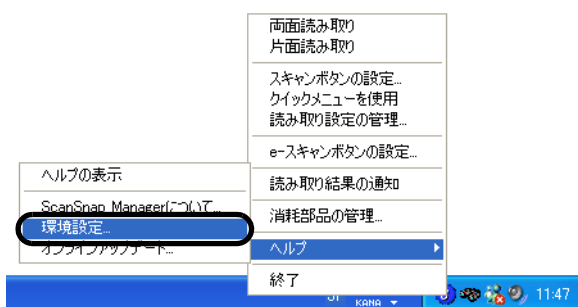
ScanSnap Organizer と自動連携されている場合

## ■ 自動連携モードの切り替え

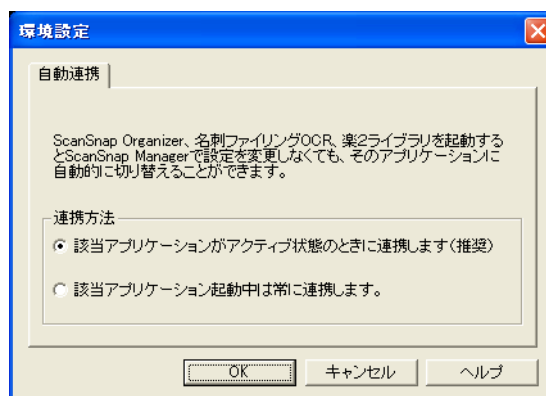
自動連携モードの切り替えは、以下の手順で行います。



1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックし、[ヘルプ] → [環境設定] の順に選択します。



2. [自動連携] タブの設定を変更します。



### 該当アプリケーションがアクティブ状態のときに連携します（初期設定）

アプリケーションのいずれかがアクティブ状態（タスクバー上でアプリケーションが選択され、アプリケーション画面が最前面に表示された状態）になると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。

### 該当アプリケーションが起動中は常に連携します

アプリケーションのいずれかが起動されると、ScanSnap Manager の「アプリケーションの選択」の設定が、自動的に該当アプリケーションに切り替わります。



# 第5章



## オフィス機能

この章では、オフィス機能について説明しています。

---

5.1	オフィス機能とは.....	132
5.2	指定したフォルダに保存する.....	133
5.3	メールに添付して送信する.....	147
5.4	ScanSnap をコピー機代わりに利用する.....	163
5.5	Word / Excel 文書に変換する.....	175
5.6	楽2ライブラリと連携する.....	188

## 5.1 オフィス機能とは

---

ScanSnap では、日常のオフィス業務で役立つように、オフィスで日常よく使う機能を「オフィス機能」として準備しました。

オフィス機能は、以下のような要望を実現します。

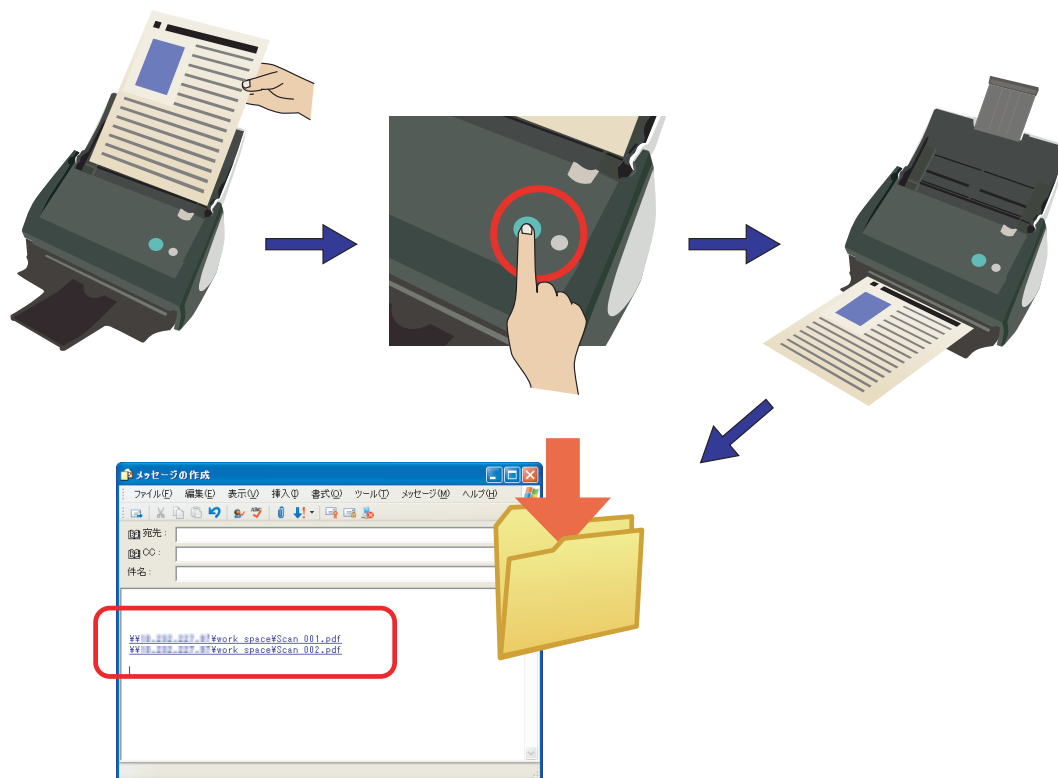
- ScanSnap で読み取った資料をみんなで共有化したい。
  - ⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、読み取ったデータを、ネットワーク上の共有フォルダに直接保存できます。また、保存先情報は、電子メールに自動的に記載させることができるので、簡単にお知らせできます。
- もうすぐ打ち合わせがあるので、手元にある紙の資料を電子メールで関係者に送りたい。
  - ⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、電子メールに添付して素早く送付できます。
- 資料をコピーしたいが、コピー機の所まで行くのが面倒だ。
  - ⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、プリンタを使って印刷できます。
- 紙文書の内容を引用したいが、入力するのが面倒だ。
  - ⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、読み取ったデータを文字認識し、Word 文書 / Excel 文書に変換できます。
- 楽2 ライブラリを使って、ScanSnap で読み取ったデータを管理したい。
  - ⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、楽2 ライブラリに直接保存できます。

以下に、具体的な使用方法について説明します。

## 5.2 指定したフォルダに保存する

ScanSnap で読み取ったイメージを、任意の共有フォルダに保存する方法について説明します。この機能を使えば、ネットワーク上の共有フォルダに ScanSnap で読み取ったファイルを保存して、情報共有を図れます。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、指定したフォルダに保存されます。さらに、保存先を関係者にお知らせするために、メールソフトを起動し電子メール本文に保存先情報を表示する機能もあります。



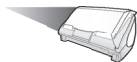


- メールソフトには、Microsoft® Internet Explorer の [ツール] メニューにある [インターネットオプション] の [プログラム] タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションが使用されます。  
設定されていない場合は、ご利用になるメールソフトを「電子メール:」に設定してください。(ここで設定できないメールソフトは、起動することができません。)  
なお、動作確認できているメールソフトは以下のとおりです。
  - ・ Microsoft® Windows® Mail (Windows Vista の場合)
  - ・ Microsoft® Outlook® 2003/2007
  - ・ Microsoft® Outlook Express 6
  - ・ Netscape Mail 7.1  
※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - ・ Becky! Internet Mail Ver.2.26
  - ・ Eudora version 7-J
  - ・ Thunderbird version 1.5.0.9  
※ Thunderbird を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - ・ WinBiff version 2.50 PL2  
※ Winbiff を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
- Microsoft® Internet Explorer の [ツール] メニューにある [インターネットオプション] の [プログラム] タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションであっても、正しく連携されないメールソフトがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。
- Windows XP(Professional、Home Edition) 環境で、連携メールとして Hotmail を使用した場合、メールの送信に失敗すると選択したファイルの拡張子が変わることが確認されています(拡張子に「^」が付いたものになります)。この現象は、Windows XP と Hotmail の組み合わせでのみ発生する問題で、エクスプローラ上からメール送信を行った場合でも発生します。Hotmail 以外の、対応が確認されているメールソフトを使用してください(2007年7月現在)。



## ■ クイックメニューモードの場合

操作



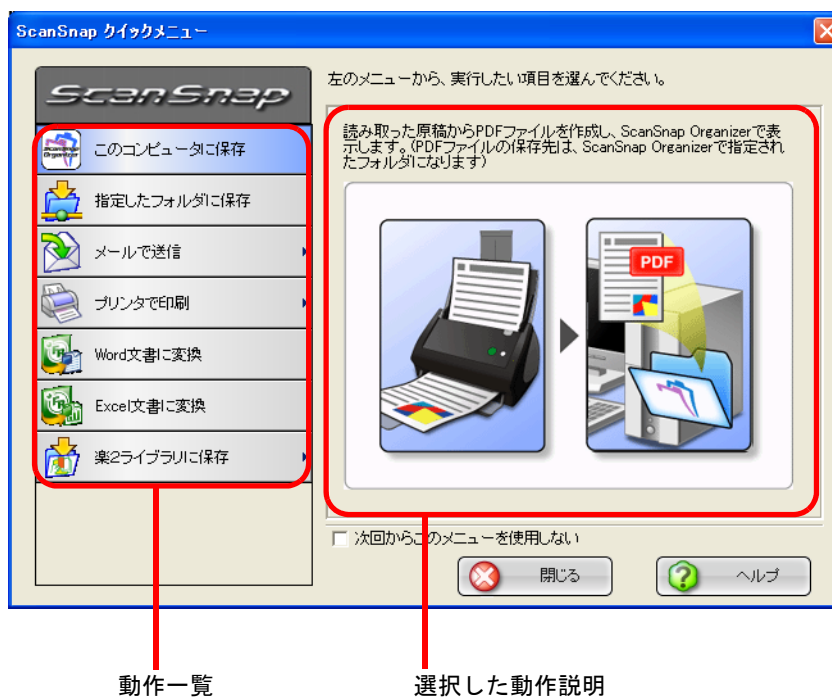
### 1. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 2. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



動作一覧

選択した動作説明

操作



### 3. 「指定したフォルダに保存」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒ 動作説明が、「指定したフォルダに保存」に関する説明に切り替わります。

#### 4. 「指定したフォルダに保存」をクリックします。



⇒プレビュー画面が表示されます。

## 5. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするような設定にすることもできます。



画像表示域

### 画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
以下のボタンで操作します。

⏪ : 先頭ページに戻ります。

◀ : 前ページに戻ります。

▶ : 次ページに進みます。

⏩ : 最終ページに進みます。

1/2 : 表示中のページ / 総ページ数を表示します。

🔍 : 画像を拡大します。

🔍 : 画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

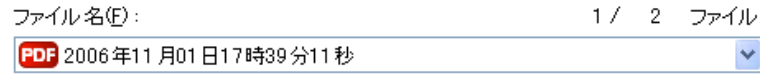
### ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

### ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。



ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。  
ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、▼ ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

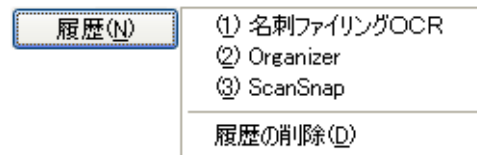
「ファイル名」の右側に、総ファイル数 (Y) と、現在何番目 (X) のファイル名が表示されているかが、「X/Y ファイル」という形で表示されます。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【連番を付ける】 ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「\_」+「連番」を追加します。連番には、1～6桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap\_001.pdf、Snap\_002.pdf、Snap\_003.pdf となります。

### 総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

### 保存先フォルダの指定

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。

### 保存先フォルダ表示域

現在選択されているフォルダのパス名が表示されます。

C:\Documents and Settings\yas\My Documents\My Pictures

ここで、保存先を入力して変更することができます。  
保存先は、ファイル名を含めて、全体が半角 220 文字以下になるように指定してください。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したフォルダの履歴が表示されます。(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に消去されていきます。)



この中から、任意のフォルダを指定すると、ファイルの保存先フォルダが変更されます。  
「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【参照】 ボタン

ファイルの保存先フォルダを指定します。

### 「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存した後に、メールソフトを起動し、保存先情報を記載した電子メールを表示します。

### 【保存】 ボタン

本画面の設定で、ファイルを保存します。

### 【キャンセル】 ボタン

本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

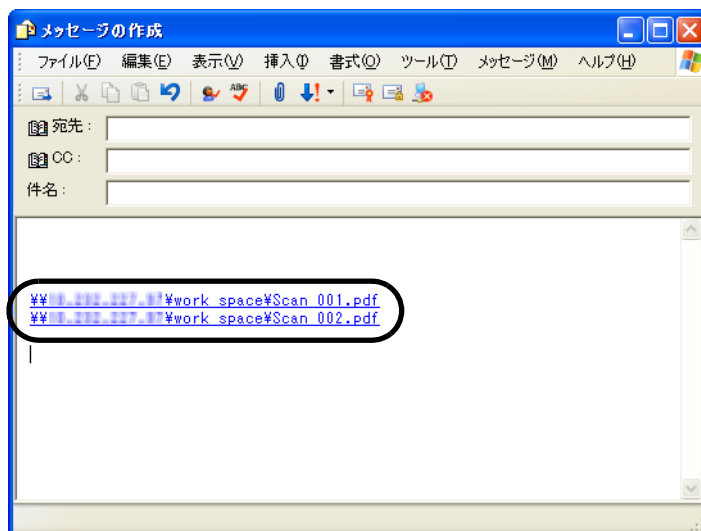
### 【ヘルプ】 ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

## 6. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

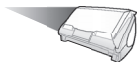
⇒ プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを入れた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報が電子メール本文に記載されます。




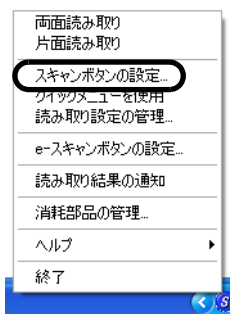
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ 左クリックメニューモードの場合

操作



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」で「指定したフォルダに保存」を選択します。



5

オンライン機能

### 3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。  
読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(107 ページ)を参照してください。

#### 操作



### 4. ScanSnap に原稿をセットします。

「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(58 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(62 ページ)を参照してください。

### 5. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。





## 6. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするような設定にすることもできます。



画像表示域

### 画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
以下のボタンで操作します。

: 先頭ページに戻ります。

: 前ページに戻ります。

: 次ページに進みます。

: 最終ページに進みます。

: 表示中のページ / 総ページ数を表示します。

: 画像を拡大します。

: 画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

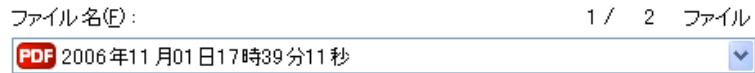
### ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

### ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。



ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。  
ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、▼ ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

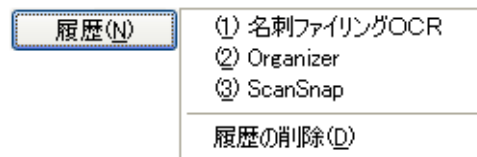
「ファイル名」の右側に、総ファイル数 (Y) と、現在何番目 (X) のファイル名が表示されているかが、「X / Y ファイル」という形で表示されます。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【連番を付ける】 ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「\_」+「連番」を追加します。連番には、1～6桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3 桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap\_001.pdf、Snap\_002.pdf、Snap\_003.pdf となります。

### 総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

## 保存先フォルダの指定

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。

### 保存先フォルダ表示域

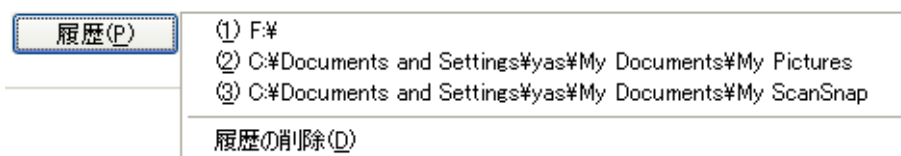
現在選択されているフォルダのパス名が表示されます。

C:\Documents and Settings\yas\My Documents\My Pictures

ここで、保存先を入力して変更することができます。  
保存先は、ファイル名を含めて、全体が半角 220 文字以下になるように指定してください。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したフォルダの履歴が表示されます。(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から、任意のフォルダを指定すると、ファイルの保存先フォルダが変更されます。  
「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【参照】 ボタン

ファイルの保存先フォルダを指定します。

### 「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存した後にメールソフトを起動し、保存先情報を記載した電子メールを表示します。

### 【保存】 ボタン

本画面の設定で、ファイルを保存します。

### 【キャンセル】 ボタン

処理がキャンセルされます。

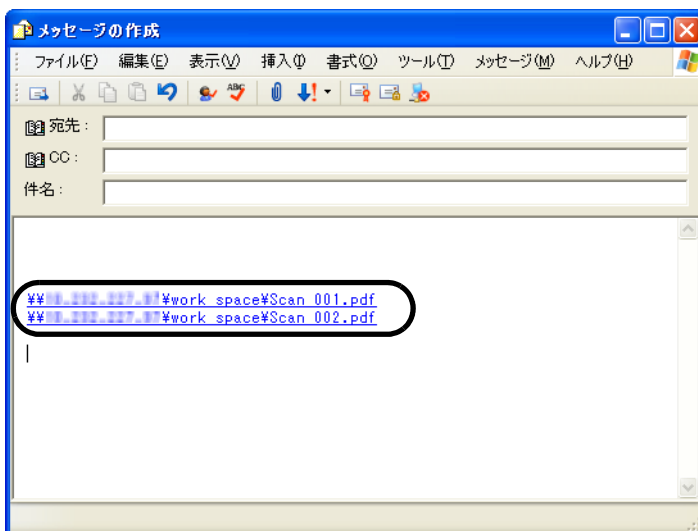
### 【ヘルプ】 ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

## 7. [保存] ボタンをクリックします。

⇒ ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

⇒ プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを入れた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報が電子メール本文に記載されます。

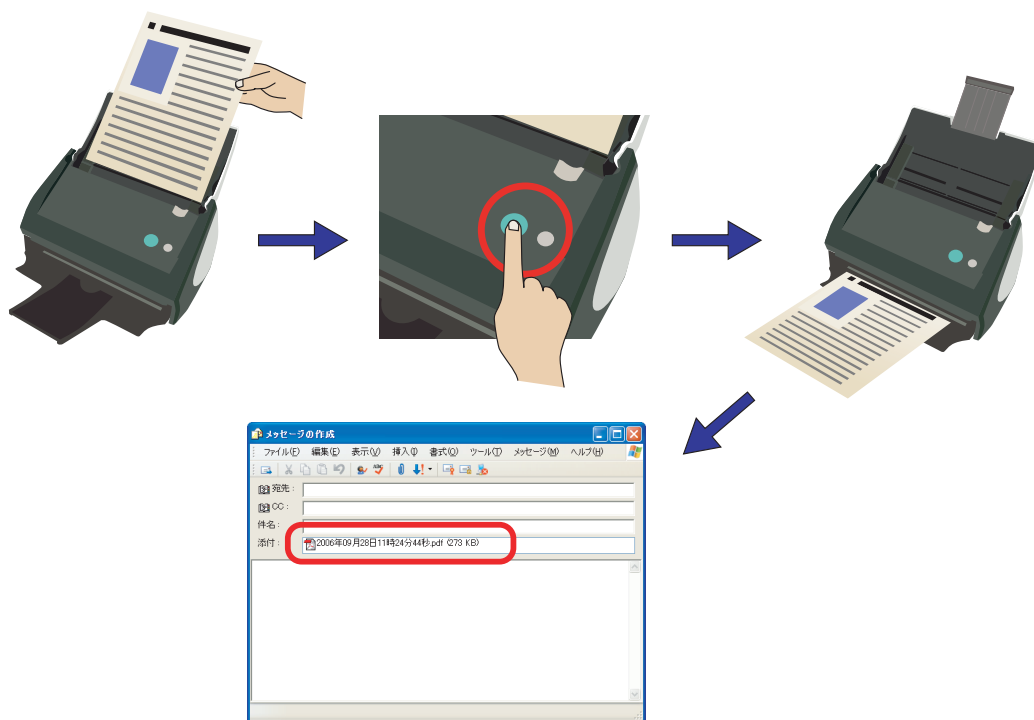


- プレビュー画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## 5.3 メールに添付して送信する

ScanSnap で読み取ったイメージを電子メールに添付して送付する方法について説明します。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、メールソフトが起動されて、電子メールに添付されます。

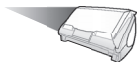




- メールソフトには、Microsoft® Internet Explorer の [ツール] メニューにある [インターネットオプション] の [プログラム] タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションが使用されます。  
設定されていない場合は、ご利用になるメールソフトを「電子メール:」に設定してください。(ここで設定できないメールソフトは、起動することができません。)  
なお、動作確認できているメールソフトは以下のとおりです。
  - ・ Microsoft® Windows® Mail (Windows Vista の場合)
  - ・ Microsoft® Outlook® 2003/2007
  - ・ Microsoft® Outlook Express 6
  - ・ Netscape Mail 7.1  
※ Netscape Mail を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - ・ Becky! Internet Mail Ver.2.26
  - ・ Eudora version 7-J
  - ・ Thunderbird version 1.5.0.9  
※ Thunderbird を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
  - ・ WinBiff version 2.50 PL2  
※ Winbiff を起動し、メールが送受信可能な状態で連携してください。
- Microsoft® Internet Explorer の [ツール] メニューにある [インターネットオプション] の [プログラム] タブにある「電子メール:」で設定されているアプリケーションであっても、正しく連携されないメールソフトがあります。正しく連携されない場合は、お使いのメールソフトの発売元にお問い合わせください。  
なお、メールソフトによっては、添付したファイルのサイズが、正しく表示されない場合がありますが、実際に添付したファイルには問題はありません。
- Windows XP (Professional、Home Edition) 環境で、連携メールとして Hotmail を使用した場合、メールの送信に失敗すると選択したファイルの拡張子が変わることが確認されています (拡張子に「^」が付いたものになります)。  
この現象は、Windows XP と Hotmail の組み合わせでのみ発生する問題で、エクスプローラ上からメール送信を行った場合でも発生します。  
Hotmail 以外の、対応が確認されているメールソフトを使用してください (2007 年 7 月現在)。

## ■ クイックメニューモードの場合

操作



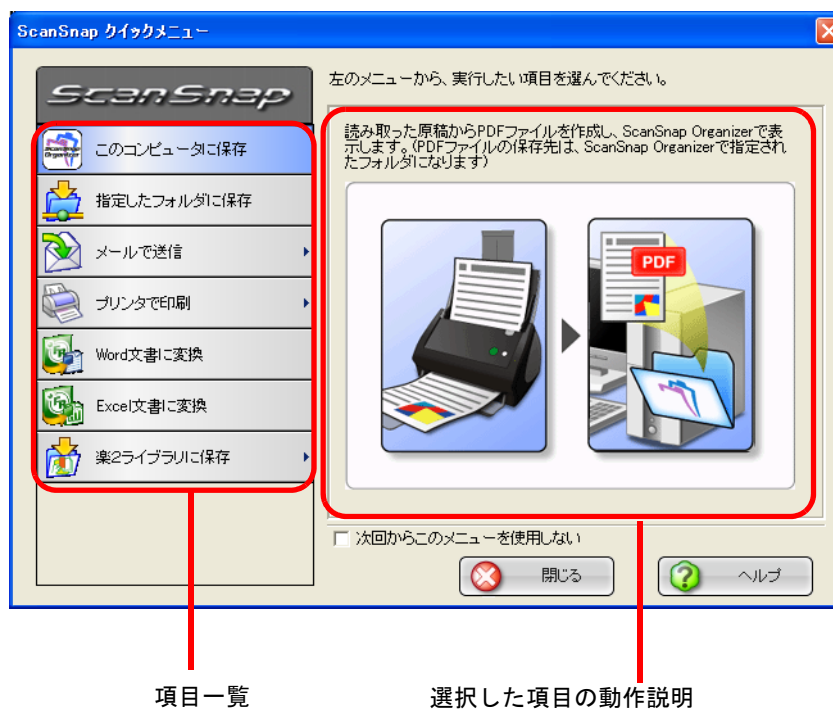
### 1. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 2. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。




操作



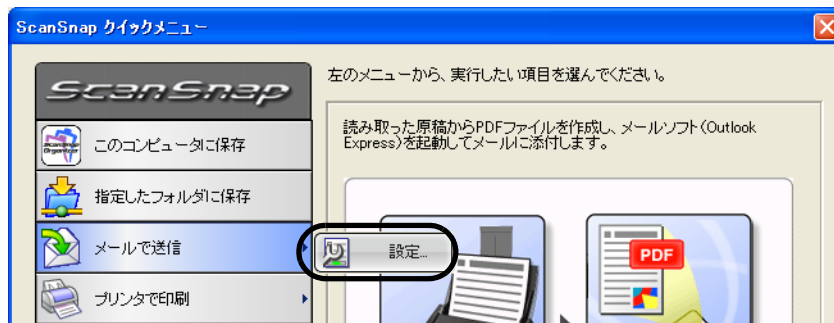
### 3. 「メールで送信」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒ 動作説明が、「メールで送信」に関する説明に切り替わります。

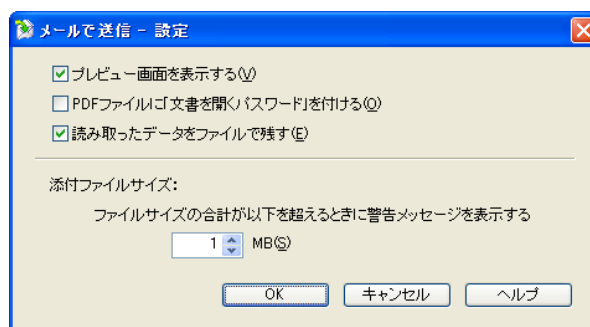
#### 4. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを

▶ の上に移動し、表示される「設定」ボタン  をクリックします。

(不要な場合は、操作6.に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

##### 「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取った後に、プレビュー画面を表示します。

読み取り結果を確認した上で、電子メールに添付することができます。

##### 「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。

この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

##### 「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

##### 添付ファイルサイズ

読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。

1 ~ 10MB まで指定できます。

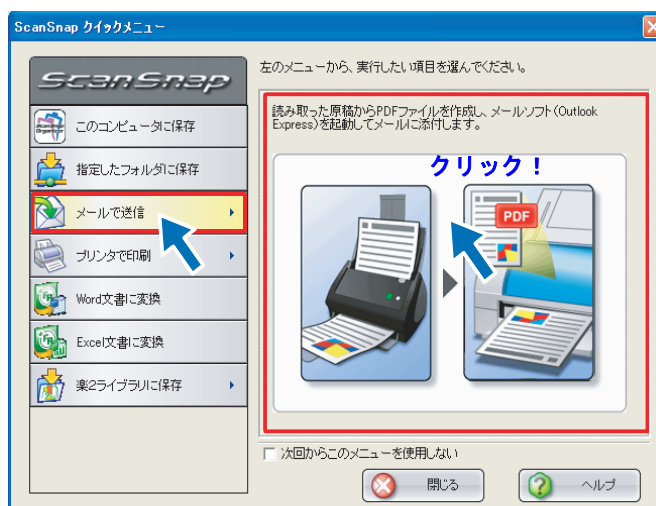


※ 警告メッセージが出ていても添付して送信は可能です。使用環境によりますが、添付ファイルのサイズは1～2 MB までを推奨します。

## 5. [OK] ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。



「設定」ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。この状態で、他の項目を選択したい場合は、「メールで送信 - 設定」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。



⇒ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

## 6. 「メールで送信」をクリックします。



⇒ プレビュー画面が表示されます。  
 (表示させない設定にすることもできます。)

## 7. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、ファイルを開く際のパスワードを付けるかどうかを指定したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定することもできます。



画像表示域

### 画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
 以下のボタンで操作します。

- ⏪ : 先頭ページに戻ります。
- ⏩ : 前ページに戻ります。
- ▶ : 次ページに進みます。
- ⏭ : 最終ページに進みます。
- 1/2 : 表示中のページ / 総ページ数を表示します。
- 🔍 : 画像を拡大します。
- 🔍 : 画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

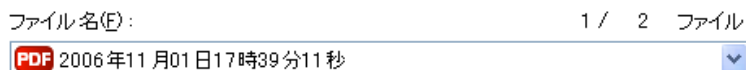
## ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

### ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。



ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、▼ ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

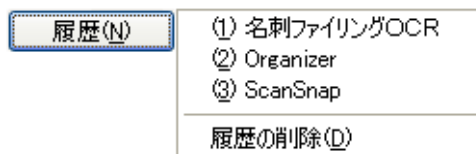
「ファイル名」の右側に、総ファイル数 (Y) と、現在何番目 (X) のファイル名が表示されているかが、「X/Y ファイル」という形で表示されます。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【連番を付ける】 ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「\_」+「連番」を追加します。連番には、1～6桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap\_001.pdf、Snap\_002.pdf、Snap\_003.pdf となります。

### 総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、この後にメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

### 「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。

この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

### 「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

### 「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。

操作 7. が省略されます。

### [メールに添付] ボタン

本画面の設定で、ファイルを電子メールに添付します。

### [キャンセル] ボタン

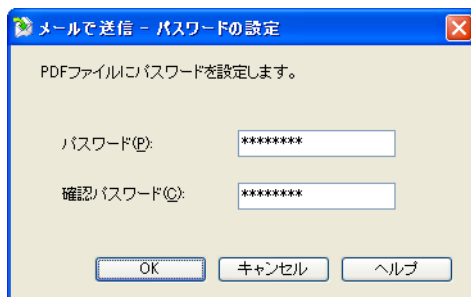
本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

### [ヘルプ] ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

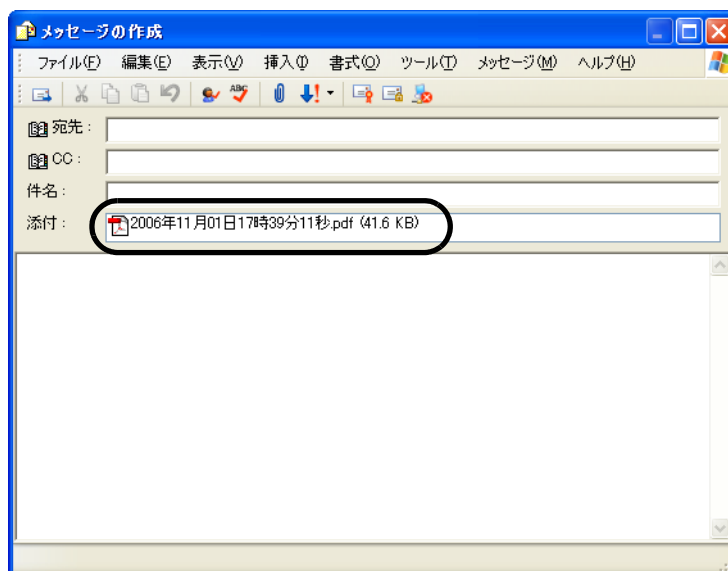
## 8. [メールに添付] ボタンをクリックします。

⇒プレビュー画面で、「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを入れた場合、ここで、パスワード入力画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

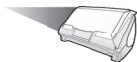
⇒メールソフトが起動し、電子メールにファイルが添付されます。




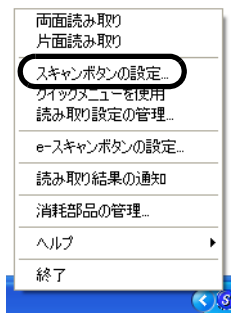
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、ScaSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してからプレビュー画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ 左クリックメニューモードの場合

操作



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定] を選択します。



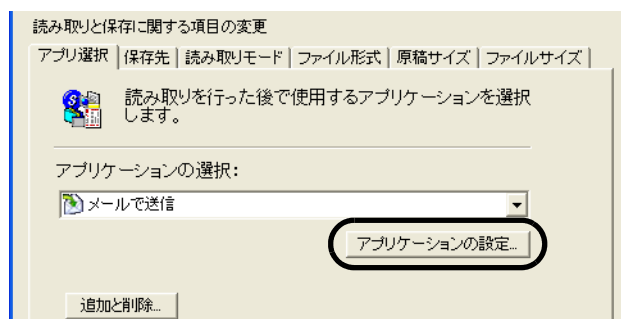
⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」で「メールで送信」を選択します。

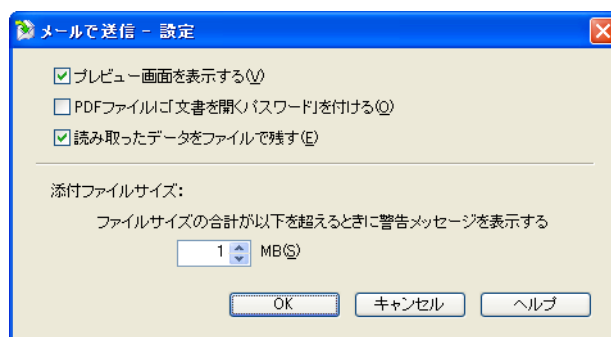


### 3. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックして変更します。

(不要な場合は、[操作 5](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

#### 「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取った後に、プレビュー画面を表示します。

読み取り結果を確認した上で、電子メールに添付することができます。

#### 「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。

この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

#### 「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

#### 添付ファイルサイズ

読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。

1 ～ 10MB まで指定できます。

※警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりますが、添付ファイルのサイズは 1 ～ 2 MB までを推奨します。

#### 4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が閉じます。

#### 5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

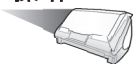


ヒント

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。

読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(107 ページ)を参照してください。

操作



#### 6. ScanSnap に原稿をセットします。

「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(58 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(62 ページ)を参照してください。

#### 7. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。

(表示させない設定にすることもできます。)





## 8. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、ファイルを開く際のパスワードを付けるかどうかを指定したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定することもできます。



画像表示域

### 画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
以下のボタンで操作します。

- : 先頭ページに戻ります。
- : 前ページに戻ります。
- : 次ページに進みます。
- : 最終ページに進みます。
- : 表示中のページ / 総ページ数を表示します。
- : 画像を拡大します。
- : 画像を縮小します。

画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

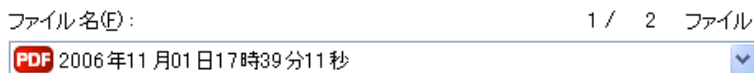
### ファイル名の指定

現在選択されているファイルのファイル名、ファイル数、ファイルサイズが表示されます。

ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

### ファイル名表示域

現在選択されているファイルの名前が表示されます。



ここで、直接ファイル名を入力して変更することができます。ファイル名は、最大 100 文字まで指定できます。

ファイルが複数ある場合は、▼ ボタンをクリックすると表示される一覧から選択して切り替えます。

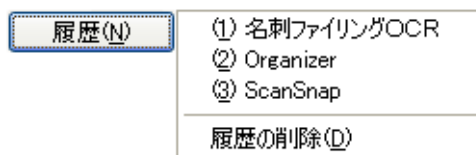
「ファイル名」の右側に、総ファイル数 (Y) と、現在何番目 (X) のファイル名が表示されているかが、「X/Y ファイル」という形で表示されます。

### 【履歴】 ボタン

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。

(「ファイル名の指定」でファイル名を変更しない場合は、履歴に追加されません。)

(最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加される度に、古いものから順に削除されていきます。)



この中から任意の名前を選択すると、ファイル名が同じ名前に変更されます。

「履歴の削除」を選択すると、現在表示されている履歴がすべて削除されます。

### 【連番を付ける】 ボタン

ファイルが複数ある場合、ファイル名の最後に「\_」+「連番」を追加します。連番には、1～6桁までの数字を指定できます。

この際、ファイル名は、現在選択されているファイル名に統一されます。

例) Scan.pdf、Snap.pdf、S510.pdf の 3 つのファイルがある場合に、「Snap.pdf」を選択した状態で、3桁の連番を指定すると、ファイル名は、Snap\_001.pdf、Snap\_002.pdf、Snap\_003.pdf となります。

### 総ファイルサイズ

ファイルのサイズを表示します。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが表示されます。

---

(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、この後にメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

#### 「PDF ファイルに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックス

PDF ファイルを電子メールに添付する際に、PDF ファイルに、ファイルを開くためのパスワードを付加します。

この機能を使用すると、電子メールに添付された PDF ファイルは、パスワードを入力しないと開けなくなるので、第三者に知られたくない重要な書類などを安全に送付することができます。

#### 「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

#### 「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。

操作 8. が省略されます。

#### [メールに添付] ボタン

本画面の設定で、ファイルを電子メールに添付します。

#### [キャンセル] ボタン

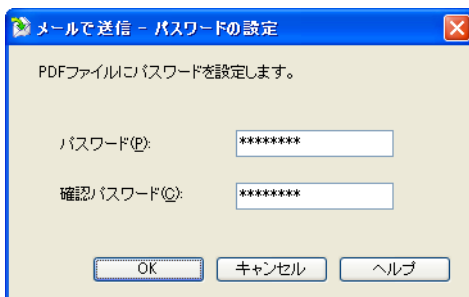
処理がキャンセルされます。

#### [ヘルプ] ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

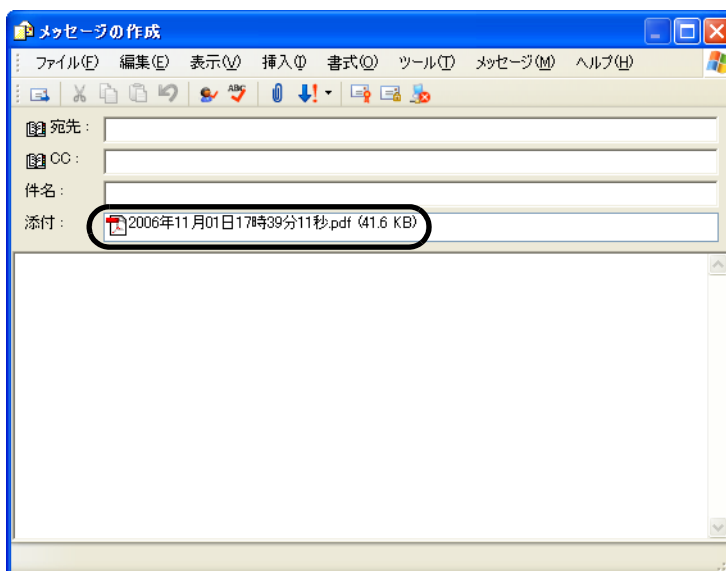
## 9. [メールに添付] ボタンをクリックします。

⇒プレビュー画面で、「PDF ファイルを添付するときに「文書を開くパスワード」を付ける」チェックボックスにチェックを入れた場合、ここで、パスワード入力画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

⇒ メールソフトが起動し、電子メールにファイルが添付されます。

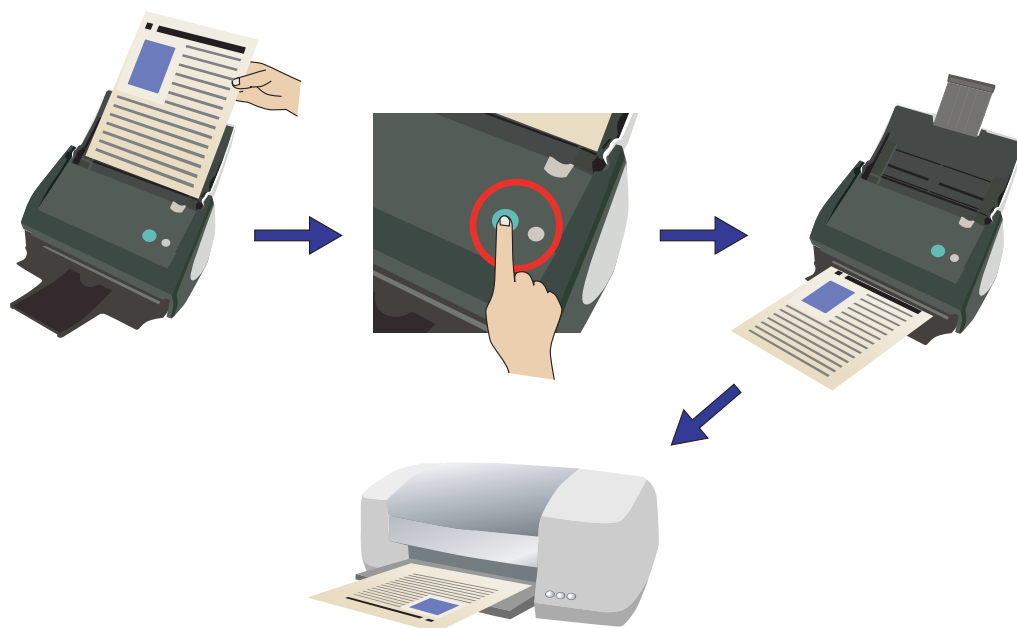


- プレビュー画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## 5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する

ScanSnap で読み取ったイメージをプリンタを使って印刷する方法について説明します。  
この機能を使えば、ScanSnap をコピー機代わりに使うことができます。

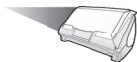
ScanSnap で原稿を読み取ると、読み取った結果がプリンタで印刷されます。



- 初期設定では、印刷には、Windows で「通常使うプリンタに設定」されているプリンタが使用されます。読み取り後に、プリンタを指定するように設定することもできます。
- 読み取り方法および原稿の状態によっては、印刷されるイメージに、原稿の端の影が線として表示される場合があります。

## ■ クイックメニューモードの場合

操作



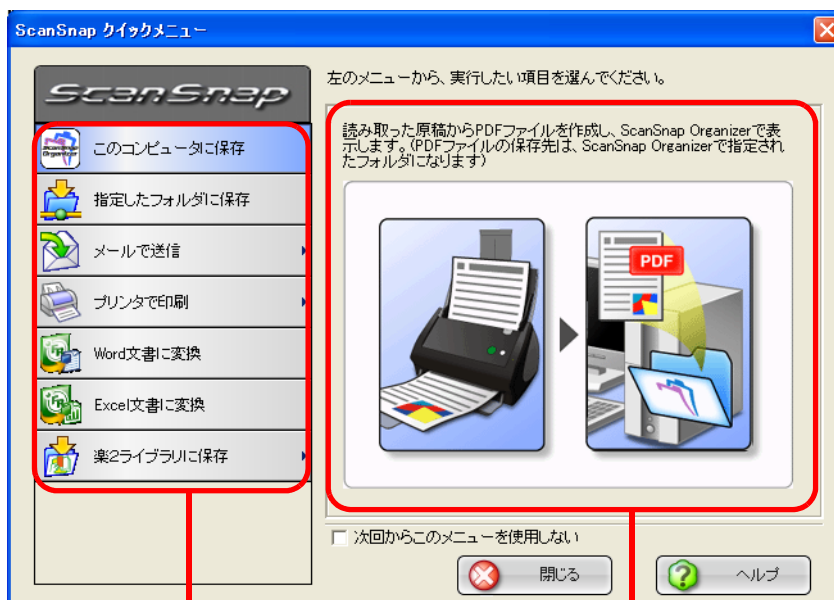
### 1. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 2. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



項目一覧

選択した項目の動作説明



### 3. 「プリンタで印刷」の上にマウスのポインタを移動します。

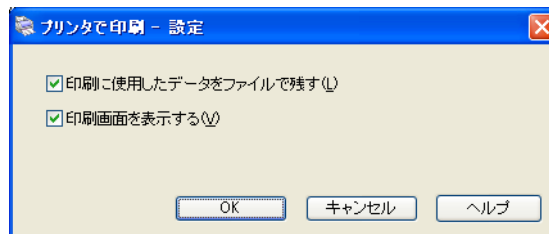
⇒ 動作説明が、「プリンタで印刷」に関する説明に切り替わります。

### 4. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを ▶ の上に移動し、表示される [設定] ボタン をクリックします。

(不要な場合は、[操作 6.](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

#### 「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

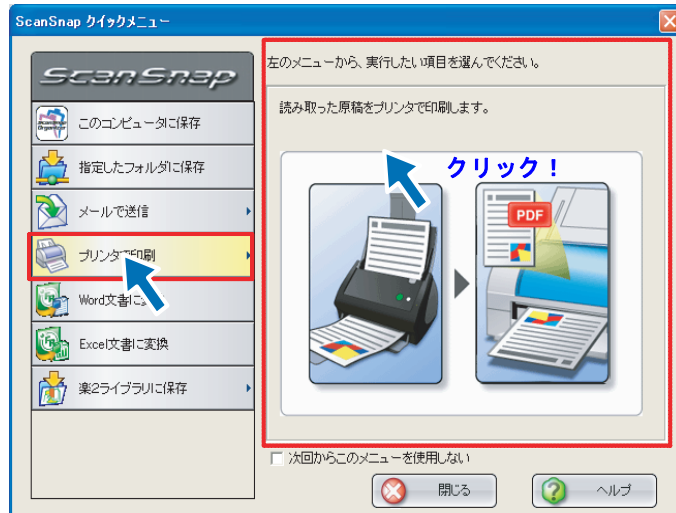
#### 「印刷画面を表示する」チェックボックス

印刷する前に、印刷設定画面を表示します。

## 5. [OK] ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。



「設定」ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。この状態で、他の項目を選択したい場合は、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。



⇒ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

## 6. 「プリンタで印刷」をクリックします。

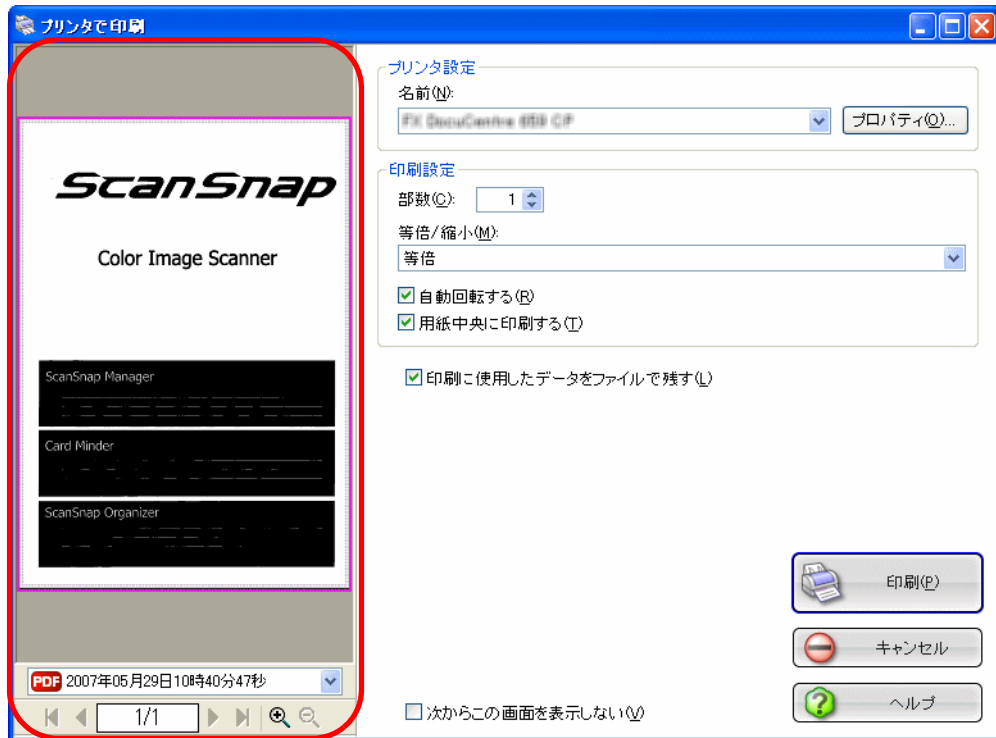




⇒「プリンタで印刷」画面が表示されます。

(操作4.で、「印刷画面を表示する」チェックボックスにチェックを入れなかった場合は、このまま印刷が実行されます。)

## 7. 印刷設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。



画像表示域

### 画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
印刷対象外の領域は、網掛けされて表示されます。

PDF 2007年05月15日10時38分59秒 :

読み取ったファイルの名前が表示されます。

⏪ : 先頭ページに戻ります。

⏩ : 前ページに戻ります。

▶ : 次ページに進みます。

⏭ : 最終ページに進みます。

1/2 : 表示中のページ / 総ページ数を表示します。  
ページを入力すると、指定のページに移動します。

🔍 : 表示中の画像を、既定の倍率で拡大または縮小します。  
画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

### プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを指定します。

#### 名前

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。

プリンタを変更する場合は、▼ボタンをクリックして、表示される一覧の中から使用するプリンタを選択します。

#### [プロパティ] ボタン

現在選択されているプリンタの設定画面が表示されます。

なお、このボタンをクリックして表示されるプリンタのオプションを変更する画面に、「プリンタで印刷」画面と同様の設定項目がある場合は、「プリンタで印刷」画面の設定内容が優先されます。

### 印刷設定

印刷様式を指定します。

#### 部数

印刷部数を指定します。1～99部まで指定可能です。

#### 等倍 / 縮小

印刷する画像について、そのままのサイズで印刷するか、出力用紙サイズに合わせて画像を縮小して印刷するかを選択します。

##### 出力用紙サイズに縮小する：

印刷する画像サイズが印刷用紙よりも大きい場合は、印刷用紙に合わせて縮小印刷します。印刷する画像サイズが印刷用紙よりも小さい場合は、等倍（実寸サイズ）で印刷します。

##### 等倍：

画像と同じサイズで印刷します。

#### 「自動回転する」チェックボックス

印刷する画像の縦横の比率に合わせて最適な方向に回転して印刷します。

#### 「用紙中央に印刷する」チェックボックス

画像を用紙の中央に印刷します。

#### 「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータをPDFファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

#### 「次からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、この画面を表示しません。操作 7. が省略されます。

#### [印刷] ボタン

本画面の設定で、印刷を実行します。

#### [キャンセル] ボタン

本画面で設定した内容がキャンセルされて、「ScanSnap クイックメニュー」で項目を選択する前の状態に戻ります。

#### [ヘルプ] ボタン

---

印刷画面に関するヘルプを表示します。

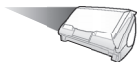
⇒ 印刷が実行されます。プリンタ設定




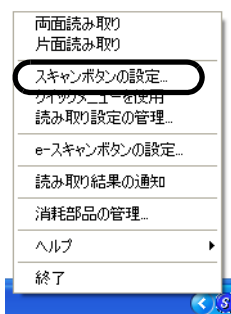
- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面が閉じるまでの間は、ScaSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面が閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ 左クリックメニューモードの場合

操作



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定] を選択します。



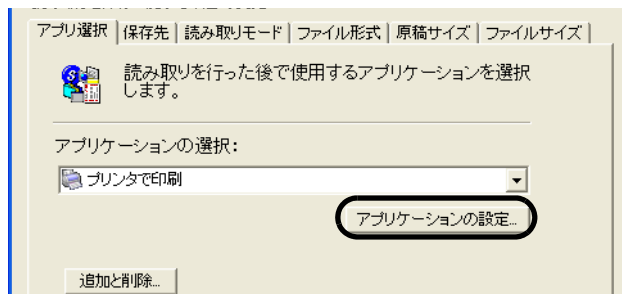
⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」で「プリンタで印刷」を選択します。

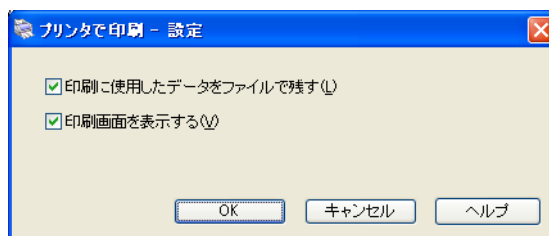


### 3. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックして変更します。

(不要な場合は、[操作 5.](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

#### 「印刷したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「[\[保存先\] タブ](#)」([89 ページ](#))で指定したフォルダに保存されます。

#### 「印刷画面を表示する」チェックボックス

印刷する前に、印刷設定画面を表示します。

### 4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「プリンタで印刷 - 設定」画面が閉じます。

### 5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



ヒント

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。  
読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」([107 ページ](#))を参照してください。

操作



## 6. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

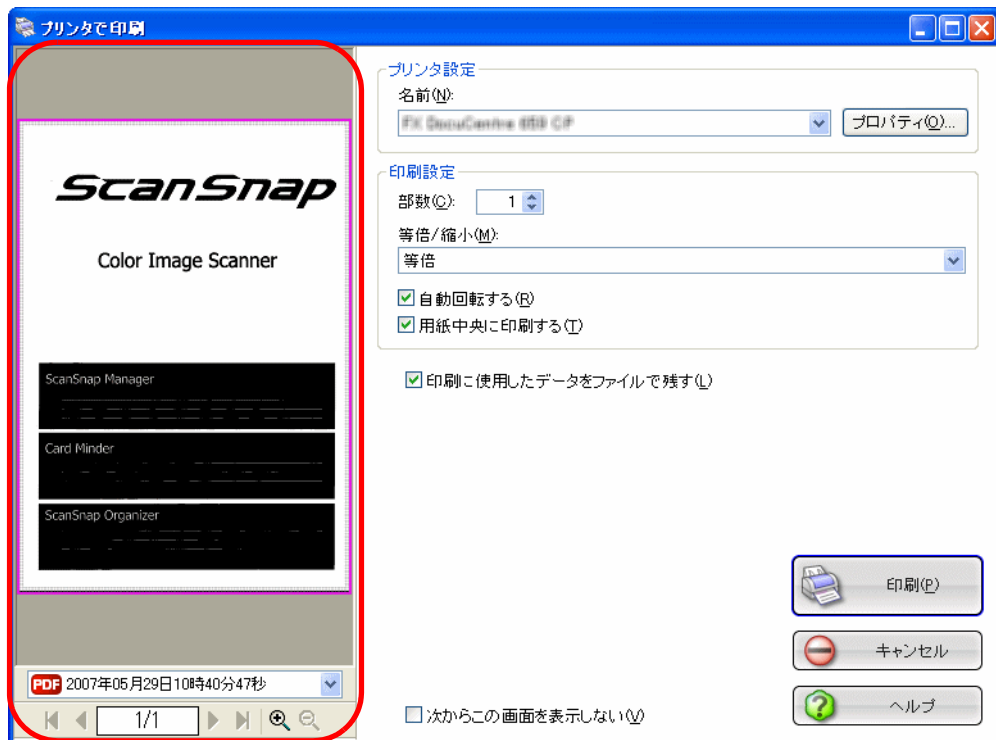
## 7. ([スキャン] ボタン) を押します。

- ⇒ 原稿の読み取りが開始されます。
- ⇒ 読み取りが完了したら、「プリンタで印刷」画面が表示されます。  
(表示させない設定にすることもできます。)

操作





## 8. 印刷設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。




画像表示域


## 画像表示域


現在選択されているファイルの画像が表示されます。  
印刷対象外の領域は、網掛けされて表示されます。


 2007年05月15日10時38分59秒  :

読み取ったファイルの名前が表示されます。



 : 先頭ページに戻ります。

 : 前ページに戻ります。

 : 次ページに進みます。

 : 最終ページに進みます。

: 表示中のページ / 総ページ数を表示します。  
ページを入力すると、指定のページに移動します。

  : 表示中の印刷プレビューの表示倍率を拡大または縮小します。  
表示倍率には、以下のモードがあります。

- ・ ウィンドウサイズに合わせる
- ・ 25% 表示
- ・ 50% 表示
- ・ 75% 表示
- ・ 100% 表示


画像を拡大表示中は、スクロールバーを使用するか、または画像上をドラッグすることによって、表示位置を移動することができます。

## プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを指定します。

### 名前

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。

プリンタを変更する場合は、 ボタンをクリックして、表示される一覧の中から使用するプリンタを選択します。

### [プロパティ] ボタン

現在選択されているプリンタの設定画面が表示されます。

なお、このボタンをクリックして表示されるプリンタのオプションを変更する画面に、「プリンタで印刷」画面と同様の設定項目がある場合は、「プリンタで印刷」画面の設定内容が優先されます。

## 印刷設定

印刷様式を指定します。

### 部数

印刷部数を指定します。1～99部まで指定可能です。

### 等倍 / 縮小

印刷する画像について、そのままのサイズで印刷するか、出力用紙サイズに合わせて画像を縮小して印刷するかを選択します。

#### 出力用紙サイズに縮小する：

印刷する画像サイズが印刷用紙よりも大きい場合は、印刷用紙に合わせて縮小印刷します。印刷する画像サイズが印刷用紙よりも小さい場合は、等倍（実寸サイズ）で印刷します。

#### 等倍：

画像と同じサイズで印刷します。

### 「自動回転する」チェックボックス

印刷する画像の縦横の比率に合わせて最適な方向に回転して印刷します。

### 「用紙中央に印刷する」チェックボックス

画像を用紙の中央に印刷します。

### 「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「読み取りと保存に関する設定」画面の「**[保存先]** タブ」(89 ページ) で指定したフォルダに保存されます。

### 「次からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、この画面を表示しません。  
操作 8. が省略されます。

### [印刷] ボタン

本画面の設定で、印刷を実行します。

### [キャンセル] ボタン

処理がキャンセルされます。

### [ヘルプ] ボタン

印刷画面に関するヘルプを表示します。

⇒ 印刷が実行されます。



まって！

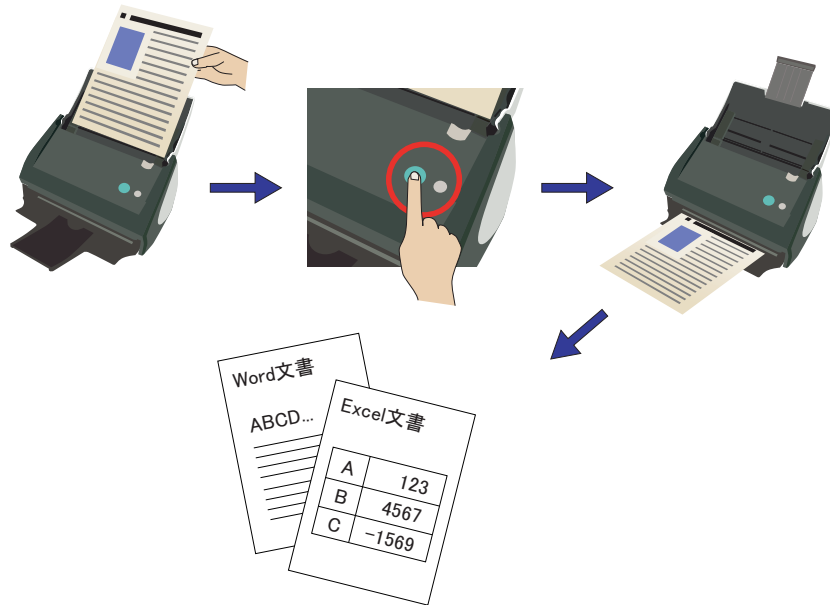
- 「プリンタで印刷」画面表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。「プリンタで印刷」画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- 「プリンタで印刷」画面表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



## 5.5 Word / Excel 文書に変換する

ScanSnap で読み取ったイメージを、OCR 処理（文字認識）して Word / Excel 文書に変換する方法について説明します。

本製品に添付されている ABBYY FineReader for ScanSnap の OCR 機能を使って、読み取ったイメージから文字情報部分を抽出し、文字に変換して、Word 文書または Excel 文書にして表示します。



まって!

- 本機能を使用するには、ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 がご使用のパソコンにインストールされている必要があります。
- 読み取った結果は、  
Microsoft® Word および Microsoft® Excel がインストールされている環境では、Microsoft® Word または Microsoft® Excel を起動して表示します。  
インストールされていない環境では、ファイルとして保存します。  
※ご使用のパソコンに、Microsoft® Word および Microsoft® Excel がインストールされていない場合、もしくはこれらのソフトウェアのユーザー登録が完了していない場合は、Word/Excel 文書に変換した結果を表示・確認することができません。ご使用のパソコンで、変換結果を表示・確認したいときは、これらのソフトウェアをインストールして、ユーザー登録を完了した上で、ご使用ください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap は、Microsoft® Word、Microsoft® Excel の以下のバージョンに対応しています。  
Microsoft® Word : 2000 / 2002 / 2003 / 2007  
Microsoft® Excel : 2000 / 2002 / 2003 / 2007
- Microsoft® Word および Microsoft® Excel での作業中に本機能を実行しないでください。また、本機能を実行中に Microsoft® Word および Microsoft® Excel を操作しないでください。これらの作業を同時に行うと「呼び出し先が呼び出しを拒否しました」などのメッセージが表示され、変換結果が表示されない場合があります。



ヒント

ABBYY FineReader for ScanSnap についての詳細は、『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』を参照してください。

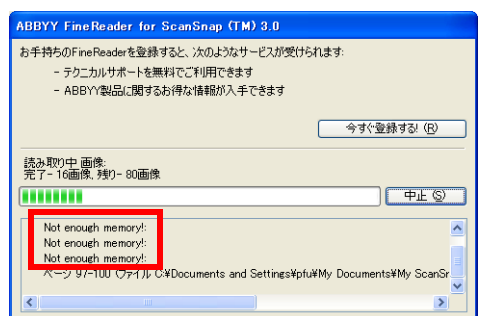


まって!

### ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について

- 文字変換機能には、以下のような特性がありますので、変換処理を行う前に、対象となる原稿を確認してください。
  - Word 文書への変換に適している原稿  
段落が1～2段組のレイアウトが単純な文書
  - Excel 文書への変換に適している原稿  
すべての罫線が表の外枠まで届いている単純な表
  - × Word 文書への変換に適していない原稿  
図／表／文書が入り混じったカタログ、雑誌、新聞のような、レイアウトが複雑な原稿
  - × Excel 文書への変換に適していない原稿  
罫線で仕切られていない表／間仕切りが多い複雑な表／表の中に表があるような入り組んだ表／図／グラフ／写真／縦書きの文章を含む原稿  
(図／グラフ／写真／縦書きの文章は再現されません。)
- 変換結果において、以下の情報は原稿通りに再現できない場合があります。Microsoft® Word および Microsoft® Excel を使用して、変換した結果をご確認して、必要な場合は編集するなどして、ご使用いただくことをご奨めします。
  - － 文字のサイズおよびフォント
  - － 文字間隔および行間隔
  - － 下線付き文字、ボールド文字（太字）、イタリック文字
  - － 上下添え字  
以下のような原稿（文字）は、正しく文字認識できない場合があります。  
このようなときは、カラー設定や解像度（画質）を上げることで認識できるようになる場合があります。
  - － 手書き文字を含んだ原稿
  - － 小さな文字（10ポイント未満）の原稿
  - － 傾いた原稿
  - － 指定された言語以外で書かれた原稿
  - － 文字の背景に不均一色の背景や模様がある原稿  
(影付き、白抜きなどの装飾が施された文字、網掛け内の文字)
  - － 複雑なレイアウトの原稿や、ノイズが多い原稿  
(このような原稿は、認識処理に非常に時間がかかる場合があります。)
- ABBYY FineReader for ScanSnap の文字変換機能は、ScanSnap で読み取って作成された PDF ファイルのみに使用できます。Adobe Acrobat やその他のソフトウェアで作成した PDF ファイルには使用できません。
- Excel 文書に変換する場合は、認識結果が 65536 行を超えると、それ以降の結果は出力されません。
- 原稿の向きを上下逆さま／横向きにすると、正しく変換できません。「原稿の向きを自動的に補正します」(96 ページ) を使用するか、原稿の向きを正しくセットして読み取ってください。

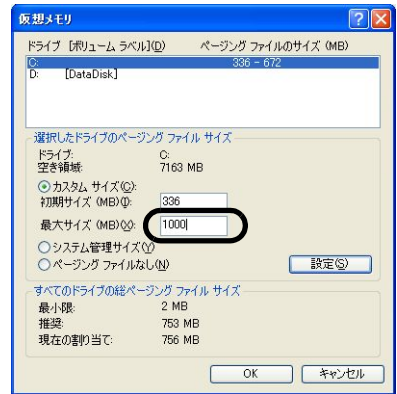
- 本機能は、推奨メモリ以上の環境でご使用ください。  
また、一度に大量のページを変換すると、メモリが不足して、メモリ不足を示すエラーメッセージが表示されるか、または「Not enough memory!」（メモリが不足しています!）という文字が変換中のインジケータ画面（下図）に表示されることがあります。



このような場合は、以下の手順で仮想メモリの設定を変更してください。

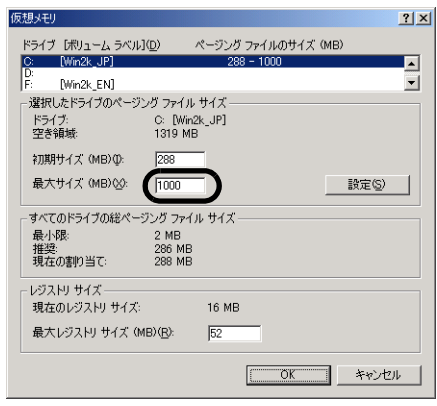
Windows XP の場合

1. [スタート] メニューから、[マイ コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面で、[詳細設定] タブ→「パフォーマンス」の [設定] ボタンをクリックします。
3. 「パフォーマンス オプション」画面で、[詳細設定] タブ→「仮想メモリ」の [変更] ボタンをクリックします。
4. 「仮想メモリ」画面の「選択したドライブのページング ファイル サイズ」で、「カスタム サイズ」を選択します。
5. 「最大サイズ (MB)」の値を**大きめに**設定します。
6. [設定] ボタンをクリックします。
7. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。



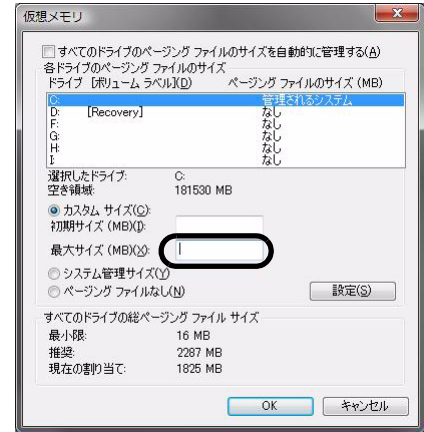
Windows 2000 の場合

1. デスクトップ上の、「マイ コンピュータ」アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
2. 「システムのプロパティ」画面で、[詳細] タブ→「パフォーマンス」の [パフォーマンス オプション] ボタンをクリックします。
3. 「パフォーマンス オプション」画面で、「仮想メモリ」の [変更] ボタンをクリックします。
4. 「仮想メモリ」画面の「選択したドライブのページング ファイル サイズ」で、「最大サイズ (MB)」の値を**大きめに**設定します。
5. [設定] ボタンをクリックします。
6. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。



### Windows Vista の場合

1. スタート] メニューから、[コンピュータ] を右クリックして、[プロパティ] を選択します。
2. 「システム」画面の左側で「システムの詳細設定」を選択します。
3. 「ユーザー アカウント制御」画面で [続行] ボタンをクリックします。
4. 「システムのプロパティ」画面で、[詳細設定] タブ→「パフォーマンス」の [設定] ボタンをクリックします。
5. 「パフォーマンス オプション」画面で、[詳細設定] タブ→「仮想メモリ」の [変更] ボタンをクリックします。
6. 「すべてのドライブのページング ファイルサイズを自動的に管理する」がチェックされている場合は、チェックを外します。
7. 「仮想メモリ」画面の「各ドライブのページング ファイルのサイズ」で、「カスタムサイズ」を選択します。
8. 「最大サイズ (MB)」の値を大きめに設定します。
9. [設定] ボタンをクリックします。
10. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

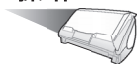


- 以上の方法で改善されない場合は、パソコンのメモリをさらに増設してください。



## ■ クイックメニューモードの場合

操作



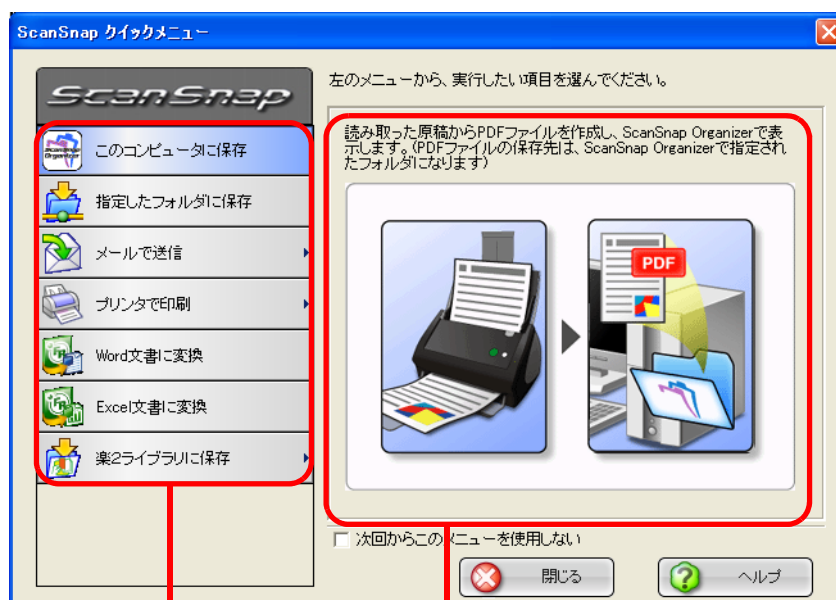
### 1. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 2. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



項目一覧

選択した項目の動作説明

5

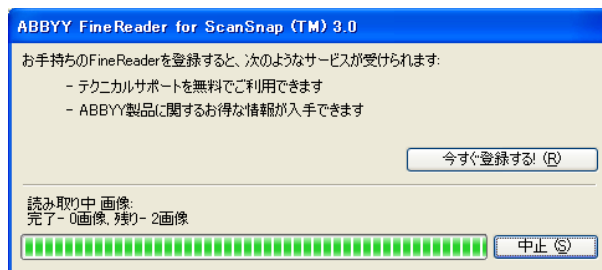
オンライン機能



### 3. 「Word 文書に変換」または、「Excel 文書に変換」をクリックします。



⇒ 以下の画面が表示され、変換が開始されます。



⇒ 変換が完了すると、Microsoft® Word または Microsoft® Excel が起動され、イメージが Word 文書または Excel 文書に変換されて表示されます。



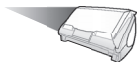
Microsoft® Word または Microsoft® Excel がインストールされていない環境では、ファイルとして保存します。  
Word 文書の場合は RTF 形式 (.rtf)、Excel 文書の場合は XLS 形式 (.xls) で保存されます。  
ファイルの保存先を確認する画面が表示されますので、ファイルの保存先フォルダを指定してください。



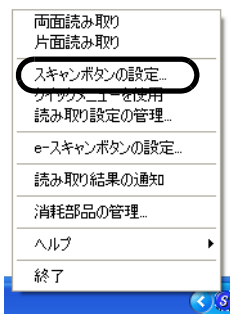
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じてから、次の読み取りを実行してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ 左クリックメニューモードの場合

操作

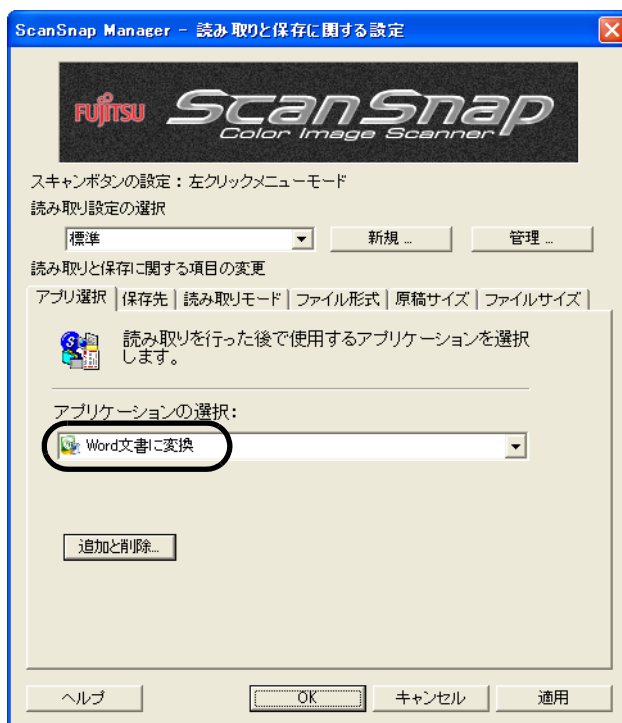


1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」で、Word 文書に変換したい場合は、「Word 文書に変換」を選択します。Excel 文書に変換したい場合は、「Excel 文書に変換」を選択します。



5

オンライン機能

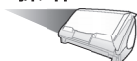
### 3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。  
読み取り設定の登録方法については、「4.3 読み取り設定を保存するには」(107 ページ)を参照してください。

操作



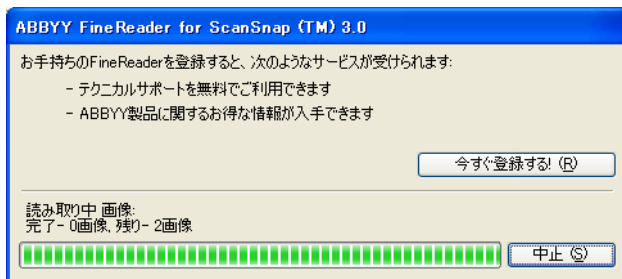
### 4. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ)を参照してください。

### 5. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒原稿の読み取りが開始されます。

⇒読み取りが完了すると、以下の画面が表示され、変換が開始されます。



⇒変換が完了すると、Microsoft® Word または Microsoft® Excel が起動され、イメージが Word 文書または Excel 文書に変換されて表示されます。



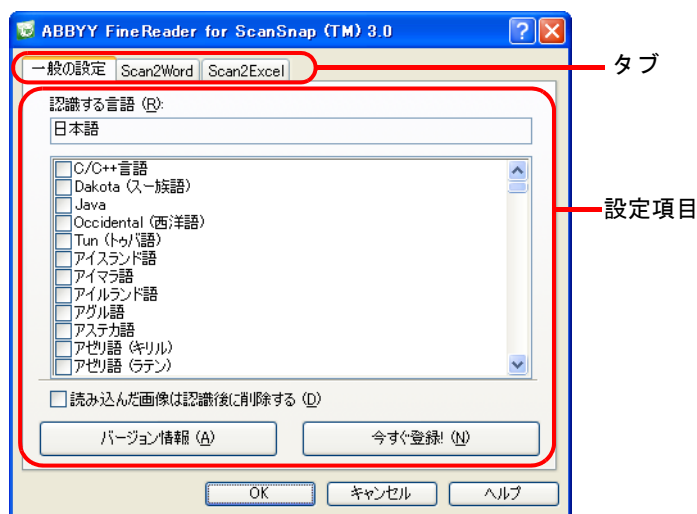
Microsoft® Word または Microsoft® Excel がインストールされていない環境では、ファイルとして保存します。  
Word 文書の場合は RTF 形式 (.rtf)、Excel 文書の場合は XLS 形式 (.xls) で保存されます。  
ファイルの保存先を確認する画面が表示されますので、ファイルの保存先フォルダを指定してください。



# ■ ABBYY FineReader for ScanSnap の設定 について

Word 文書 / Excel 文書に変換する際の設定は、ABBYY FineReader for ScanSnap の設定画面で変更することができます。

[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [ABBYY FineReader for ScanSnap(TM) 3.0] → [ABBYY FineReader for ScanSnap(TM) 3.0] の順に選択すると、以下の画面が表示されます。



この画面は、以下の3つのタブで構成されています。

- [一般の設定] タブ ⇒ 184 ページ
- [Scan2Word] タブ ⇒ 186 ページ
- [Scan2Excel] タブ ⇒ 187 ページ

● [一般の設定] タブ

ABBYY FineReader for ScanSnap 全般に関する設定を行います。

Word 文書 / Excel 文書に変換する際に使用する認識言語の設定や、元のイメージを残すかどうかの設定を変更したり、ABBYY FineReader for ScanSnap のバージョン確認、登録を行うことができます。



認識する言語

一覧表示の中から、文字認識に使用する言語を選択します。

ABBYY FineReader for ScanSnap は、一言語で書かれた文書だけでなく複数の言語（たとえば英語とフランス語）で書かれた文書も認識可能です。一覧表示されている言語の中から、認識する言語にチェックを入れます。



日本語を選択した場合は、複数の言語を選択することができません。



「読み込んだ画像は認識後に削除する」チェックボックス

Word 文書 / Excel 文書に変換後、ScanSnap で読み取って作成された PDF ファイルを、削除するかどうかを指定します。



- 通常、ScanSnap で原稿を読み取ると、読み取ったイメージから PDF ファイルが作成されます。ABBYY FineReader for ScanSnap は、このファイルに対して文字認識を行い、Word 文書 / Excel 文書に変換します。本チェックボックスのチェックを外しておくと、文字認識前の PDF ファイルも残しておくことができます。
- 読み取る原稿の状態や、読み取り設定によっては、誤って文字認識される場合があります。通常は、チェックを外しておくことをお奨めします。



[バージョン情報] ボタン

ABBYY FineReader for ScanSnap のバージョン情報が表示されます。

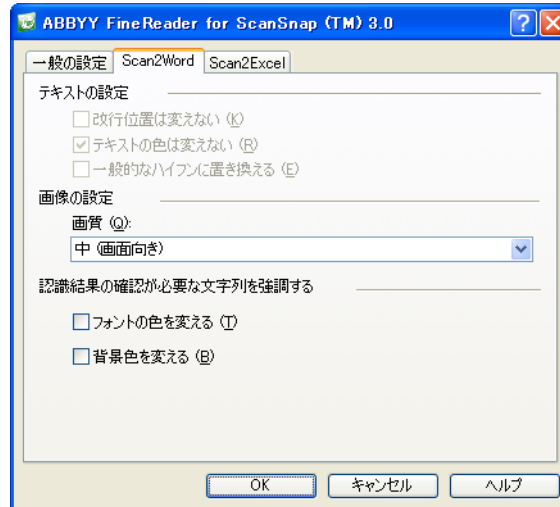
---

### [今すぐ登録!] ボタン

製品登録を行うためのダイアログボックスを開きます。

## ● [Scan2Word] タブ

Word 文書に変換する際の詳細設定を行います。



### 「改行位置は変えない」チェックボックス

もとの原稿の改行位置を保ったまま、Word 文書に変換します。  
認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

### 「テキストの色は変えない」チェックボックス

もとの原稿で使われている文字の色に合わせて、同じ色で出力されます。  
認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

### 「一般的なハイフンに置き換える」チェックボックス

もとの原稿で特殊なハイフンを使用している場合、通常のハイフン (-) に置き換えられます。  
認識する言語に日本語を選択した場合は、使用しません。

### 画質

文字情報以外の画像部分について、画質を以下から選びます。

高： 変換した文書を印刷したい場合に最適です。

中： 変換した文書をパソコンの画面上で見る場合に最適です（初期設定）。

低： 変換した文書を Web に掲載する場合に最適です。

### 「フォントの色を変える」チェックボックス

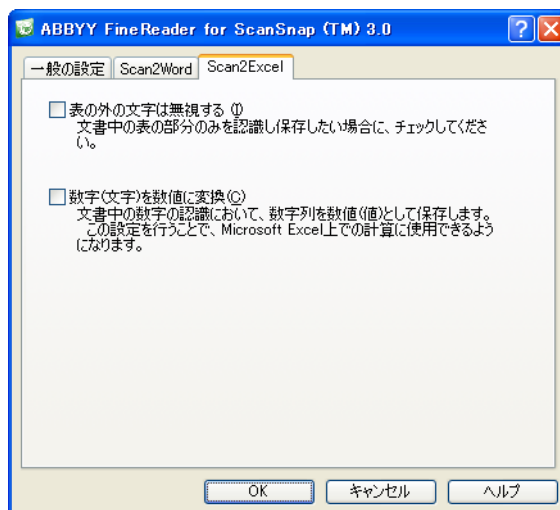
認識結果が不正確な場合に、文字列に色を付けます。

### 「背景色を変える」チェックボックス

認識結果が不正確な場合に、文字列の背景に色を付けます。

## ● [Scan2Excel] タブ

Excel 文書に変換する際の詳細設定を行います。



### 「表の外の文字は無視する」チェックボックス

もとの原稿の表以外の部分を取り除き、表の部分のみ Excel 文書に変換します。

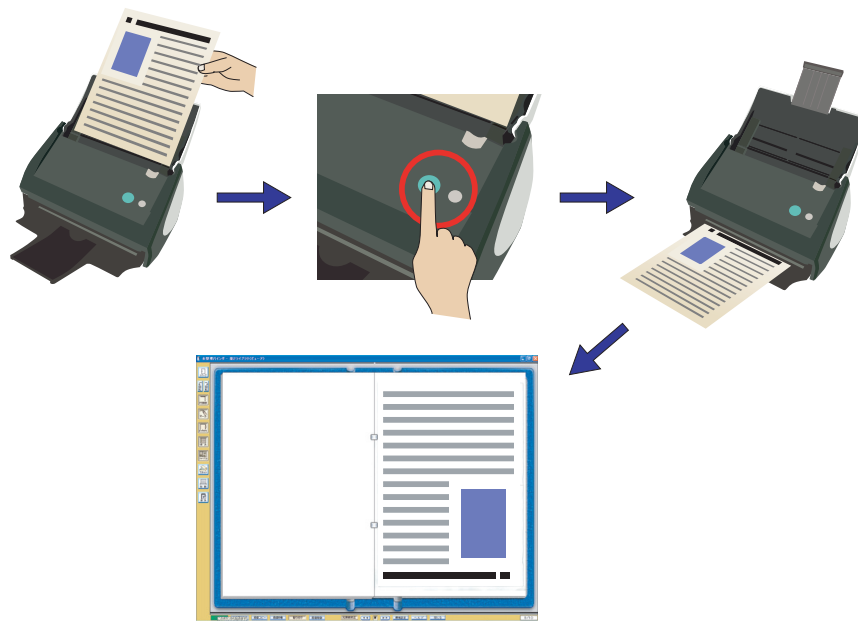
### 「数字 (文字) を数値に変換する」チェックボックス

文字列中に数字がある場合に、Excel 文書上で「数値」形式にします。

## 5.6 楽2ライブラリと連携する

ScanSnap で読み取ったイメージを、楽2ライブラリ（別売）のバインダに保存する方法について説明します。

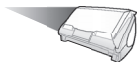
ScanSnap で原稿を読み取ると、PDF ファイルが作成され、楽2ライブラリの「作業デスク」または指定したバインダに保存されます。



- 本機能を使用するには、楽2ライブラリ（別売）V4.0 以降が必要です。  
楽2ライブラリは、紙文書や電子文書を PDF ファイルにして、パソコン上で管理するためのソフトウェアです。紙文書をバインダに託して本棚に保管するような感覚で管理し、本のようにページをめくる感覚で文書を閲覧することができます。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。  
<http://www.pfu.fujitsu.com/products/raku2library/>
- ScanSnap で読み取ったイメージを楽2ライブラリに保存する場合、ScanSnap Manager の以下の設定が無効になります。
  - － 読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます（99 ページ）
  - － 読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます（100 ページ）
  - － 読み取り後、ファイル名を変更します（91 ページ）
  - － カラー高圧縮（93 ページ）
- 楽2ライブラリの使い方については、『楽2ライブラリ ユーザーズガイド』を参照してください。

## ■ クイックメニューモードの場合

操作



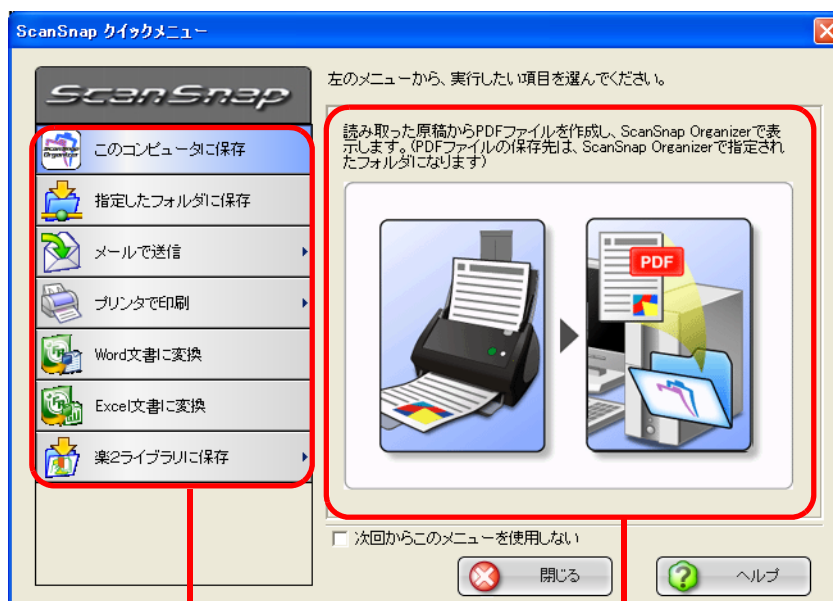
### 1. ScanSnap に原稿をセットします。

「3.2 読み取りできる原稿」(58 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参照してください。

### 2. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



項目一覧

選択した項目の動作説明


5

オンライン機能



**3. 「楽2ライブラリに保存」の上にマウスのポインタを移動します。**

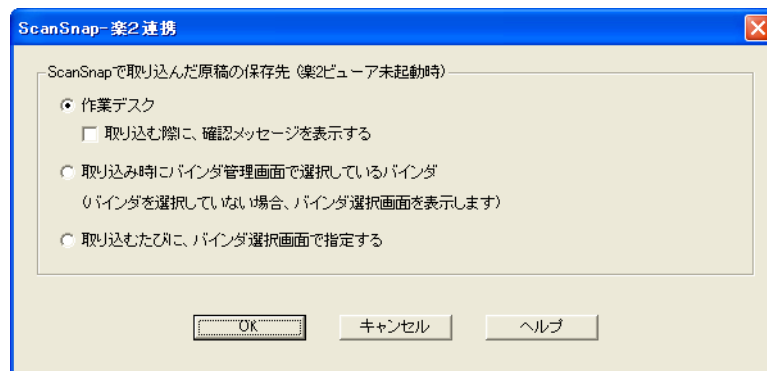
⇒ 動作説明が、「楽2ライブラリに保存」に関する説明に切り替わります。

**4. 「楽2ライブラリに保存」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを ▶ の上に移動し、表示される [設定] ボタン  をクリックします。**

(不要な場合は、[操作 6.](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「楽2ライブラリに保存」を選択した際の、イメージの保存先を指定します。

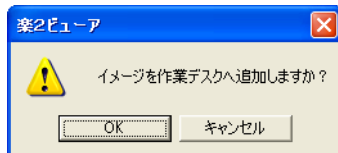


## 作業デスク

読み取ったイメージを、楽2ライブラリの「作業デスク」に保存します。

### 「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス

「作業デスク」に保存する際に、確認画面を表示します。



[OK] ボタン： 「作業デスク」に保存します。

「キャンセル」ボタン： 保存処理を中止します。

### 取り込み時にバイнда管理画面で選択しているバイнда

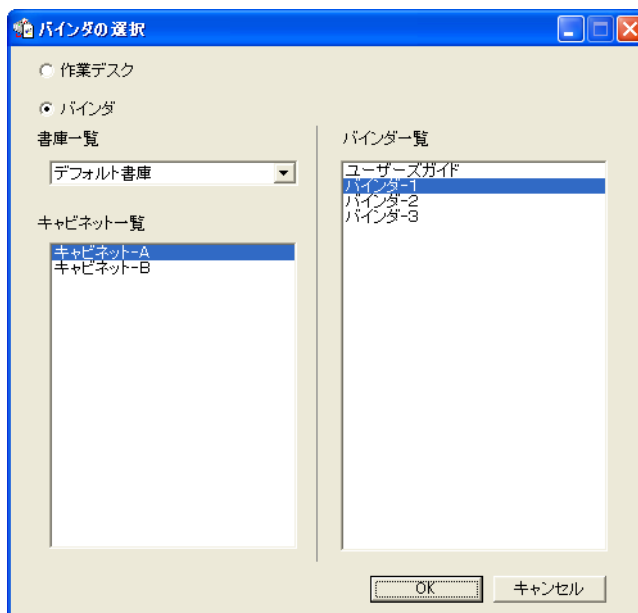
読み取ったイメージを、楽2ライブラリのバイнда管理画面で選択されているバイндаに保存します。

### 取り込むたびに、バイндаの選択画面で指定する

「楽2ライブラリに保存」を実行するたびに、「バイндаの選択」の画面が表示されます。

この画面で、保存先となるバイндаを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、指定したバイндаに読み取ったイメージが保存されます。

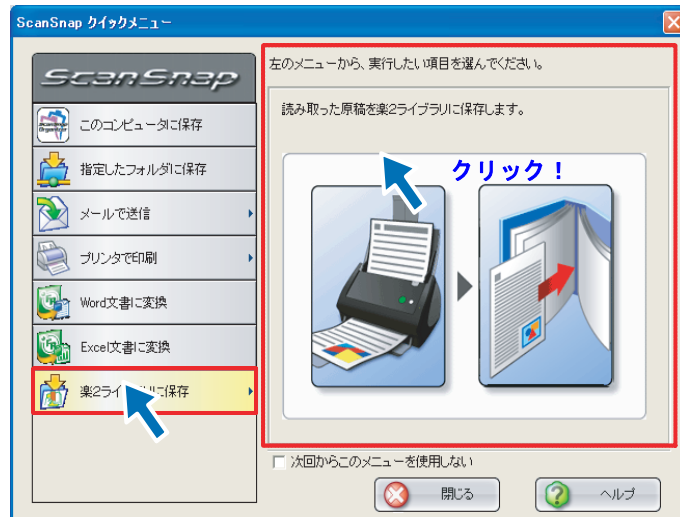
[キャンセル] ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。



## 5. [OK] ボタンをクリックして、「ScanSnap- 楽2連携」画面を閉じます。



「設定」ボタンをクリックすると、選択されている項目の色が黄色に変わり、選択項目がロックされて他の項目を選択できなくなります。この状態で、他の項目を選択したい場合は、「ScanSnap- 楽2連携」画面を閉じた後、一旦画面のボタン以外の任意の場所をクリックするか、選択中の項目の上にマウスのポインタを移動してください。



⇒ ロックが解除されて、選択されている項目の色が青色に戻り、他の項目が選択できるようになります。

## 6. 「楽2ライブラリに保存」をクリックします。





ヒント

楽2ライブラリ（別売）がインストールされていない場合は表示されません。  
また、本機能を使用するには、楽2ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

⇒ **操作4.** の設定に従って、イメージが「作業デスク」または指定したバインダに保存  
されます。

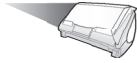


まって！

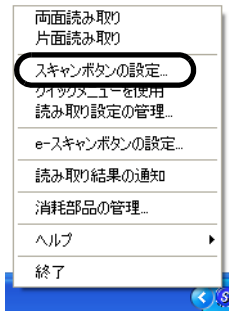
- クイックメニュー表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。クイックメニューを閉じてから、次の読み取りを実行してください。
- クイックメニュー表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

## ■ 左クリックメニューモードの場合

操作



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして表示されるメニューで、[スキャンボタンの設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」で「楽2ライブラリ」を選択します。

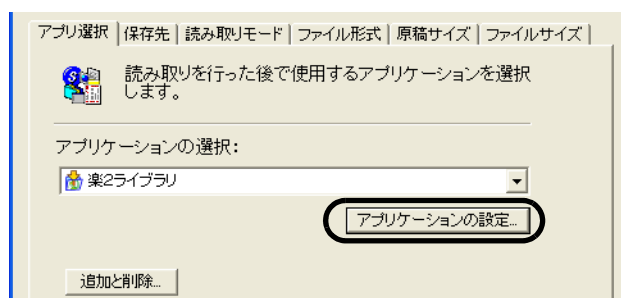




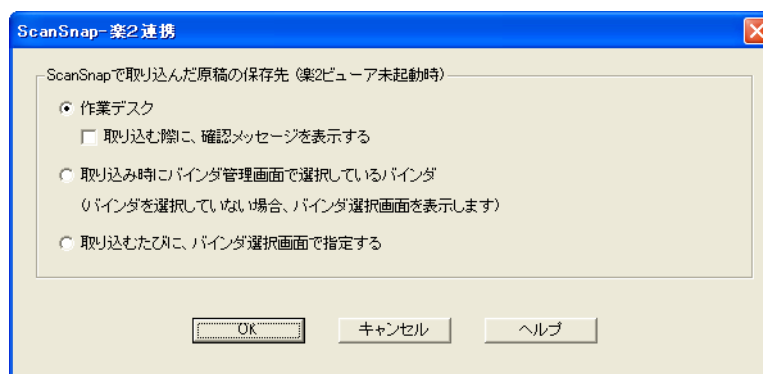
楽2ライブラリ（別売）がインストールされていない場合は表示されません。  
また、本機能を使用するには、楽2ライブラリ V4.0 以降が必要となります。

### 3. 「楽2ライブラリ」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックして変更します。

(不要な場合は、[操作 5](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



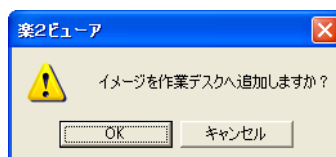
ここでは、読み取ったイメージの保存先を指定します。

#### 作業デスク

読み取ったイメージを、楽2ライブラリの「作業デスク」に保存します。

#### 「取り込む際に、確認メッセージを表示する」チェックボックス

「作業デスク」に保存する際に、確認画面を表示します。



[OK] ボタン: 「作業デスク」に保存します。

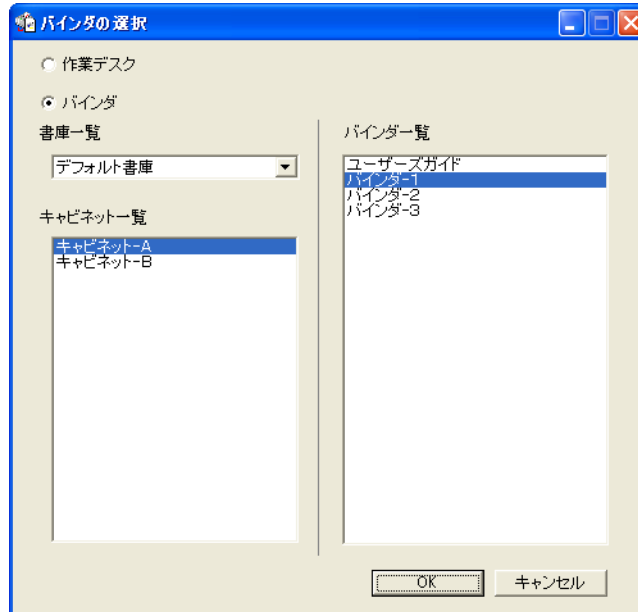
「キャンセル」ボタン: 保存処理を中止します。

### 取り込み時にバインダ管理画面で選択しているバインダ

読み取ったイメージを、楽2ライブラリのバインダ管理画面で選択されているバインダに保存します。

### 取り込むたびに、バインダの選択画面で指定する

読み取りが完了するたびに、「バインダの選択」の画面が表示されます。この画面で、保存先となるバインダを指定し、[OK] ボタンをクリックすると、指定したバインダに読み取ったイメージが保存されます。[キャンセル] ボタンをクリックすると、保存処理を中止します。



## 4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap- 楽2 連携」画面が閉じます。

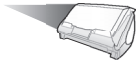
## 5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



ヒント

この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。  
読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(107 ページ)を参照してください。



## 6. ScanSnap に原稿をセットします。

「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(58 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(62 ページ) を参照してください。

## 7. ([スキャン] ボタン) を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「楽2ライブラリ」が起動され、イメージが指定した場所に保存されます。





## 第6章



# ScanSnap のいろいろな使い方



この章では、ScanSnap の便利な使い方について説明しています。

---

6.1	ScanSnap Manager を使う .....	200
6.2	Adobe Acrobat を使う .....	233
6.3	PFU タイムスタンプを使う .....	238
6.4	名刺ファイリング OCR を使う .....	256
6.5	ScanSnap Organizer を使う .....	265

---

## 6.1 ScanSnap Manager を使う

ScanSnap は、購入時の状態で、そのまま、[スキャン] ボタン  または [e- スキャン] ボタン  を押すだけでご使用いただけるように、もっとも一般的な使用状況を考慮して初期設定を行っています。(下表)  
 また、特定の読み取りに対して、手動で設定を変更することもできます。  
 ここでは、特定の条件で読み取る方法や、読み取った画像を加工する方法について、代表的な例を上げて説明します。

【スキャン】 ボタン (クイックメニューモード時) の初期設定

読み取りと保存に関する設定項目	【スキャン】 ボタン初期値
アプリケーションの選択	— (読み取り後に指定)
イメージの保存先	[マイドキュメント] 下の [マイ ピクチャ] フォルダ (Windows Vista の場合は、[ピクチャ] フォルダ)
ファイル名	日付を使用 (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)
読み取り後、ファイル名を変更する	—
画質の選択	ノーマル (高速に読み取ります)
カラーモードの選択	自動 (原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します)
読み取り面の選択	両面読み取り
継続読み取りを有効にします	無効
読み取りモードオプション	
白黒読み取りの濃度	標準
文字をくっきりします	無効
白紙ページを自動的に削除します	有効
文字列の傾きを自動的に補正します	無効
原稿の向きを自動的に補正します	有効
原稿を上向きにしてセットします	インストール時の設定による
ファイル形式の選択	— (PDF ファイルのみ)
テキスト認識して検索可能な PDF にする	無効
ファイル形式オプション	
PDF ファイルオプション	すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします
読み取った PDF にパスワードを付けます	—
固定パスワードを使用します	—
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます	—
原稿サイズの選択	サイズ自動検出

【スキャン】ボタン（クイックメニューモード時）の初期設定

読み取りと保存に関する設定項目	【スキャン】ボタン初期値
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	無効
A3 キャリアシート設定	
実行モード	見開き画像を出力します
出力画像サイズ	サイズ自動選択
ファイルサイズ	
圧縮率	3

【スキャン】ボタン（左クリックメニューモード時）の初期設定

読み取りと保存に関する設定項目	【スキャン】ボタン初期値
アプリケーションの選択	ScanSnap Organizer
イメージの保存先	[マイドキュメント] 下の [My ScanSnap] フォルダ (Windows Vista の場合は、[ドキュメント] 下の [ScanSnap] フォルダ)
ファイル名	日付を使用 (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)
読み取り後、ファイル名を変更する	無効
画質の選択	ノーマル（高速に読み取ります）
カラーモードの選択	自動（原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します）
読み取り面の選択	両面読み取り
継続読み取りを有効にします	無効
読み取りモードオプション	
白黒読み取りの濃度	標準
文字をくっきりします	無効
白紙ページを自動的に削除します	有効
文字列の傾きを自動的に補正します	無効
原稿の向きを自動的に補正します	有効
原稿を上向きにしてセットします	インストール時の設定による
ファイル形式の選択	PDF (*.pdf)
テキスト認識して検索可能な PDF にする	無効
ファイル形式オプション	
PDF ファイルオプション	すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします
読み取った PDF にパスワードを付けます	無効
固定パスワードを使用します	無効
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます	無効
原稿サイズの選択	サイズ自動検出
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	無効
A3 キャリアシート設定	

[スキャン] ボタン (左クリックメニューモード時) の初期設定

読み取りと保存に関する設定項目		[スキャン] ボタン初期値
実行モード		見開き画像を出力します
出力画像サイズ		サイズ自動選択
ファイルサイズ		
圧縮率		3

[e-スキャン] ボタンの初期設定

読み取りと保存に関する設定項目		[e-スキャン] ボタン初期値
アプリケーションの選択		ScanSnap Organizer
イメージの保存先		[マイドキュメント] 下の [My ScanSnap] フォルダ (Windows Vista の場合は、[ドキュメント] 下の [ScanSnap] フォルダ)
ファイル名		日付を使用 (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)
読み取り後、ファイル名を変更する		無効
画質の選択		ファイン (綺麗に読み取ります)
カラーモードの選択		— (カラーのみ)
読み取り面の選択		両面読み取り
継続読み取りを有効にします		無効
読み取りモードオプション		
白黒読み取りの濃度		—
文字をくっきりします		—
白紙ページを自動的に削除します		有効
文字列の傾きを自動的に補正します		無効
原稿の向きを自動的に補正します		有効
原稿を上向きにしてセットします		インストール時の設定による
ファイル形式の選択		PDF (*.pdf)
テキスト認識して検索可能な PDF にする		無効
ファイル形式オプション		
PDF ファイルオプション		すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします
読み取った PDF にパスワードを付けます		無効
固定パスワードを使用します		無効
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます		無効
原稿サイズの選択		サイズ自動検出
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります		無効
A3 キャリアシート設定		
実行モード		— (表裏の画面をそれぞれ出力します)
出力画像サイズ		— (常に 220 x 306mm のサイズで出力)

### [e-スキャン] ボタンの初期設定



読み取りと保存に関する設定項目	[e-スキャン] ボタン初期値
ファイルサイズ	
圧縮率	— (2)



ヒント

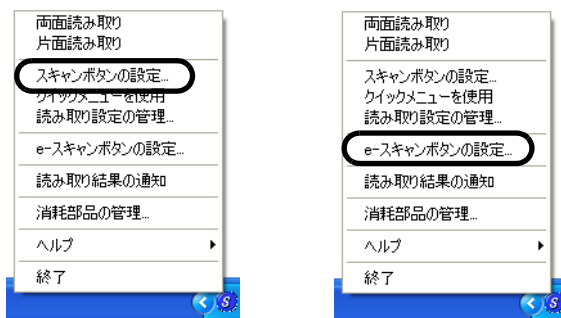
これらの設定は、ScanSnap Manager を使って変更することができます。  
詳細については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ) を参照してください。  
また、[スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの機能差については、「[付録 C \[スキャン\] ボタンと \[e-スキャン\] ボタンの機能差](#)」(319 ページ) を参照してください。

## ■ 片面だけを読み取ります

ScanSnap の [スキャン] ボタン  または [e-スキャン] ボタン  は、初期設定では「両面読み取り」に設定されています。  
片面読み取りをする場合は、以下の手順で設定を変更してください。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [読み取りモード] タブを選択し、「読み取り面の選択:」で「片面読み取り」を選択します。



---

3. [OK] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

4. 原稿を ScanSnap にセットします。

5. [スキャン] ボタン  または [e-スキャン] ボタン  を押します。

⇒ 片面読み取りが実行されます。



ヒント

両面読み取りに戻したい場合は、再度、手順 2. で、「両面読み取り」を選択してください。一度設定すると、変更するまで有効になります。

## ■ カラー原稿を白黒で読み取ります

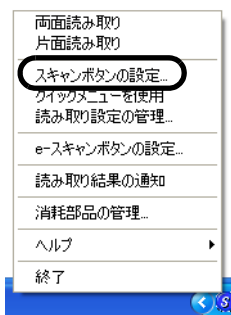
ScanSnap は、初期設定では、カラー原稿と白黒原稿を自動で識別して、カラー原稿はカラーで、白黒原稿は白黒で出力します。

カラー原稿を白黒で出力する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

[スキャン] ボタンで読み取る場合のみ設定できます。

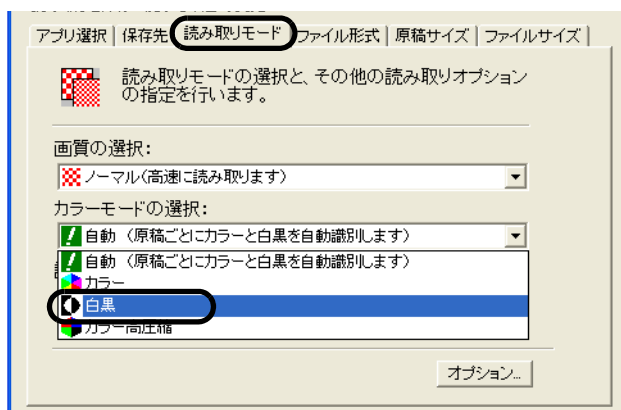


1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。




2. [読み取りモード] タブを選択し、「カラーモードの選択:」で「白黒」を選択します。

逆に、カラー固定で読み取りたい場合は、「カラー」を選択してください。



3. [OK] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

4. 原稿を ScanSnap にセットします。

5. [スキャン] ボタン  を押します。

⇒ 読み取り結果が、白黒で出力されます。



## ■ カラー原稿を高圧縮します

ScanSnap は、読み取ったデータを保存する際にファイルサイズを小さくするために、カラー原稿を高圧縮で保存する「カラー高圧縮」設定を持っています。

たとえば、膨大な紙文書も、「カラー高圧縮」に設定して読み取れば、コンパクトな PDF ファイルにまとめて保存することができます。

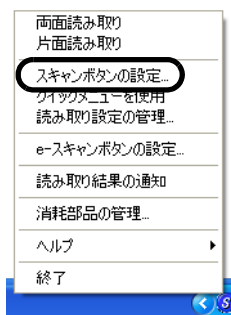
また、[ファイルサイズ] タブの圧縮率スライダーを操作すれば、さらに圧縮率をあげることも可能です。

カラー原稿を高圧縮する場合は、以下の手順で設定を変更してください。

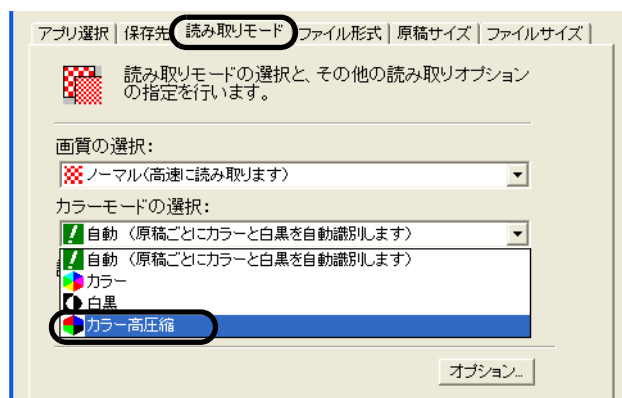
[スキャン] ボタン（左クリックメニューモード時）で読み取る場合のみ設定できます。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [読み取りモード] タブを選択し、「カラーモードの選択:」で「カラー高圧縮」を選択します。



3. [OK] ボタンをクリックして、画面を閉じます。
4. 原稿を ScanSnap にセットします。

## 5. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 読み取り結果が、高圧縮されたカラー画像として出力されます。



「カラー高圧縮」では、文字部分と背景部分を分離して背景部分を高圧縮します。そのため、文字ベースの原稿を読み取ると、文字が綺麗なままファイルサイズを小さくすることができます。

一方、写真や図などは、背景とみなされて高圧縮されるため、画像が劣化しますので、写真などの画像の読み取りには適していません。

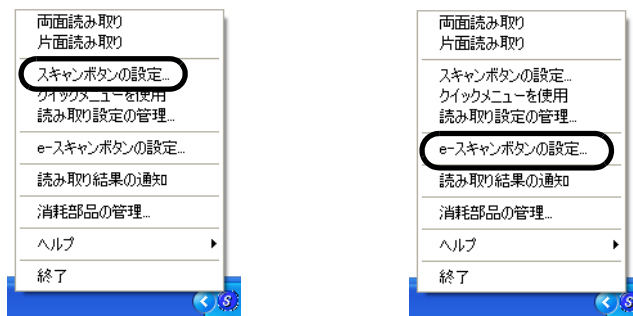
## ■ 読み取った原稿から白紙ページを削除します

ScanSnap は、読み取った原稿から、不要な白紙ページを自動的に取り除いて出力してくれます。たとえば、両面・片面原稿が混在している場合、両面読み取りを行えば、片面原稿の裏面（白紙）は自動的に削除され、必要なページだけ出力できます。

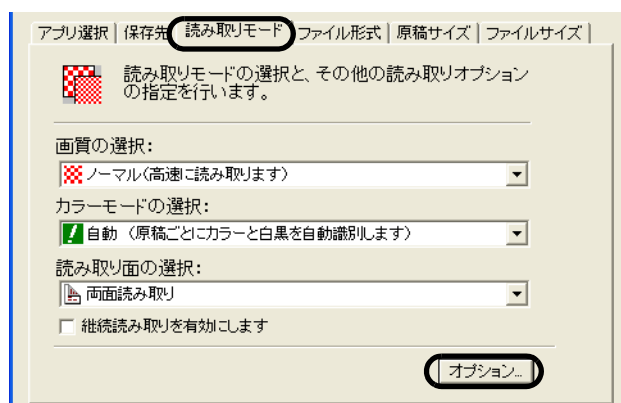
以下の手順で、設定を変更することができます。



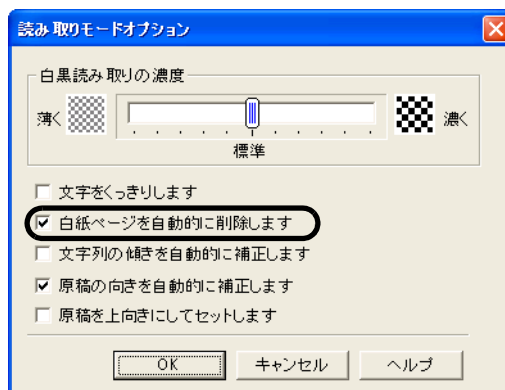
1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [読み取りモード] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



### 3. 「白紙ページを自動的に削除します」をチェックします。



### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒ 次の読み取りから、有効になります。



以下のような原稿は、白紙ページとして判別される場合があります。

- 白紙原稿内に、2、3文字以内の文字のみが書かれている場合。
- 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合。（※黒色も含まれます。）

このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。  
また、読み取った原稿を廃棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。

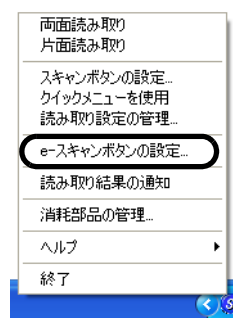
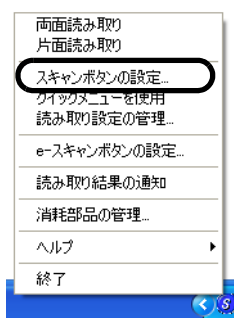
## ■ 文字列の傾きを自動的に補正します

ScanSnap は、原稿内の文字列が傾いて読み取られても、自動的に補正して出力してくれます。

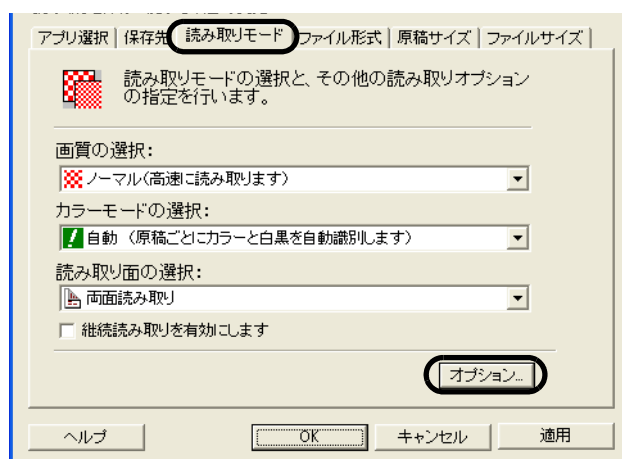
通常は、以下の手順で、設定を変更することができます。



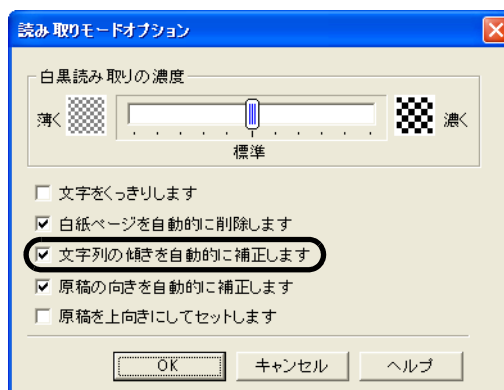
1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [読み取りモード] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



### 3. 「文字列の傾きを自動的に補正します」をチェックします。



### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒ 次の読み取りから、有効になります。



最大±5度までの傾きを補正できます。  
原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。

## ■ 向きがバラバラな原稿を向きをそろえて出力します

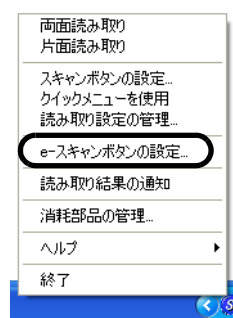
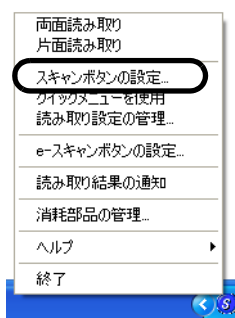
一般的なオフィスで使用されているドキュメントの中には、たとえば、A4 縦の文書の中に、A4 横の表が入るような、原稿方向が縦／横混在している場合があります。

また、上下とじの両面原稿は、上下逆さまに印刷されています。

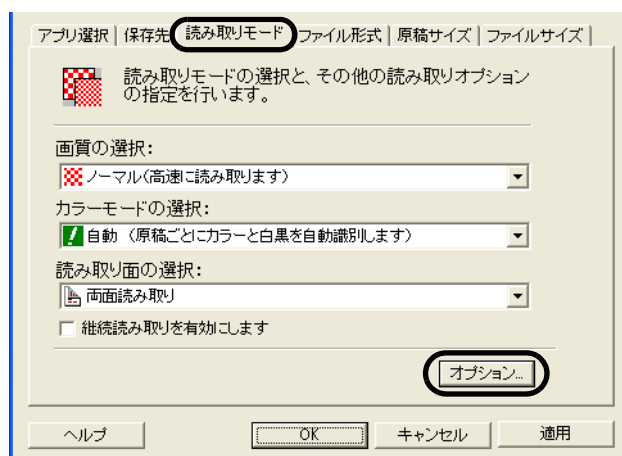
ScanSnap は、このような原稿を読み取った場合に、自動的に向きをそろえて出力することができます。



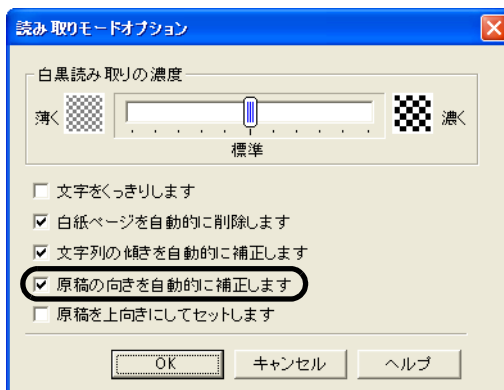
1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



2. [読み取りモード] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



### 3. 「原稿の向きを自動的に補正します」をチェックします。



### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒ 次の読み取りから、有効になります。



原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。

- 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
- 文字間や行間が、極端にせまかったり、文字が接触している原稿
- 下線や罫線に接触している文字が多い原稿
- 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- アルファベット大文字だけで書かれている原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックを外してください。



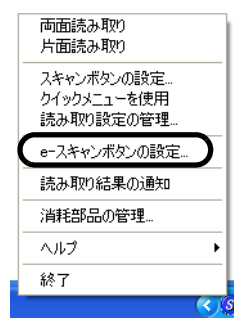
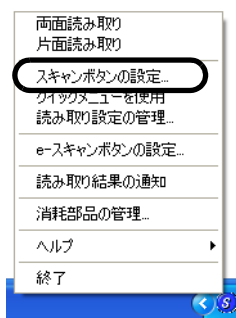
## ■ 幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります

「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」チェックボックスにチェックを入れると、幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取ることができます。

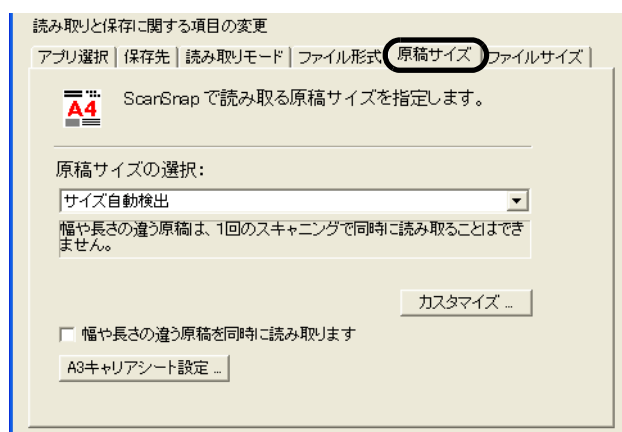
サイズの異なる原稿を同時にセットして読み取る場合は、以下の方法で行います。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。

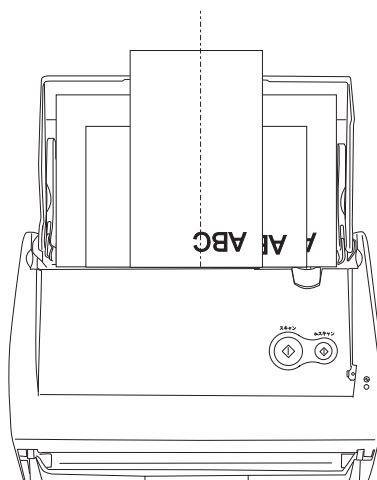


2. [原稿サイズ] タブを選択します。

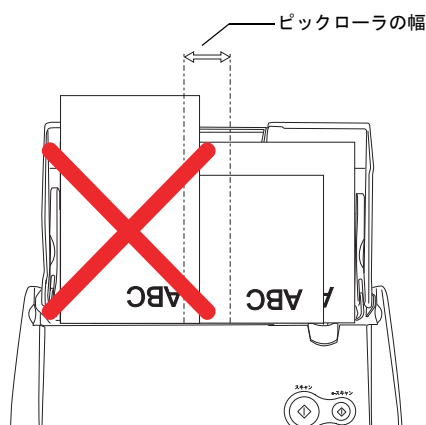




## 6. 原稿をホッパーの中央にセットします。



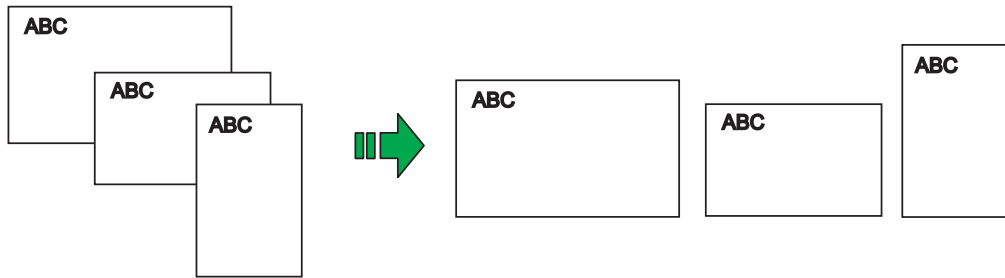
- すべての原稿が、ピックアップローラ(中央)の下に来るようにセットしてください。(ピックアップローラから外れた位置に原稿があると、給紙できません。)



- サイドガイドは、最大サイズの原稿幅に合わせてください。
- サイドガイドに突き当たらない幅の狭い原稿については、まっすぐ読み取られるように原稿をセットしてください。原稿が斜めに読みとられた場合、画像の乱れ(画像欠け/画像に斜めの線が入る)や、原稿サイズと一致しない画像が出力される、などの現象が発生する場合があります。原稿がまっすぐ搬送されない場合は、幅の同じ原稿に分けての読み取りをお奨めします。また、原稿がサイドガイドに突き当たっていないと、原稿づまりとなる場合があります。

## 7. [スキャン] ボタン または [e-スキャン] ボタン を押します。

⇒ それぞれの原稿サイズに一致する画像データが出力されます。



原稿が斜めに読み取られた場合に、原稿サイズと一致しない画像データが出力される場合があります。

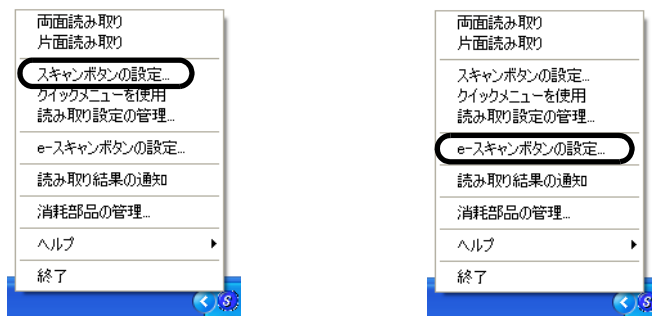
## ■ 読み取った原稿を複数のファイルに保存します

ScanSnap は、読み取った原稿を、一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存することができます。

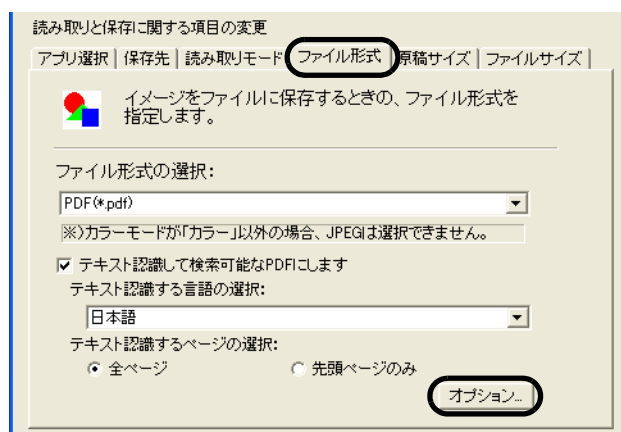
たとえば、定型の伝票を一度に読み取って、一枚ずつ別々のファイルとして保存することができます。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



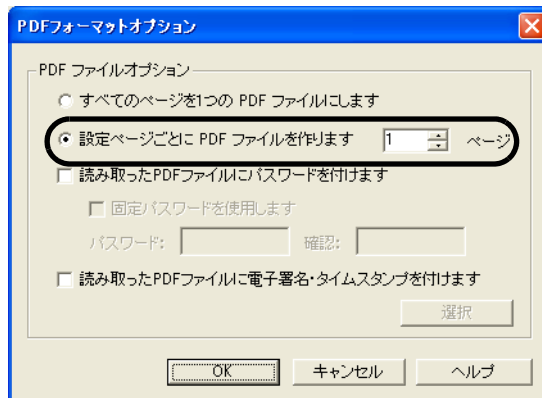
2. [ファイル形式] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



「ファイル形式の選択:」に、「PDF (\*.pdf)」が選択されていることを確認してください。

### 3. 「PDF ファイルオプション」の「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、ページ数を指定します。

ここで指定したページ数分読み取るごとに、ファイルが1つ作成されます。



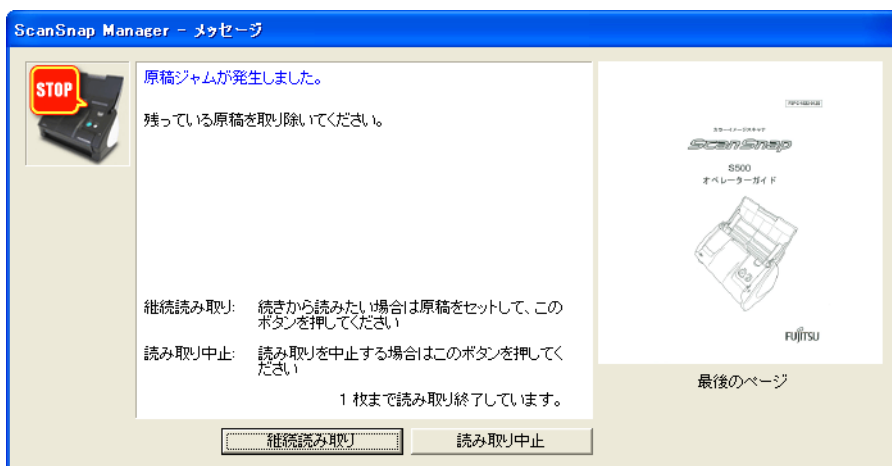
「両面読み取り」の場合、1枚の原稿は、表・裏で2ページとなります。  
また、[読み取りモード] → [オプション] → 「白紙ページを自動的に削除します」がチェックされていると、白紙ページが混じていた場合にページがずれる場合がありますので、チェックを外しておくことをお勧めします。

### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

⇒ 次の読み取りから、設定が有効になります。

## ■ 読み取り中にエラーが発生して分断されたデータを1つのファイルにします

複数枚の原稿を読み取り中に、原稿づまりなどのエラーが発生すると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



この場合は、以下のような手順で、読み取りを継続したり、中止したりすることができます。

### <読み取りを継続する場合>



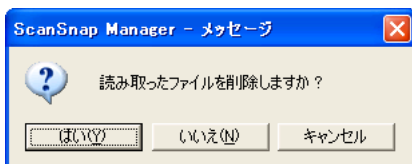
1. 画面上右の「最後のページ」で、読み取り状況を確認します。
2. まだ読み取られていない原稿を、再度 ScanSnap にセットします。
3. [継続読み取り] ボタンをクリックして読み取りを再開します。

## <読み取りを中止する場合>



### 1. [読み取り中止] ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。

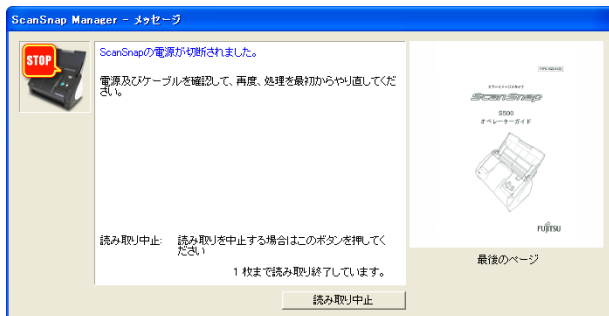


### 2. すでに読み取った画像を保存せずに終了する場合は [はい] ボタン、保存して終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックします。

([キャンセル] ボタンをクリックすると、最初の画面に戻ります。)



以下のように、[継続読み取り] ボタンのないエラーメッセージが表示される場合があります。

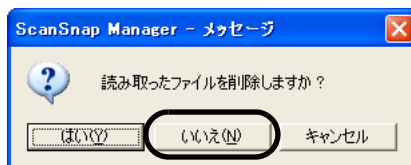


この場合は、継続読み取りできません。

このような場合は、以下のように、Adobe® Acrobat® を使って、分断された2つのファイルを1つに結合してください。(※ファイル形式が“.pdf”の場合)

1. 「メッセージ」画面上で、原稿の読み取り状況を確認します。
2. [読み取り中止] ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。



3. [いいえ] ボタンをクリックします。

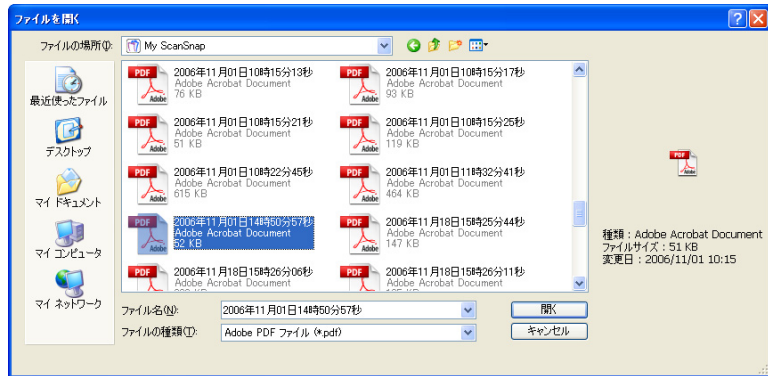
⇒ すでに読み取られた画像が、ファイルに保存されます。(ファイルA)



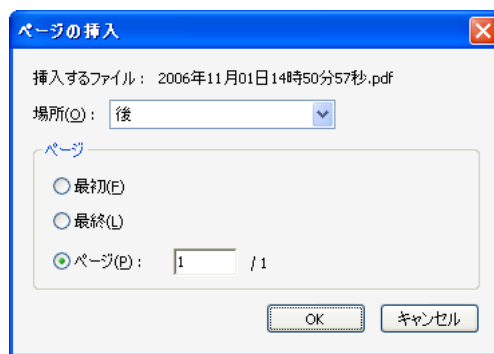
4. 残りの原稿を読み取ります。  
⇒ ファイルに保存されます。(ファイル B)
5. Adobe Acrobat を使って、ファイル A を開きます。
6. Adobe Acrobat のメニューバーで、[文書] → [ページの挿入] を選択します。



7. 「挿入するファイルの選択」の画面で、ファイル B を選択します。



⇒ 以下の画面が表示されます。



8. 「場所:」 → “後”、「ページ」 → “最終” を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



## ■ 読み取った原稿にパスワードを設定します

ScanSnap で読み取った原稿を PDF ファイルとして保存する場合、PDF ファイルにパスワードを設定することができます。

パスワードを設定された PDF ファイルは、開く際にパスワードを入力しないと、内容を見ることができません。

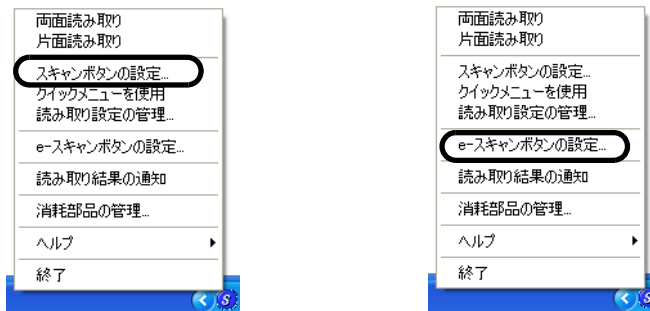
他人に知られたくない秘密の文書や、関係者外秘の重要書類などを読み取る際に、パスワードを設定して保存しておけば、大切な情報の漏洩を防ぐことができます。

[スキャン] ボタンの場合は、左クリックメニューモード時のみ設定できます。

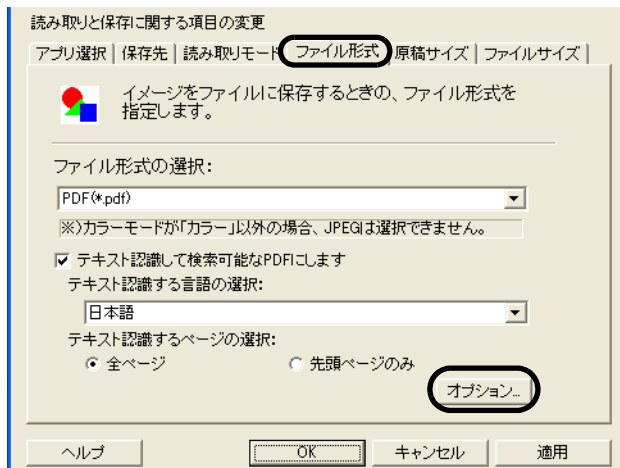
操作方法は、以下のとおりです。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。



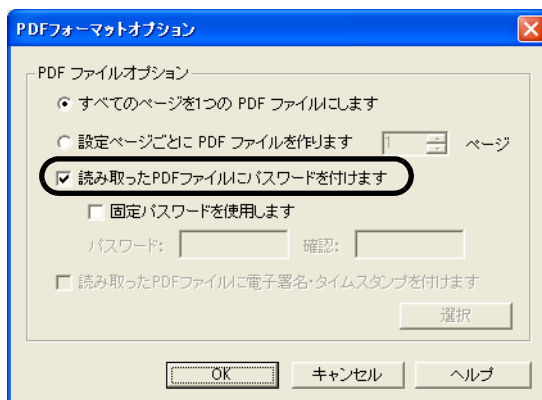
2. [ファイル形式] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。





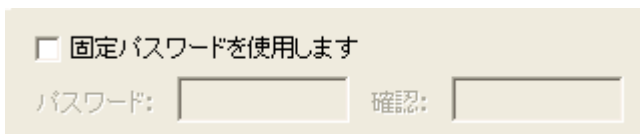
「ファイル形式の選択：」に、「PDF (\*.pdf)」が選択されていることを確認してください。

### 3. 「PDF ファイルオプション」の「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」をチェックします。



#### <読み取りごとにパスワードを入力する場合>

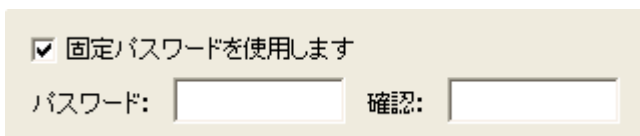
「固定パスワードを使用します」のチェックを外します。



⇒ 読み取りごとに、違うパスワードにすることができます。

#### <あらかじめ決められた固定パスワードを使用する場合>

1) 「固定パスワードを使用します」をチェックします。



⇒ すべての PDF ファイルに、同じパスワードが使用されます。  
読み取りごとに、パスワードを入力する必要がありません。

2) 「パスワード：」、「確認：」の欄に、同じパスワードを入力します。



パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。

最大文字数 : 半角 16 文字

半角英数字 : A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9

半角記号 : !"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[\\]^\_`{|}~

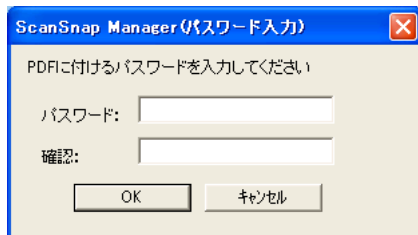
### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

## 5. 原稿を ScanSnap にセットします。


## 6. [スキャン] ボタン または [e-スキャン] ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始されます。


⇒ 操作 3. で、「固定パスワードを使用します」のチェックを外した場合、以下の画面が表示されます。



「パスワード:」、「確認:」の欄に、同じパスワードを入力して、[OK] ボタンをクリックしてください。

-  ヒント
- パスワードには、以下の半角文字、および半角スペースを設定することができます。  
最大文字数 : 半角 16 文字  
半角英数字 : A ~ Z, a ~ z, 0 ~ 9  
半角記号 : !"# \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ [ \ ] ^ \_ ` { | } ~
  - [キャンセル] ボタンをクリックすると、パスワードのない通常の PDF ファイルとして保存されます。

⇒ 読み取った原稿が、パスワード付きの PDF ファイルとして保存されます。

 まっぴー!

パスワードを忘れてしまうと、PDF ファイルが二度と開けなくなってしまいますので、ご注意ください。

## ■ 読み取った原稿に電子署名・タイムスタンプを付けます

ScanSnap で読み取った原稿を PDF ファイルとして保存する場合、PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けることができます。

電子署名・タイムスタンプは、PDF ファイルに埋め込まれます。

[スキャン] ボタンの場合は、左クリックメニューモード時のみ設定できます。



まって!


本機能を使用するためには、Adobe Acrobat および PFU タイムスタンプをインストールして、あらかじめ電子署名・タイムスタンプの設定を行っておく必要があります。電子署名・タイムスタンプを使用する際の設定方法については、「6.3 PFU タイムスタンプを使う」(238 ページ)、あるいは、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。

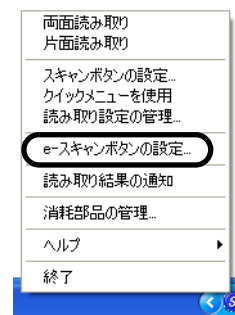
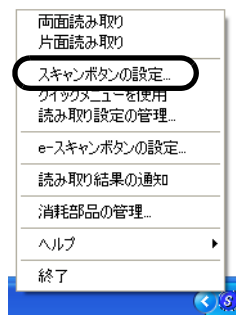
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照する場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)

操作方法は、以下のとおりです。

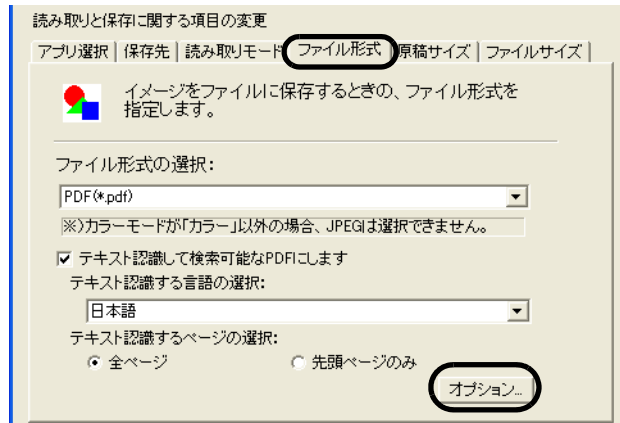


操作

1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。

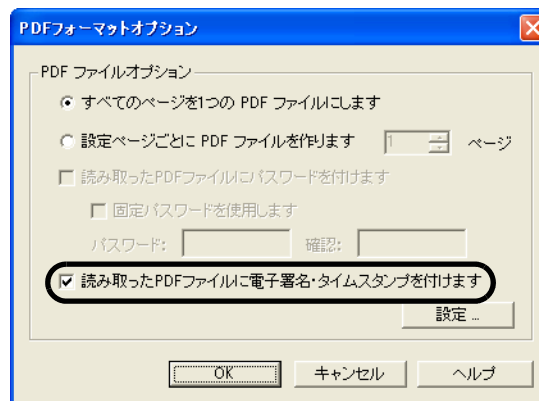


## 2. [ファイル形式] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



「ファイル形式の選択 : 」に、「PDF (\*.pdf)」が選択されていることを確認してください。

## 3. 「PDF ファイルオプション」の「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」にチェックを入れます。



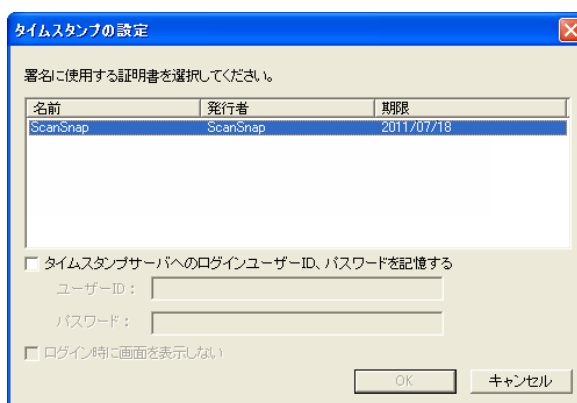
- 本機能を使用するためには、Adobe Acrobat および PFU タイムスタンプをインストールして、あらかじめ電子署名・タイムスタンプの設定を行っておく必要があります。
- 「読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます」チェックボックスにチェックを入れると、「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスは無効となります。(パスワードと電子署名・タイムスタンプを同時に使用することはできません。)
- 「読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます」チェックボックスにチェックが入っているときのみ、[設定] ボタンが有効になります。

#### 4. [設定] ボタンをクリックします。

⇒「タイムスタンプの設定」画面が表示されます。

#### 5. 証明書の一覧から、電子署名・タイムスタンプに使用する証明書を選択します。

この画面で、タイムスタンプサーバへログインする際のユーザー ID やパスワードをあらかじめ設定しておくことや、ログイン画面を表示させないようにすることもできます。(→ 100 ページ参照)



- 証明書は、あらかじめ Adobe Acrobat で設定しておかないと「タイムスタンプの設定」画面に表示されません。
- 電子署名・タイムスタンプを使用する際の設定方法については、「6.3 PFU タイムスタンプを使う」(238 ページ)、あるいは、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。  
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照する場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分を変更した名前になります。)

#### 6. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

#### 7. 原稿を ScanSnap にセットします。

#### 8. [スキャン] ボタン または [e-スキャン] ボタン を押します。

⇒読み取りが開始されます。

原稿の読み取りが終わると、タイムスタンプサーバへのログイン画面が表示されます。



- 電子署名・タイムスタンプを付けた場合、「この文書への署名が完了しました。」というメッセージが他ウィンドウに隠れて表示される場合があります。その場合は、[Alt] + [Tab] キーを押下してウィンドウを切り替えて、表示されているか確認の上、本メッセージを閉じてください。  
「次回から表示しない」にチェックを入れることで、次回から表示させなくすることもできます。
- ScanSnap Manager で付加できるタイムスタンプの設定は、Adobe Acrobat 上で設定できる PFU タイムスタンプの動作設定に依存しません。
- 電子署名・タイムスタンプの付加に失敗した場合、Adobe Acrobat 等で、読み取ったデータを確認してください。万一ファイルが壊れていた場合は、再度読み取りを行ってください。



- 読み取った後の PDF ファイルに、ScanSnap Organizer または Adobe Acrobat を使って、後から電子署名・タイムスタンプを付けることもできます。  
ScanSnap Organizer を使った電子署名・タイムスタンプの付け方については『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』を参照してください。  
Adobe Acrobat を使った電子署名・タイムスタンプの付け方については、「[電子署名とタイムスタンプの付加](#)」(251 ページ) を参照してください。
- 本機能を使用して電子署名・タイムスタンプを付けた場合、PDF ファイル上に、スタンプマーク (255 ページ) がつきません。電子署名・タイムスタンプは、見えない状態で、PDF ファイルに埋め込まれます。  
スタンプマークを表示させたい場合は、Adobe Acrobat を使って、電子署名・タイムスタンプを付けてください。
- 電子署名・タイムスタンプに関する詳しい説明については、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。  
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照するには、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)

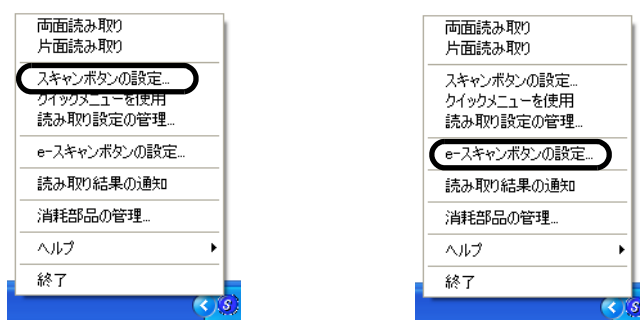


## ■ テキスト認識しながら読み取ります

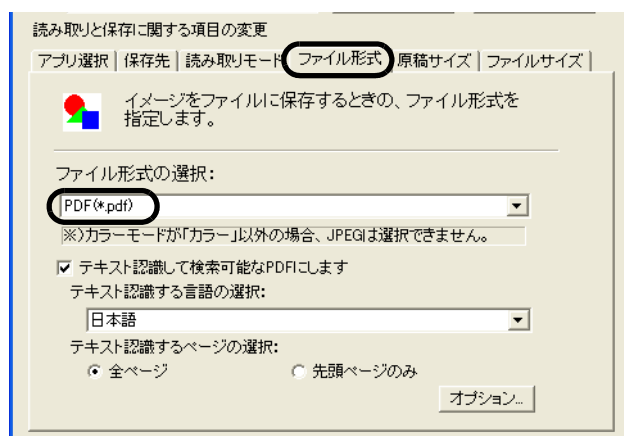
テキストを認識しながら読み取ることができます。テキストを認識した PDF は検索が可能です。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。

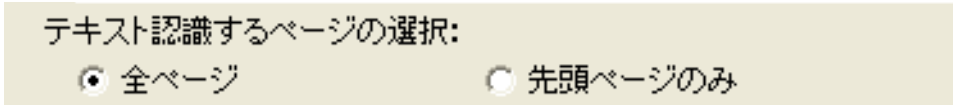


2. [ファイル形式] タブを選択し、「ファイル形式の選択」を「PDF (\*.pdf)」にします。



### 3. 「テキスト認識して検索可能な PDF にする」をチェックします。

全ページをテキスト認識する場合は、「全ページ」を、先頭ページだけをテキスト認識する場合は、「先頭ページのみ」を選択してください。



### 4. [OK] ボタンをクリックして、すべての画面を閉じます。

### 5. 原稿を ScanSnap にセットします。

### 6. [スキャン] ボタン または [e-スキャン] ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取った原稿が、検索可能なテキスト認識済みの PDF ファイルとして保存されます。



- 本設定を有効にすると、お使いのパソコン環境によっては、処理に時間がかかる場合があります。
- 以下のような原稿（文字）は、正しくテキスト認識できない場合があります。また、カラー設定や解像度を上げて読み取ることでテキスト認識が可能となる場合があります。
  - － 手書き文字の原稿
  - － 低解像度で読み取った小さな文字
  - － 傾いた原稿
  - － 指定した言語以外で書かれた原稿
  - － イタリック文字で書かれた原稿
  - － 上下添え字、複雑な数式
  - － 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
    - ・ 影、白抜きなど装飾がされている文字
    - ・ 網掛け内の文字
  - － 複雑なレイアウトの原稿及び、ノイズの多い原稿  
(このような原稿では認識時間が非常にかかる場合があります)



## 6.2 Adobe Acrobat を使う

Adobe Acrobat を使って読み取った PDF ファイルを修正します。



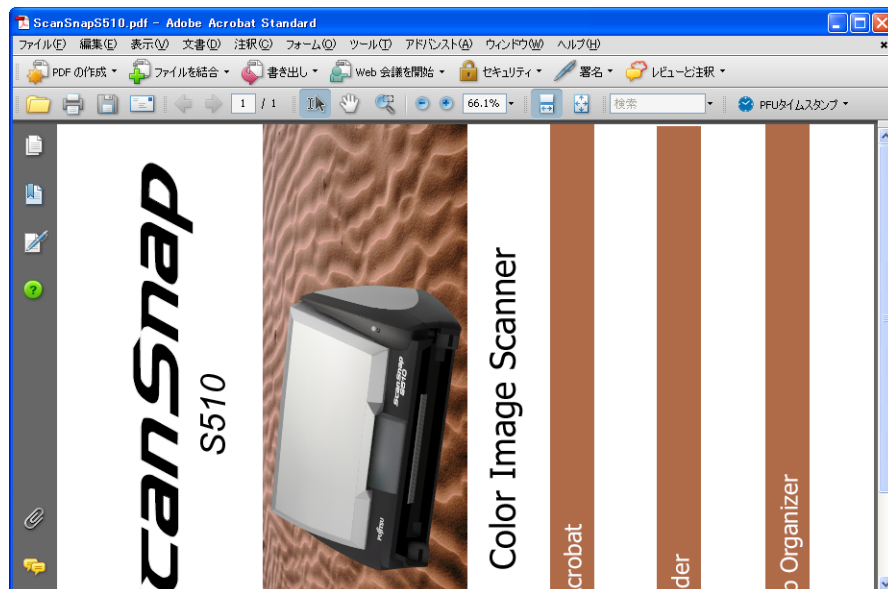
本機能の詳細については、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。

### ■ PDF ファイルのページを回転します

「向きがバラバラな原稿を向きをそろえて出力します」(213 ページ) の方法で、ページの向きが誤って表示されてしまう場合や、任意のページの向きを回転したい場合は、以下の方法で、読み取り後に手動でページを回転してください。



#### 1. 対象となる PDF ファイルを、Adobe Acrobat で開きます。

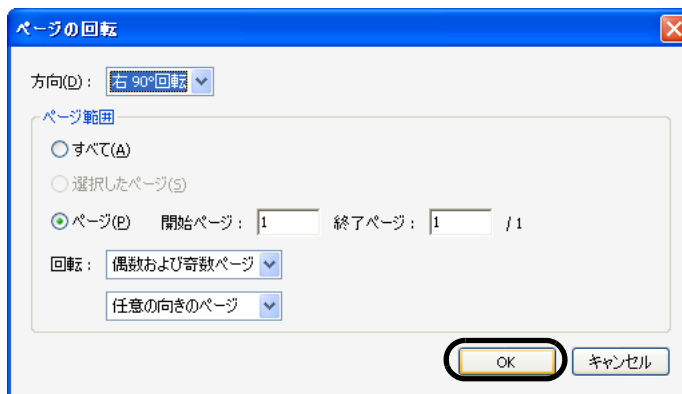


## 2. メニューバーから、[文書] → [ページの回転] を選択します。

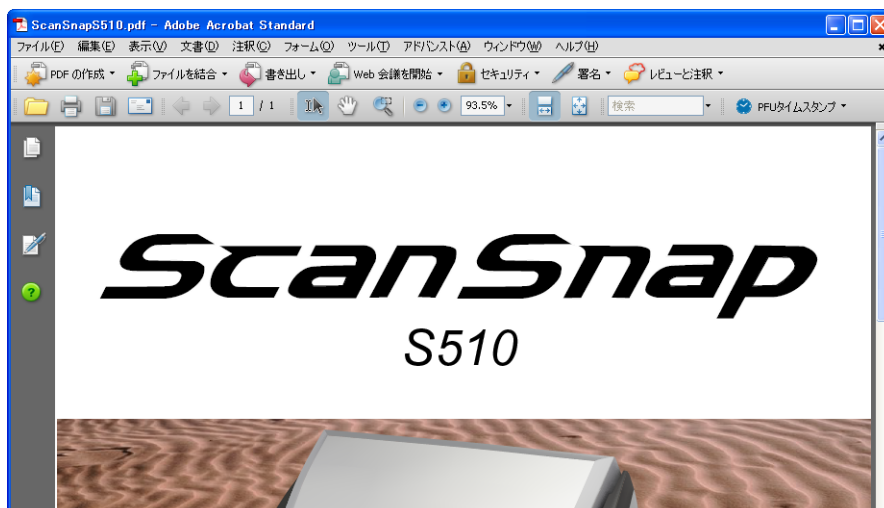


## 3. 回転するページを指定して、[OK] ボタンをクリックします。

- 方向： 回転させる方向、角度を指定します。
- ページ： 回転の対象となるページを指定します。



⇒ 指定したページが、指定した方向に回転されます。

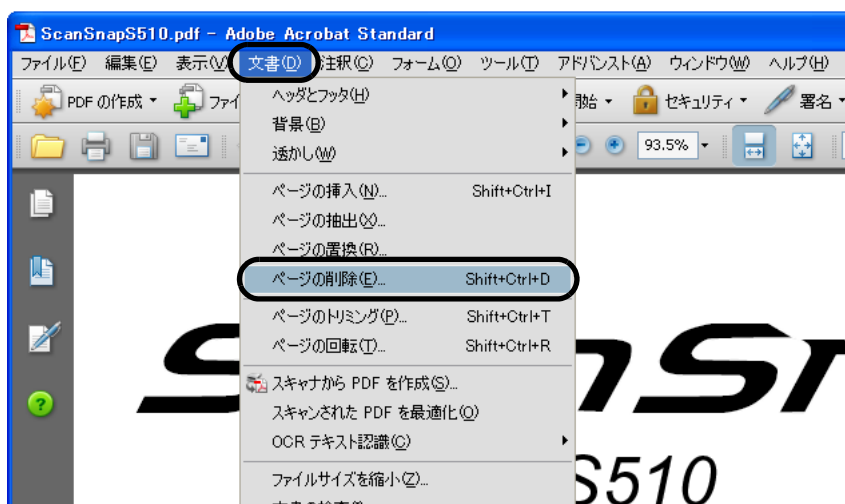


## ■ PDF ファイルのページを削除します

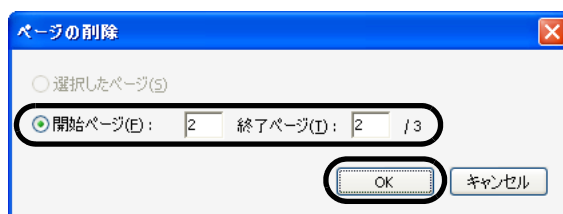
「読み取った原稿から白紙ページを削除します」(209 ページ)の方法で、白紙ページをうまく取り除くことができない場合や、白紙ページ以外の不要ページを取り除きたい場合は、以下の方法で、読み取り後に手動でページを削除してください。



1. 対象となる PDF ファイルを、Adobe Acrobat で開きます。
2. メニューバーから、[文書] → [ページの削除] を選択します。



3. 削除するページを指定して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 指定したページが削除されます。

## ■ 読み取った原稿上の文字列を検索可能にします

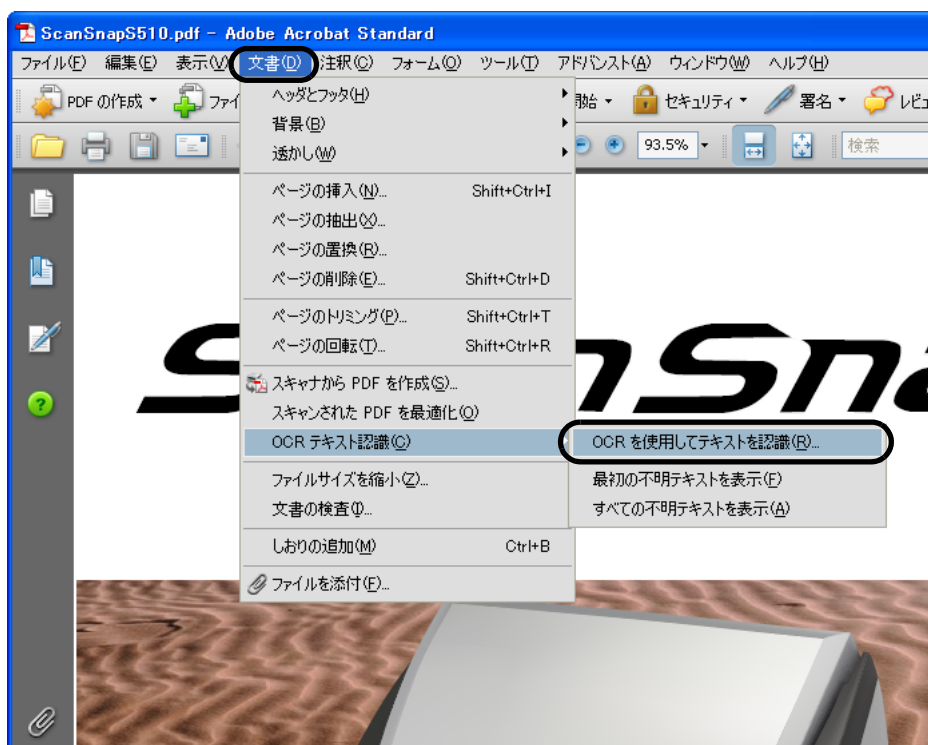
ScanSnap でテキスト認識せずに読み取った原稿は、すべて画像ファイルとして保存されます。そのため、文字の印刷された原稿を読み取ると、記号、文字、数字はすべて画像として表示されます。パソコンは画像として表示されている情報を文字として認識しないため、文書の内容を検索することができません。

これらの文書を OCR 処理（テキスト認識）して、検索可能な文字情報に変換することができます。

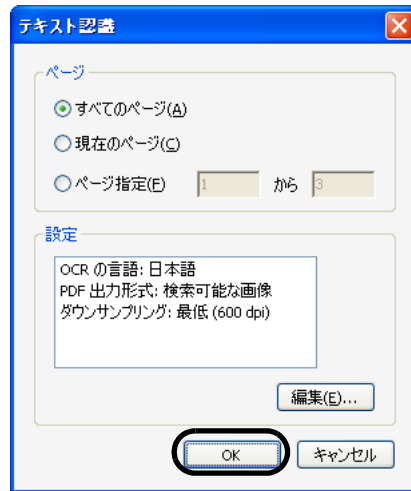
操作方法は、以下のとおりです。



1. 変換する PDF ファイルを Adobe Acrobat で開きます。
2. メニューバーから、[文書] → [OCR テキスト認識] → [OCR を使用してテキスト認識する] の順に選択します。



3. 以下の画面が表示されるので、各種設定を行い、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ テキスト認識 が実行され、画像データに文字情報が付加されます。



ヒント

カラー画像に対して本機能を使用する場合には、[画質の選択:] を「ファイン」または「スーパーファイン」にして読み取った画像を使用してください (92 ページ参照)。

## 6.3 PFU タイムスタンプを使う

### <タイムスタンプと電子署名について>

一般の電子データは、修正、改ざんが容易にできるため、その真正性に問題があるとされてきました。「誰が」作成したものか、「いつ」作成あるいは存在していたのか、その後、修正、改ざんされていないかを客観的に証明することができませんでした。これらの問題を解決し、電子データの真正性を高めるのが、「タイムスタンプ」と「電子署名」です。

### <PFU タイムスタンプサービスについて>

PFU タイムスタンプサービス（以下、本サービス）は、上記「タイムスタンプ」を発行するサービスです。本サービスは、財団法人日本データ通信協会の「タイムビジネス信頼・安心認定制度」の承認を受けた信頼性の高いサービスですので安心してご利用いただけます。詳しくは、以下のホームページを参照してください。

- PFU タイムスタンプ サービス紹介・購入ホームページ  
<http://www.pfu.fujitsu.com/tsa/>
- PFU タイムスタンプ サービス運用公開ホームページ（稼動状況、お問い合わせなど）  
<http://www.pfutsa.net/>

なお、本製品では、同梱の Adobe® Acrobat® の電子署名機能を使って、本サービスを手軽にご利用いただけるように、「PFU タイムスタンプ」（ソフトウェア）と、タイムスタンプ 100 スタンプ分（ライセンス）をあらかじめご用意しております（ライセンスがなくなった場合は、上記 PFU タイムスタンプサービス紹介・購入ホームページで追加購入していただけます）。ぜひご利用ください。

また、一定の金額をお支払いいただく事によって、一定期間無制限にタイムスタンプをご利用いただける定額制サービスも準備しております。定額制サービスにつきましては、別途お申込が必要となります。詳細につきましては、上記 PFU タイムスタンプサービス紹介・購入ホームページをご覧ください。株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([325 ページ](#)) にお問い合わせください。

※本サービスには、電子署名のサービスは含まれておりません。そのため、電子署名に必要な電子証明書（デジタル ID）を準備していただく必要があります。



---

以下に、PFU タイムスタンプを使って、PDF に電子署名とタイムスタンプを付ける方法について説明します。



- PFU タイムスタンプの詳しい使い方については、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。  
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照するには、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] を選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)
- PFU タイムスタンプを使用するには、Adobe Acrobat とインターネット接続環境が必要です。

## ■ 準備

PFU タイムスタンプを使う前に、Adobe Acrobat の環境設定、および電子署名に必要な証明書の準備を行います。

### < Adobe Acrobat の環境設定 >

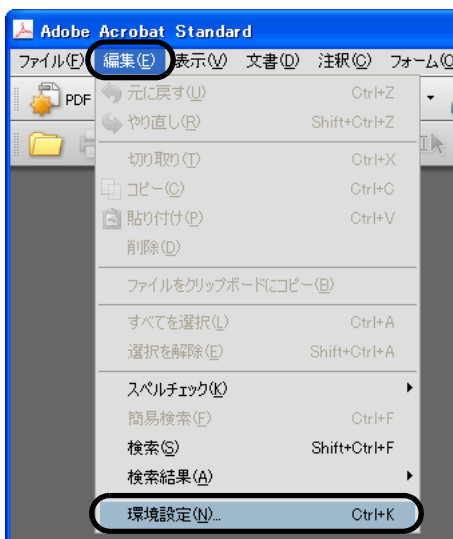
PFU タイムスタンプを付加するために、Adobe Acrobat を設定します。



1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Adobe Acrobat Standard] を選択します。

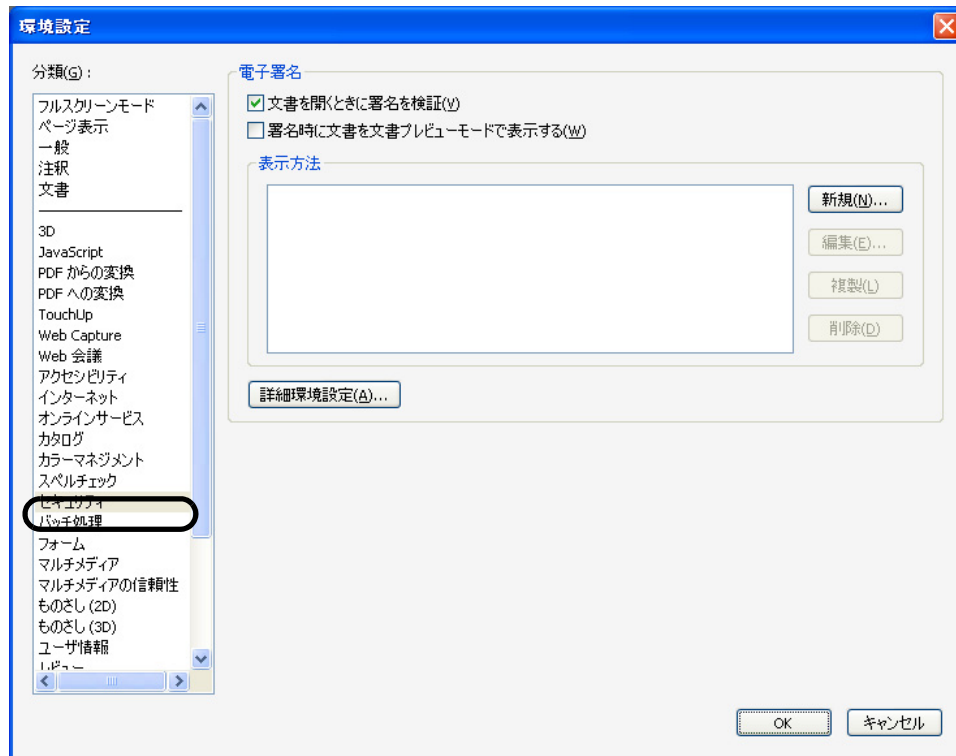
⇒ Adobe Acrobat の画面が表示されます。

2. Adobe Acrobat のメニューバーから、[編集] → [環境設定] を選択します。

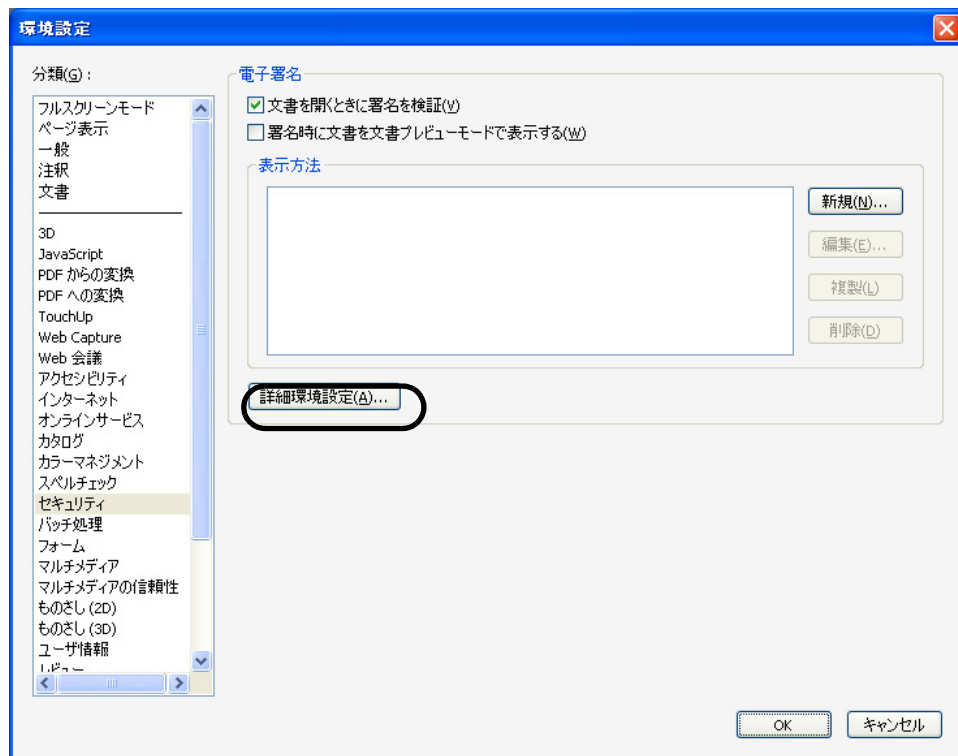


⇒ 「環境設定」画面が表示されます。

### 3. 「分類」から「セキュリティ」を選択します。

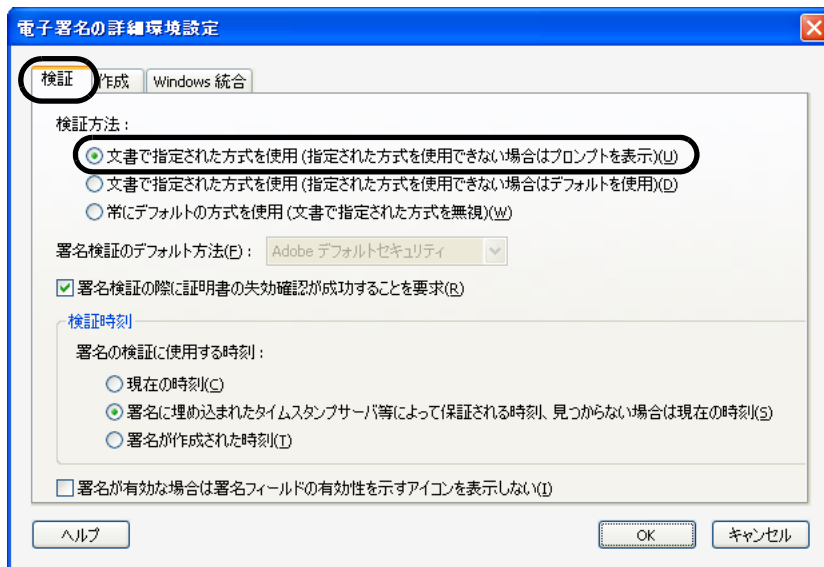


### 4. [詳細環境設定] ボタンをクリックします。



⇒「電子署名の詳細環境設定」画面が表示されます。

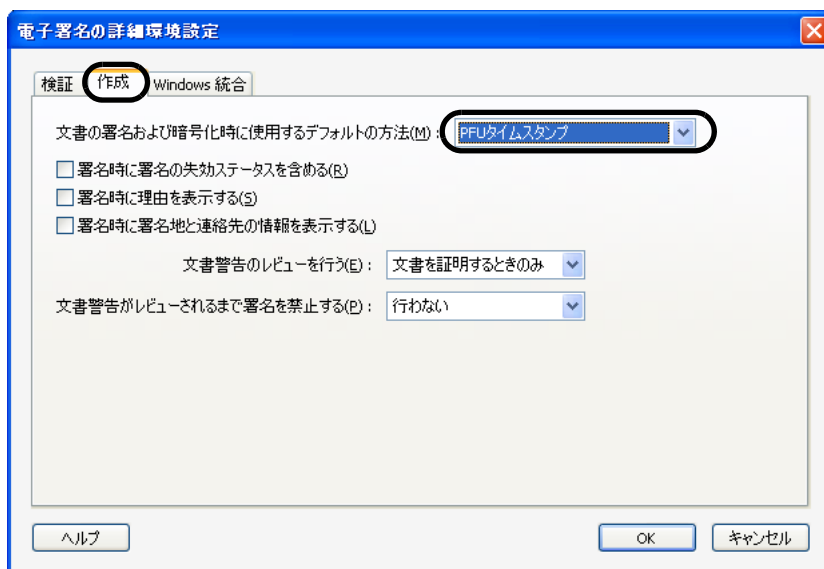
5. [検証] タブの「検証方法」で、「文書で指定された方式を使用（指定された方式を使用できない場合はプロンプトを表示）」を選択します。



6. [作成] タブの「文書の署名および暗号化時に使用するデフォルトの方法」で、「PFU タイムスタンプ」を選択します。

「PFU タイムスタンプ」を選択した場合は、署名時に PFU タイムスタンプ が起動されます。

「署名時に確認」を選択した場合は、署名するたびに署名方法が確認されます。ここでは、「PFU タイムスタンプ」を選択します。



## 7. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「電子署名の詳細環境設定」画面が閉じられ、「環境設定」画面に戻ります。

## 8. [OK] ボタンをクリックして、設定を終了します。

### <電子署名に必要な証明書の準備>

PFU タイムスタンプで署名を行うには、デジタル ID（証明書）が必要です。以下のいずれかの方法で準備してください。

- ① 認証サービス機関より入手する。
- ② 本製品の ScanSnap Setup CD-ROM に添付されている証明書をインストールする。
- ③ Adobe Acrobat の「Self-Sign セキュリティハンドラ」の機能で、自己署名形式の証明書を作成する。

①の場合は、証明サービス機関の指示に従って、入手した証名書を使用してください。

第三者による検証が必要となる場合は、②、③のような自己署名形式の証明書は適していません。

使用する際には、十分考慮してください。



- 特定の機関による電子証明書を必要とせず、タイムスタンプの機能だけを、手っ取り早く使いたい場合は、②の方法を推奨いたします。  
②の証明書は、PFU タイムスタンプサービスを簡単にご利用いただくために、当社があらかじめ③の手順で作成・準備したものです。当社が電子署名を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。  
(※ PFU タイムスタンプサービスには、電子署名サービスは含まれておりません。)
- 一般的に、電子商取引・行政手続きなどで、第三者に対して身分を証明するためには、信頼の置ける認証サービス機関から証明書を取得する必要があります。

以下に、② (244 ページ)、③ (248 ページ) の場合の、準備手順を説明します。

## ② 本製品の ScanSnap Setup CD-ROM に添付されている証明書をインストールする場合

本製品に添付されている「ScanSnap Setup CD-ROM」から、以下の手順で、証明書をインストールします。



### 1. 「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap インストーラ」が起動し、「ScanSnap Setup」の画面が表示されます。



「ScanSnap Setup CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットしても「ScanSnap Setup」の画面が表示されない場合は、エクスプローラで「ScanSnap Setup CD-ROM」をセットした CD-ROM ドライブの、「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックして「ScanSnap Setup」を起動してください。

### 2. [PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R)] ボタンをクリックします。

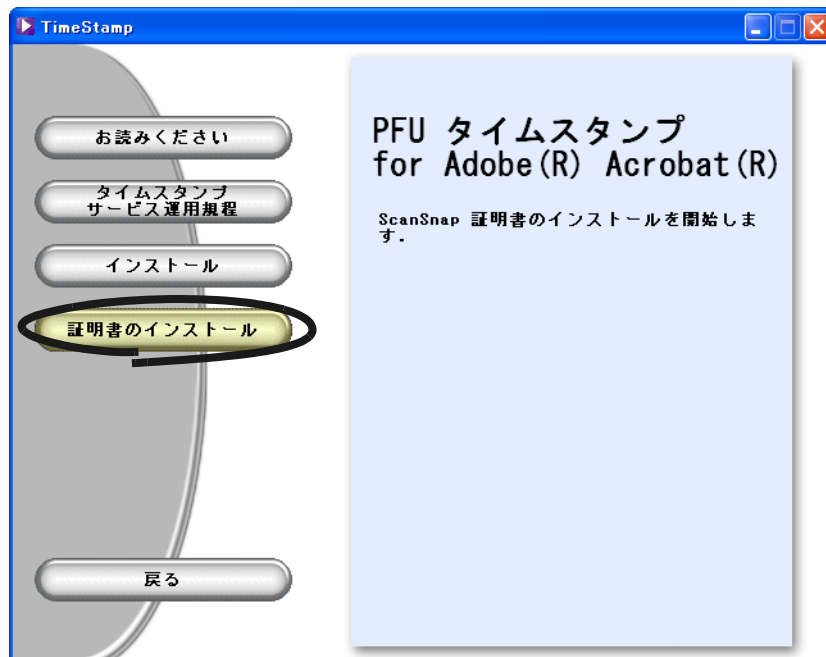


⇒「PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R)」画面が表示されます。



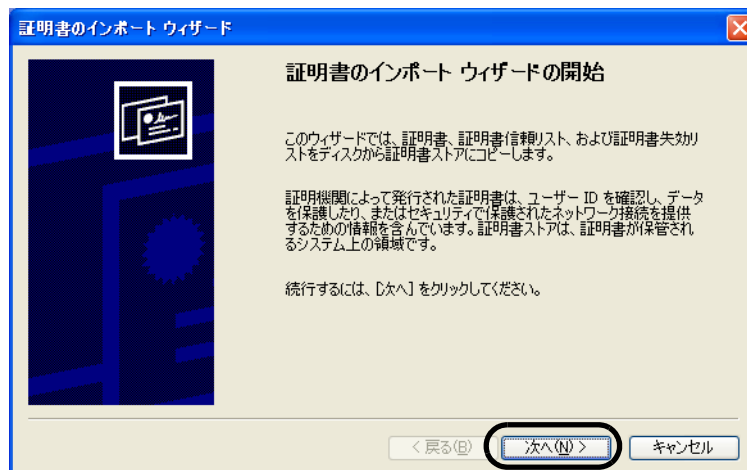
Windows Vista を標準ユーザーでご使用の場合、[PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R)] ボタンから、証明書をインストールすることができません。この場合は、エクスプローラで、「Setup CD-ROM」をセットした CD-ROM ドライブの [TimeStamp] フォルダ下にある「scansnap.pfx」アイコンをダブルクリックして、直接実行してください。(→操作 4. へ)

### 3. [証明書のインストール] ボタンをクリックします。



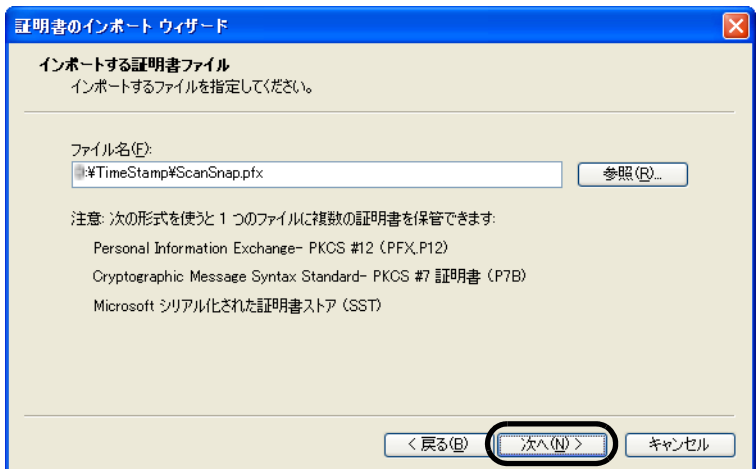
⇒「証明書のインポート ウィザードの開始」画面が表示されます。

### 4. [次へ] ボタンをクリックします。



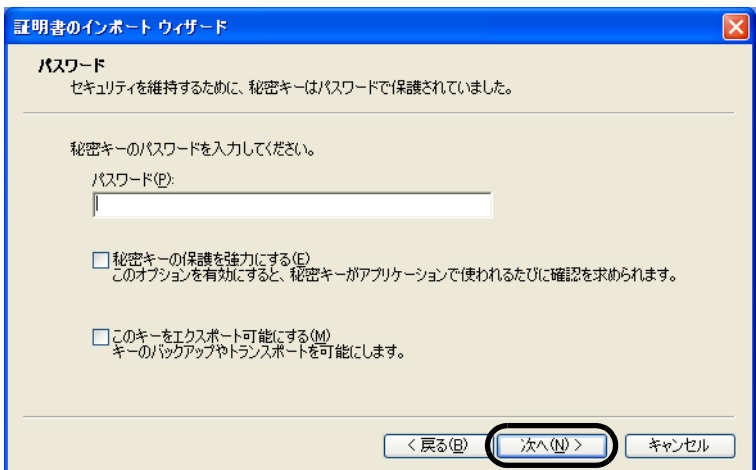
⇒「インポートする証明書ファイル」画面が表示されます。

5. そのまま、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒「パスワード」画面が表示されます。

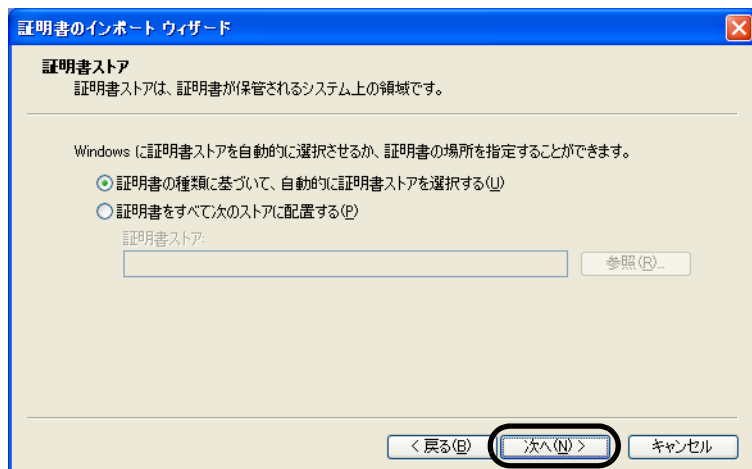
6. 何も記入せずに、そのまま、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒「証明書ストア」画面が表示されます。

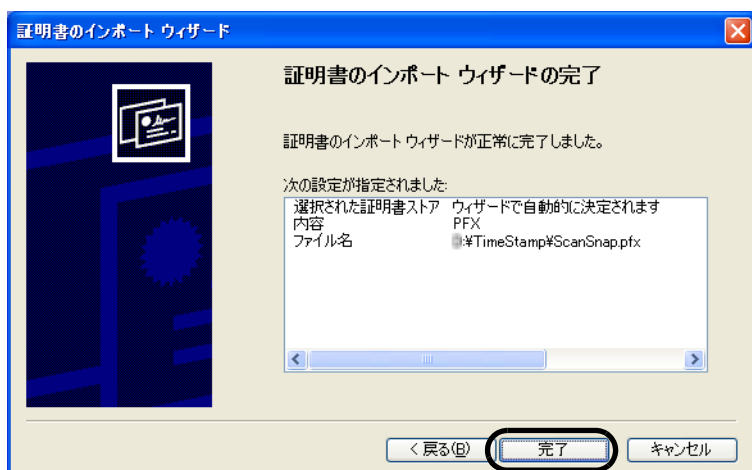


## 7. そのまま、[次へ] ボタンをクリックします。



⇒ 証明書がインストールされ、「証明書のインポート ウィザードの完了」画面が表示されます。

## 8. [完了] ボタンをクリックします。



⇒ インストールが終了します。

③ Adobe Acrobat の「Self-Sign セキュリティハンドラ」の機能で、自己署名形式の証明書を作成する場合

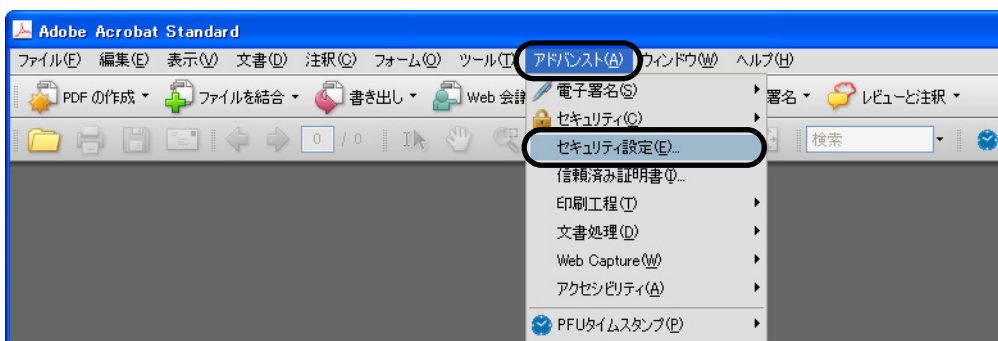
以下の手順で、手動で設定を行います。



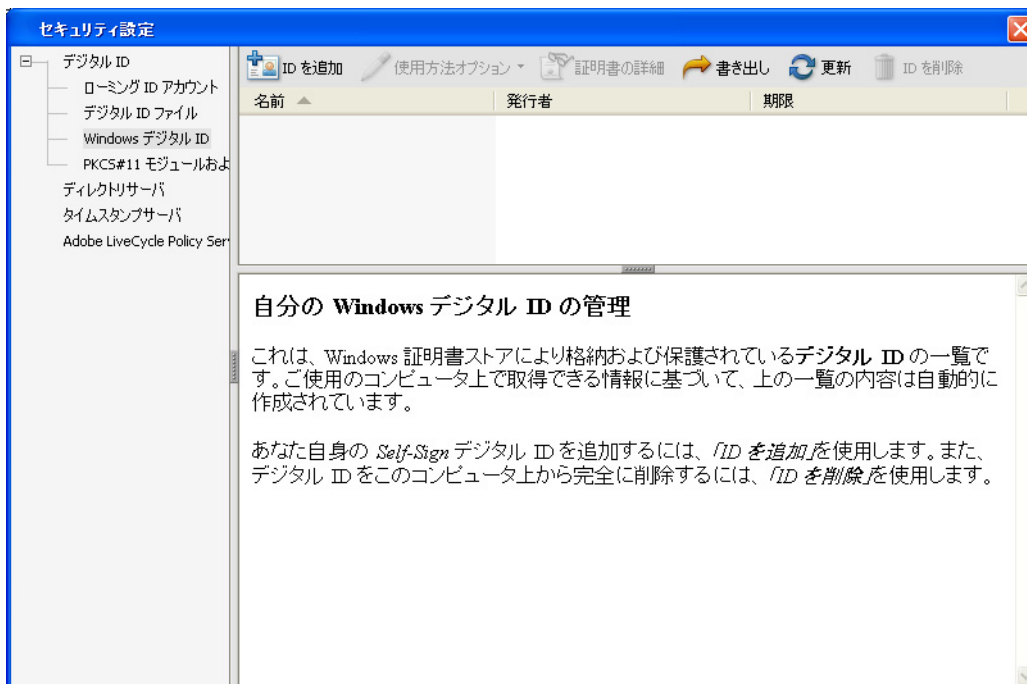
1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [Adobe Acrobat Standard] を選択します。

⇒ Adobe Acrobat の画面が表示されます。

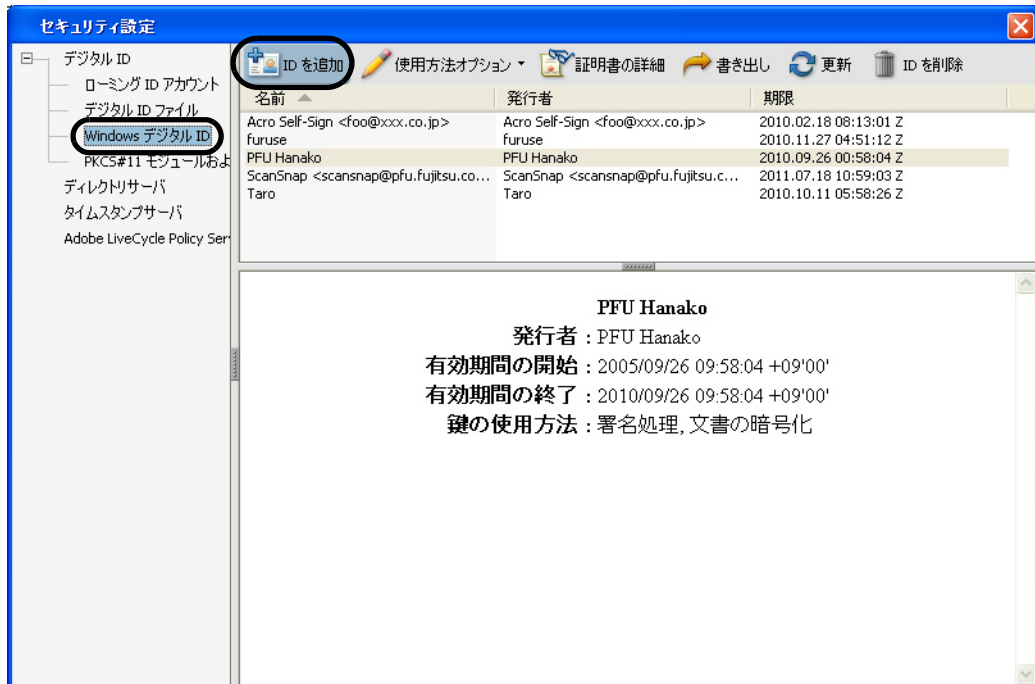
2. [アドバンスト] メニューの [セキュリティ設定] を選択します。



⇒ 「セキュリティ設定」画面表示されます。

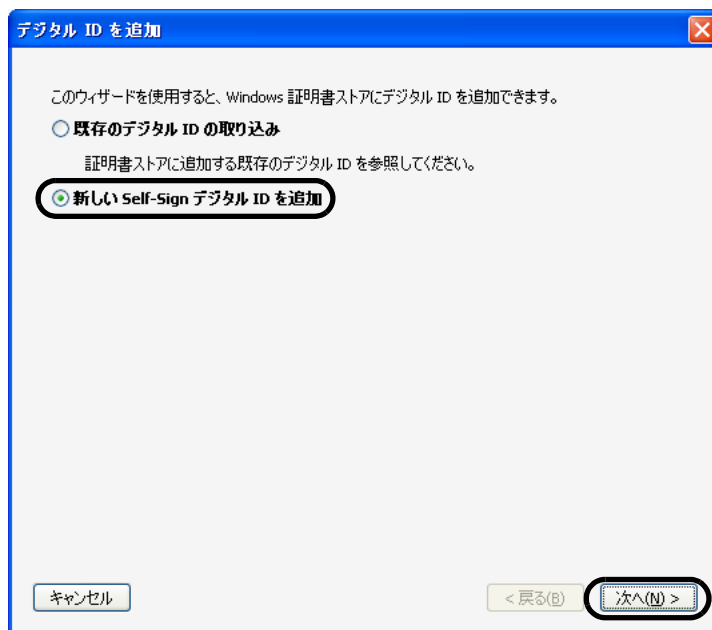


- 画面左側のツリーで [デジタル ID] → [Windows デジタル ID] を選択し、[ID を追加] ボタンをクリックします。

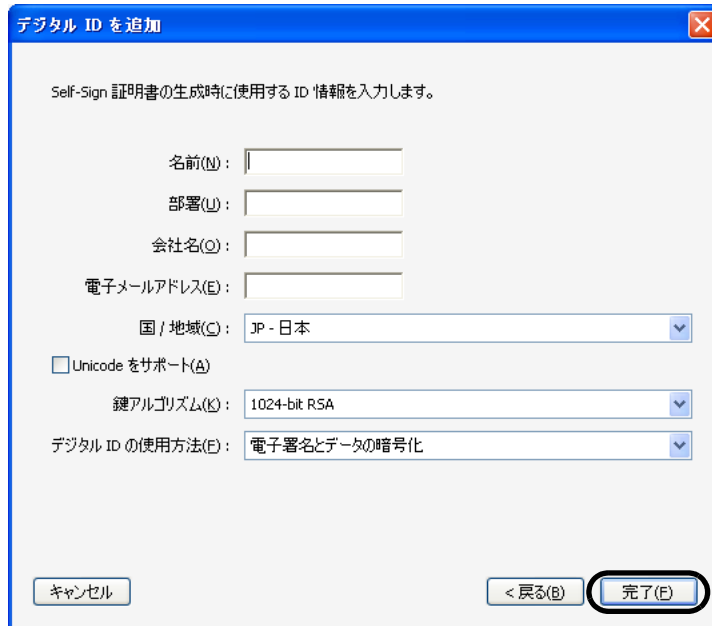


⇒ 「デジタル ID を追加」画面が表示されます。

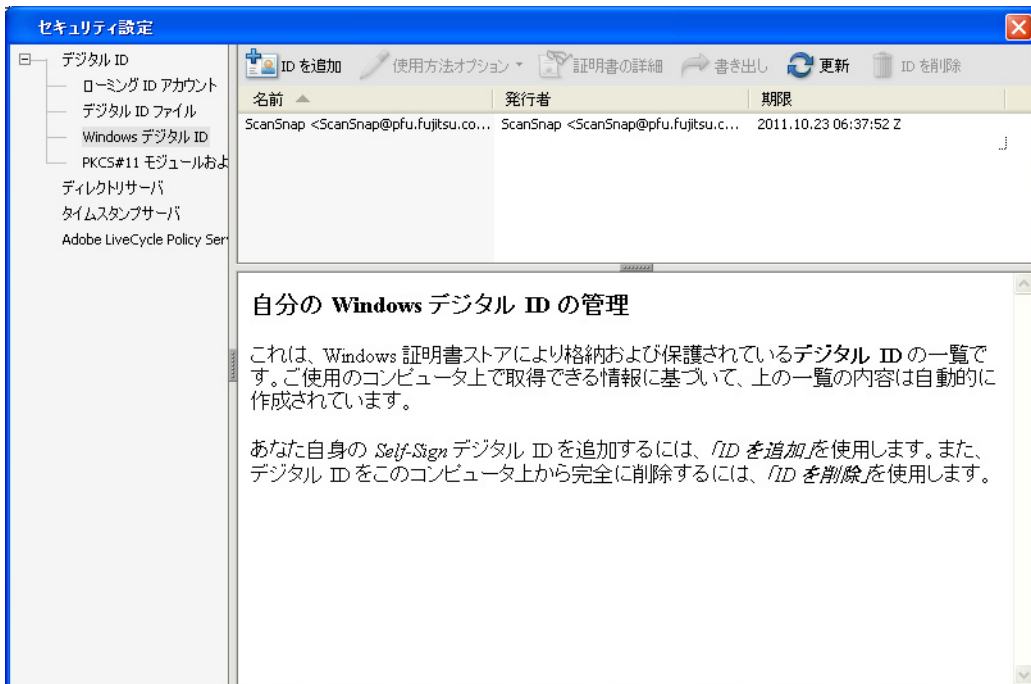
- 「新しい Self-Sign デジタル ID を追加」を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



5. 必要な情報を入力し、[完了] ボタンをクリックします。



⇒ 作成した Self-Sign デジタル ID が Windows 証明書ストアに登録されます。

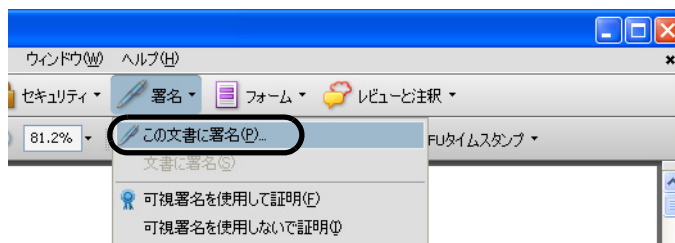
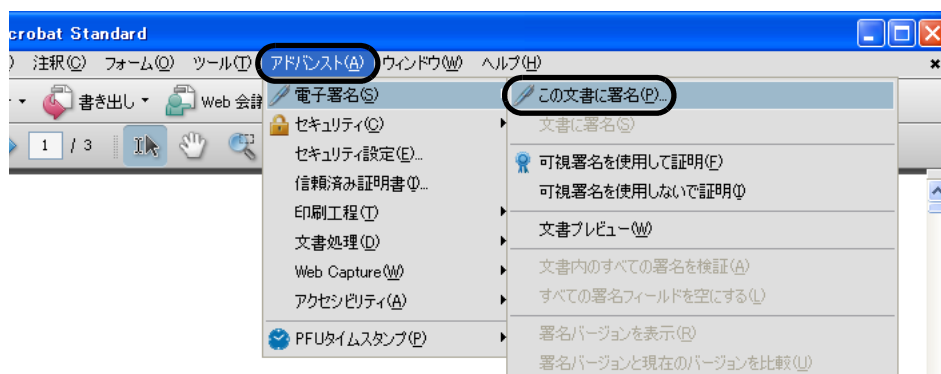


## ■ 電子署名とタイムスタンプの付加

PFU タイムスタンプを付加する方法について説明します。



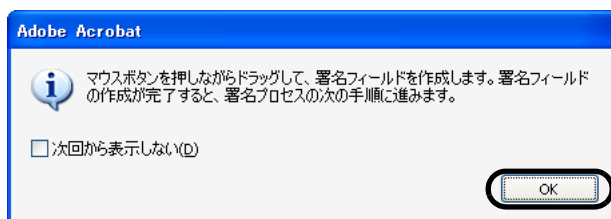
1. 対象となる PDF ファイルを、Adobe Acrobat で開きます。
2. Adobe Acrobat のメニューバーから、[アドバンスト] → [電子署名] → [この文書に署名] を選択します。またはツールバー [署名] から [この文書に署名] を選択します。



⇒ 文書に初めて署名を行う場合は、確認画面が表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

以降、このメッセージを表示しない場合は、「次回から表示しない」を有効にしてから [OK] ボタンをクリックしてください。

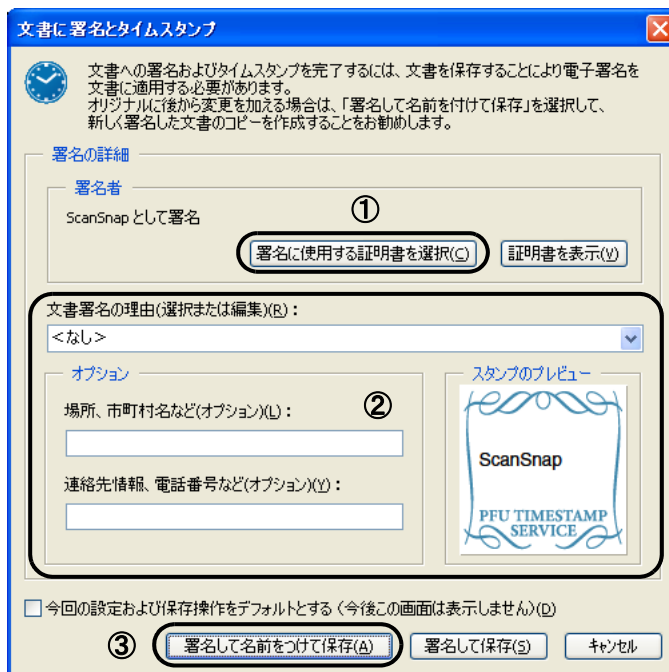


4. PDF 上でマウスをドラッグして署名を付ける範囲を指定します。

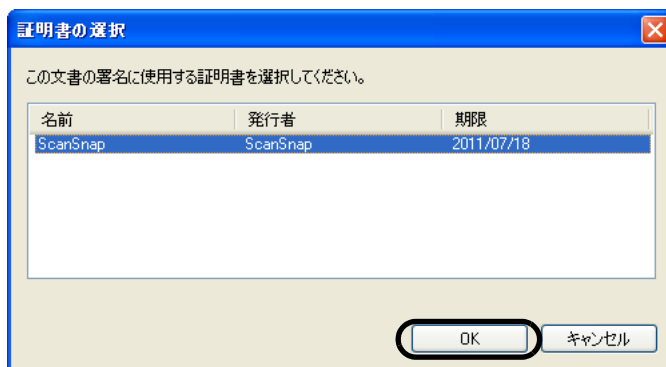


⇒ 署名フィールドが作成され、「文書に署名とタイムスタンプ」画面が表示されます。

5. 署名の詳細情報を指定して、[署名して名前を付けて保存] ボタンをクリックします。



- ① 「署名に使用する証明書を選択」ボタンをクリックして、「証明書の選択」画面で、署名に使用する証明書を選択します。

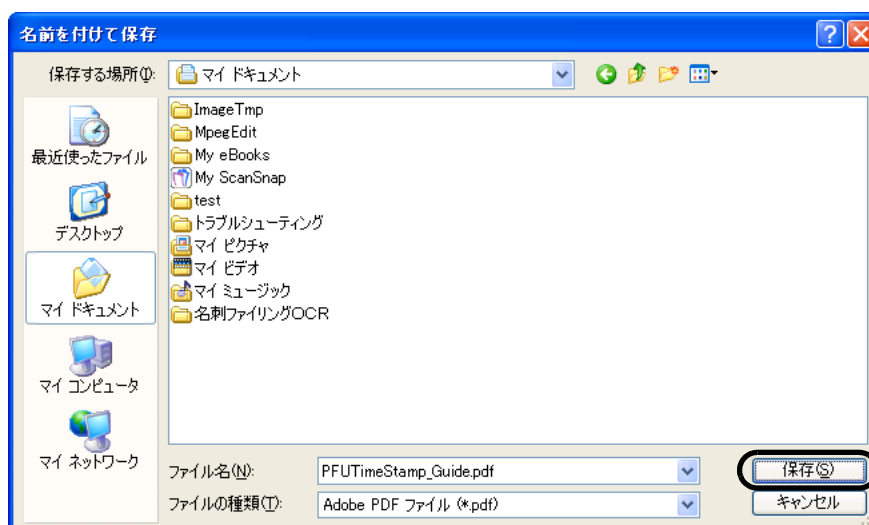


証明書が表示されない場合は、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照して、電子署名に必要な証明書の準備を行ってください。  
『PFU タイムスタンプの使い方』を参照する場合は、[スタート]メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat]の部分が変更した名前になります。)

- ② 署名に必要な情報を入力します。(未入力でも署名できます。)
- ③ [署名して名前をつけて保存]ボタンをクリックします。

⇒「名前を付けて保存」画面が表示されます。

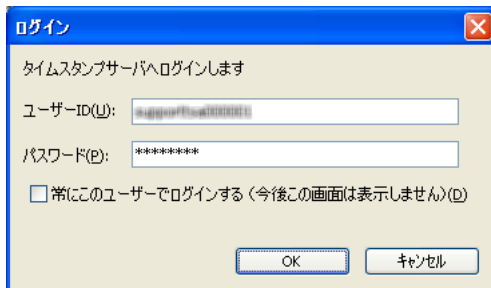
## 6. 電子署名とタイムスタンプを付加した文書を保存する場所や、ファイル名を指定し、[保存]ボタンをクリックします。



⇒「ログイン」画面が表示されます。

## 7. 「ユーザー ID」と「パスワード」を指定して、[OK] ボタンをクリックします。

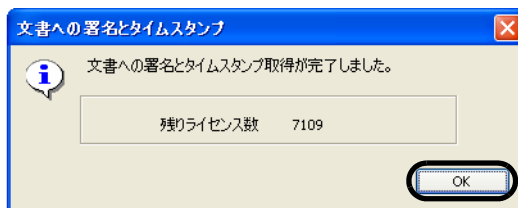
タイムスタンプサーバへログインするためのユーザー ID とパスワードは、「PFU タイムスタンプサービス利用券封書」に同封されています。



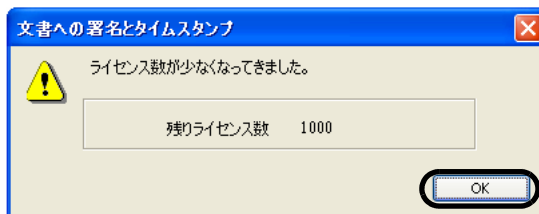
[常にこのユーザーでログインする (今後この画面は表示しません)] チェックボックスをチェックしログインを行うと、次回以降当画面は表示されず、今回入力したユーザー ID とパスワードでログインが行われます。再び当画面が表示されるようにするには、動作設定でログインに関する設定を変更してください。動作設定については、『PFU タイムスタンプの使い方』の「7. 動作設定」を参照してください。  
⇒ 電子署名とタイムスタンプが付加され、「文書への署名とタイムスタンプ」画面が表示されます。

## 8. 残りのライセンス数を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

PFU タイムスタンプの動作設定にて、「タイムスタンプの取得完了時、残りライセンス数を表示する」がチェックされている場合は、次の画面が表示されます。



なお、残りライセンス数が PFU タイムスタンプの動作設定にて指定した値以下になると、次のような画面が表示されます。動作設定については、『PFU タイムスタンプの使い方』の「7. 動作設定」を参照してください。







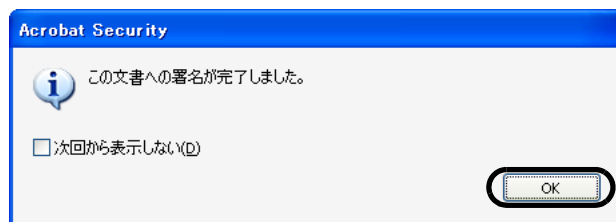
ヒント

定額制サービスをご利用の場合は、ライセンス数は表示されません。

⇒「Acrobat Security」画面が表示されます。

## 9. [OK] ボタンをクリックします。

以降、このメッセージを表示しない場合は、「次回から表示しない」を有効にしてから [OK] ボタンをクリックしてください。



⇒ 指定した署名フィールドにスタンプマークが表示されます。



ヒント

- ScanSnap で原稿を読み取って PDF ファイルを作成する際に、電子署名・タイムスタンプを付けることもできます。「[読み取った原稿に電子署名・タイムスタンプを付けます](#)」(227 ページ) を参照してください。
- 電子署名・タイムスタンプに関する詳しい説明については、『PFU タイムスタンプの使い方』を参照してください。『PFU タイムスタンプの使い方』を参照するには、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] → [使い方] の順に選択してください。(PFU タイムスタンプをインストールする際に、「プログラムフォルダ」の名前を変更した場合は、[PFU タイムスタンプ for Adobe Acrobat] の部分が変更した名前になります。)

## 6.4 名刺ファイリング OCR を使う

ScanSnap には、名刺を管理するアプリケーション「名刺ファイリング OCR」が添付されています。

名刺ファイリング OCR を使用すると、名刺を ScanSnap で読み取ってイメージデータ化し、さらに、このイメージデータ化した名刺に書かれている文字を認識（OCR: Optical Character Recognition）することによって、名刺をデータベース管理することができます。

以下に、名刺ファイリング OCR の起動方法、および ScanSnap を用いた名刺の読み取り方法について説明します。





ヒント

- 詳細については、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』を参照してください。すでに名刺ファイリング OCR がインストールされていれば、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [名刺ファイリング OCR] → [ユーザーズガイド] で参照していただくことができます。（または、装置添付の「ScanSnap Setup CD-ROM」の起動画面からも参照していただけます。）
- [スキャン] ボタンの操作モードが「左クリックメニューモード」の場合、名刺ファイリング OCR を起動してアクティブ状態にすると、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」は、自動的に「名刺ファイリング OCR」が指定された状態になります。なお、名刺ファイリング OCR を終了するか、非アクティブ状態にすると、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択:」は、もとの指定に戻ります。
- [スキャン] ボタンの操作モードが、「クイックメニューモード」の場合、名刺ファイリング OCR を起動してアクティブ状態にすると、クイックメニューが表示されずに、常に名刺ファイリング OCR で読み取りが実行されます。他の動作を実行したい場合は、名刺ファイリング OCR を終了するか、非アクティブ状態にしてから読み取ってください。

## ■ 名刺を読み取ります

ScanSnap で名刺のイメージを読み取る方法について説明します。

ここでは、[スキャン] ボタン  を使って、名刺を読み取る方法について説明します。

 ヒント 名刺ファイリング OCR を起動して、画面左上の [読み取り] ボタンから読み取りを行うこともできます。  
詳細は、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』を参照してください。

### <準備>

[スキャン] ボタンの操作モードが「クイックメニューモード」の場合と「左クリックメニューモード」の場合で、準備が異なります。

「クイックメニューモード」の場合は、名刺ファイリング OCR を起動して自動連携で読み取ります。

「左クリックメニューモード」の場合は、名刺ファイリング OCR を起動して自動連携するか、[スキャンボタンの設定] でアプリケーションを名刺ファイリング OCR に変更して読み取ります。

### 自動連携で読み取る場合




1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [名刺ファイリング OCR] → [名刺ファイリング OCR] の順に選択します。

⇒ 名刺ファイリング OCR が起動します。

2. 名刺ファイリング OCR のウィンドウを選択して、アクティブ状態にしておきます。

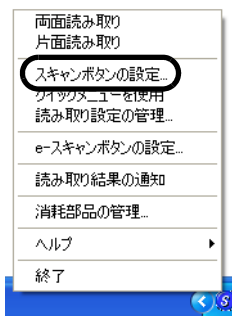
⇒ 名刺ファイリング OCR が自動連携されます。

 ヒント 他のアプリケーションが選択（アクティブ状態）されると、自動連携は解除されます。また、自動連携モードによって、挙動が異なります。詳しくは、「[4.6 アプリケーションの自動連携について](#)」（127 ページ）

## アプリケーションを変更する場合



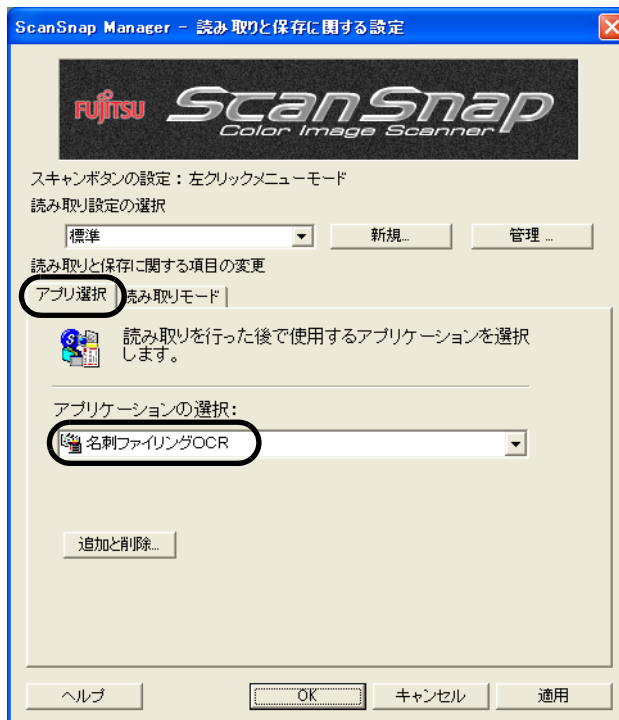
1. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示されるメニューから [スキャンボタン設定] を選択します。



⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択：」で「名刺ファイリング OCR」を選択します。

⇒タブが [アプリ選択]、[読み取りモード] の2つになります。





「読み取りモード」タブで、「読み取りモード」、「カラーモード」を変更することができます（72 ページ参照）。

初期設定では、読み取りモード「スーパーファイン」、「カラー」になっています。（ここでは、初期設定で読み取ります。）

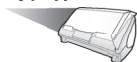
「名刺ファイリング OCR」選択時は、読み取りモードで「エクセレント」を選択できません。

### 3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

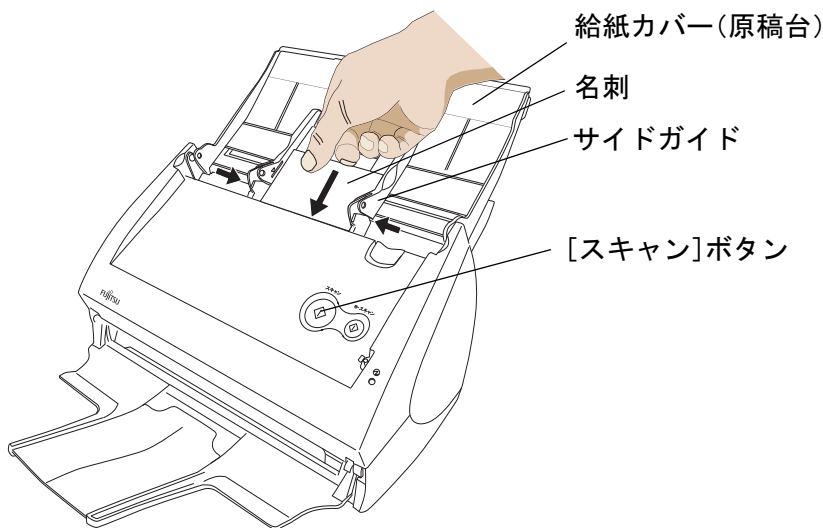
## ＜読み取り＞

操作



### 1. ScanSnap に名刺をセットします。

- 名刺の表面が給紙カバー（原稿台）側になるようにセットしてください。
- 複数枚読み取る場合は、重ねてセットしてください。
- サイドガイドを動かして、サイドガイドと名刺の間に隙間ができないようにしてください。



### 2. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 読み取りが開始されます。

読み取りが終わると、名刺ファイリング OCR が起動して [フォルダ選択] の画面が表示されます。




まって!

- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。



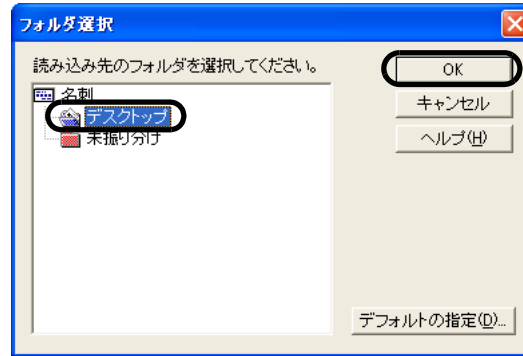
ヒント

- 初期設定では、[スキャン] ボタンの設定は、「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、[スキャン] ボタンの設定を「片面読み取り」に切り替えることができます。
  - タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン  から、読み取りを開始することもできます。
- ※ 詳細については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(81 ページ) を参照してください。



### 3. 読み取った名刺のイメージを保存するフォルダを選択します。

ここでは、「デスクトップ」フォルダを選択します。



### 4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺イメージが読み込まれ、[名刺修正画面] および [操作ガイド 4 (認識結果の文字色について)] のダイアログボックスが表示されます。

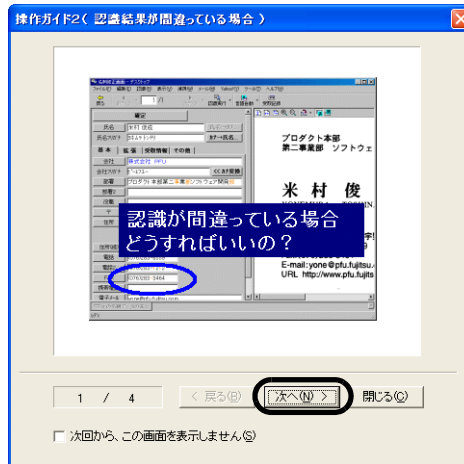
### 5. 内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。



ガイドの内容を確認しながら、[次へ] ボタンを数回クリックします。ガイドの最後の画面で、[完了] ボタンをクリックします。

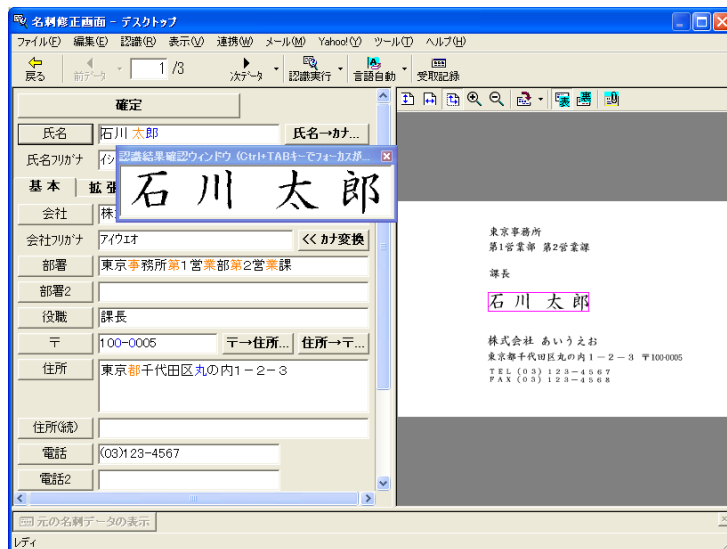
⇒ [操作ガイド 4 (認識結果の文字色について)] ダイアログボックスが閉じ、[操作ガイド 2 (認識結果が間違っている場合)] ダイアログボックスが表示されます。

## 6. 内容を確認して、[次へ] ボタンをクリックします。



操作 5. と同様にして、内容確認後、画面を閉じてください。

## 7. 「名刺修正画面」が表示されますので、読み取った名刺が正しく認識されているか確認します。



画面右側に、読み取った名刺のイメージデータが表示されます。  
画面左側に、文字認識した結果が表示されます。



## 8. 認識結果に間違いがある場合、修正します。

画面右側の画面イメージに対して文字認識結果が異なる場合、修正を行ってください。



修正方法の詳細については、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』の「2.5 名刺データを修正します」を参照してください。

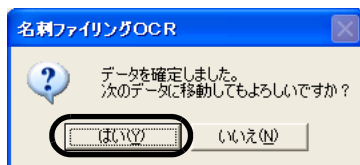
## 9. 修正が終わったら、[確定] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺データが確定され、認識結果の文字がすべて黒色になります。

次の名刺データを表示するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

## 10. 次の名刺データを表示して 認識結果を確認する場合は [はい] ボタンを、次の名刺データを表示しない場合は [いいえ] ボタンをクリックします。

ここでは、[はい] ボタンをクリックして、すべての名刺データの認識結果を確認し、名刺データを確定します。



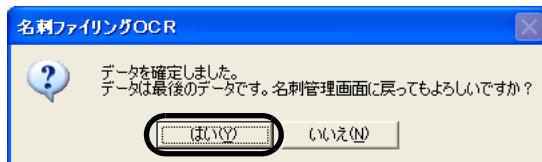
⇒ [はい] ボタンをクリックすると、次の名刺データが表示されます。

認識結果を確認して、[確定] ボタンをクリックします。

[いいえ] ボタンをクリックすると、メッセージが閉じます。

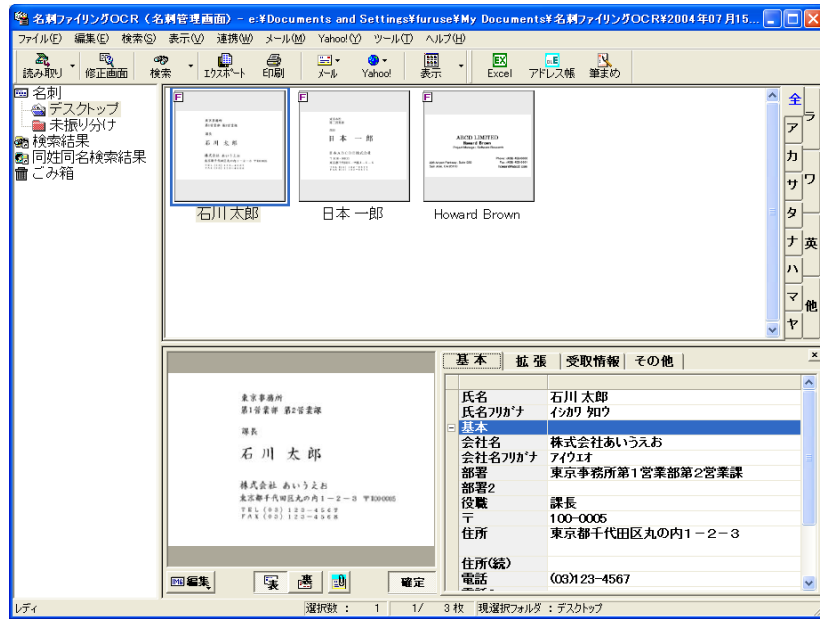
⇒ 最後の名刺データを確定すると、「名刺管理画面」に戻るかどうかを確認するメッセージが表示されます。

## 11. [はい] ボタンをクリックします。



名刺修正画面を表示したままにする場合は、[いいえ] ボタンをクリックします。名刺修正画面から名刺管理画面に戻るときは、ツールバーの [戻る] ボタンをクリックします。

⇒ 名刺修正画面が閉じ、名刺管理画面が表示されます。



## 12. 名刺ファイリング OCR を終了する場合は、[ファイル] メニューの [終了] を選択してください。



ヒント

名刺ファイリング OCR の機能や、使用方法についての詳細は、『名刺ファイリング OCR ユーザーズガイド』を参照してください。  
すでに名刺ファイリング OCR がインストールされていれば、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [名刺ファイリング OCR] → [ユーザーズガイド] から参照していただくことができます。(または、装置添付の「ScanSnap Setup CD-ROM」の起動画面からも参照していただけます。)

## 6.5 ScanSnap Organizer を使う

ScanSnap <sup>オーガナイザー</sup> Organizer は、PDF、JPEG などの画像ファイルをサムネイル表示（縮小表示）し、管理するためのアプリケーションです。

ScanSnap で読み取った画像を、ファイルを開くことなく閲覧したり、目的別にフォルダを作成して、ファイルを整理したりすることができます。

また、ScanSnap Organizer ビューアで開いて、編集（回転、削除、移動、挿入）することができます。

以下に、ScanSnap Organizer の使用方法について説明します。



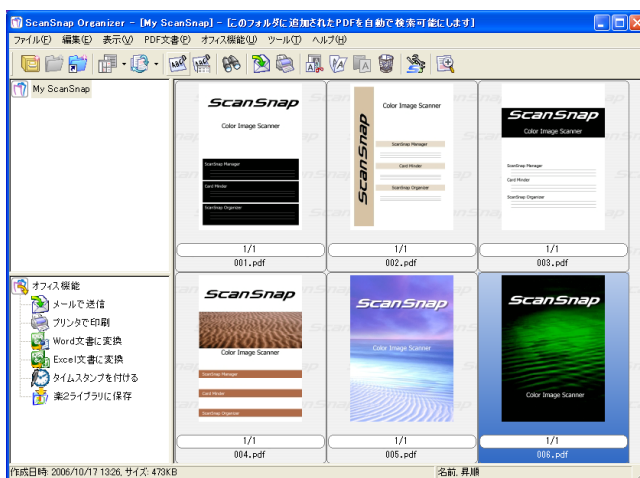
詳細については、『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』を参照してください。すでに ScanSnap Organizer がインストールされていれば、[スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Organizer] → [ユーザーズガイド] で参照していただくことができます。（または、装置添付の「ScanSnap Setup CD-ROM」の起動画面からも参照していただけます。）

## ■ ScanSnap Organizer を起動します




### 1. [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] → [ScanSnap Organizer] → [ScanSnap Organizer] を選択します。

⇒ ScanSnap Organizer の画面が表示されます。



ヒント



- デSKTOP上の、「ScanSnap Organizer」のアイコン  をダブルクリックしても起動できます。
- パスワードを設定した PDF ファイルは、セキュリティ保護のため、サムネイル表示することができません<sup>※</sup>。この場合、Adobe Acrobat のアイコンが表示され、左下にカギのマークが表示されます。  
<sup>※</sup>ただし、ScanSnap Manager が起動中で、「PDF ファイルオプション」の「固定パスワード」を設定している場合、同じパスワードの PDF ファイルは、サムネイル表示することができます。  
 固定パスワードの設定方法については、「[固定パスワードを使用します](#)」(99 ページ) を参照してください。  
 また、「権限パスワード」が設定されている場合は、「内容のコピーと抽出」が許可されていれば、サムネイル表示することができます。
- [スキャン] ボタンの操作モードが「左クリックメニューモード」の場合、ScanSnap Organizer を起動してアクティブ状態にすると、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」は、自動的に「ScanSnap Organizer」が指定された状態になります。なお、ScanSnap Organizer を終了すると、[アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」は、もとの指定に戻ります。
- [スキャン] ボタンの操作モードが、「クイックメニューモード」の場合、ScanSnap Organizer を起動してアクティブ状態にすると、クイックメニューが表示されずに、常に「このコンピュータに保存」(ScanSnap Organizer で読み取り結果を表示) が実行されます。ほかの動作を実行したい場合は、ScanSnap Organizer を終了してから読み取ってください。

## ■ ScanSnap と連携します

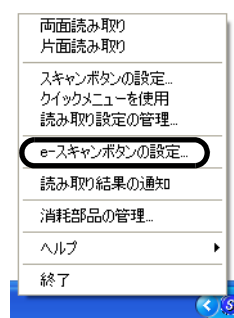
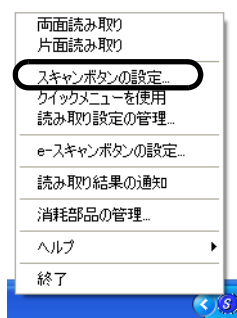
ScanSnap で読み取りを行い、ScanSnap Organizer で表示する方法について説明します。

### <準備>

[スキャン] ボタンの操作モードが「左クリックメニューモード」の場合、および [e-スキャン] ボタンの場合は、事前に以下の準備が必要です。



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして表示されるメニューで、「スキャンボタンの設定」または「e-スキャンボタンの設定」を選択します。

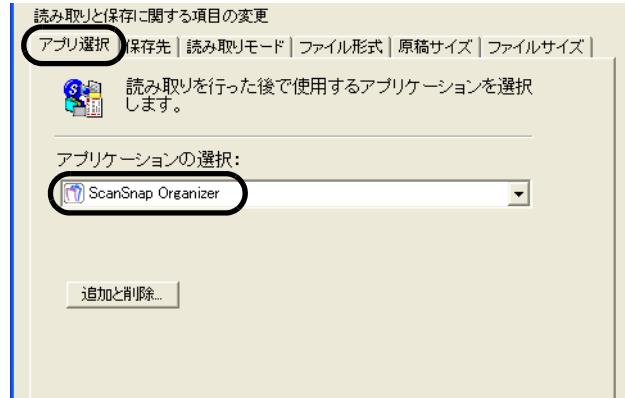


⇒ 「読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。



クイックメニューを使用している場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面で [アプリ選択] タブは表示されません。[アプリ選択] を行う場合は、「クイックメニューを使用」のチェックを外してください。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択 : 」で「ScanSnap Organizer」を選択します。

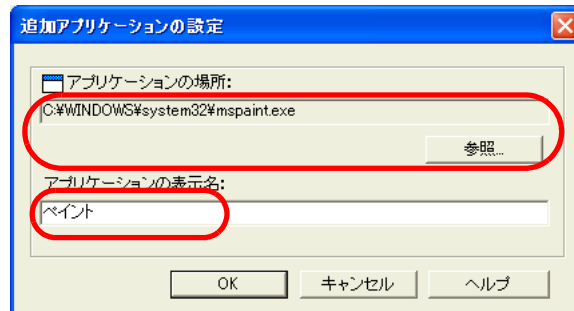


### 3. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



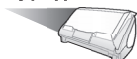
- この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から左クリックメニューで設定を切り替えることができます。  
読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(107 ページ)を参照してください。
- 連携するアプリケーションを追加する場合
  1. [アプリ選択] タブの [追加と削除] ボタンをクリックします。  
「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されます。
  2. [追加] ボタンをクリックします。  
「追加アプリケーションの設定」画面が表示されます。
  3. [参照] ボタンをクリックし、「アプリケーションの場所 :」を設定します。  
「アプリケーションの表示名」を入力して [OK] ボタンをクリックします。



4. 「アプリケーションの追加と削除」画面に戻ります。  
[閉じる] ボタンをクリックします。
5. [アプリ選択] タブに戻ります。  
アプリケーションは追加されました。「アプリケーションの選択 :」で選択することができます。

## <読み取り>

操作



1. ScanSnap に原稿をセットします。

2. [スキャン] ボタン  または [e-スキャン] ボタン  を押します。

⇒ 読み取りが開始されます。



[スキャン] ボタン (クイックメニュー使用時) の場合は、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。「このコンピュータに保存」を選択してください。

⇒ 読み取りが終わると、ScanSnap Organizer が起動して、読み取った画像がサムネイル表示されます。



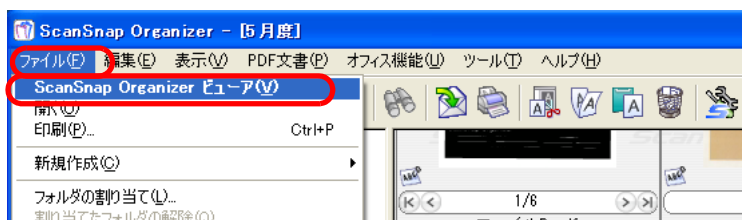
読み取った画像は、「オプション設定」の画面の [一般設定] タブで「My ScanSnap フォルダ:」に指定したフォルダに保存されます。([ツール] → [オプション])  
※初期設定は、[マイドキュメント] 下の [My ScanSnap] フォルダです。  
(Windows Vista の場合は、「ScanSnap」フォルダです)  
※ ScanSnap Manager から保存先を変更することはできません。

## <編集機能を使う>

ここでは、ScanSnap Organizer ビューアで画像を表示し、編集（回転、削除、移動、挿入）する手順について説明します。



1. [ファイル] メニュー→「ScanSnap Organizer ビューア」をクリックします。



以下の方法でも「ScanSnap Organizer ビューア」で開くことができます。

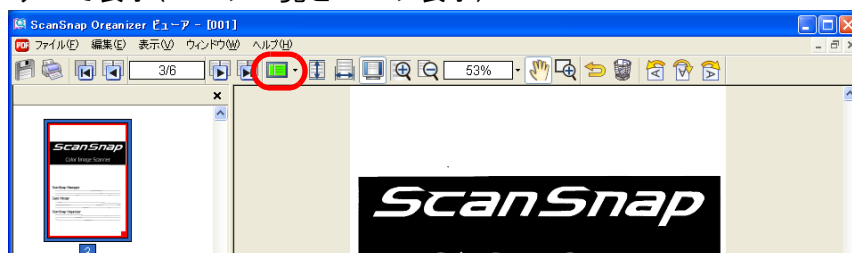
- ファイルを右クリックして [ScanSnap Organizer ビューア] をクリック
- ファイルをダブルクリック

[ツール] メニューの「オプション」画面の [一般設定] タブの「マウス操作」で、「ScanSnap Organizer ビューア」を選択しておく必要があります。

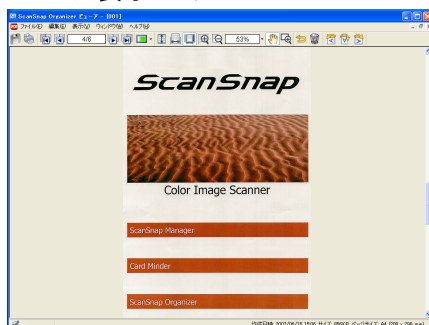
2. ScanSnap Organizer ビューアで画像が表示されます。

[画面モードの切替] ボタンをクリックして、画面モードを切り替えることができます。

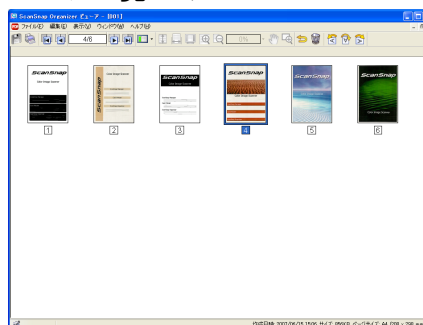
すべて表示(ページ一覧とページ表示)



ページ表示のみ



ページ一覧のみ

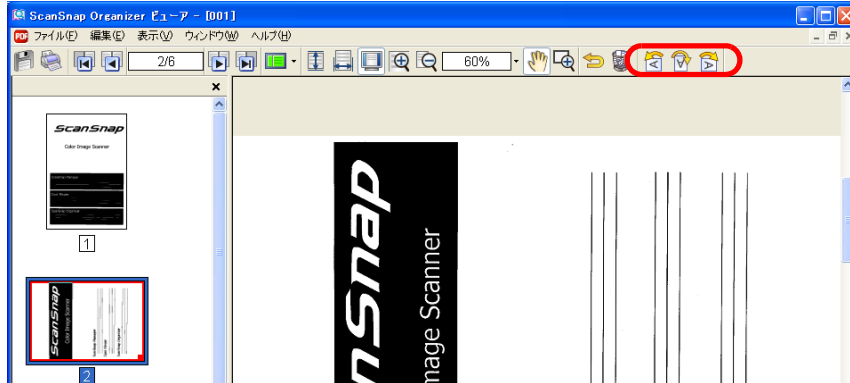




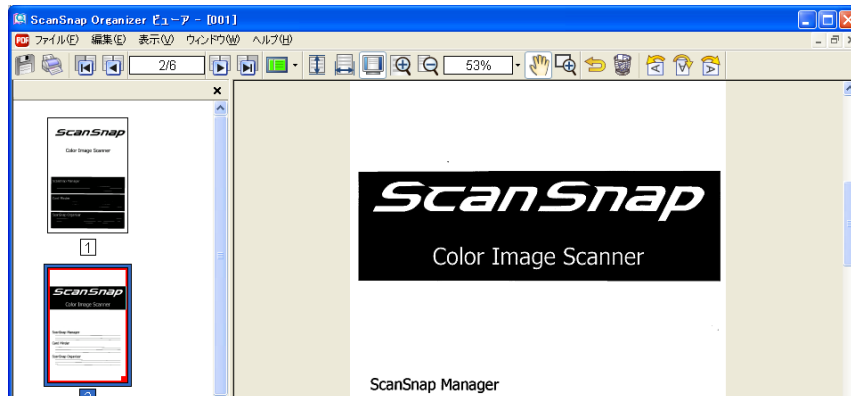
### 3. 画像を編集します。

#### 回転

[回転] ボタン (左 90 度、180 度、右 90 度) をクリックします。

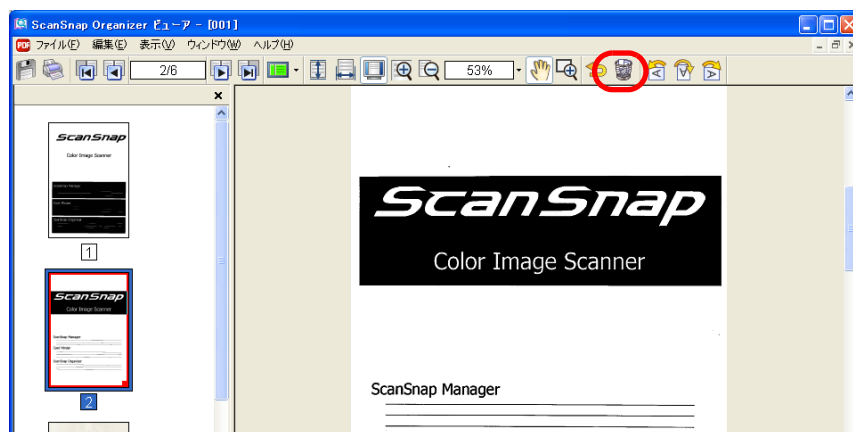


ページが回転します。



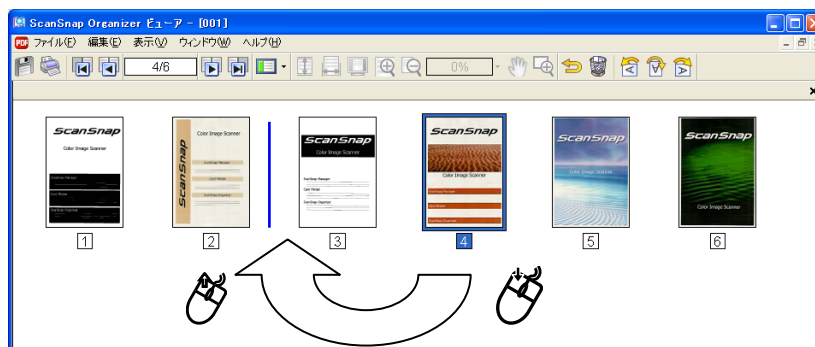
#### ページの削除

[ページの削除] ボタンをクリックして、ページを削除します。



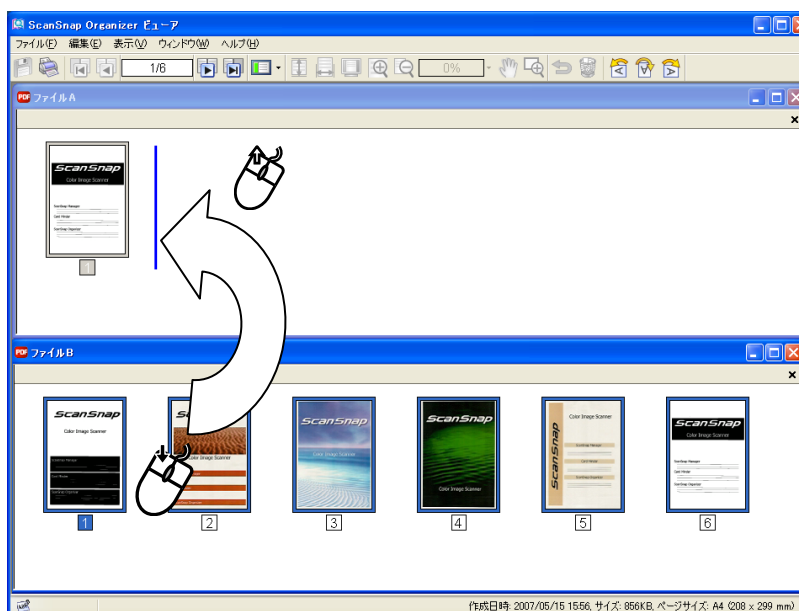
### ページの移動

移動したいページを選択し、移動先へドラッグ & ドロップします。



### ページの挿入

挿入元ファイルと挿入先ファイルを開き、挿入元ページを選択し挿入先へドラッグ & ドロップします。



ヒント

ScanSnap Organizer ビューアの編集機能についての詳細は、『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』および ScanSnap Organizer のヘルプを参照してください。

## <ファイル整理>

ここでは、キャビネットとフォルダを新しく作成して、読み取ったファイルを、その中に移動する手順について説明します。



ヒント

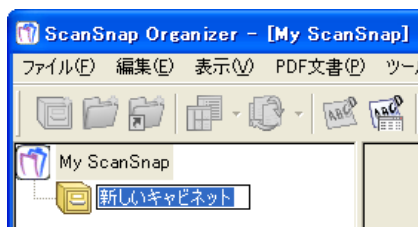
部屋〔My ScanSnap〕フォルダ〕の中に山積みになった書類（ファイル）を整理するために、棚（キャビネット）と書類入れ（フォルダ）を新しく設置し、その中に、目的別に分類して書類を片付けるといったイメージです。



操作

### 1. [ファイル] メニューで、[新規作成] → [キャビネット] を選択します。

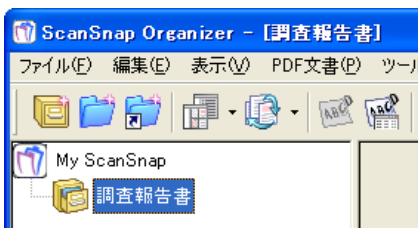
⇒ フォルダー一覧の [My ScanSnap] フォルダ下に、「新しいキャビネット」が作成されます。



### 2. キャビネット名を入力します。

ここでは、例として「調査報告書」という名前にします。

### 3. 操作 1. で作成したキャビネットを選択します。



### 4. [ファイル] メニューで、[新規作成] → [フォルダ] を選択します。

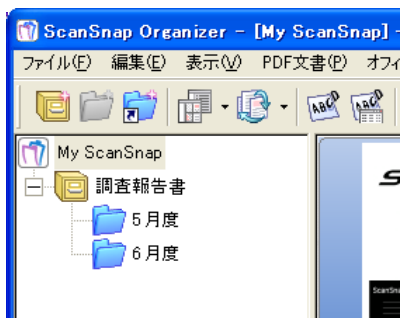
⇒ 操作 1. で作成したキャビネットの下に、「新しいフォルダ」が作成されます。




5. フォルダ名を入力します。

6. 操作 4.、操作 5. を繰り返して、必要な分のフォルダを作成します。

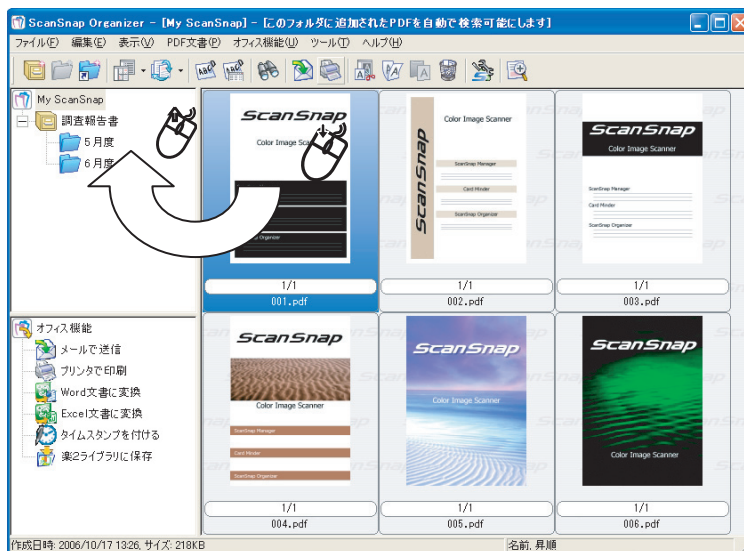
ここでは、例として「5 月度」、「6 月度」という 2 つのフォルダを作成します。



7. ファイルを選択します。

ヒント  [Ctrl] キーを押しながら選択すると、一度に複数のファイルを選択することができます。

8. 選択したファイルを、目的のフォルダに、ドラッグ&ドロップします。



9. 操作 7.、操作 8. を繰り返して、ファイルを目的のフォルダに保存します。

## <オフィス機能を使う>

ファイルをドラッグ&ドロップすることによって、オフィス機能を使うことができます。ScanSnap Manager のオフィス機能「第5章 オフィス機能」(131 ページ) と同等の機能を読み取ったあとに実行することができます。

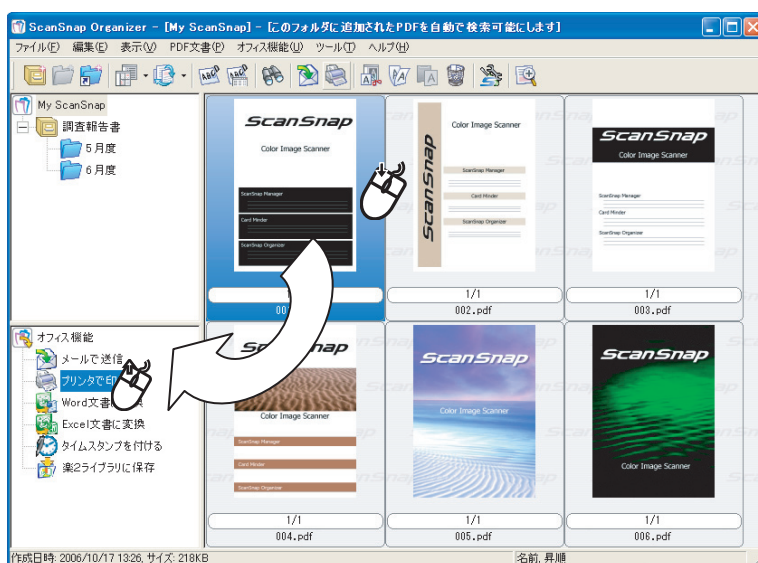


### 1. ファイルを選択します。



ヒント [Ctrl] キーを押しながら選択すると、一度に複数のファイルを選択することができます。

### 2. 選択したファイルを、目的のオフィス機能に、ドラッグ&ドロップします。



⇒ 選択したオフィス機能が実行されます。

オフィス機能には、以下のものがあります。

項目名	動作
メールで送信	選択したファイルを、電子メールに添付した状態でメールソフトを起動します。
プリンタで印刷	選択したイメージを、プリンタで印刷します。
Word 文書に変換 *1	選択したファイルを文字認識し、Word 文書に変換します。
Excel 文書に変換 *1	選択したファイルを文字認識し、Excel 文書に変換します。
タイムスタンプを付ける *2	選択したファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます。
楽2ライブラリに保存 *3	選択したファイルを、楽2ライブラリのバインダに保存します。

\*1) ABBYY FineReader for ScanSnap 3.0 がインストールされていない場合は表示されません。

\*2) PFU タイムスタンプをインストールして、あらかじめ電子署名・タイムスタンプの設定を行っておく必要があります。

\*3) 楽2ライブラリ（別売）がインストールされていない場合は表示されません。

また、本機能を使用するには、楽2ライブラリ V4.0 以降が必要となります。



ヒント

ScanSnap Organizer のオフィス機能についての詳細は、『ScanSnap Organizer ユーザーズガイド』を参照してください。

# 第7章



## 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法およびトラブルの対処方法について説明しています。

---

7.1 原稿づまりの処理.....	278
7.2 トラブルと対処 .....	280

---

## 7.1 原稿づまりの処理

読み取り中に原稿が詰まった場合は、以下の方法で原稿を取り除いてください。

### ⚠ 注意

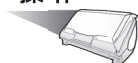
- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF カバーを開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。ケガをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどが ScanSnap 内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。



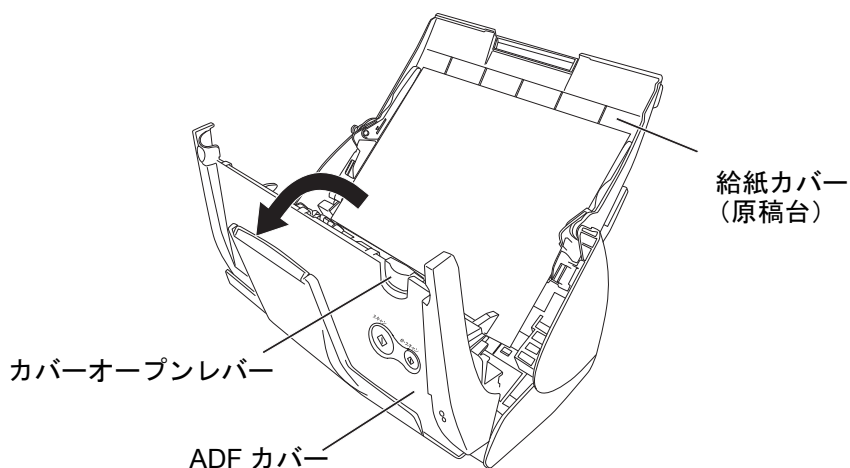
ヒント

ScanSnap の内部は、「[8.2 ScanSnap 内部の清掃](#)」(291 ページ)にある清掃の目安をもとに清掃してください。

### 操作

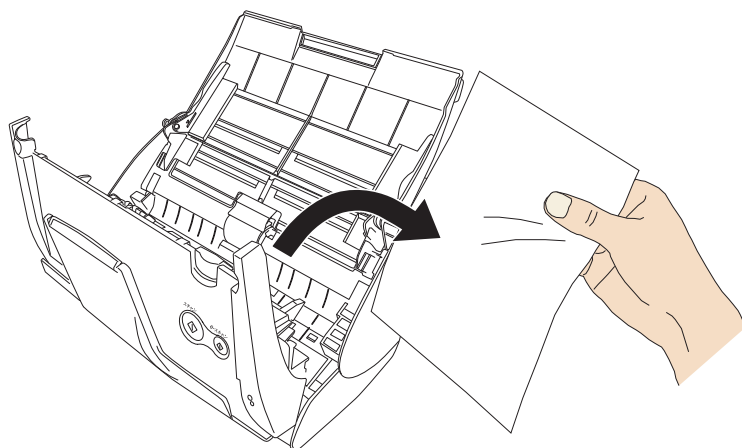


1. 給紙カバー（原稿台）の上にある原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

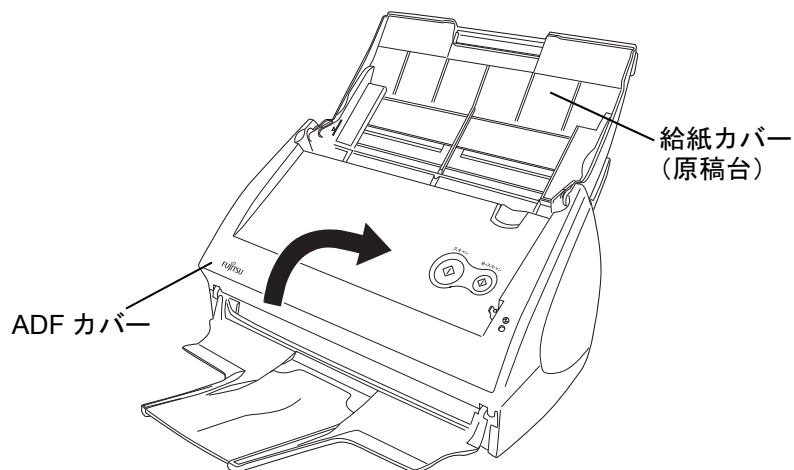




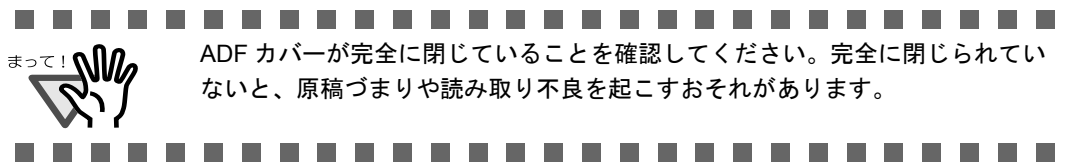
### 3. つまっている原稿を取り除きます。



### 4. ADF カバーを閉じます。



⇒「カチン」という音がします。



まって!

ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿づまりや読み取り不良を起こすおそれがあります。

7


困ったときには


## 7.2 トラブルと対処

ScanSnap を使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。

修理を依頼される前に、以下の項目を点検してください。

直らないときは、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (325 ページ) にお問い合わせください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
電源が入らない。	電源ケーブル／USB ケーブルがきちんと接続されていますか？	電源ケーブル／USB ケーブルを正しく接続してください。 電源ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 (※電源ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけて行ってください。)
	給紙カバー（原稿台）が閉まっていますか？ (給紙カバー（原稿台）の開閉で、自動的に電源が ON/OFF されます。)	給紙カバー（原稿台）を開けてください。
	Windows は正常に起動していますか？ (パソコンの電源に連動して、自動的に ScanSnap の電源が ON/OFF されます。)	Windows が正常に起動するまでお待ちください。 Windows の起動処理中またはパソコンが休止状態の場合、電源ランプ①が消灯する場合があります。
読み取りが開始されない。	USB ケーブルがきちんと接続されていますか？	USB ケーブルを正しく接続してください (USB ハブを使用している場合は、ハブの電源を確認してください)。
	電源ランプ①が点滅していませんか？	電源ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 (※電源ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけて行ってください。)
	ScanSnap Manager が起動していますか？ (正しく起動している場合は、タスクバーに「ScanSnap Manager」のアイコン  が表示されています。)	「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、 [スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [ScanSnap Manager] → [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取りが開始されない。	ScanSnap Manager が、正常に動作していますか？ (正常に動作していない場合は、タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコンが  になっています。)	次の手順にしたがい、作業をおこなってください。 1. ScanSnap Manager ドライバを更新します。 [スタート]メニューから、[コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] タブ → [デバイス マネージャ] の順に選択します。デバイスマネージャで「ScanSnap S510」を右クリックして、表示されたメニューから「ドライバの更新」を選択します。この方法を試しても症状が改善されない場合は、手順 2 を行ってください。 2. ScanSnap の電源を切断し、再度電源を投入します。 この方法を試しても症状が改善されない場合は、手順 3 に進んでください。(※電源の切断/投入は、5 秒以上間隔をあけて行ってください。) 3. USB ハブを使用している場合、ScanSnap を直接パソコンに接続してください。 この方法を試しても症状が改善されない場合は、手順 4 に進んでください。 4. パソコンを再起動してください。  上記の方法でも問題が解決されない場合、ScanSnap Manager を一度アンインストールしてから再度インストールしてください。アンインストールについては、「付録 B アンインストール」(315 ページ) を参照してください。
	パソコンを休止状態から、復帰させましたか？	パソコンを休止状態から復帰させた場合は、マウスを動かすか、キーボードの任意のキーを押した後に、読み取りを行ってください。
画像に縦すじが発生する。	ScanSnap 内部がよごれていませんか？	「第 8 章 清掃方法」(289 ページ) に従って、清掃してください。
画像がずれる／画像がゆがむ。	原稿が正しくセットされていますか？	「3.3 原稿のセット方法」(62 ページ) を参考にして、原稿を正しくセットしてください。
画像が薄い／画像が濃い。	「白黒」読み取りで、「白黒読み取りの濃度」の設定が極端に薄く(または濃く)なっていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブ → [オプション] で、「白黒読み取りの濃度」を調整してください。
原稿上の細かい線がかすれてしまう。 (例：表の罫線が見えない。)	カラー読み取りで、活字や罫線つきの表、手書き文字が含まれる原稿を読み取っていませんか？	このような場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面で、「読み取りモード」タブの [オプション] → 「文字をくっきりします」をチェックしてください。 それでもかすれる場合には、読み取りモードを変更してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取りに時間がかかる。	ご使用のパソコンは、推奨条件を満たしていますか？	インストールする前に (6 ページ) で、システム条件を確認してください。 推奨に満たないCPU、メモリ容量の場合は、読み取り速度が低下します。その場合は、「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」で、以下の設定を無効にする（チェックを外す）と、読み取り速度を速くすることができます。 ・文字列の傾きを自動的に補正します ・原稿の向きを自動的に補正します
	USB 1.1 で接続していませんか？ USB 1.1 の場合、データ転送量が大きくなると、極端に読み取り速度が遅くなる場合があります。	USB2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合、そちらを使用してください。(USB ハブをご使用の場合は、そちらも USB2.0 に対応している必要があります。)*1)
マルチフィードが多発する。  注) マルチフィードとは、原稿が重なって読み込まれることです。	パッドユニットがよごれていませんか？	「8.2 ScanSnap 内部の清掃」(291 ページ) に従って、パッドユニットを清掃してください。
	パッドユニットが消耗していませんか？	「9.2 パッドユニットの交換」(300 ページ) に従って、パッドユニットを交換してください。
	原稿の枚数が厚み 5mm を超えていませんか？	セットする原稿の枚数は、厚み 5mm 以下になる枚数にしてください。
原稿が読み込まれない。 (途中で止まる)	ピックアップユニットがよごれていませんか？	「8.2 ScanSnap 内部の清掃」(291 ページ) に従って、ピックアップユニットを清掃してください。
	ピックアップユニットが消耗していませんか？	「9.3 ピックローラユニットの交換」(303 ページ) に従って、ピックアップユニットを交換してください。
	搬送路に異物が入っていませんか？	搬送路の異物を取り除いてください (「7.1 原稿づくりの処理」(278 ページ) を参照してください)。
	名刺やはがきなどの厚紙を読み取っていませんか？ 名刺、はがきなどの厚い原稿を読み取る場合、まれに、セットした原稿がうまく送り込まれないことがあります。	以下の方法を試してください。 ・読み取りを開始したら、一枚目の原稿を指などで軽く押し込む ・原稿をセットする向きを変える
ScanSnap Manager をインストールしても装置が認識されない。	ScanSnap Manager をインストールする前に装置をパソコンに接続していませんか？ [デバイスマネージャ] で、装置が「その他のデバイス」として登録されていませんか？	[スタート] メニューから、[コントロールパネル] → [システム] → [ハードウェア] タブ → [デバイス マネージャ] の順に選択します。 デバイス マネージャ上で「その他のデバイス」の下に表示されるデバイス名 (「USB デバイス」など、オペレーティングシステムによって異なります。) を削除し、パソコンを再起動してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
白黒原稿を読み取っているのに、ファイルサイズがカラー原稿を読み取ったときと変わらない。	白黒原稿を、「カラー」読み取りしていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択：」を「白黒」に設定してください。
白黒で読み取れない。	[e-スキャン] ボタンで読み取っていませんか？ [e-スキャン] ボタンで読み取る場合は、常にカラーで読み取られます。 e-文書法では、改ざん防止のため、改ざんあとが見えるように、24bit カラー以上で読み取る必要があるためです。	白黒で読み取る場合は、[スキャン] ボタンを使って読み取ってください。 (※ただし、e-文書として使用することはできません。)
ファイルサイズの設定ができない。	[e-スキャン] ボタンで読み取っていませんか？ [e-スキャン] ボタンでは、「ファイルサイズ」の設定はできません。 圧縮率は、「画質の選択：」が「ファイン」の場合「2」、「スーパーファイン」の場合「3」で読み取られます。	ファイルサイズの設定を変える場合は、[スキャン] ボタンを使って読み取ってください。 (※ただし、e-文書として使用することはできません。)
両面原稿を読み取ると、裏面が透けて読み取られてしまう(裏写り)。	「読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブの「オプション」で、「文字をくっきりします」のチェックが外れていませんか？	「文字をくっきりします」をチェックしてください。
読み取ったはずの原稿のデータが消えてしまう。 (「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合)	「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合、白紙に近い原稿(例：2、3文字以内の文字のみが書かれたほぼ白紙の原稿)も、白紙とみなされて削除される場合があります。	「読み取りと保存に関する設定」画面で、「読み取りモード」タブの「オプション」→「白紙ページを自動的に削除します」のチェックを外してください。
読み取った画像が傾いている。	原稿が±5度以上傾いていませんか？	傾き補正が可能な角度は、±5度までです。この範囲を超えないように、サイドガイドで原稿をしっかりそろえて読み取ってください。
	原稿に問題はありませんか？ 原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	<a href="#">文字列の傾きを自動的に補正します (95 ページ)</a> を参照してください。
読み取った画像が正しい向きに表示されない。 (自動向き補正時)	原稿に問題はありませんか？ 原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	<a href="#">原稿の向きを自動的に補正します (96 ページ)</a> を参照してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取った画像が正しい向きに表示されません。 (自動向き補正時)	原稿に問題はありませんか？ 原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	原稿の向きを自動的に補正します (96 ページ) を参照してください。
読み取った画像の文字が読めない。	文字の小さい原稿を読み取っていませんか？	小さい文字がつぶれてしまうような場合は、「画質の選択:」を、「スーパーファイン」または「エクセレント」にして読み直してください。 (※ただし、「エクセレント」で読み取ると、イメージデータサイズが大きくなるため、読み取りにかかる時間が長くなります。)
設定した内容が読み取りに反映されない。	[スキャン] ボタンの設定を行い、[e-スキャン] ボタンで読み取っていませんか？ または、[e-スキャン] ボタンの設定を行い、[スキャン] ボタンで読み取っていませんか？	右クリックメニューで、以下を選択してから設定してください。 ・ [スキャン] ボタンで読み取る場合は、[スキャンボタンの設定] ・ [e-スキャン] ボタンで読み取る場合は、[e-スキャンボタンの設定]
現在の設定が「読み取り設定」として保存できない。	[e-スキャン] ボタンで読み取っていませんか？ [スキャン] ボタン (クイックメニューモード) で読み取っていませんか？ 上記の場合、設定内容は、「読み取り設定」を保存することができません。	「読み取り設定」に任意の設定を保存したい場合は、[スキャン] ボタンの操作モードを「左クリックメニューモードに」切り替えてください。 設定の保存方法については、「4.3 読み取り設定を保存するには」(107 ページ) を参照してください。
原稿がうまく搬送されない、つまる。	スキャナ内部が汚れていませんか？ 薄い紙、破れた紙、折れ曲がった紙などを読み取っていませんか？	スキャナ内部を清掃してください。 搬送性の悪い原稿は、キャリアシートを使用して一枚ずつ読み取ってください。
A3 キャリアシートで読み取ると原稿づまりが頻繁に発生する	-	PPC 用紙 (再生紙) など 50 枚程度を連続給紙した後に、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。 ※ PPC 用紙 (再生紙) は、印刷済みのものでも無地のものでもかまいません。
読み取った原稿に対して、出力した画像データの幅が広がる。	原稿サイズを「サイズ自動選択」にして、[e-スキャン] ボタンで読み取っていませんか？ この場合、原稿の端を検出して、読み取った原稿と同じサイズに切り出して出力します。 そのため、原稿の端がうまく検出できないと、幅方向が最大サイズで出力される場合があります。	・ 読み取った画像をお好みのサイズにしたい場合は、Adobe Acrobat などのアプリケーションで、トリミング処理を行って画像の必要な部分を切り取ってください。 ・ 本原稿を再度読み取る場合は、定形サイズやカスタム原稿サイズを指定して再度読み取りを行ってください。
A3 キャリアシートで読み取ると「原稿サイズ異常」のメッセージが出たり、画像の一部が切れている。	A3 キャリアシートに小型原稿 (写真・はがきなど) を複数枚並べて読み取っていませんか？ -	A3 キャリアシートに小型原稿 (写真・はがきなど) を 1 枚ずつ挟んで読み取ってください。  原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。その場合には、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にセットして読み取ってください。




こんなとき	ここをお調べください	対処方法
原稿に黒い跡が残る。	鉛筆書きの原稿を読み取っていませんか？	A3 キャリアシートに挟んで読み取することを推奨します。 A3 キャリアシートを使わずに読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。(清掃方法については、「 <a href="#">8.2 ScanSnap 内部の清掃</a> 」(291 ページ)を参照してください。)
画像が欠ける／画像に斜めの線が入る／原稿の幅が大きく出力される。	「原稿サイズを選択：」で「サイズ自動検出」を選択して読み取った際に、原稿が斜めに傾いてませんか？(サイドガイドできちんと原稿をそろえて読み取っていますか？)	サイドガイドで原稿をしっかりそろえて読み取ってください。 「 <a href="#">幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります</a> 」(104 ページ)のような場合は、幅の狭い原稿が、まっすぐ読み取られるように原稿をセットしてください。原稿がまっすぐ搬送されない場合は、幅の同じ原稿に分けて読み取ることをお奨めします
電子署名とタイムスタンプが付加されない。	「タイムスタンプモジュールのインターフェースエラーが発生しました」というメッセージが表示されていますか？	OS を再起動して再度実行してください。
	インターネットに接続されていますか？	接続されているのを確認してください。
	電子署名等の初期設定が行われていますか？	「 <a href="#">6.3 PFU タイムスタンプを使う</a> 」(238 ページ)に従って初期設定を行ってください。
クイックメニューが表示されなくなった。	「左クリックメニューモード」に切り替わっていませんか？	右クリックメニューで、[クイックメニューを使用] にチェックをいれてください。
	ScanSnap Organizer、名刺ファイリング OCR、楽 2 ライブラリのいずれかが起動していませんか？	左記のアプリケーションが起動されていてアクティブ状態になっていると、自動連携されて、起動中のアプリケーションが読み取りに使用されます。そのため、クイックメニューは表示されません。クイックメニューを表示したいときは、左記のアプリケーションを終了するか、非アクティブ状態にしてください。自動連携については、「 <a href="#">4.6 アプリケーションの自動連携について</a> 」(127 ページ)を参照してください。
左クリックメニューが表示されない。	「クイックメニューモード」に切り替わっていませんか？(読み取ったあとにクイックメニューが表示されませんか？)	右クリックメニューで、[クイックメニューを使用] のチェックを外してください。
	「読み取りと保存に関する設定」画面が開いていませんか？	「読み取りと保存に関する設定」画面を閉じてください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
<p>[スキャンボタンの設定] で、アプリケーションの選択ができない。</p>	<p>「クイックメニューモード」で使用していませんか？ 「クイックメニューモード」は、読み取った後にメニューからアプリケーションを選択するモードです。あらかじめアプリケーションを指定する必要があります。</p>	<p>アプリケーションを指定して読み取る場合は、「左クリックメニューモード」を使用してください。 右クリックメニューで、[クイックメニューを使用] のチェックを外すと、「左クリックメニューモード」になります。</p>
<p>クイックメニューで、名刺読み取りができない。</p>	<p>クイックメニューからは、名刺を読み取ることができません。</p>	<p>名刺ファイリング OCR を起動して、アクティブ状態にしてから、[スキャン] ボタンを押して読み取ってください。 読み取った結果が、名刺ファイリング OCR で表示されます。</p>
<p>ScanSnap で読み取ったファイルが、対象アプリケーションで開けない。  (例：PDF ファイルを Adobe Acrobat で開こうとするとエラーが発生する)</p>	<p>ファイル保存先として、ネットワーク経由で、他のパソコンやハードディスクのフォルダを指定していませんか？ その際に、ScanSnap で読み取ったファイルを保存中に、LAN ケーブルが抜けるなどの原因で、エラーが発生しませんでしたか？ このようなネットワーク上のエラーが発生した場合、ファイルが正しく保存されず、保存途中の異常ファイルがフォルダに残る可能性があります。</p>	<p>ファイル保存先のフォルダを確認し、異常ファイルを削除して、再度読み取りを行ってください。</p>
<p>「Word/Excel 文書に変換」を行うと、メモリ不足を示すメッセージが表示されたり、「Not Enough Memory!」の文字が変換中のインジケータ画面に表示されたりする。 また、変換結果を確認すると、変換が最後まで正しく行われていない。</p>	<p>ご使用のパソコンには、推奨サイズ以上のメモリが搭載されていますか？ 他のアプリケーションを起動していませんか？ 他のアプリケーションを起動していると、その分本機能に使用できるメモリの量が少なくなってしまう。  一度に大量の原稿を読み取りましたか？ 「Word/Excel 文書に変換」機能は、他の処理に比べて、多くのメモリを使用します。一度に大量の処理を行うと、メモリが不足する場合があります。</p>	<p>推奨サイズに満たない場合は、メモリを増設してください。  他のアプリケーションを終了して、読み取ってください。  「5.5 Word / Excel 文書に変換する」のヒント (177 ページ) を参考にして、仮想メモリの設定を変更してください。</p>
	<p>上記の対処方法では、改善されませんか？</p>	<p>上記3つの方法で改善されない場合は、パソコンのメモリを増設してください。</p>



こんなとき	ここをお調べください	対処方法
「Word/Excel 文書に変換」を行うと、極端に認識精度が悪い。	文字の小さい原稿を読み取っていませんか？ 文字につぶれやかすれのある低品質な原稿を読み取っていませんか？  ※原稿により、最適な読み取り設定は異なります。右の対処方法を参考に読み取り設定を変えてお試しください。	「読み取りと保存に関する設定」画面で、「読み取りモード」タブの「画質の選択：」を、「ファイン」「スーパーファイン」または「エクセレント」にして読み直してください。 (※ただし、「エクセレント」で読み取ると、イメージデータサイズが大きくなるため、認識にかかる時間が長くなります。)
		「読み取りと保存に関する設定」画面で、[ファイルサイズ] タブの「圧縮率：」を、圧縮弱くにして、読み直してお試しください。
		上記の方法を試した場合でも、お使いの原稿によっては、原稿どおりに再現できない、または正しく文字が認識できない場合があります。 詳しくは、「5.5 Word / Excel 文書に変換する」の「 <a href="#">ABBY FineReader for ScanSnap の文字変換機能について (176 ページ)</a> 」を参照ください。
	原稿が傾いていませんか？	原稿が傾いていると、誤って認識される文字が増える傾向があります。 サイドガイドで原稿をしっかりそろえて読み直してお試しください。

\*1) USB1.1 で接続されているか、USB2.0 で接続されているのかわからない場合は、「ScanSnap Manager」のアイコン  を右クリックして、[ヘルプ] → [ScanSnap Manager について] を選択し、「バージョン情報」画面で、[詳細] ボタンを押してください。「スキャナ情報」の「USB タイプ」に表示されます。

※この他にも、ホームページの「よくあるご質問」コーナーで、最新の情報を随時アップしていきます。  
詳細については、以下の ScanSnap ホームページを参照してください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

7

困ったときには



# 第8章

## 清掃方法

この章では、ScanSnap 本体の清掃方法について説明しています。



### 火災・感電

- ScanSnap を清掃する場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて電源を切ってから行ってください。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーを使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常、画像異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

---

8.1	ScanSnap 外部およびスタッカーの清掃 .....	290
8.2	ScanSnap 内部の清掃 .....	291
8.3	A3 キャリアシートの清掃 .....	295

---

## 8.1 ScanSnap 外部およびスタッカーの清掃

ScanSnap 外部およびスタッカーは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤を浸した布で清掃します。

清掃用品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumables.html>

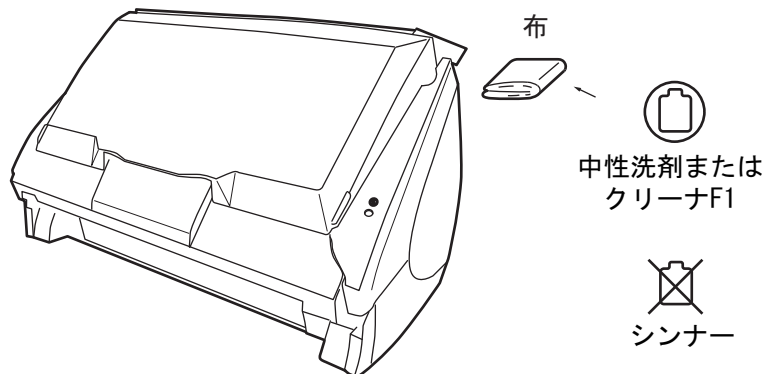
富士通コワーコ株式会社  
 TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)  
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

品名	商品番号	出荷単位	備考
クリーナ F1 	0631151	1 本	容量 : 100ml
クリーニングワイブ 	0631190	1 箱	24 袋入り

\* クリーニングワイブは、クリーナ F1 を染み込ませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布に染み込ませる代わりに、本品を使用することができます。



- シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所クリーナ液が残らないようによく拭き取ってください。



## 8.2 ScanSnap 内部の清掃

ScanSnap 内部は、少量のクリーナ F1 を布に浸して清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ScanSnap 内部に、紙粉やほこりなどがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。

ScanSnap 内部の清掃は、目安として 1000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となる場合があります。

ScanSnap 内部の清掃は、以下の方法で実施してください。

### 警告

装置使用時は、内部のガラス表面が高温になります。

内部の清掃を行う場合は、AC アダプターをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃を行ってください。

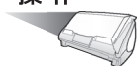
### 注意

清掃時は、ScanSnap 内部を確認しながら、ピックバネ（金属部）に手や布が引っかからないように注意してください。ピックバネ（金属部）が変形して、けがの原因となることがあります。

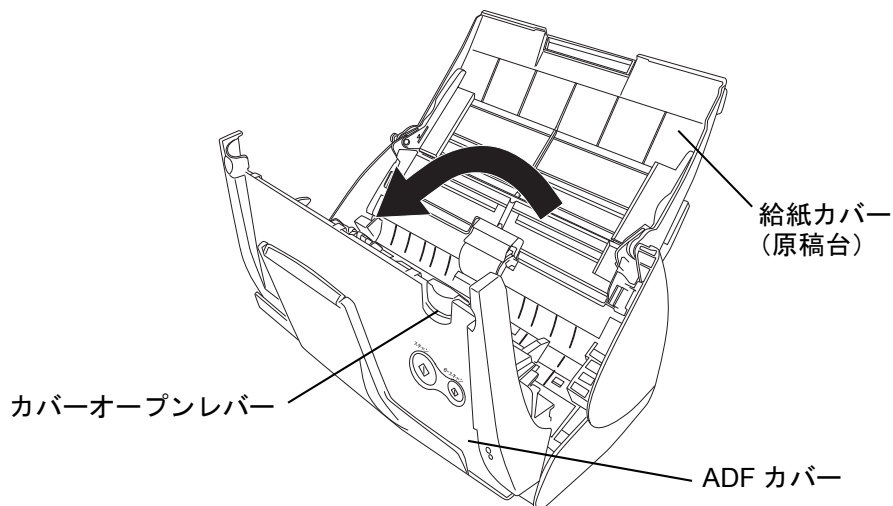


- 装置内部を清掃する際は、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所クリーナ液が残らないようによく拭き取ってください。

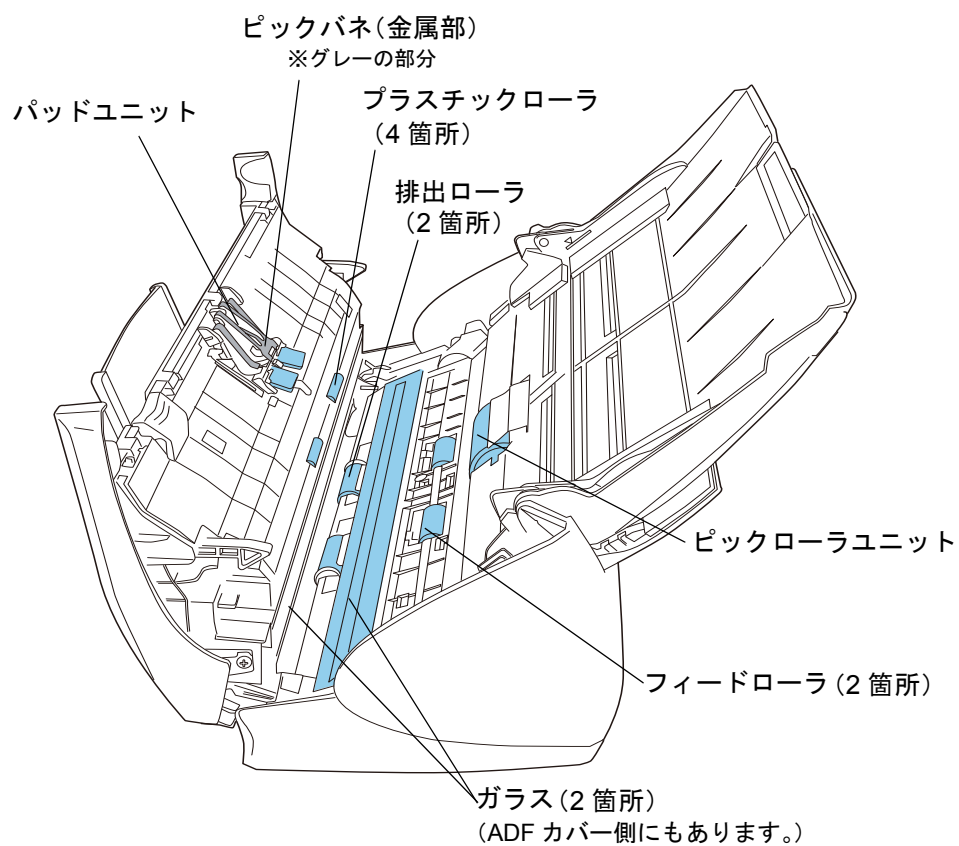
操作



1. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADFカバーを開きます。



2. 乾いた布に、少量のクリーナ F1 を浸して、以下の箇所を清掃します。



以下の箇所は、電源を切断して清掃します。

- **パッドユニット（1箇所）**

ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かってふき取ります。このとき、ピックバネ（金属部）に、手や布が引っかからないように注意してください。

- **ガラス（ADF カバー側、本体側の2箇所）**

ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

- **ピックローラユニット（1箇所）**

手で上から下に向かって回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

- **プラスチックローラ（ADF カバー側4箇所）**

手で少しずつ回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラの表面をいためないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。


以下の箇所は、電源を入れて回転させながら清掃します。


- **フィードローラ（2箇所）**

ローラの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

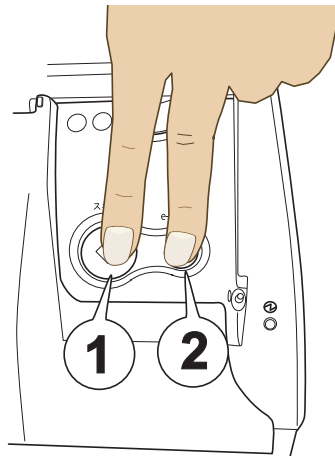
- **排出ローラ（2箇所）**

ローラの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響しやすいため、十分に清掃を行ってください。

ADF カバーを開いた状態で、[スキャン] ボタン  を押しながら [e-スキャン]

ボタン  を押しと、一定量、フィードローラと排出ローラが回転します。

（目安として、[スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンを同時に6回押しと、フィードローラと排出ローラが1回転します。）



1.[スキャン]ボタンを押したまま ...

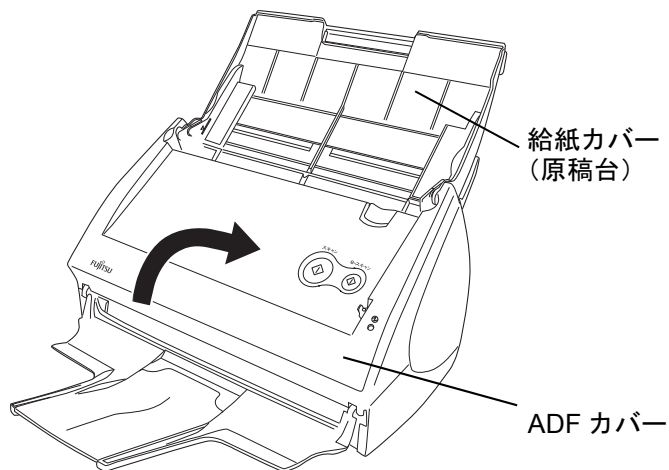
2.[e-スキャン]ボタンを押します。

⇒ フィードローラと排出ローラが回転します。



フィードローラと排出ローラの清掃時のみ電源ケーブルを接続してください。

### 3. ADF カバーを閉じます。



⇒ 「カチン」と音がします。



ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。



## 8.3 A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、繰り返し使用しているうちに、表面や、内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使いつづけると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃するようにしてください。

### <清掃方法>

乾いたやわらかい布や、「クリーナ F1（別売）」または中性洗剤を少量しみこませたやわらかい布を用いて、A3 キャリアシート表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。



- シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 強くこすると、A3 キャリアシートが傷付いたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤で清掃した後は、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。  
A3 キャリアシートの購入については、「9.4 A3 キャリアシートの購入」（310 ページ）を参照してください。





# 第9章

## 消耗品／定期交換部品

この章では、消耗品／定期交換部品の交換方法および購入方法について説明しています。



### 火災・感電

ScanSnap を清掃する場合は、AC アダプターをコンセントから抜いて電源を切ってから行ってください。

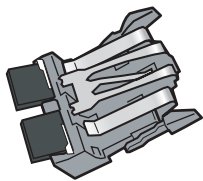
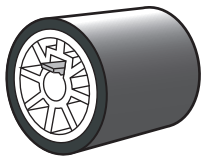
---

9.1	消耗品の番号と交換周期 .....	298
9.2	パッドユニットの交換 .....	300
9.3	ピックアップユニットの交換 .....	303
9.4	A3 キャリアシートの購入 .....	310

---

## 9.1 消耗品の番号と交換周期

消耗品の商品番号と交換周期の目安を、以下に示します。

No.	品名	商品番号	交換周期（目安）
1	パッドユニット 	0637840	5万枚または1年ごと
2	ピックローラユニット 	0637830	10万枚または1年ごと

交換周期は、A4 上質 64g / m<sup>2</sup> (55kg / 連) 用紙を使用した場合の目安であり、使用する用紙によって交換周期が異なります。

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。



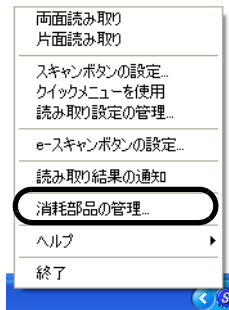
ヒント

消耗品交換手順については、ScanSnap Setup CD-ROM に添付されている「ScanSnap S510 導入ガイド」も参考にしてください。  
動画をを使って、交換手順を視覚的に確認することができます。

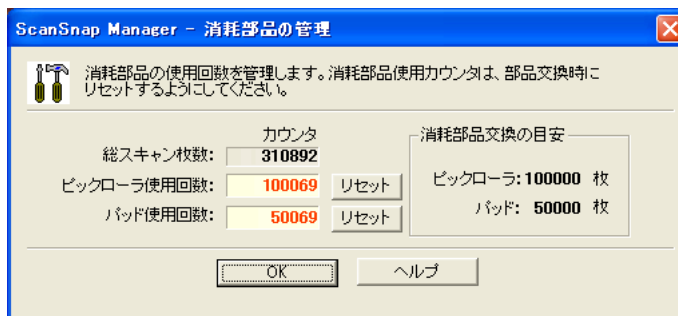


以下の手順で、消耗部品の、交換の目安および使用回数を知ることができます。

1. タスク バーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックします。
2. 表示されたメニューから [消耗部品の管理] をクリックします。



⇒ 消耗部品の使用回数を表示している画面（「消耗部品の管理」の画面）が表示されます。



「消耗部品交換の目安」を目安にして、消耗部品の交換をしてください。

消耗品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

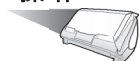
<http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumables.html>

富士通コワーコ株式会社  
TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)  
<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

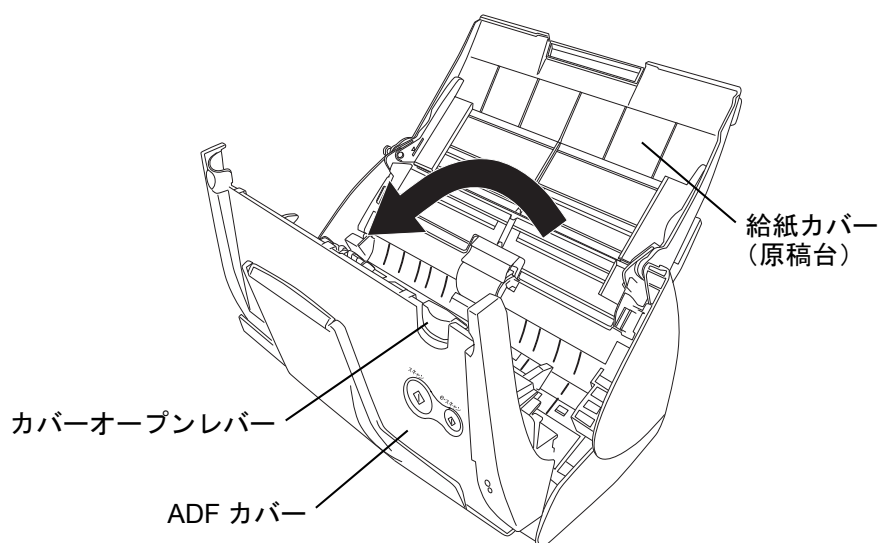
## 9.2 パッドユニットの交換

パッドユニットの交換方法を、以下に示します。

操作

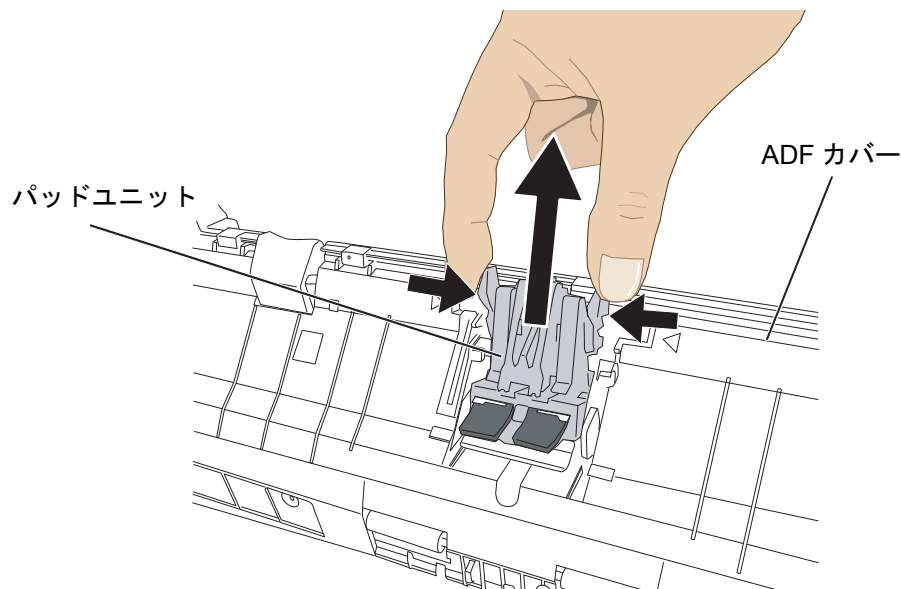


1. 給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

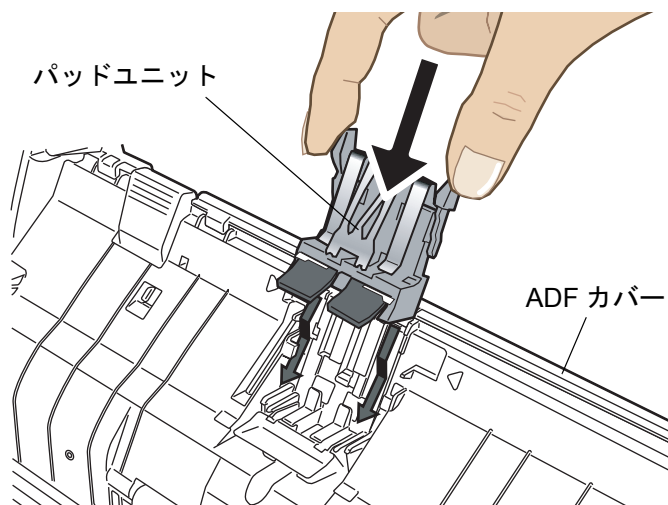


3. パッドユニットを取り外します。

パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取り外します。

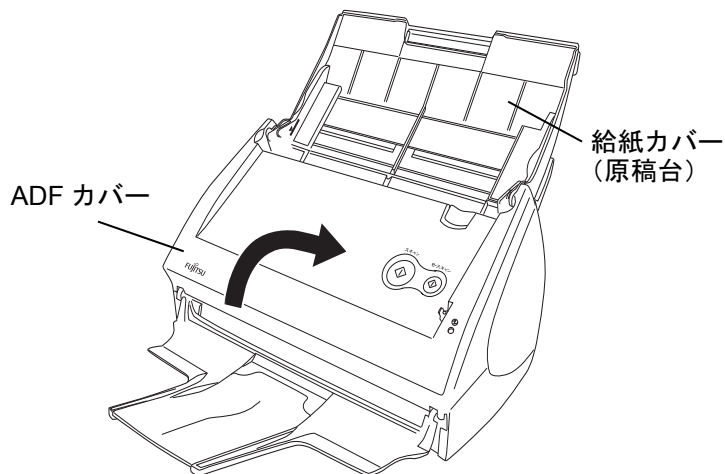


#### 4. 新しいパッドユニットを取り付けます。



パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

#### 5. ADF カバーを閉じます。

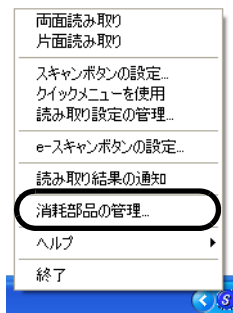


⇒ カチンと音がします。

#### 6. ScanSnap の電源を入れます。

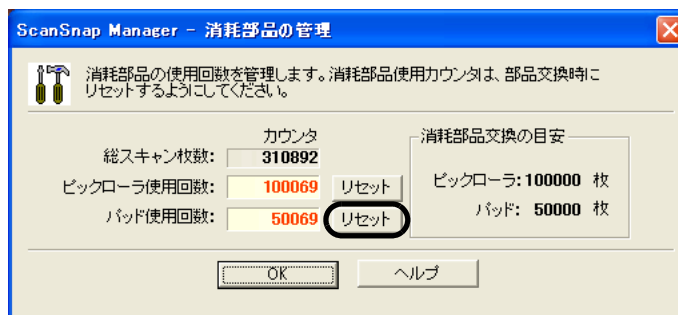


7. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックし、表示されたメニューから、[消耗部品の管理] を選択します。

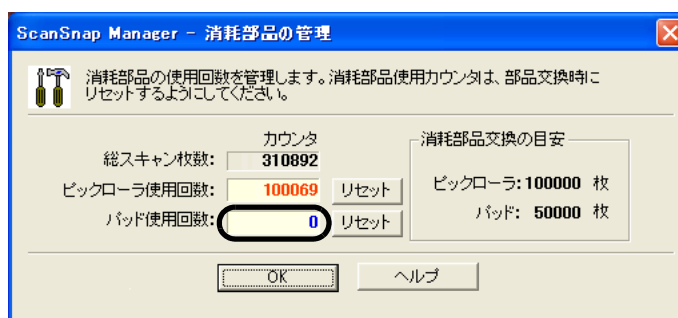


⇒「消耗部品の管理」の画面が表示されます。

8. 「消耗部品の管理」の画面で、「パッド使用回数：」の [リセット] ボタンをクリックします。



⇒ [リセット] ボタンをクリックした消耗品の使用回数が 0 になります。





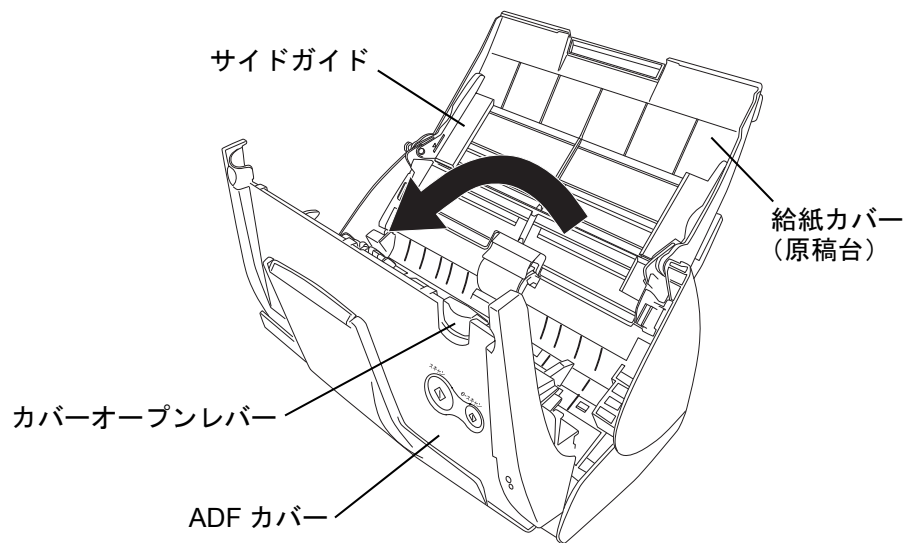
## 9.3 ピックローラユニットの交換

ピックアップユニットの交換方法を、以下に示します。

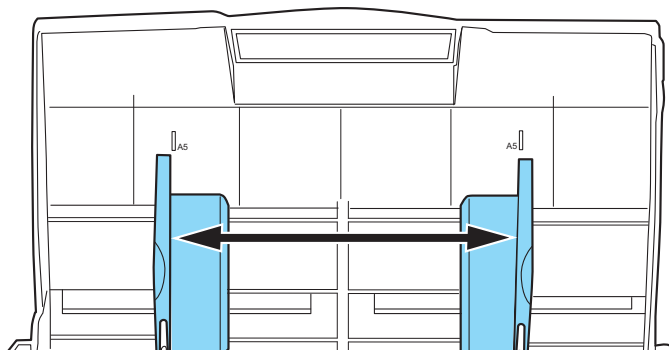
操作



1. 給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。

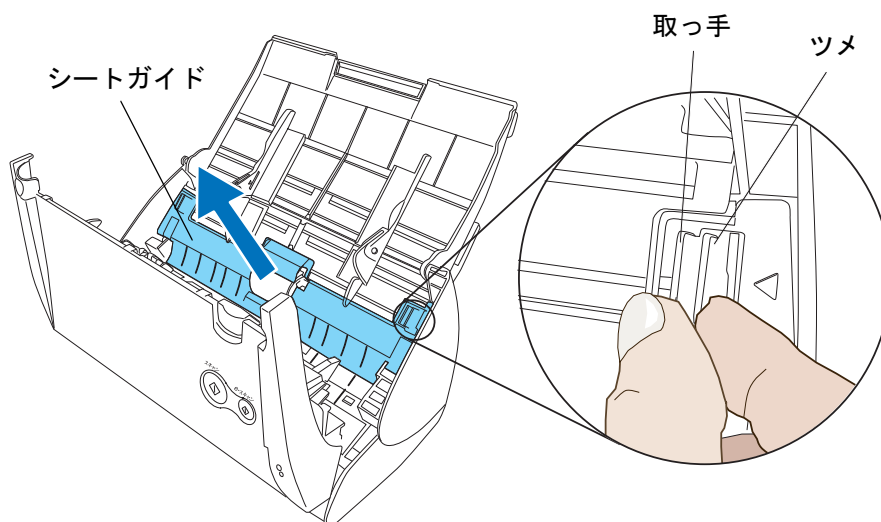


3. サイドガイドを「A5」サイズ的位置に合わせます。

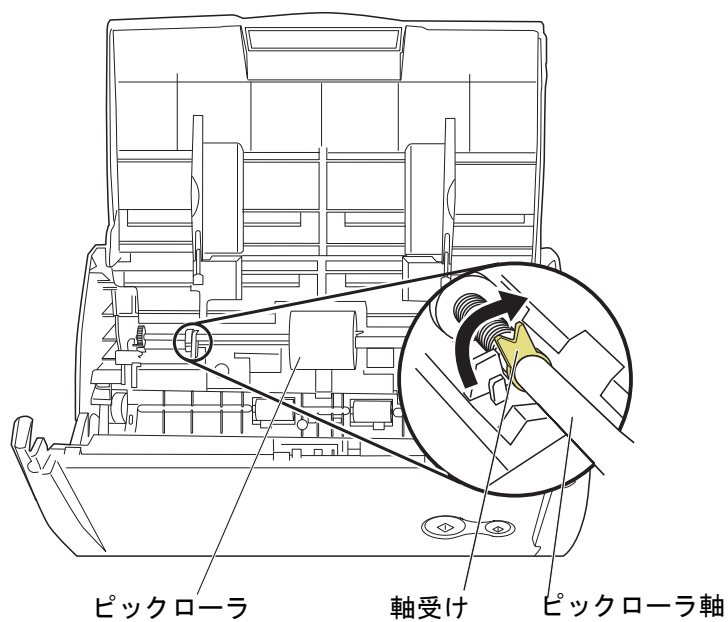


#### 4. シートガイドを取り外します。

両端の取っ手をつまみ、ツメを内側に押しながら、持ち上げて外します。

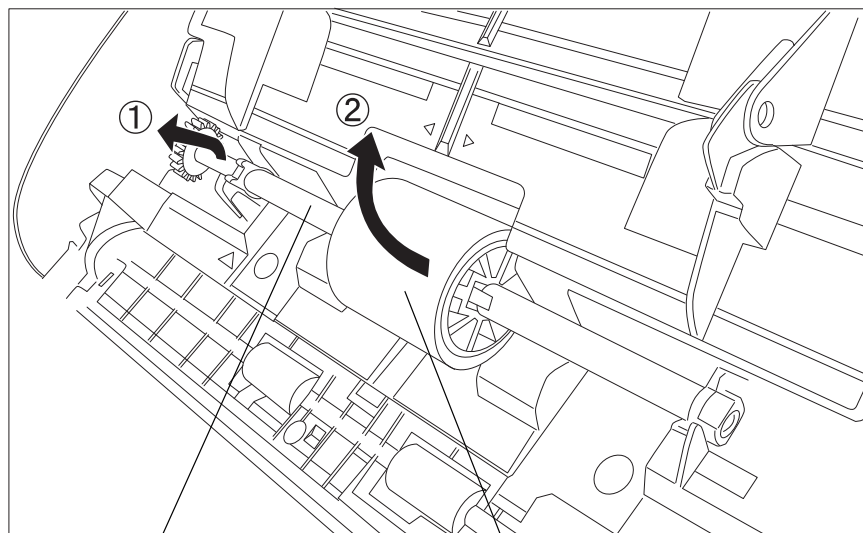


#### 5. ピックローラの軸受け（左側）を回転させます。



## 6. ピックローラを外します。

ピックローラ軸の左側を軽く引き上げ（5mm 程度）、左側にずらしてから、上に持ち上げて取り外します。



ピックローラ軸

ピックローラ



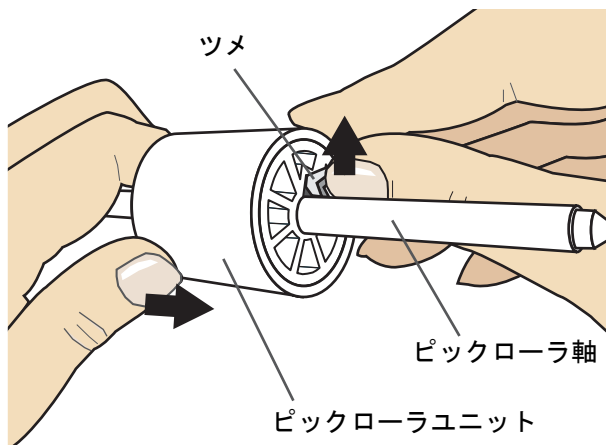
まって!

ピックローラの周辺が紙粉でよごれている場合があります。そのまま放置すると、読み取り不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナF1を浸して、紙粉をふき取ってください。

※水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

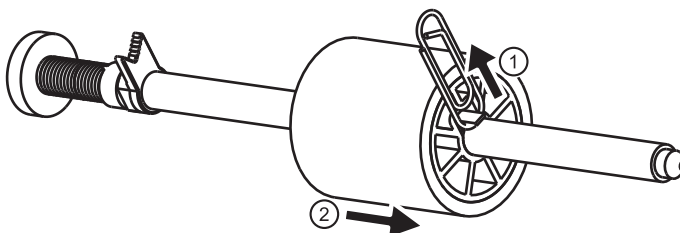
## 7. ピックローラユニットを、ピックローラ軸から外します。

ピックローラユニットのツメを持ち上げながら、ピックローラ軸を引き抜きます。



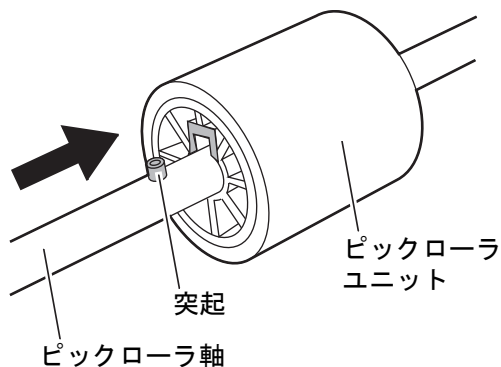
まって!

指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。  
うまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックローラユニットのツメを持ち上げてください。



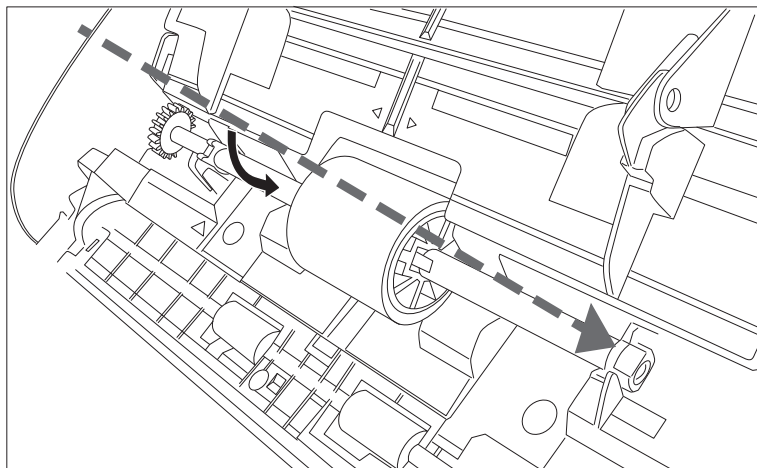
## 8. 新しいピックローラユニットを、軸に取り付けます。

ピックローラ軸の突起部分をピックローラユニットの溝にはめ込みます。

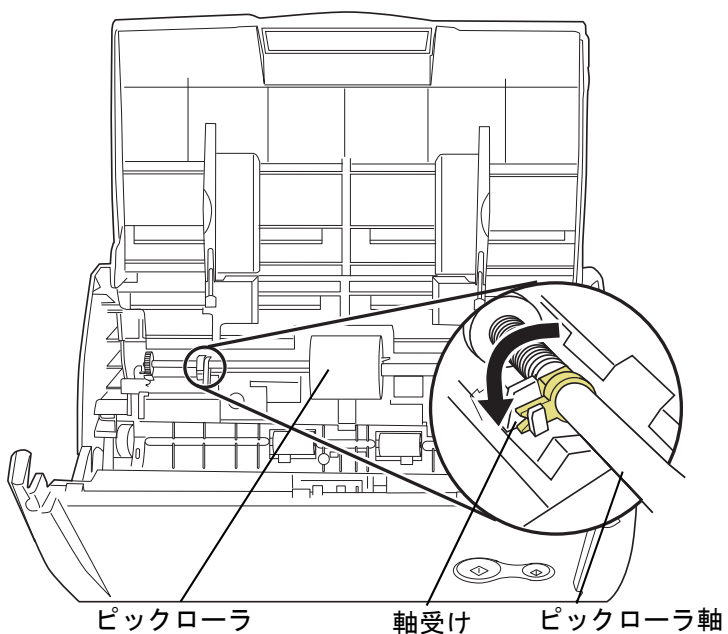


## 9. ピックローラを ScanSnap に取り付けます。

まず、右側の軸受けに、斜め上方からピックアップ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。



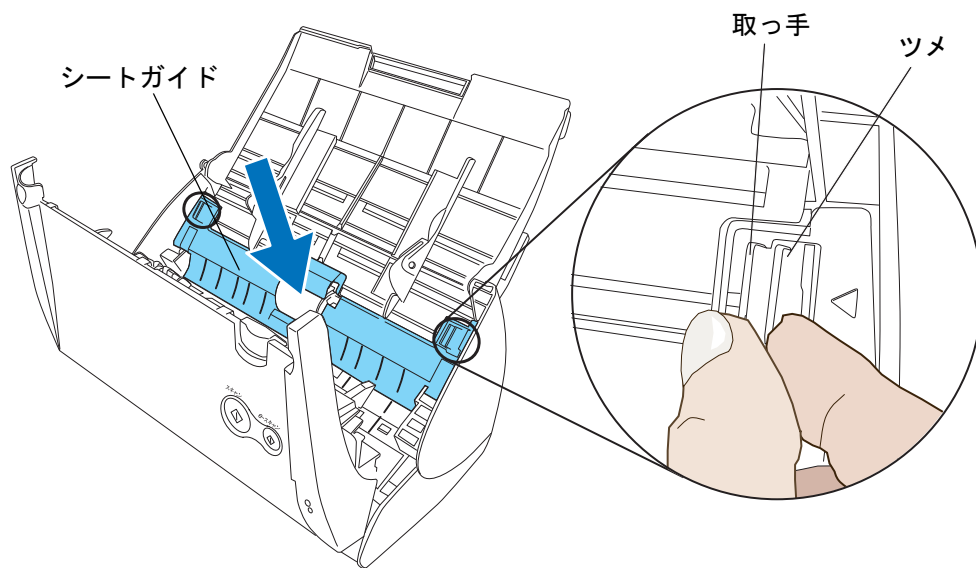
## 10. 軸受け（左側）を固定します。



ピックアップローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に  
取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがありま  
す。

## 11. シートガイドを取り付けます。

両端の取っ手をつまんで、シートガイドを元の位置に取り付けます。

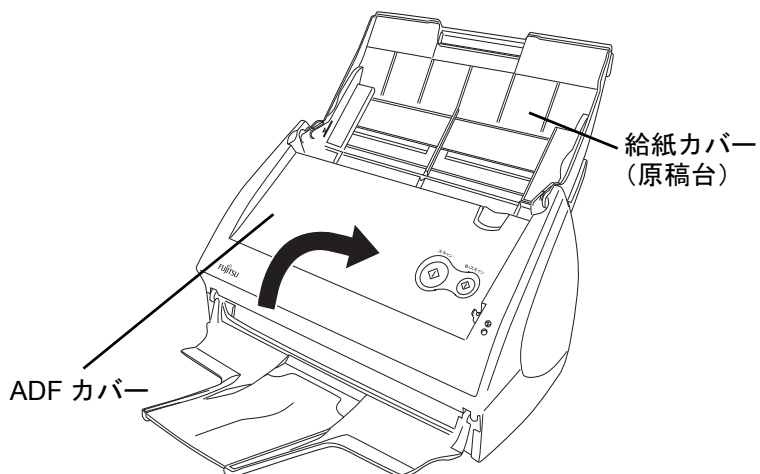


⇒「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。



シートガイドがしっかり固定されていることを確認してください。取り付けが完全でないと、原稿づまりや給紙エラーなどを引き起こす原因となります。

## 12. ADF カバーを閉めます。

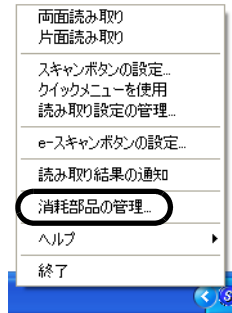


⇒「カチン」という音がします。

## 13. ScanSnap の電源を入れます。

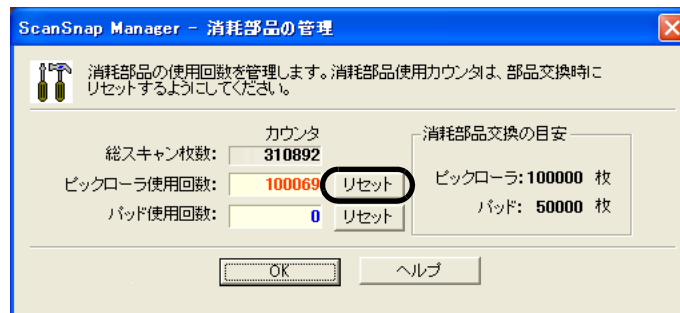


14. タスクバーにある「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックし、表示されたメニューから、[消耗部品の管理] を選択します。

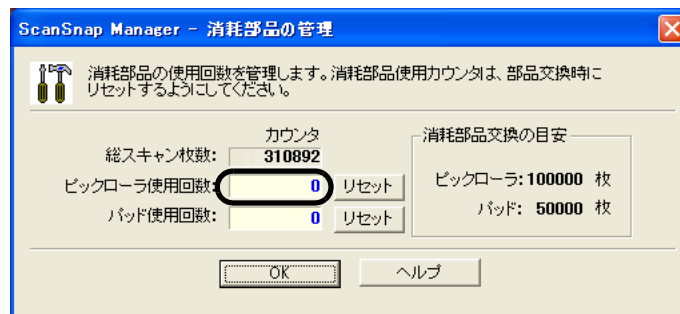


⇒「消耗部品の管理」の画面が表示されます。

15. 「消耗部品の管理」の画面で、「ピックアップ使用回数：」の [リセット] ボタンをクリックします。



⇒ [リセット] ボタンをクリックした消耗品の使用回数が 0 になります。

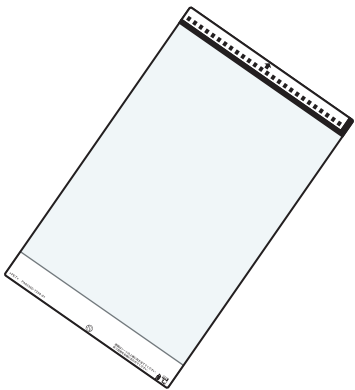


## 9.4 A3 キャリアシートの購入

本製品に添付されている A3 キャリアシートが、破損、磨耗などによって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシートのみを別途ご購入いただくことができます。

A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することをお勧めします。ただし、使用状況によって異なります。傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。

A3 キャリアシート（別売）の商品名、手配型名は、以下のとおりです。

品 名	数 量	手配型名
ScanSnap A3 キャリアシート 	5 枚	FI-511ES

ご購入につきましては、以下のホームページを参照していただくか、本製品を購入された販売代理店、または当社 PFU ダイレクトにお問い合わせください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/purchase/index.html>

株式会社 PFU      PFU ダイレクト

TEL: 0120-14-4541

FAX: 042-788-7731

E-Mail : [shop@pfu.fujitsu.com](mailto:shop@pfu.fujitsu.com)

電話お問い合わせ受付時間：月～金／ 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00

（土・日・祝祭日・年末年始を除く）




# 付録 A


## ScanSnap Manager のアップデート

ScanSnap Manager では、操作性の向上や、機能アップを図るために、適時プログラムのアップデートが行われます。

「ScanSnap Manager」のアイコン **S** のメニューから、最新のプログラム（アップデートパック）が公開されているか自動的に確認し、プログラムを更新（アップデート）することができます。

 アップデートパックは、事前連絡なしに公開されます。定期的にアップデートすることをおすすめします。

ScanSnap Manager をアップデートする場合は、以下の操作を行います。

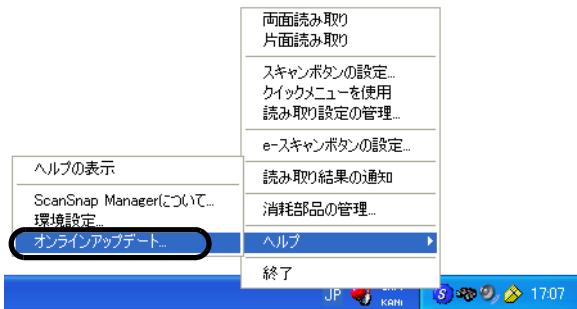


- アップデートするには、インターネットを使用できる環境で、Microsoft® Internet Explorer がインストールされている必要があります。
- 必ず Administrator 権限でログオンしてください。

A

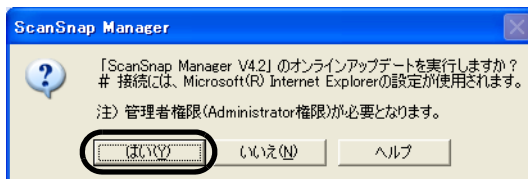


1. 「ScanSnap Manager」のアイコン **S** を右クリックして、[ヘルプ] → [オンラインアップデート] を選択します。



⇒ ScanSnap Manager をアップデートするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

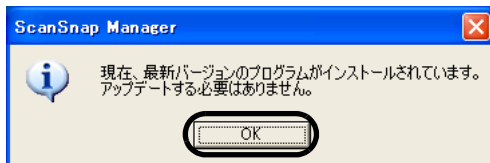
2. [はい] ボタンをクリックします。



⇒ 最新のアップデートプログラムが公開されている場合、ダウンロードアップデートを実行するための確認メッセージが表示されます。

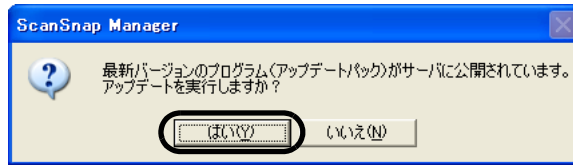


すでに最新版にアップデートされている場合は、以下のメッセージが表示されます。



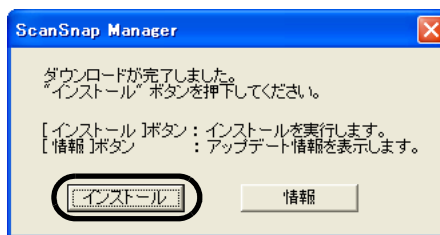
[OK] ボタンをクリックして、メッセージを閉じてください。

### 3. [はい] ボタンをクリックします。



⇒ プログラムがダウンロードされて、インストールを実行するための確認メッセージが表示されます。

### 4. [インストール] ボタンをクリックします。



[情報] ボタンをクリックすると、Microsoft® Internet Explorer が起動して、ScanSnap Manager について最新のアップデート情報が表示されます。

⇒ インストールが開始され、「ScanSnap Manager 用の InstallShield Wizard へようこそ」の画面が表示されます。  
画面の指示に従って、インストールしてください。



# 付録B

## アンインストール

アンインストールとは、インストールでコピーした ScanSnap のプログラムファイルを削除し、変更したシステムの環境をもとに戻すことです。

### < ScanSnap 用添付プログラムのアンインストール >

ScanSnap 用の添付プログラム（ScanSnap Manager、名刺ファイリング OCR、および ScanSnap Organizer）のアンインストール方法を、以下に説明します。



#### 1. パソコンを起動します。

コンピュータの管理者権限（Administrator 権限）を持つユーザーでログインしてください。

#### 2. 動作しているアプリケーションをすべて終了させます。

#### 3. [スタート] メニューから、[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択します。

⇒「プログラムの追加と削除」の画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

#### 4. 削除するアプリケーションを選択します。

- ScanSnap Manager を削除する場合  
「ScanSnap Manager」を選択してください。
- 名刺ファイリング OCR を削除する場合  
「名刺ファイリング OCR V2.2」を選択してください。
- ScanSnap Organizer を削除する場合  
「ScanSnap Organizer」を選択してください。



## < PFU タイムスタンプのアンインストール >

PFU タイムスタンプのアンインストール方法を、以下に説明します。



### 1. パソコンを起動します。

コンピュータの管理者権限 (Administrator 権限) を持つユーザーでログインしてください。

### 2. 動作しているアプリケーションをすべて終了させます。

### 3. [スタート] メニューから、[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] を選択します。

⇒「プログラムの追加と削除」の画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

### 4. 「PFU タイムスタンプ for Adobe(R) Acrobat(R) (取得 / 検証用)」を選択します。

### 5. [削除] ボタンをクリックします。

⇒「アンインストールの確認」の画面が表示されます。

### 6. [OK] ボタンをクリックします。

⇒アンインストールが実行されます。



ご使用のオペレーティングシステム (OS) によっては、画面表示が多少異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。

例 : Windows 2000 の場合

- 「プログラムの追加と削除」 → 「アプリケーションの追加と削除」
- [削除] ボタン → [追加と削除] ボタン





# 付録C

## [スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの機能差

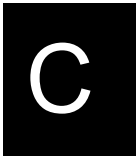
ScanSnap の [スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンは「読み取りと保存に関する設定」画面で設定できる項目が違います。

また、[スキャン] ボタンの「クイックメニューモード」(43 ページ) と「左クリックメニューモード」(48 ページ) では、「読み取りと保存に関する設定」画面で設定できる項目が違います。用途に合わせて使い分けてください。

(○ : 設定可能、△ : 左クリックメニューモード時のみ設定可能、× : 設定不可)

[スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの設定項目

設定項目		[スキャン] ボタン	[e-スキャン] ボタン	ページ
読み取り設定	読み取り設定の選択	△	×	83 ページ
	新規	△	×	84 ページ
	管理	△	×	84 ページ
アプリ選択	アプリケーションの選択	△ *1	○	85 ページ
	アプリケーションを起動しません (ファイル保存のみ)	△	○	
	ScanSnap Organizer	△	○	
	Adobe® Acrobat®	△	○	
	Adobe® Acrobat® Reader™ または、Adobe® Reader®	△	○	
	名刺ファイリング OCR	△	×	
	Excel 文書に変換	△	×	
	Word 文書に変換	△	×	
	指定したフォルダに保存	△	○	
	メールで送信	△	○	
	プリンタで印刷	△	×	



付録 C [スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの機能差

[スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの設定項目

設定項目		[スキャン] ボタン	[e-スキャン] ボタン	ページ
保存先	イメージ保存先	○	○	89 ページ
	ファイル名の設定	○	○	90 ページ
	ファイル名変更	△	○	91 ページ
読み取りモード	画質の選択	○	○	92 ページ
	ノーマル（高速に読み取ります）	○	×	
	ファイン（綺麗に読み取ります）	○	○	
	スーパーファイン（より綺麗に読み取ります）	○	○	
読み取りモード	カラーモードの選択	○	×	93 ページ
	自動	○	×	
	カラー	○	○	
	白黒	○	×	
	カラー高圧縮	△	×	
	読み取り面の選択	○	○	94 ページ
	継続読み取りをします	○	○	
	オプション	○	○	94 ページ
	白黒読み取りの濃度	○	×	
	文字をくっきりします	○	×	
	白紙ページを自動的に削除します	○	○	
	文字列の傾きを自動的に補正します	○	○	
	原稿の向きを自動的に補正します	○	○	
原稿を上向きにしてセットします	○	○		
ファイル形式	ファイル形式の選択	△	○	97 ページ
	PDF (*.pdf)	○	○	
	JPEG (*.jpg)	△	○	
	テキスト認識して検索可能な PDF にする	○	○	97 ページ
	全ページ	○	○	
	先頭ページのみ	○	○	
	オプション	○	○	98 ページ
	すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします	○	○	
設定ページごとに PDF ファイルを作ります	○	○		
読み取った PDF ファイルにパスワードを付けます	△	○		
読み取った PDF ファイルに電子署名・タイムスタンプを付けます	△	○		

[スキャン] ボタンと [e-スキャン] ボタンの設定項目

設定項目		[スキャン] ボタン	[e-スキャン] ボタン	ページ
原稿 サイズ	原稿サイズを選択	○	○	102 ページ
	サイズ自動検出	○	○	
	A4 (210 × 297mm)	○	○	
	A5 (148 × 210mm)	○	○	
	A6 (105 × 148mm)	○	○	
	B5 (182 × 257mm)	○	○	
	B6 (128 × 182mm)	○	○	
	はがき (100 × 148mm)	○	○	
	名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)	○	○	
	レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)	○	×	
	リーガル (8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)	○	×	
	カスタマイズ	○	○	103 ページ
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	○	○	104 ページ	
A3 キャリアシート設定	○	×		
フ ァ ィ ル サ イ ズ	圧縮率	○	×	105 ページ
	1	○	×	
	2	○	○	
	3	○	○	
	4	○	×	
	5	○	×	
現在の設定を保存		△	×	108 ページ

1) クイックメニューモード時 (43 ページ) は、読み取り後にクイックメニューから動作を指定することによって、関連したアプリケーションが起動されます。そのため、[アプリ選択] タブは表示されません。

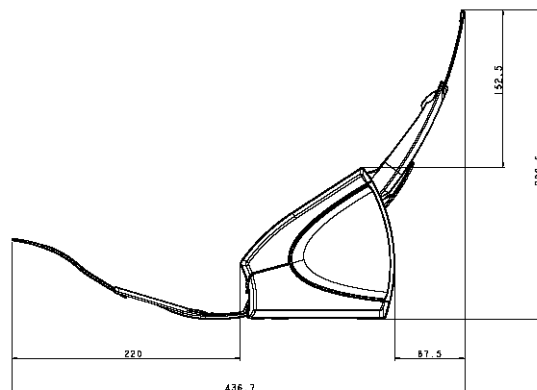
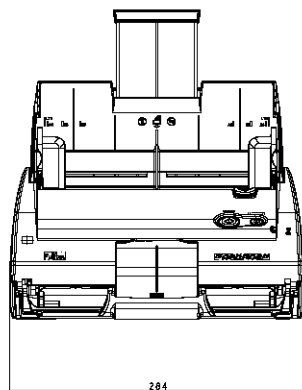


# 付録D

## 設置諸元

ScanSnap の設置諸元は、以下のとおりです。

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行×高さ）		最小：284 × 157 × 158 mm 最大：284 × 436.7 × 299.5 mm
質量		2.7 kg
入力電源	電圧	100V
	相数	単相
	周波数	50 / 60Hz
消費電力		稼動時：28W 以下 休止時：6W 以下
温度／湿度 許容範囲	温度（℃）	稼動時：5 ～ 35 休止時：-20 ～ 60 保管運搬時：-20 ～ 60
	湿度（%）	稼動時：20 ～ 80 休止時：8 ～ 95 保管運搬時：8 ～ 95



D



# 修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して ScanSnap をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

必要な時にそのつどご利用いただけるスポットサービスによりお客様を強力にバックアップいたします。

## ■ スポットサービス

スポットサービスには、以下のサービスがあります。

### ● センドバック修理サービス

修理窓口まで機器を送付して頂き、修理を行います。

SENDバック修理サービス	持込基本料金：技術料+部品費（実費） * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引取りします。引き取り料金がかかります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中代替機を貸し出します。（引き取り修理サービスと併用）代替機貸し出し料金がかかります。

\*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種となることがあります。

\*2 代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

キャンセル料	持ち込み診断後、交換部品が高価なため修理をキャンセルする場合は、キャンセル料がかかります。
--------	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス&サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話の場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	<a href="http://scansnap.fujitsu.com/jp/">http://scansnap.fujitsu.com/jp/</a>

※上記窓口では、Adobe® 製品に関するお問い合わせにはお答えすることができません。

Adobe® 製品に関するお問い合わせにつきましては、以下のホームページを参照してください。  
<http://www.adobe.co.jp/support/main.html>

※上記窓口では、ABBYY<sup>®</sup> 製品に関するお問い合わせにはお答えすることができません。  
ABBYY FineReader for ScanSnap に関するお問い合わせにつきましては、  
『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』 → 「技術サポート」 → 「ABBYY 支店」を参照してください。  
(『ABBYY FineReader for ScanSnap ユーザーズガイド』は、[スタート] メニューから、  
[すべてのプログラム] → [ABBYY FineReader for ScanSnap (TM) 3.0] → [ユーザーズガイド] の順に選択すると表示されます。)

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。  
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または PFU イメージングサービス&サポートセンターまでお問い合わせください。

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後 5 年間です。



# 索引

## あ行

圧縮率	105
アップデート	311
アプリケーションの設定	86
アプリケーションの選択	85
アプリ選択	85
アンインストール	315
イメージの保存先	89
印刷	163
インストール	6
インストールする前に	6
エクセレント	92
オフィス機能	132
オプション（ファイル形式）	98
オプション（読み取りモード）	94
表裏の画像をそれぞれ出力します	123
オンラインアップデート	312

## か行

画質の選択	92
カスタマイズ	103, 104, 125
カスタム原稿サイズ	103, 125
カスタムサイズ	102
画像データのサイズ	106
傾き補正	95
片面読み取り	204
カバーオープンレバー	3
カラー高圧縮	93
カラーモードの選択	93
カラー読み取り	93
給紙カバー（原稿台）	3
共有フォルダ	133
クイックメニュー	45, 118

クイックメニューの設定	118
クイックメニューモード	43
クリーナ F1	290
継続読み取りをします	94
原稿サイズ	102
原稿サイズの選択	102, 104
原稿づまりの処理	278
原稿のセット方法	62, 133
原稿の向きを自動的に補正	96, 214
原稿を上向きにしてセットします	96
固定パスワード	99
コピー	163
困ったときには	277

## さ行

サイズ自動検出	102
サイドガイド	3
システム条件	6
指定したフォルダに保存	141
自動（カラー／白黒自動識別）	93
自動連携	127
出力画像サイズ	124
証明書	243
消耗品	298
初期設定	200, 201, 202
白黒読み取り	93, 206, 207
白黒読み取りの濃度	94
スキャン	43, 48
スキャンボタン	4
スキャンボタンの設定項目	319
スタッカー	3, 65
スーパーファイン	92
清掃方法	289

セキュリティケーブルスロット	4
設置諸元	323
設定ページごとに PDF ファイルを作成	219
操作の流れ	38, 132
操作ボタン	4

## た行

タイムスタンプ	238
追加と削除	86
テキスト認識	236
デジタル ID	243
電源ケーブルの接続	30
電源コネクタ	4
電源の ON/OFF について	56
電源ランプ	4
電子署名	238
電子署名とタイムスタンプの付加	251
電子署名に必要な証明書の準備	243
添付プログラムのインストール	14
トラブルと対処	280

## な行

ノーマル	92
------	----

## は行

白紙ページ削除	209
白紙ページを自動的に削除	95
パスワード	99, 100
パッドユニット	298
パッドユニットの交換	300
左クリックメニュー	80
左クリックメニューモード	48
ピックアップラユニット	298
ピックアップラユニットの交換	303
ファイル形式	97
ファイル形式の選択	97
ファイルサイズ	105

ファイルの共有	135
ファイル名の設定	90
ファイン	92
プリンタで印刷	165, 170
プレビュー画面 (指定したフォルダに保存)	143, 137
プレビュー画面 (プリンタで印刷)	167, 172
プレビュー画面 (メールで送信)	152, 159
ページの回転	233
ページの削除	235
保存先	89

## ま行

マルチフィード	282
右クリックメニュー	79
見開き画像を出力します	123
向き補正	96
名刺の読み取り	257
名刺ファイリング OCR	256
名刺ファイリング OCR のインストール	14
メールで送信	149, 156
メールに添付	147
文字列の傾きを自動的に補正	95
文字列の傾きを自動的に補正します	211
文字をくっきり	95

## や行

読み取り	43, 48
読み取り後、ファイル名を変更する	91
読み取り設定	107
読み取り設定の登録	108
読み取り設定の名前を変更	114
読み取り設定を削除	116
読み取り設定を使った読み取り	111
読み取り設定を変更する	81, 163
読み取りできる原稿	58, 147
読み取りと保存に関する設定	81, 82

読み取り面の選択 .....	93
読み取りモード .....	92

## ら行

楽2ライブラリ .....	188, 194
楽2ライブラリに保存 .....	192

## A

ABBYY FineReader for ScanSnap .....	183
ABBYY FineReader for ScanSnap のインストール .....	10
ADF カバー .....	3
Adobe Acrobat のインストール .....	8
Adobe Acrobat の環境設定 .....	240
A3 キャリアシート .....	66
A3 キャリアシート セット方法 .....	66
A3 キャリアシートの設定 .....	121
A3 キャリアシート購入 .....	310
A3 キャリアシート清掃 .....	295

## E

e- スキャン .....	52
e- スキャンボタン .....	4
e- スキャンボタンの設定項目 .....	319
e- 文書法 .....	52
タイムスタンプ .....	238
e- スキャン .....	52
e- スキャンボタンの設定項目 .....	319
Excel 文書に変換 .....	180, 181
Excel 文書 .....	175

## P

PDF ファイルの結合 .....	222
PFU タイムスタンプ .....	238

## S

ScanSnap インストーラ .....	14, 23, 244
ScanSnap Manager .....	78
ScanSnap Manager のインストール .....	14
ScanSnap Organizer .....	265
ScanSnap の状態 .....	4
ScanSnap の初期設定 .....	200
ScanSnap 背面 .....	4

## U

USB ケーブルの接続 .....	31
USB コネクター .....	4

## W

Word 文書に変換 .....	180, 181
Word 文書 .....	175



---

## **ScanSnap S510**

### **オペレーターガイド**

**P3PC-1792-03Z0**

発行日 2009年10月

発行責任 株式会社 PFU

- 
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
  - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責任を負いません。
  - 無断転載を禁じます。